

2025年度(令和7年度)

人権に関する市民意識調査

報告書

大分市

2026年(令和8年)4月

目次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的・内容・方法等	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査の方法	1
4 調査結果の集計分析	1
第2節 調査の実施過程	2
1 調査対象の設定・標本（サンプル）の抽出	2
2 調査票の配布・回収・有効調査票の選定	3
第3節 回答者の属性	4
1 性別	4
2 年代別	4
3 職業別	5
第4節 報告書の見方	6
1 集計結果の見方について	6
2 クロス集計について	6
第2章 調査結果の概要 ～単純集計結果をもとに～	7
第1節 人権の尊重、人権問題への関心について	7
1 人権の尊重	7
2 人権問題への関心	8
第2節 法令や宣言、大分市の取組等について	10
1 人権に関する法令や宣言	10
2 人権に関する大分市の条例等	20
3 人権啓発センターについて	26
第3節 人権全般について	27
1 差別や人権侵害をされた経験	27
2 差別や人権侵害をされた場合の対応	30
3 差別に対する考え方	31
4 日常生活における考え方	38
5 身元調査について	48
6 住居決定について	49
7 人権問題に関する学習経験	56
第4節 個別の人権問題について	64
1 女性の人権問題	64
2 こどもの人権問題	68
3 高齢者の人権問題	72
4 障がい者の人権問題	76

5	部落差別（同和問題）	80
6	外国人の人権問題	88
7	感染症の患者等に関する人権問題	91
8	ハンセン病患者・元患者に関する人権問題	94
9	刑を終えて出所した人の人権問題	97
10	犯罪被害者の人権問題	98
11	性的マイノリティの人々の人権問題	100
12	インターネット上の人権侵害	103
第5節	自由記述について	106

巻末付録

- ・「人権に関する市民意識調査」調査票
- ・用語説明

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

この章では、本調査の目的・内容・方法等、実施過程(手順等)及び回答者の属性などについて記します。

第1節 調査の目的・内容・方法等

1 調査の目的

この調査は、市民の人権問題に関する意識の現状を把握・分析し、2020年度(令和2年度)調査(以下「前回調査」)との対比を含め、今後の人権教育・啓発に関する施策を有効に進めるための基礎資料にすることを目的としています。

2 調査の内容

- (1) 人権の尊重、人権問題への関心について
- (2) 法令や宣言、大分市の取組等について
- (3) 人権全般について
- (4) 個別の人権問題について

【巻末付録】「人権に関する市民意識調査」調査票

3 調査の方法

- | | |
|------------|---------------------------------|
| (1) 調査地域 | 大分市全域 |
| (2) 調査対象 | 住民基本台帳に記載された18歳以上の市民 |
| (3) 調査対象者数 | 3,000人 |
| (4) 対象者の選定 | 無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送による調査票の配布 |
| (6) 回答方法 | 郵送またはインターネット(無記名回答) |
| (7) 調査期間 | 2025年(令和7年)12月5日～同年12月26日(消印有効) |

4 調査結果の集計分析

集計・分析 (株)日建コンサルタント

第2節 調査の実施過程

1 調査対象の設定・標本（サンプル）の抽出

調査対象者については、2025年(令和7年)9月末現在の住民基本台帳に記載された18歳以上の市民を対象に、性別、年齢別、地域(本庁・各支所)別に、人口構成に即して3,000人を抽出しました。

その内訳は以下のとおりです。

(1) 2025年(令和7年)9月末現在の住民基本台帳(18歳以上)

男 183,252人(49%)

女 194,493人(51%)

計 377,745人

(2) 調査対象者数

年齢		10歳代 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計	前回調査
市全体	男	222	202	254	258	210	308	1,454	1,447
	女	206	192	252	271	239	386	1,546	1,553
	計	428	394	506	529	449	694	3,000	3,000
本庁	男	98	91	112	115	94	116	626	622
	女	95	89	114	124	107	152	681	682
鶴崎	男	39	39	47	43	34	53	255	239
	女	36	37	46	44	38	63	264	251
大南	男	10	8	11	15	15	20	79	83
	女	10	8	12	16	17	22	85	88
植田	男	32	26	39	40	34	66	237	242
	女	30	26	40	42	40	85	263	269
大在	男	20	17	19	18	11	13	98	93
	女	16	14	16	17	11	15	89	83
坂ノ市	男	10	11	13	11	7	12	64	58
	女	9	9	12	10	8	14	62	59
佐賀関	男	2	2	3	3	4	9	23	25
	女	1	1	2	3	4	11	22	27
野津原	男	1	1	2	2	2	4	12	13
	女	1	1	1	2	2	5	12	14
明野	男	10	7	8	11	9	15	60	72
	女	8	7	9	13	12	19	68	80
計		428	394	506	529	449	694	3,000	3,000

2 調査票の配布・回収・有効調査票の選定

調査票の配布については、調査の対象になった市民から快く安心して協力していただけるよう、郵送法を採用しました。また、利便性を考慮し、今回調査よりインターネット回答を導入しました。

調査票の有効・無効の判断については、回収調査票のうち、全ての設問において回答が無かった分については、データ分析が不可能であるため「無効」としました。また、単純分析については、性別、年代別に集計することから、性別及び年齢のどちらか一方でも回答がなかった分については「無効」とし、分析対象を978票として分析しました。

ただし、選定した票の中には、質問項目の一部に答えていない分もあります。その場合は、その質問に答えた票数が合計数値になります。調査票回収結果は表1-1のとおりです。

表1-1 調査票回収結果

	今回調査	前回調査
発送調査票数	3,000	3,000
到達調査票数	2,986	2,988
不到達調査票数	14	12
回収調査票数(郵送)	643	1,684
回収調査票数(オンライン)	344	-
有効回収調査票数	978	1,679
無効回収調査票数	9	5
発送調査票数に対する有効回収率	32.6%	56.0%
到達調査票数に対する有効回収率	32.8%	56.2%

第3節 回答者の属性

この節では、回答者全体の構成を、性別、年代、職業から探ります。

1 性別

性別分布を見ると、男性39.9%、女性60.0%、その他0.1%となっています。

表1-2 性別分布状況

	今回調査		前回調査	
	実数	百分比	実数	百分比
男性	390	39.9%	637	39.1%
女性	587	60.0%	983	60.3%
その他	1	0.1%	11	0.7%
計	978	100.0%	1,631	100.0%

2 年代別

年代別分布を見ると、70歳以上が30.0%で最も多く、10・20歳代が5.9%と最も少なくなっています。

表1-3 年代別分布状況

	今回調査		前回調査	
	実数	百分比	実数	百分比
10・20歳代	58	5.9%	122	7.5%
30歳代	120	12.3%	193	11.8%
40歳代	151	15.4%	291	17.8%
50歳代	176	18.0%	303	18.6%
60歳代	180	18.4%	327	20.0%
70歳以上	293	30.0%	395	24.2%
計	978	100.0%	1,631	100.0%

3 職業別

職業別分布を見ると、民間の企業や団体の正社員・正規職員が25.4%で最も多く、学生が2.4%と最も少なくなっています。

表1-4 職業別分布状況

	実数	百分比
自営業(農林漁業・サービス業等) (家族従事者を含む)	69	7.1%
民間の企業や団体の経営者・管理者	36	3.7%
民間の企業や団体の正社員・正規職員	248	25.4%
公務員・教職員	65	6.6%
家事専業	120	12.3%
パート・派遣・契約社員等の非正規雇用	179	18.3%
無職	222	22.7%
学生	23	2.4%
その他	11	1.1%
計	973	100.0%

第4節 報告書の見方

この節では、本報告書に記した数値の見方や、その数値の算出根拠などについて説明します。

1 集計結果の見方について

- ・原則的に百分比(%)を示しています。
- ・本文や図表中の比率は、すべて小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで表示しています。そのため、各選択肢の比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・複数選択可の設問では、表中の比率は回答対象者数に対する比率です。そのため、比率の合計は100%を超えることがあります。
- ・グラフ中のnは回答対象者数(標本数)を表しています。

2 クロス集計について

クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、2つの設問の回答の間に何らかの関連があるかどうかを調べるために複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

第2章 調査結果の概要

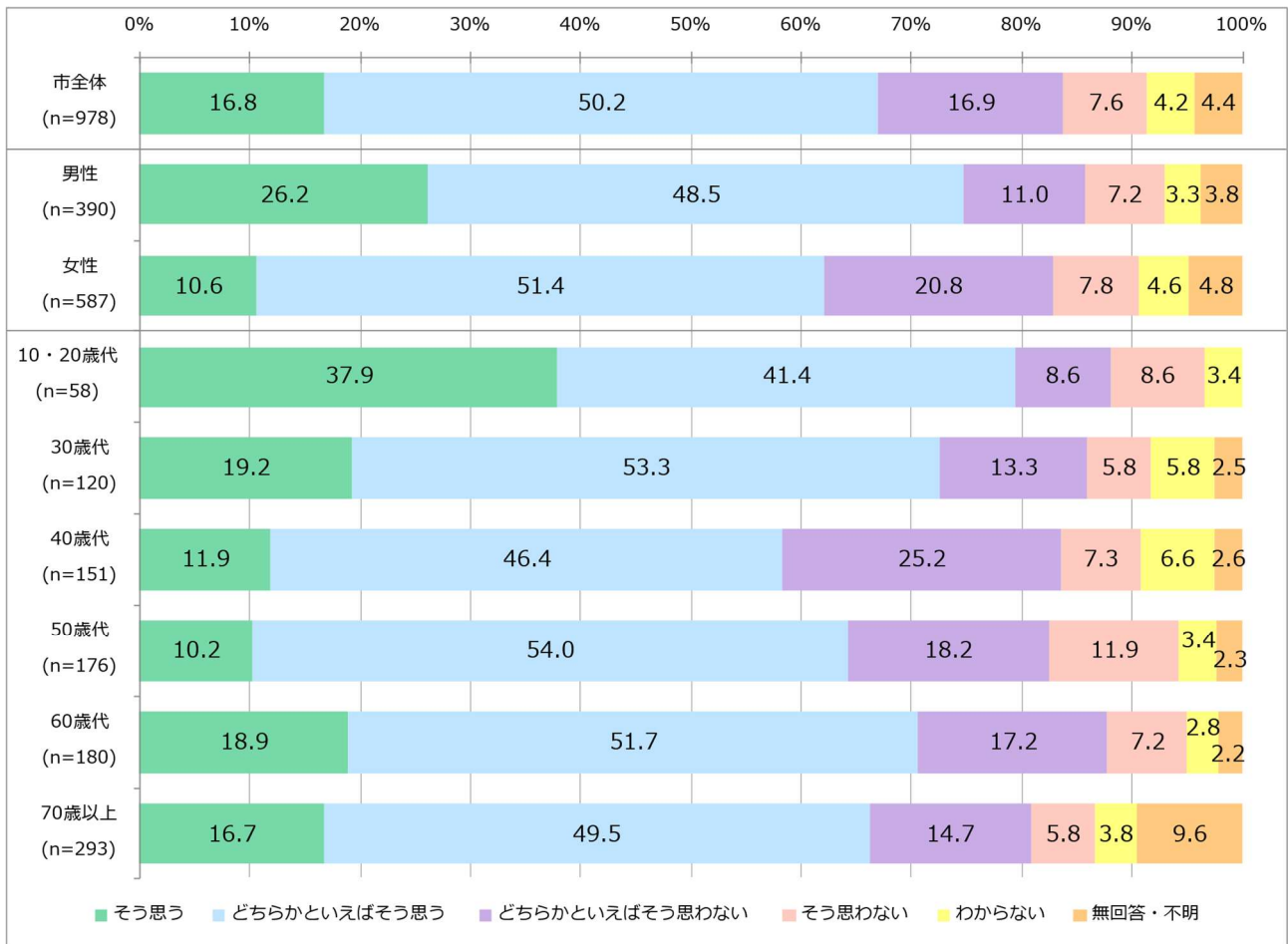
～単純集計結果をもとに～

第2章 調査結果の概要 ～単純集計結果をもとに～

第1節 人権の尊重、人権問題への関心について

1 人権の尊重

問1 基本的な人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されています。
あなたは、今の日本は「人権」が尊重されている社会だと思いますか。(○は1つだけ)



※この設問は前回調査にはありません

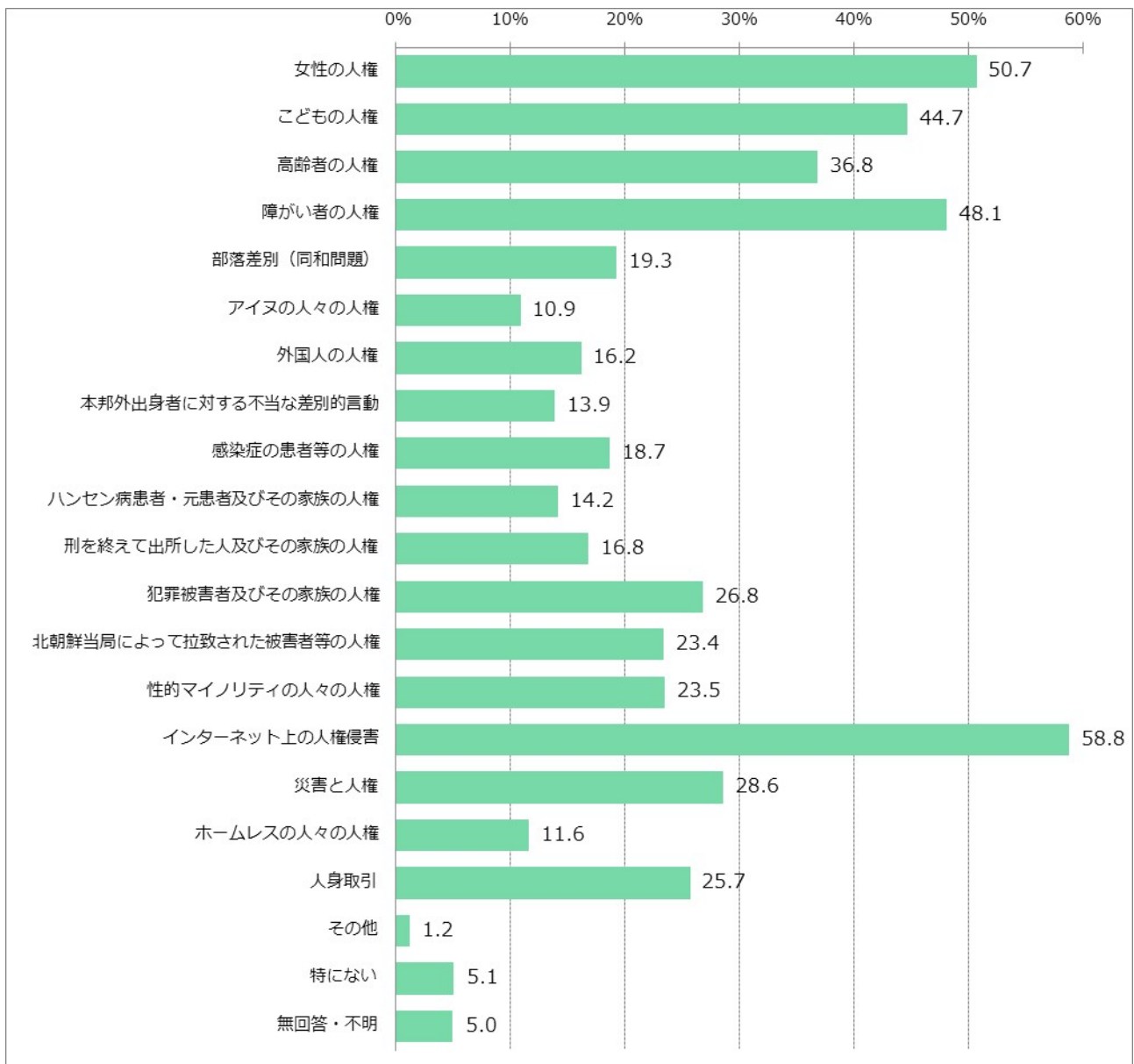
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が 67.0%となっている一方で、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は 24.5%となっています。3割弱の人が今の日本は人権が尊重されていないと感じています。

性別では、男性は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が 74.7%なのに対し、女性は 62.0%と 12.7 ポイント低くなっています。

年代別では、40歳代が「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が 32.5%なのに対し、10・20歳代は 17.2%と 15.3 ポイントの差があります。

2 人権問題への関心

問2 日本の社会には、人権に関わる様々な問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(〇はいくつでも)



	回答数	女性の人権	こどもの人権	高齢者の人権	障がい者の人権	(部落差別 同和問題)	アイヌの人々の人権	外国人の人権	本邦外出身者に対する 不当な差別的言動 (ヘイトスピーチ)	感染症(HIV、 新型コロナウイルス 感染症等)の患者等の 人権	ハンセン病患者・ 元患者及び その家族の人権	
市全体	978	50.7%	44.7%	36.8%	48.1%	19.3%	10.9%	16.2%	13.9%	18.7%	14.2%	
性別	男性	34.9%	41.0%	33.1%	44.9%	24.6%	12.6%	20.0%	16.7%	17.7%	14.9%	
	女性	61.3%	47.0%	39.4%	50.1%	15.7%	9.9%	13.6%	12.1%	19.4%	13.8%	
年代別	10・20歳代	62.1%	51.7%	15.5%	34.5%	12.1%	6.9%	13.8%	5.2%	15.5%	8.6%	
	30歳代	60.0%	57.5%	23.3%	46.7%	20.0%	5.8%	20.0%	15.0%	23.3%	17.5%	
	40歳代	55.6%	48.3%	31.1%	45.0%	13.9%	9.3%	21.9%	15.2%	20.5%	13.2%	
	50歳代	56.8%	43.2%	37.5%	52.3%	18.8%	12.5%	15.3%	10.8%	19.9%	11.4%	
	60歳代	46.7%	41.7%	42.2%	53.9%	21.7%	11.1%	14.4%	12.2%	19.4%	16.7%	
	70歳以上	41.0%	38.9%	45.7%	46.8%	22.2%	13.7%	13.7%	17.4%	15.4%	14.7%	
		刑を終えて出所した人 及びその家族の人権	犯罪被害者及び その家族の人権	北朝鮮当局によつて 被害者等の人権	性的マイノリティの 人権	インターネット上の 人権侵害	(避難生活における 人権侵害など) 風評被害など	ホームレスの人々の 人権	労働等を目的とした 人身取引	その他	特になし	無回答・不明
市全体	16.8%	26.8%	23.4%	23.5%	58.8%	28.6%	11.6%	25.7%	1.2%	5.1%	5.0%	
性別	男性	19.2%	27.4%	24.6%	18.2%	59.5%	24.1%	11.3%	25.9%	2.1%	6.4%	5.1%
	女性	15.2%	26.4%	22.7%	27.1%	58.3%	31.7%	11.8%	25.6%	0.7%	4.3%	4.9%
年代別	10・20歳代	13.8%	19.0%	15.5%	34.5%	65.5%	31.0%	12.1%	25.9%	-	5.2%	10.3%
	30歳代	18.3%	25.8%	17.5%	27.5%	70.8%	38.3%	15.8%	34.2%	3.3%	5.8%	4.2%
	40歳代	18.5%	30.5%	17.2%	31.8%	60.3%	30.5%	13.2%	27.8%	1.3%	6.6%	2.6%
	50歳代	11.4%	25.0%	18.2%	27.3%	68.2%	29.0%	9.7%	21.0%	1.1%	4.5%	2.3%
	60歳代	18.9%	34.4%	28.9%	25.6%	61.1%	31.1%	9.4%	25.6%	0.6%	5.0%	1.1%
	70歳以上	17.7%	23.2%	30.4%	11.9%	44.7%	21.5%	11.3%	23.9%	1.0%	4.4%	9.6%

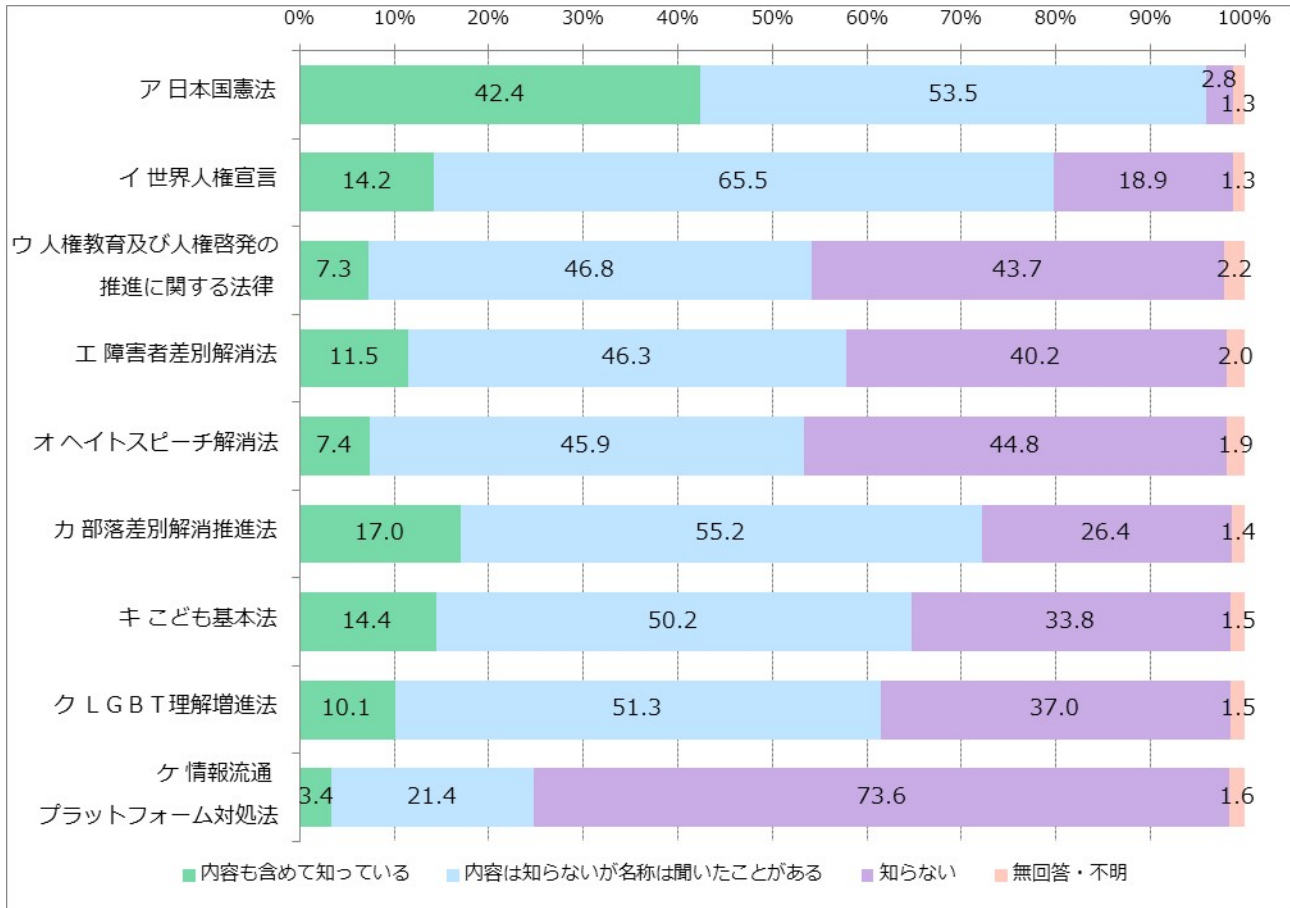
※この設問は前回調査にはありません

「インターネット上の人権侵害」が58.8%と最も高く、次いで「女性の人権」が50.7%となっています。「女性の人権」は女性の関心が高く、6割を超えています。また、「こどもの人権」は40歳代以下の若い世代の関心が高く、「高齢者の人権」は回答者の年齢が上がるにつれて関心が高い傾向にあります。

第2節 法令や宣言、大分市の取組等について

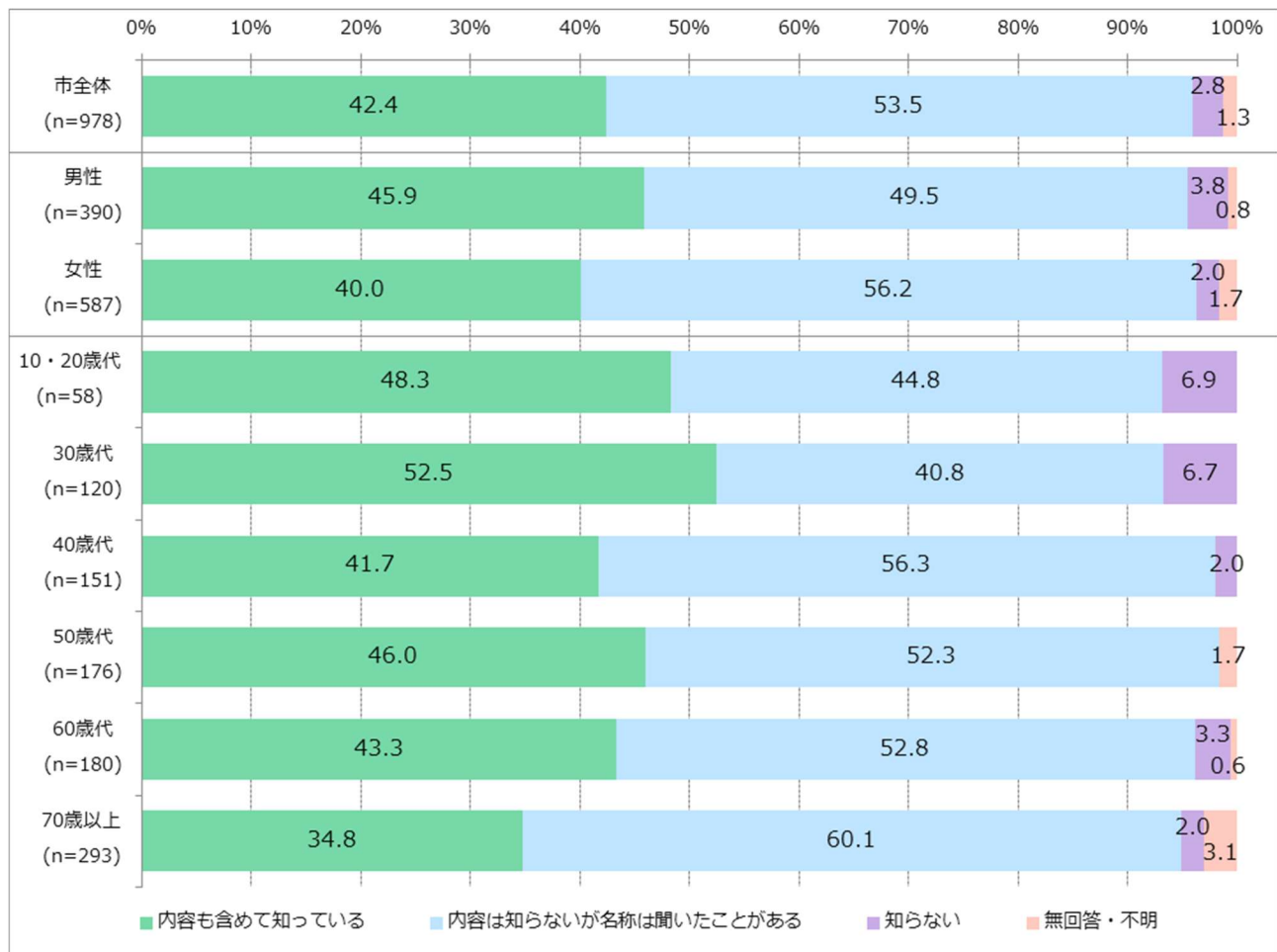
1 人権に関する法令や宣言

問3 あなたは、人権に関する宣言や法令等についてご存じですか。次のア～ケについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

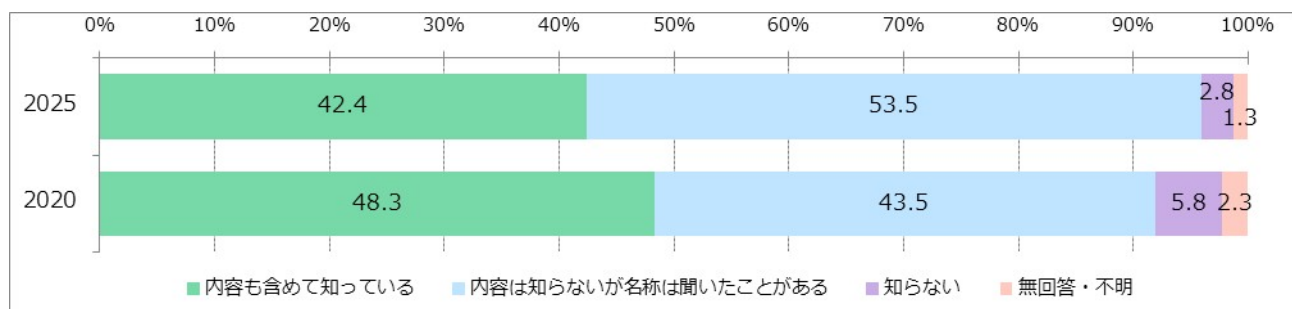


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合の高い順に、「ア 日本国憲法(95.9%)→イ 世界人権宣言(79.7%)→カ 部落差別解消推進法(72.2%)→キ こども基本法(64.6%)→ク LGBT理解増進法(61.4%)→エ 障害者差別解消法(57.8%)→ウ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律(54.1%)→オ ヘイトスピーチ解消法(53.3%)→ケ 情報流通プラットフォーム対処法(24.8%)」となっています。

ア 日本国憲法

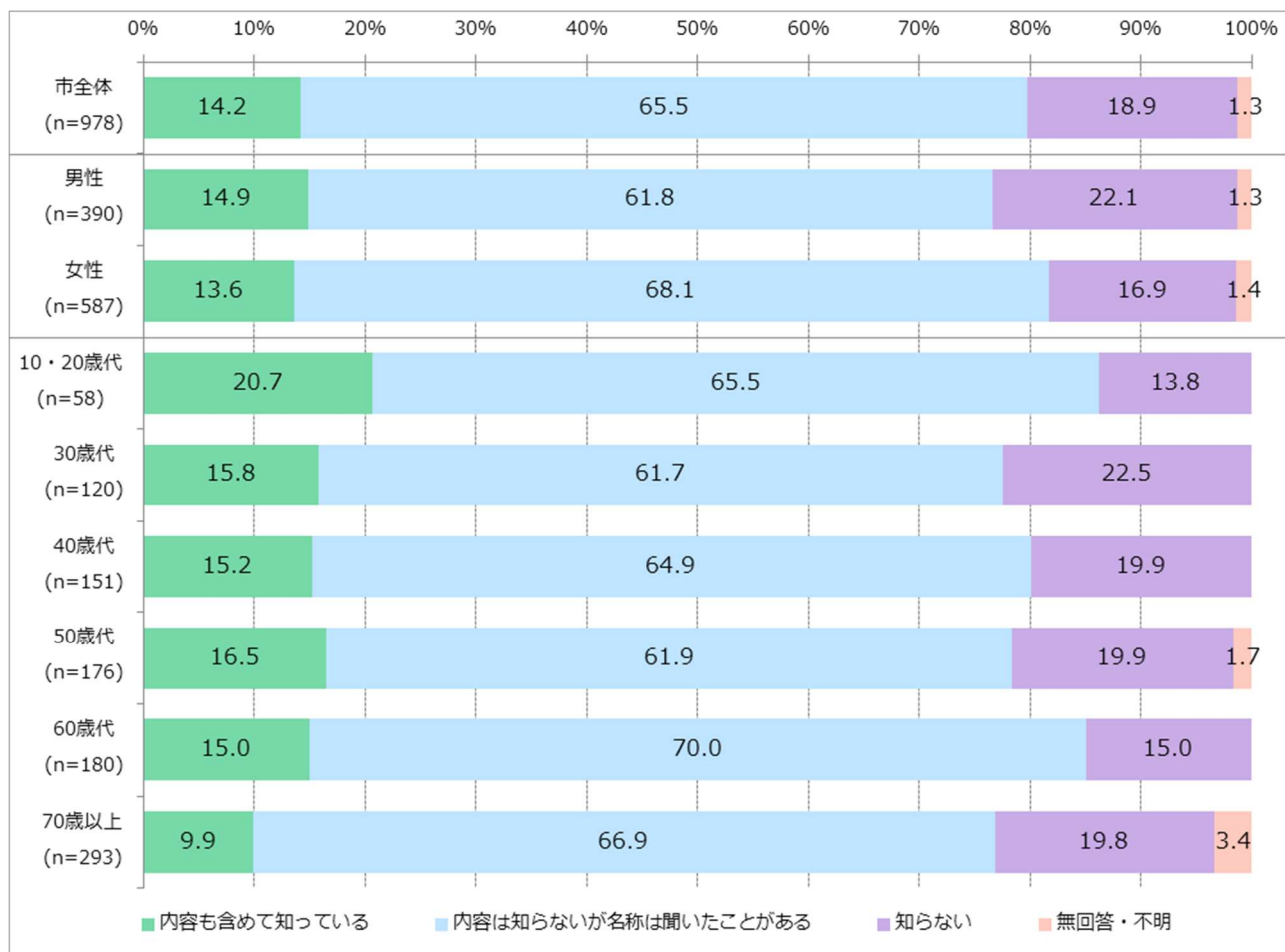


前回調査(2020)との比較

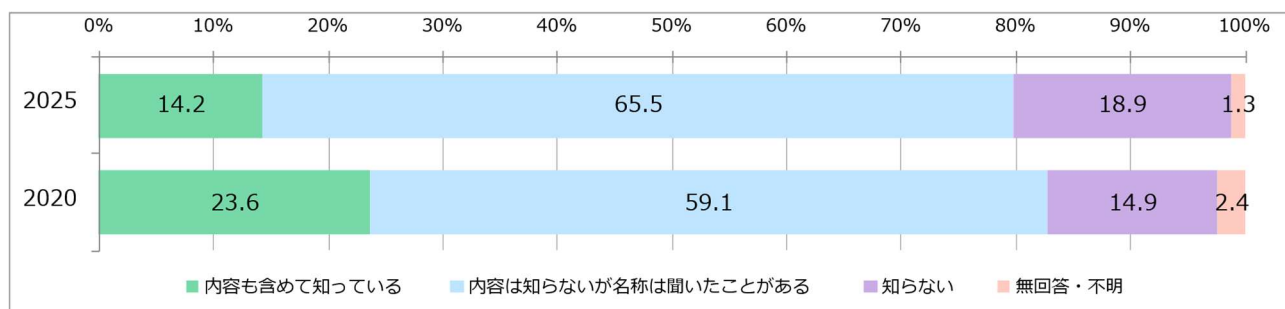


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 95.9%となっており、前回調査(91.8%)より 4.1 ポイント増加しています。

イ 世界人権宣言

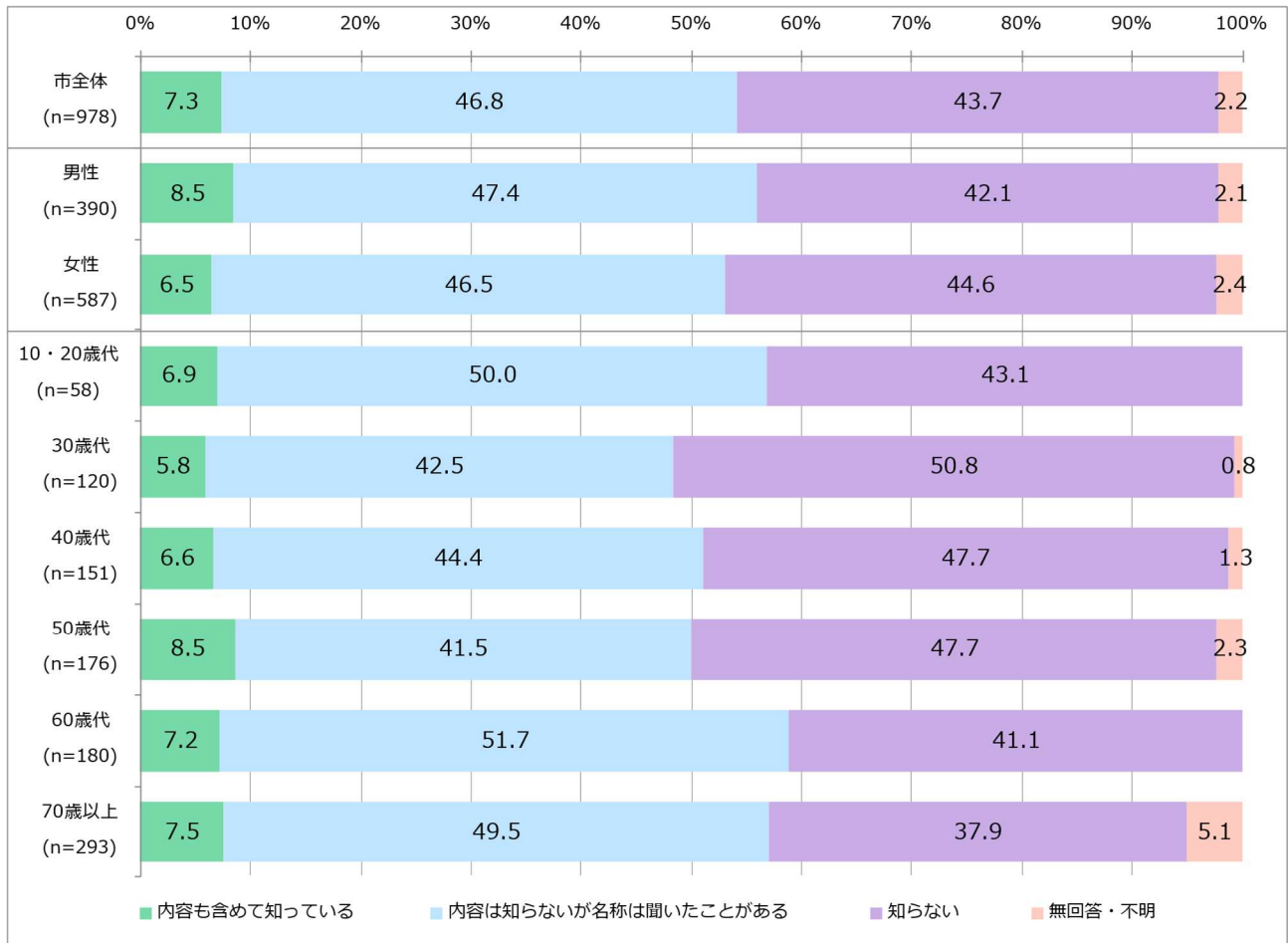


前回調査(2020)との比較

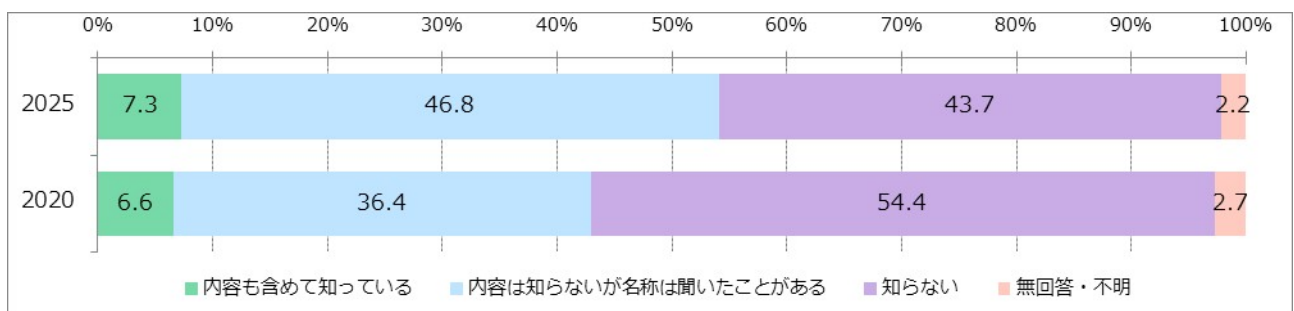


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 79.7%となっており、前回調査(82.7%)より 3.0 ポイント減少しています。

ウ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

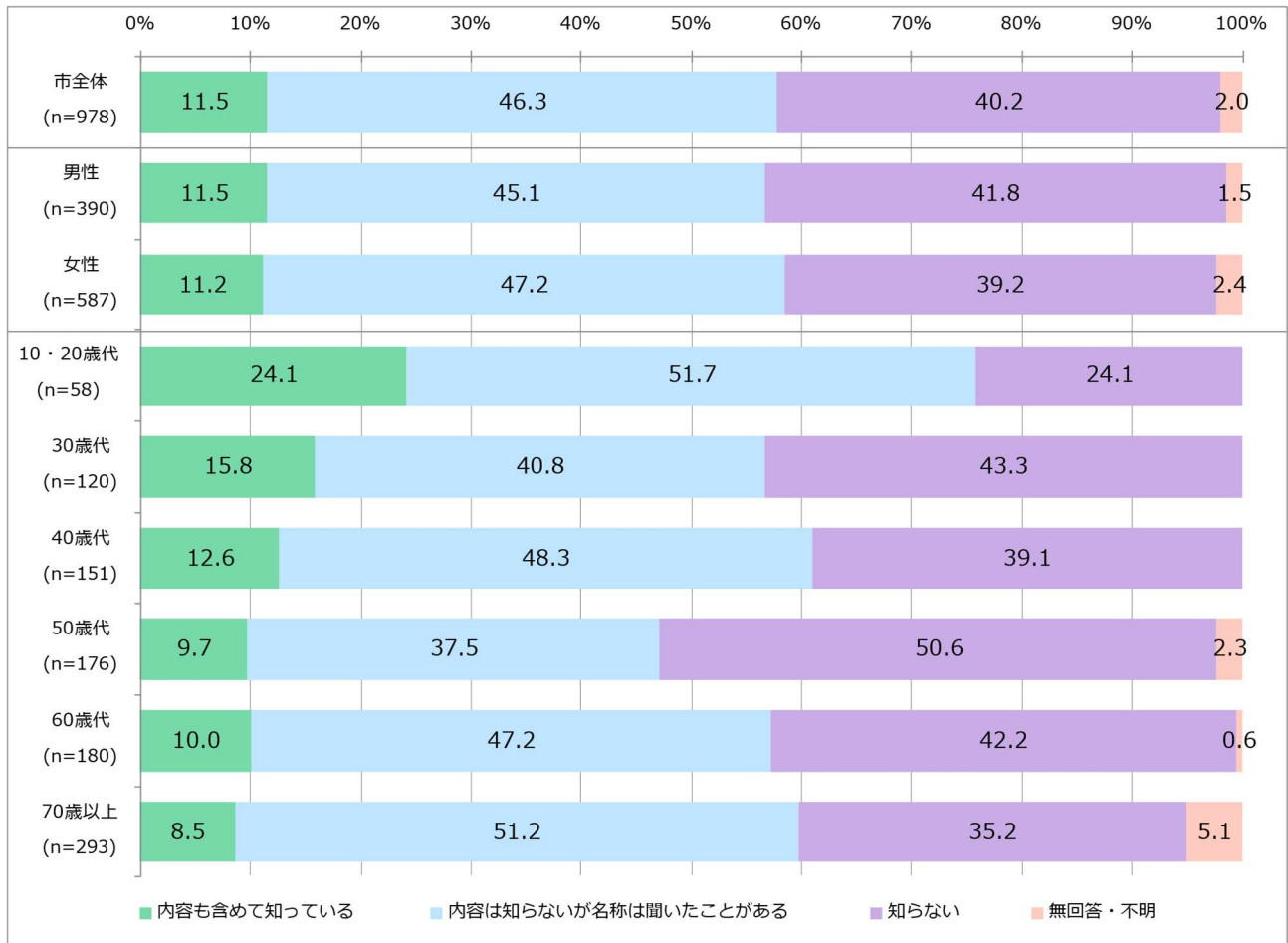


前回調査(2020)との比較

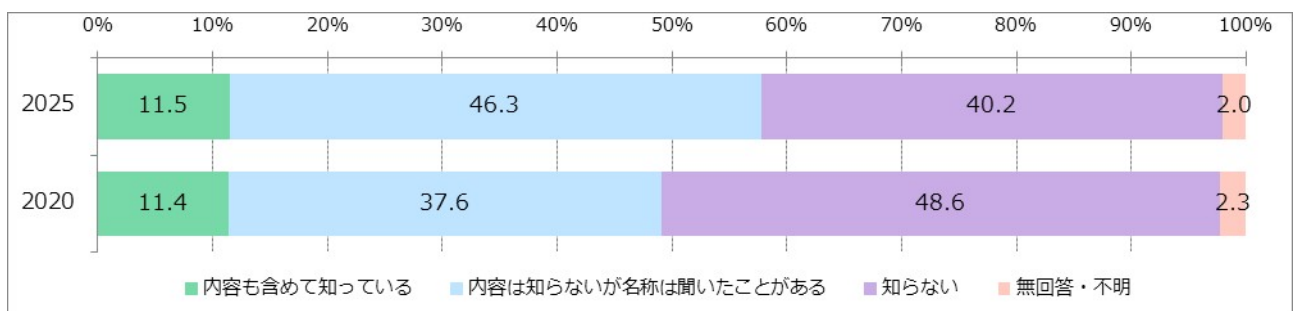


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 54.1%となっており、前回調査(43.0%)より 11.1 ポイント増加しています。

工 障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)



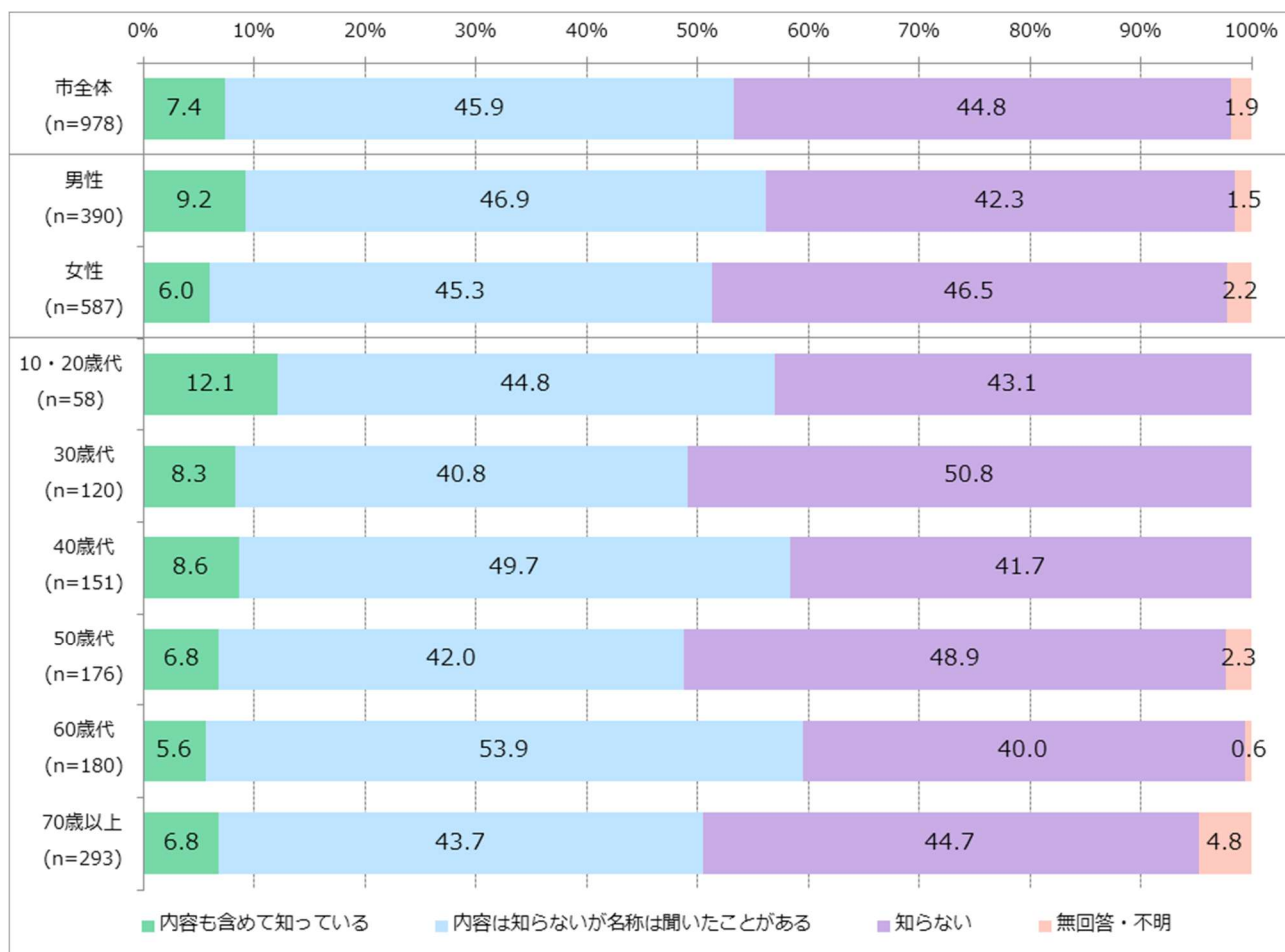
前回調査(2020)との比較



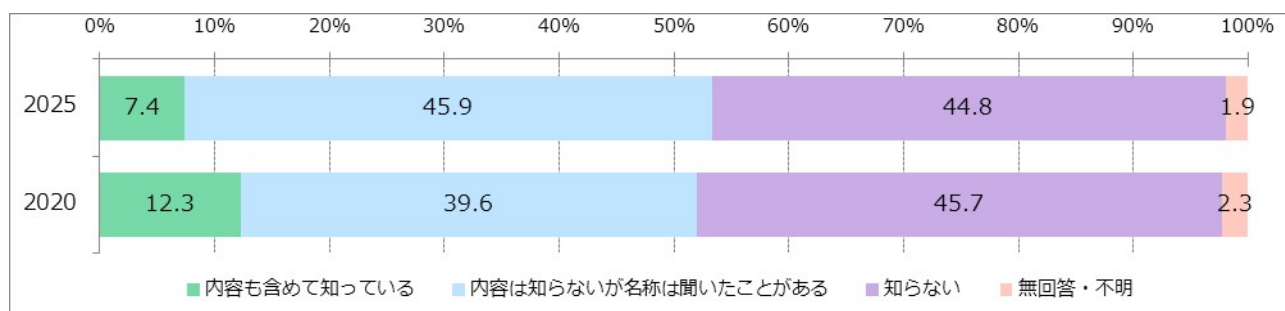
「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 57.8%となっており、前回調査(49.0%)より 8.8 ポイント増加しています。特に、10・20歳代は 75.8%と他の年代に比べて高くなっています。

オ ヘイトスピーチ解消法

(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)

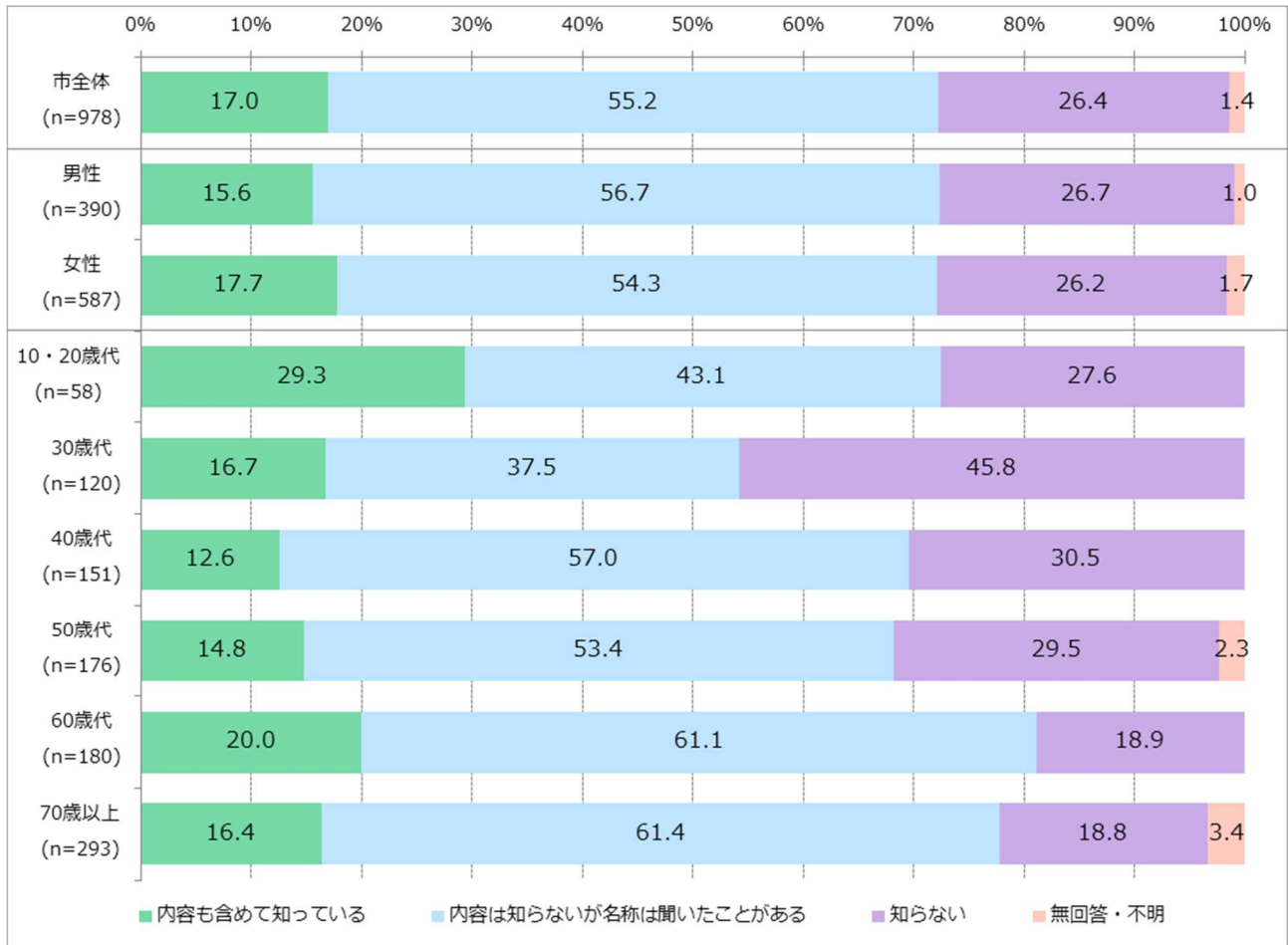


前回調査(2020)との比較

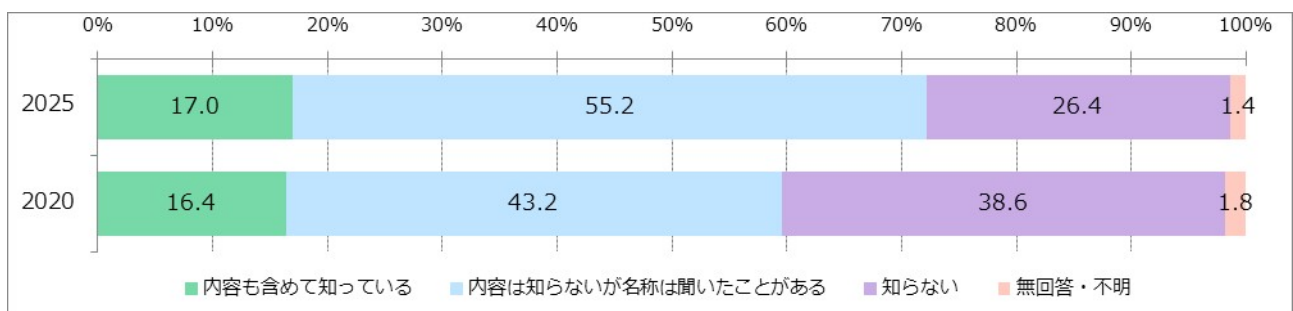


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 53.3%となっており、前回調査(51.9%)より 1.4 ポイント増加しています。

カ 部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)

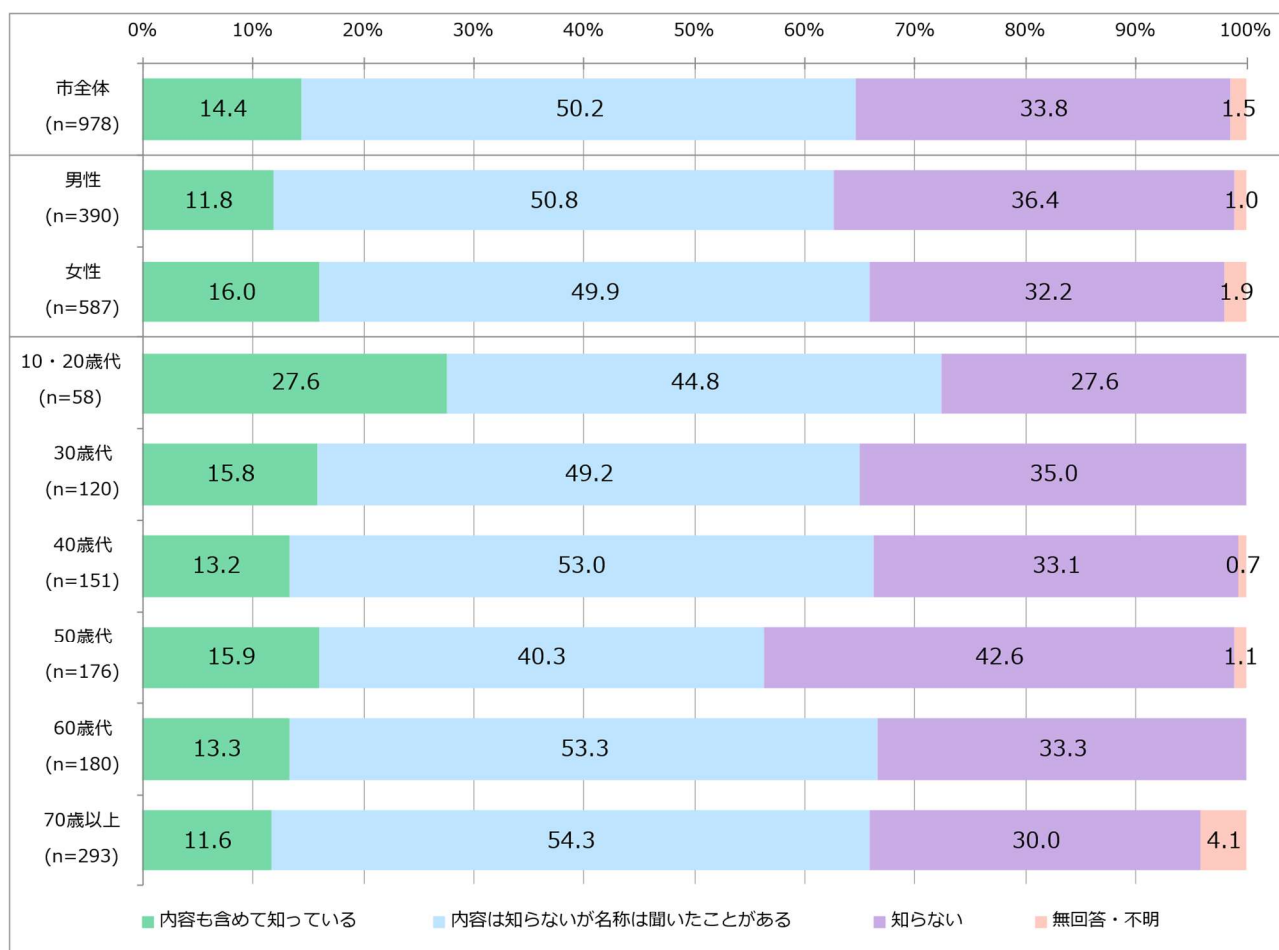


前回調査(2020)との比較



「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 72.2%となっており、前回調査(59.6%)より 12.6 ポイント増加しています。

キ こども基本法



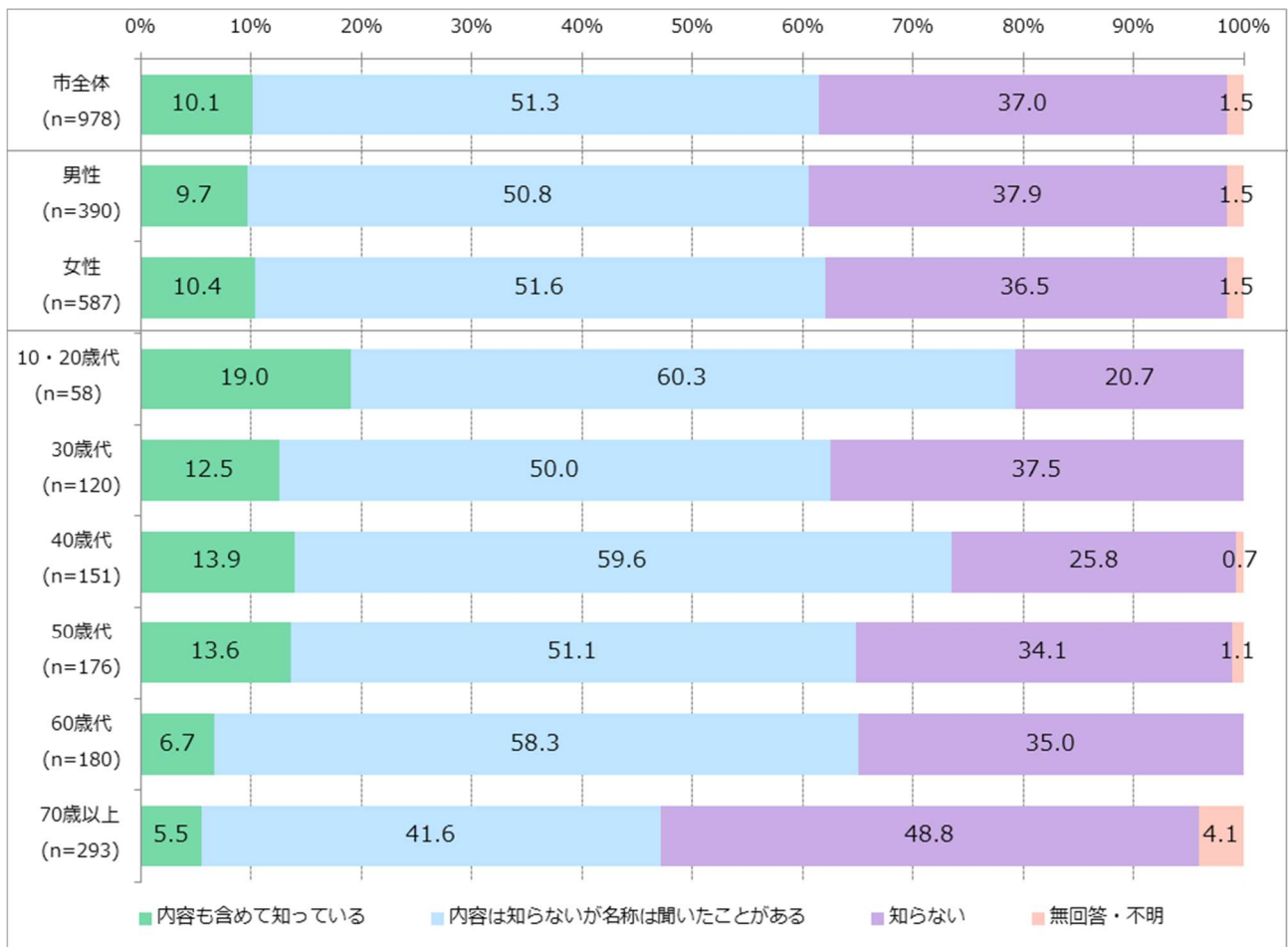
※この設問は前回調査にはありません

「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 64.6%となっています。

年代別では、10・20歳代は「内容も含めて知っている」の割合が 27.6%と他の年代に比べて高くなっています。

ク LGBT理解増進法

(性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)

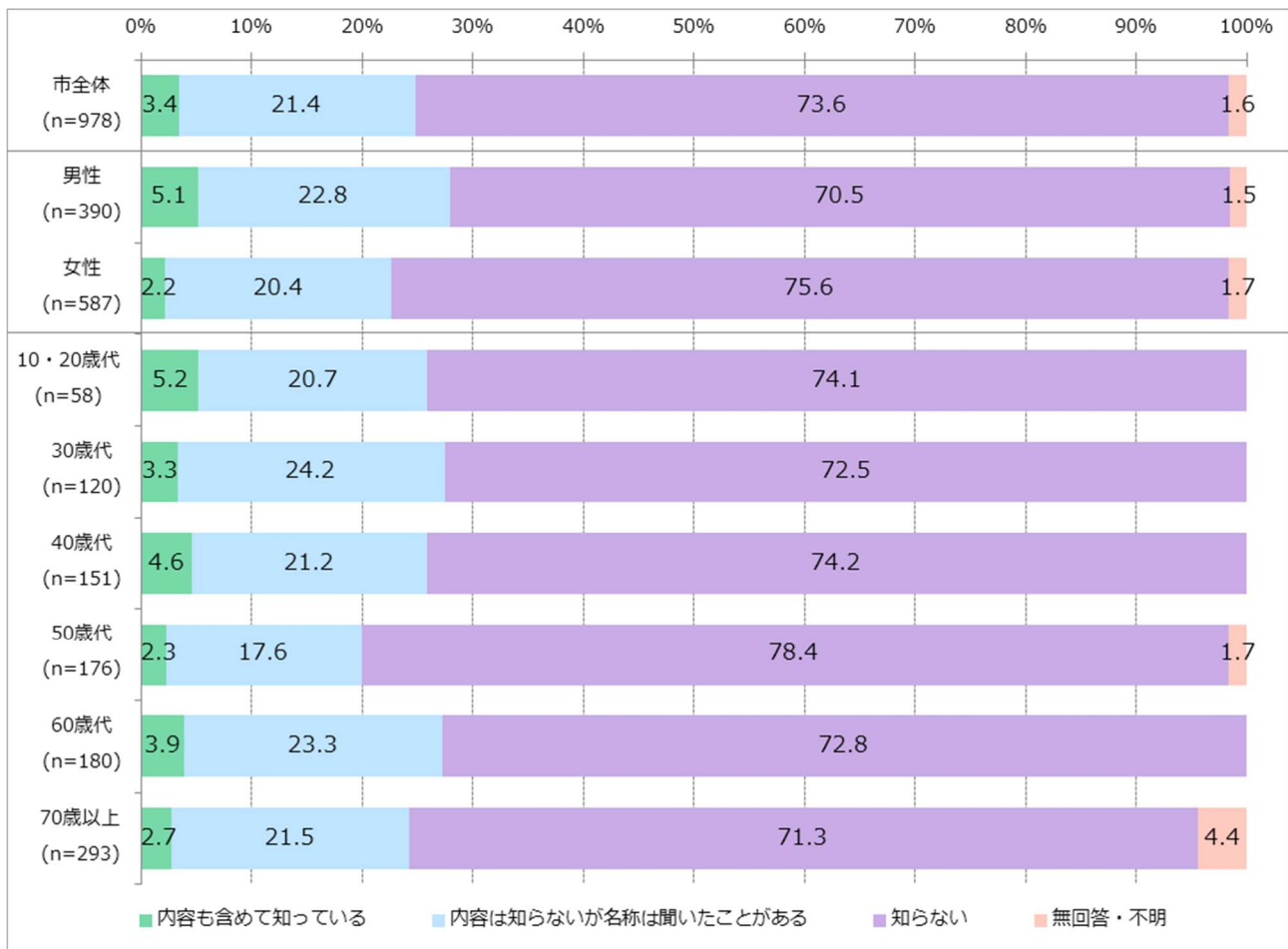


※この設問は前回調査にはありません

「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 61.4%となっています。特に、10・20歳代は 79.3%と他の年代に比べて高くなっています。

ケ 情報流通プラットフォーム対処法

(特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律)

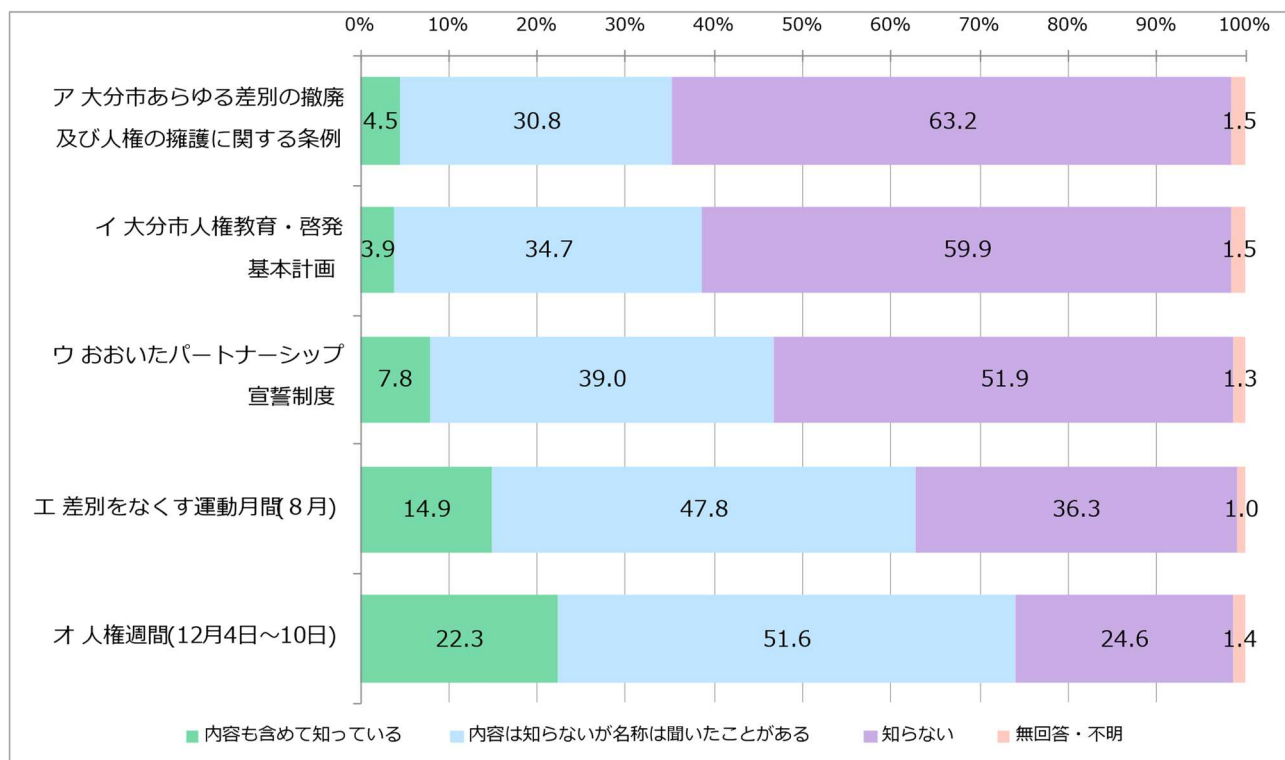


※この設問は前回調査にはありません

「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 24.8%となっています。

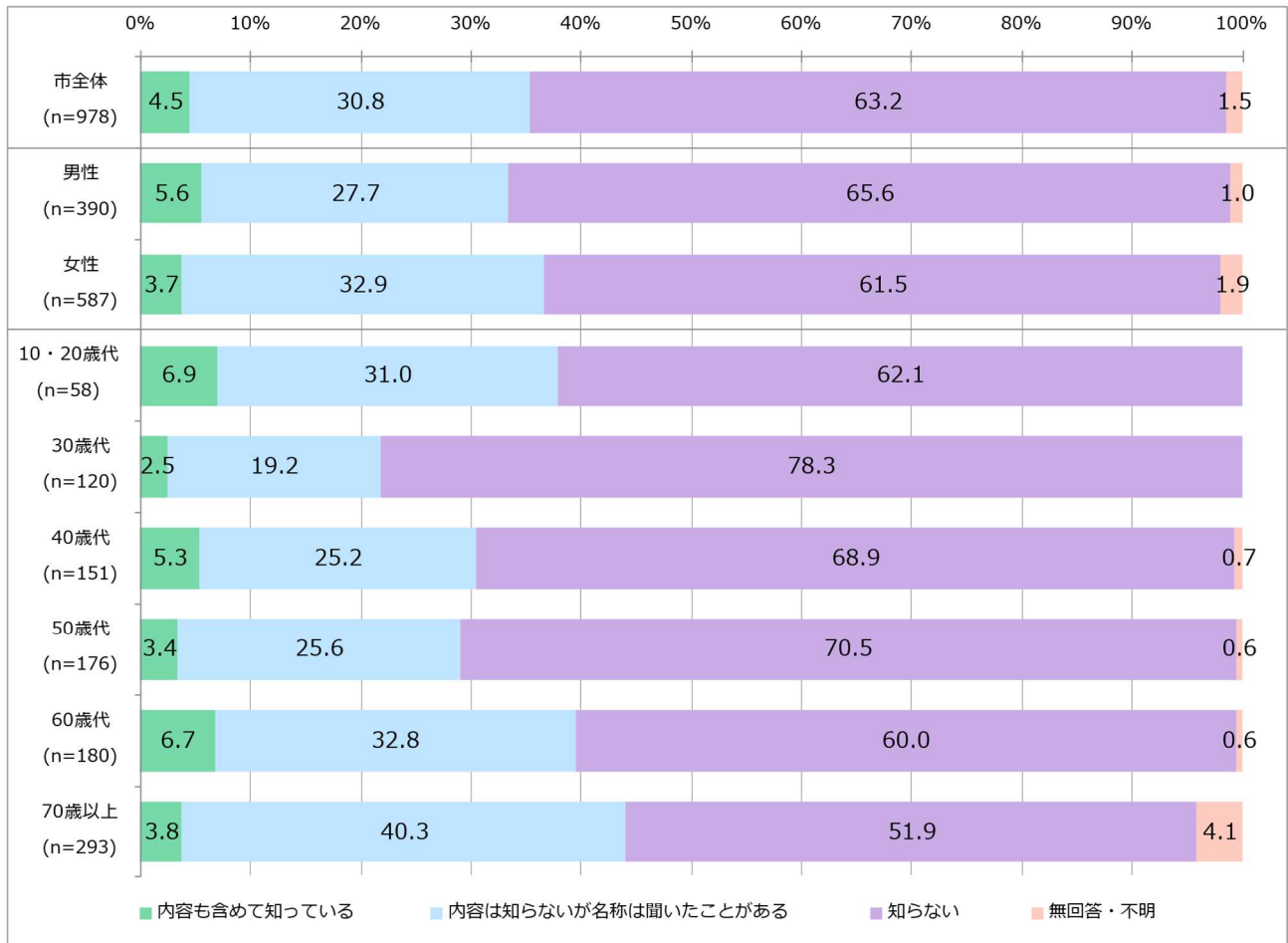
2 人権に関する大分市の条例等

問4 あなたは、人権に関する大分市の条例等をご存じですか。次のア～オについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

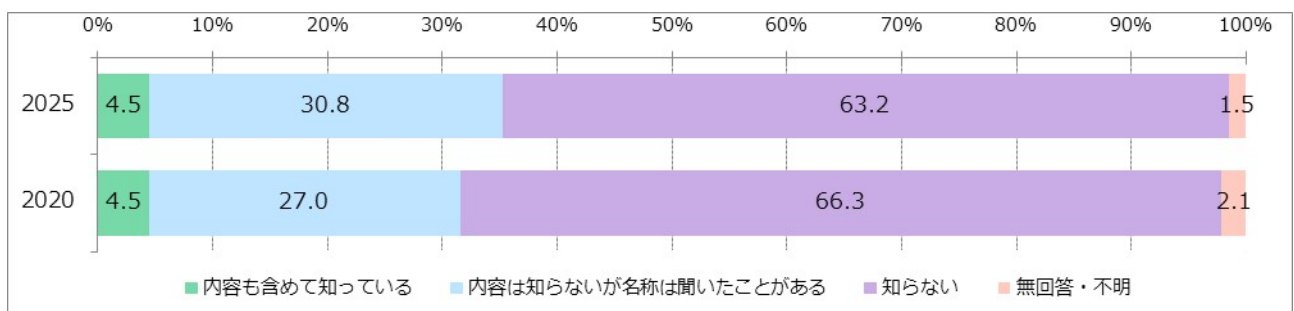


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合の高い順に、「オ 人権週間(12月4日～10日)(73.9%)→エ 差別をなくす運動月間(8月)(62.7%)→ウ おおいたパートナーシップ宣誓制度(46.8%)→イ 大分市人権教育・啓発基本計画(38.6%)→ア 大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例(35.3%)」となっています。

ア 大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例

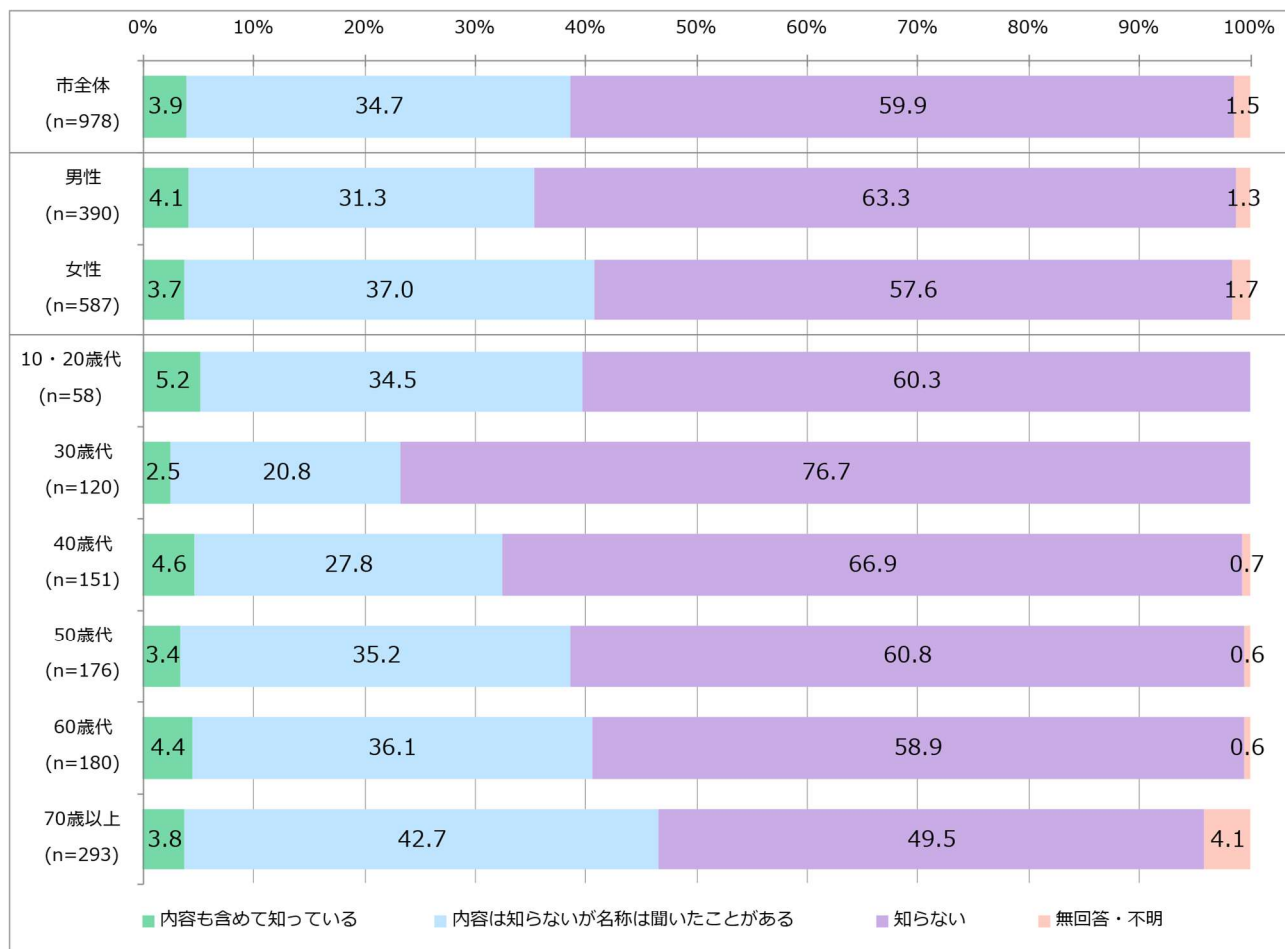


前回調査(2020)との比較

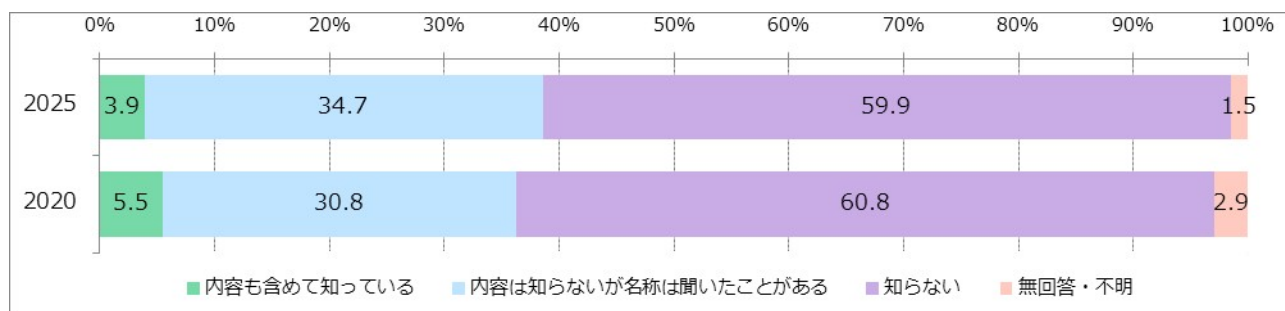


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 35.3%となっており、前回調査(31.5%)より 3.8 ポイント増加しています。

イ 大分市人権教育・啓発基本計画

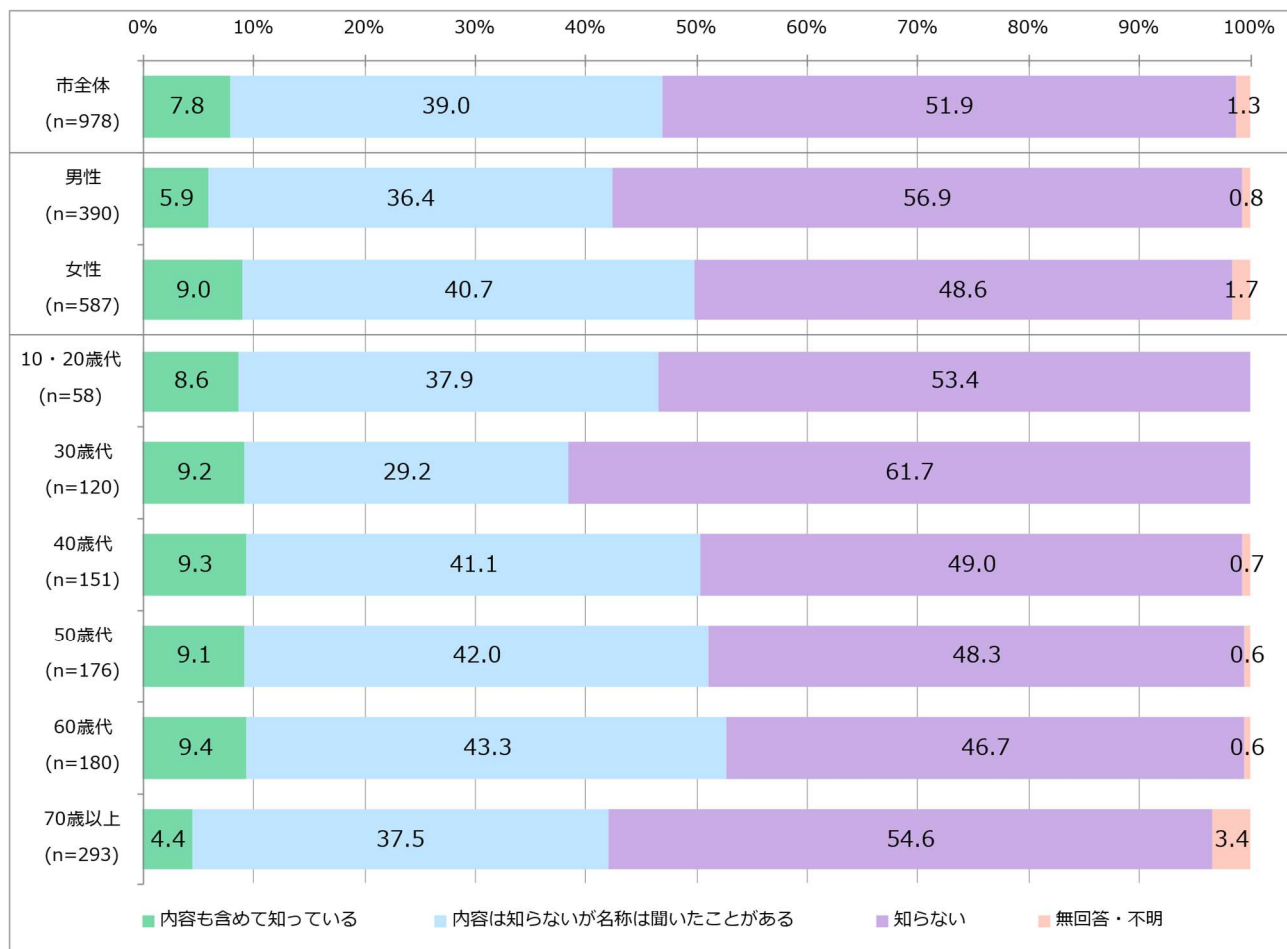


前回調査(2020)との比較



「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 38.6%となっており、前回調査(36.3%)より 2.3 ポイント増加しています。

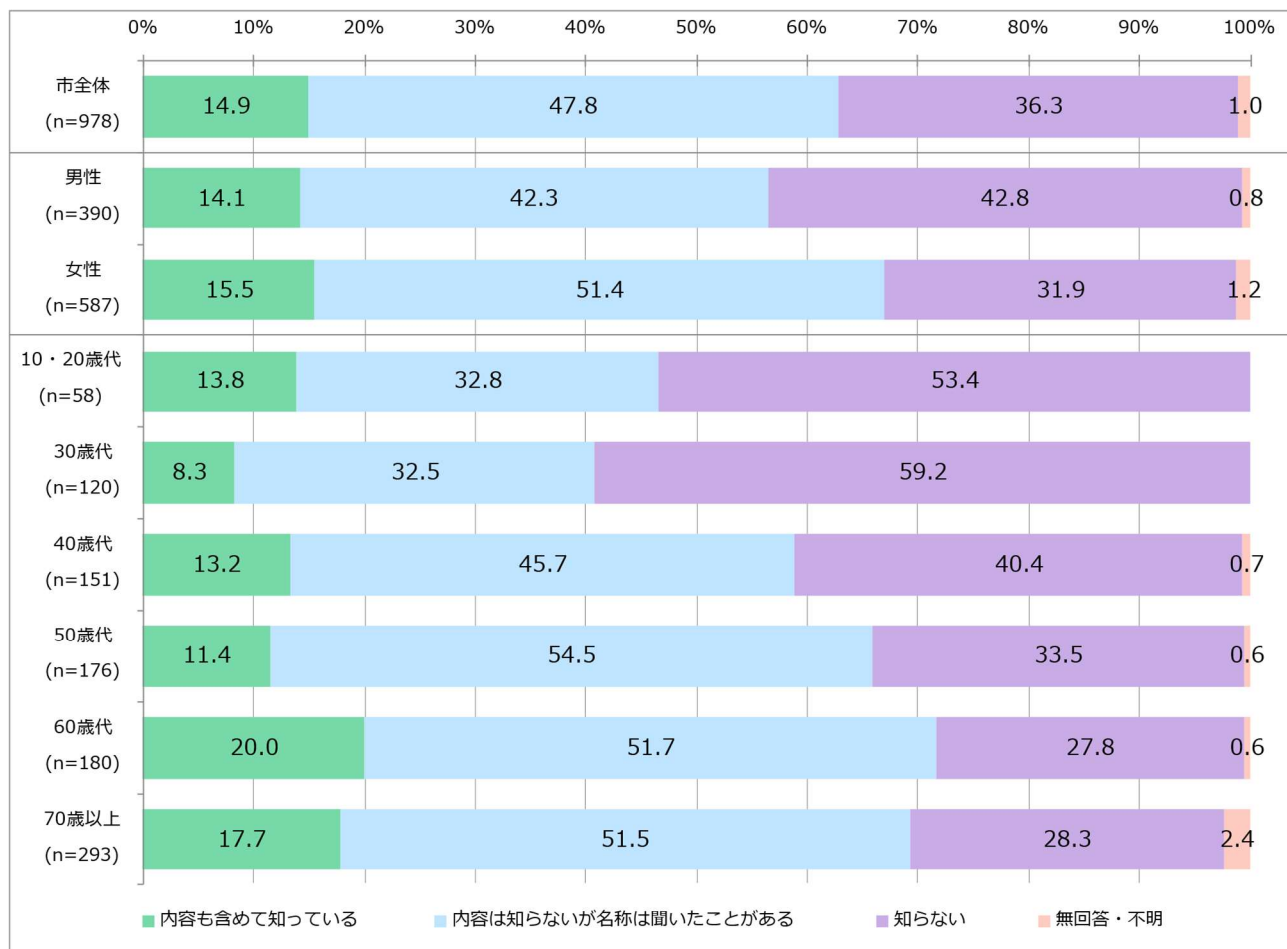
ウ おおいたパートナーシップ宣誓制度



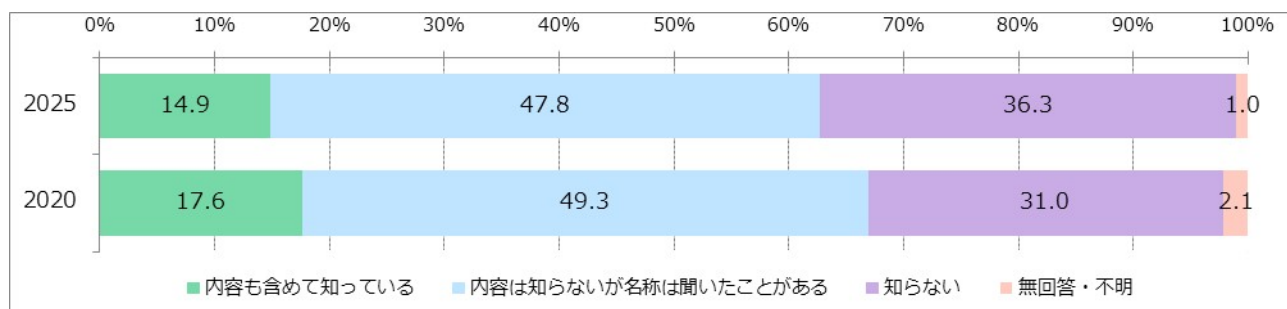
※この設問は前回調査にはありません

「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 46.8%で、半数以下となっています。

エ 差別をなくす運動月間(8月)

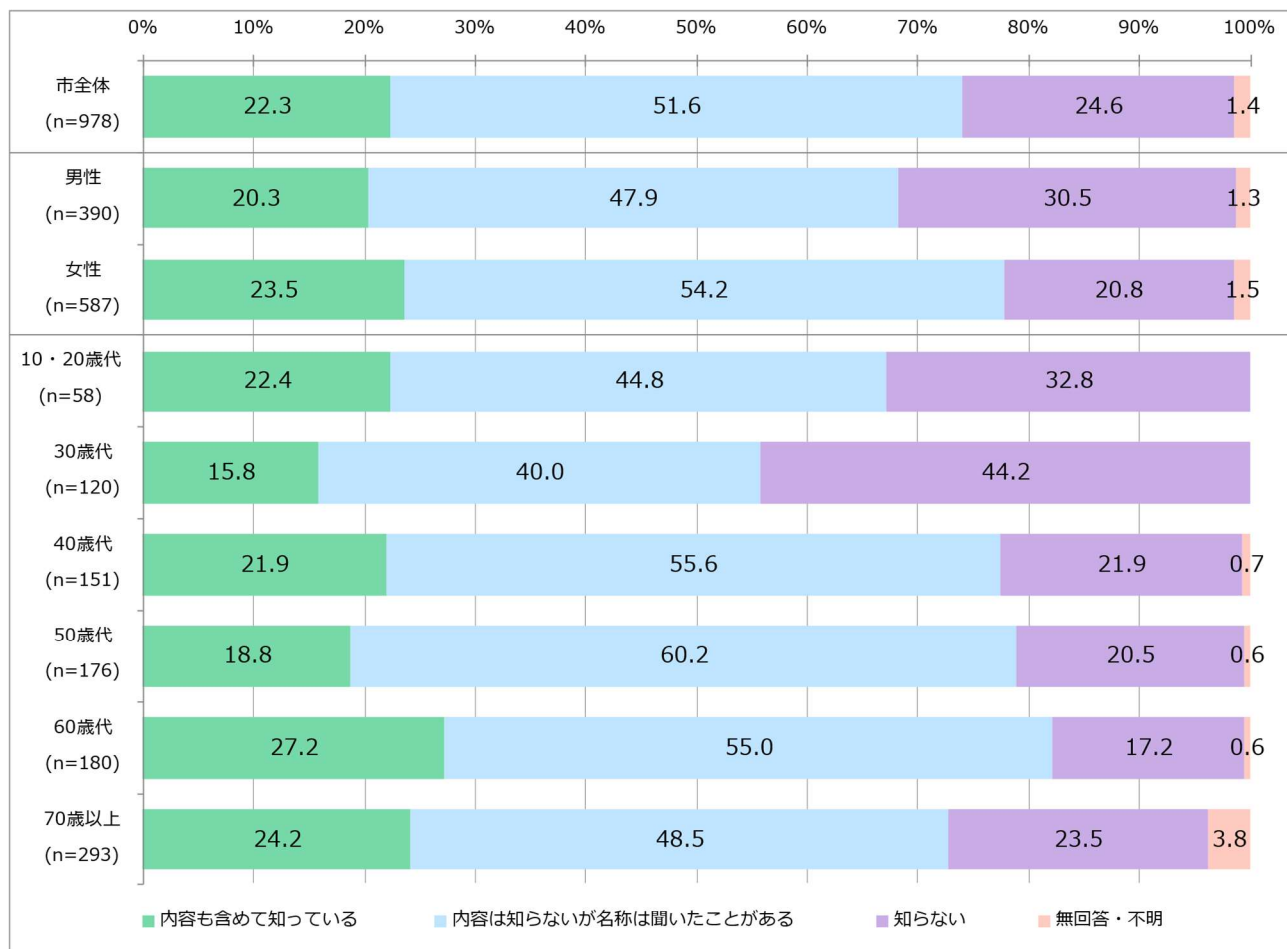


前回調査(2020)との比較

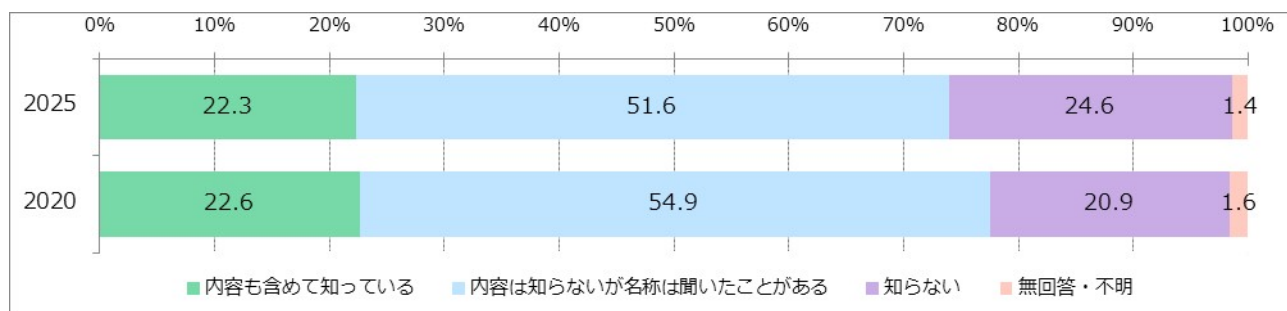


「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 62.7%となっており、前回調査(66.9%)より 4.2 ポイント減少しています。特に、30歳代以下の若い世代の認知度が低くなっています。

オ 人権週間(12月4日~10日)



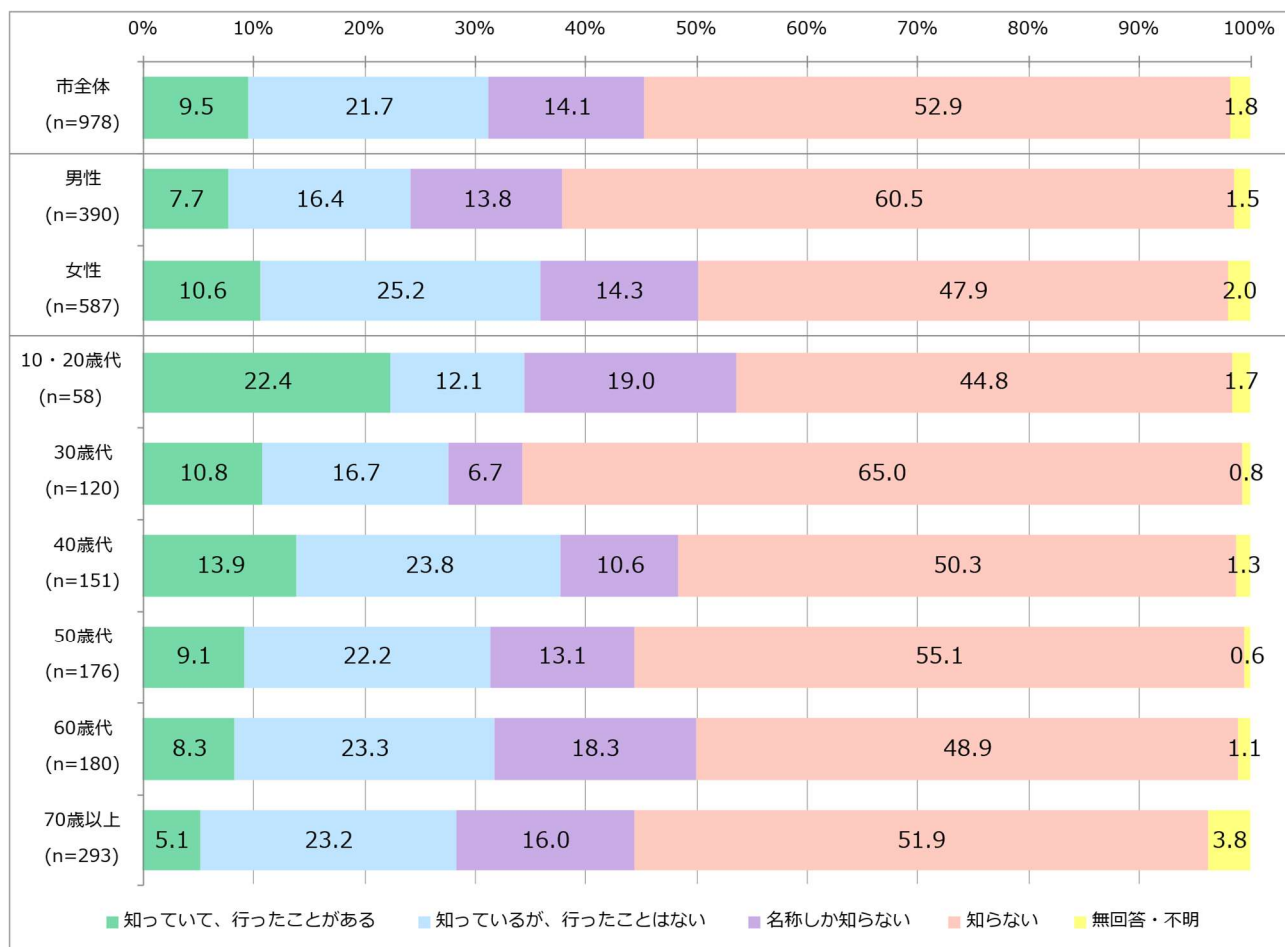
前回調査(2020)との比較



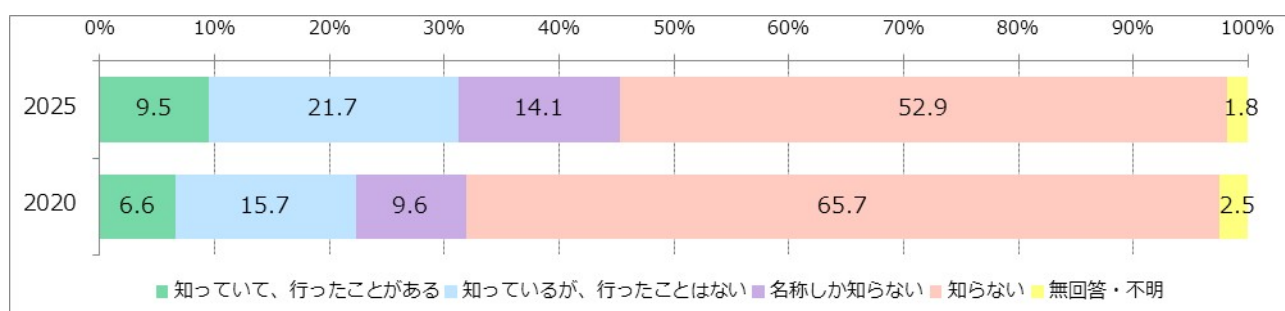
「内容も含めて知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」を合わせた割合は 73.9%となっており、前回調査(77.5%)より 3.6 ポイント減少しています。

3 人権啓発センターについて

問5 あなたは、J:COM ホルトホール大分1階にある「人権啓発センター（ヒューレおおいた）」をご存じですか。（○は1つだけ）



前回調査(2020)との比較

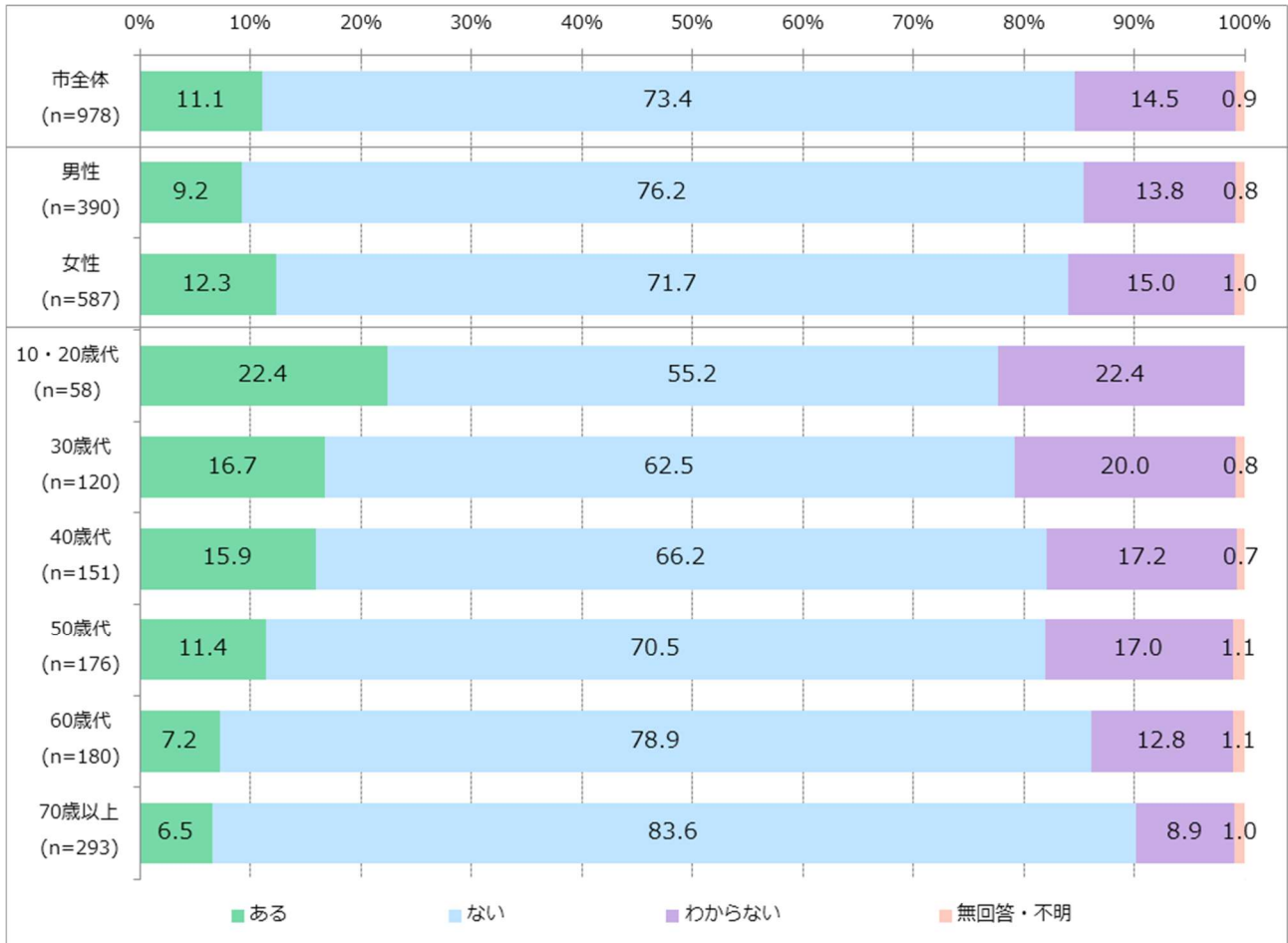


「知らない」の割合は前回調査から 12.8 ポイント減少しています。また、「知っている、行ったことがある」の割合は 2.9 ポイント増加しており、認知度の向上がうかがえます。

第3節 人権全般について

1 差別や人権侵害をされた経験

問6 あなたはこの5年間に差別をされた、人権を侵害されたと思ったことはありますか。
(○は1つだけ)



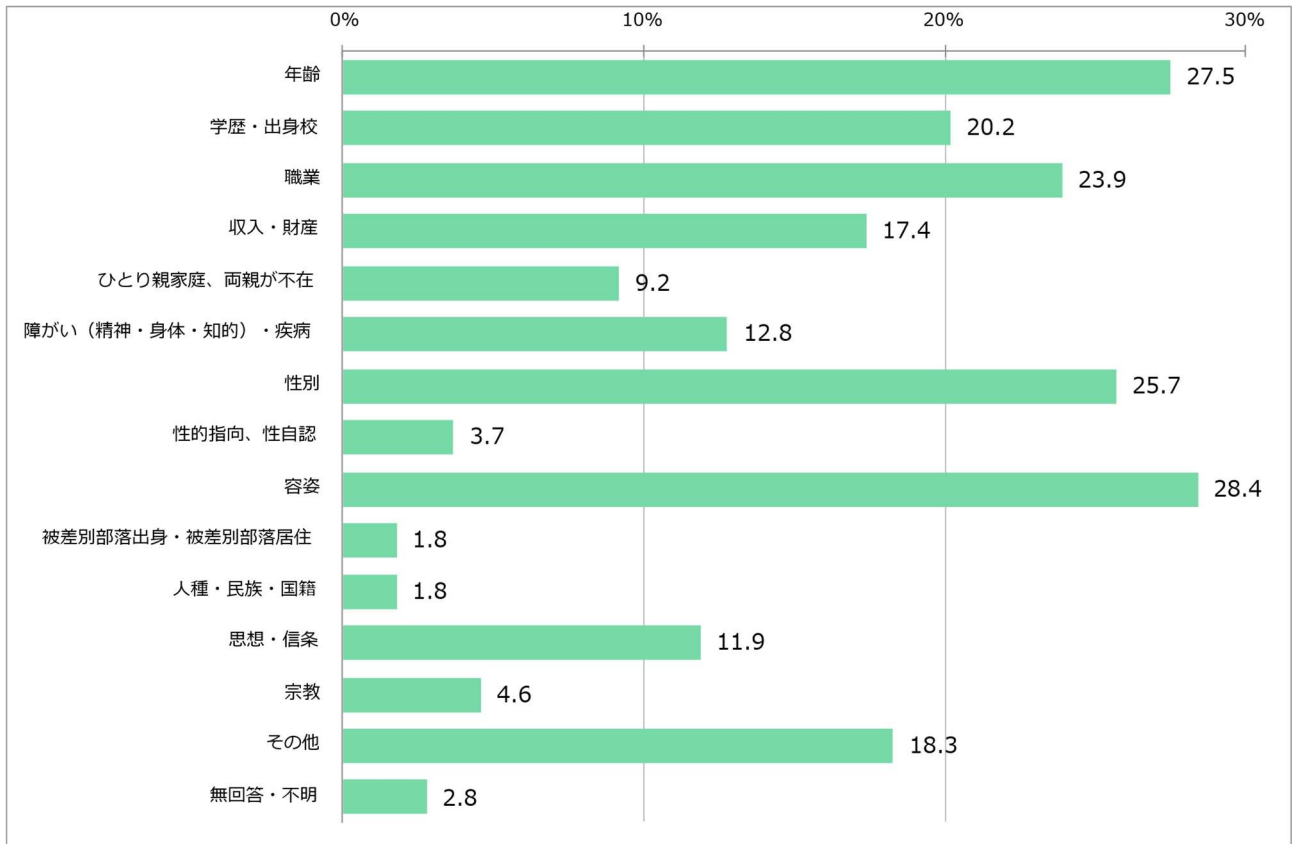
※この設問は前回調査にはありません

7割以上の方が「ない」と回答していますが、「ある」と答えた人が1割を超えています。特に、女性や若年層に多い傾向が見られます。

問7 (問6で1に○をつけられた方にお聞きします)

(1) 差別をされた、人権を侵害されたと思ったのは何についてですか。

次の中から該当するものをすべて選んでください。(○はいくつでも)



	回答数	年齢	学歴・出身校	職業	収入・財産	ひとり親家庭、両親が不在	障がい(精神・身体・知的)・疾病	性別	性的指向、性自認	容姿	被差別部落出身・被差別部落居住	人種・民族・国籍	思想・信条	宗教	その他	無回答・不明	
該当者	109	27.5%	20.2%	23.9%	17.4%	9.2%	12.8%	25.7%	3.7%	28.4%	1.8%	1.8%	11.9%	4.6%	18.3%	2.8%	
性別	男性	36	13.9%	25.0%	19.4%	13.9%	8.3%	19.4%	5.6%	5.6%	30.6%	2.8%	2.8%	25.0%	5.6%	19.4%	2.8%
	女性	72	34.7%	18.1%	26.4%	19.4%	9.7%	9.7%	34.7%	2.8%	26.4%	1.4%	1.4%	5.6%	4.2%	18.1%	2.8%
年代別	10・20歳代	13	38.5%	38.5%	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	53.8%	7.7%	61.5%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	-	
	30歳代	20	20.0%	15.0%	25.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	10.0%	20.0%	-	-	10.0%	5.0%	20.0%	-
	40歳代	24	20.8%	16.7%	37.5%	20.8%	4.2%	4.2%	45.8%	-	33.3%	-	-	4.2%	-	16.7%	-
	50歳代	20	35.0%	15.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	20.0%	5.0%	25.0%	5.0%	5.0%	35.0%	10.0%	20.0%	-
	60歳代	13	38.5%	7.7%	23.1%	15.4%	-	7.7%	7.7%	-	23.1%	-	-	7.7%	-	15.4%	7.7%
	70歳以上	19	21.1%	31.6%	15.8%	21.1%	-	5.3%	-	-	15.8%	-	-	5.3%	5.3%	26.3%	10.5%

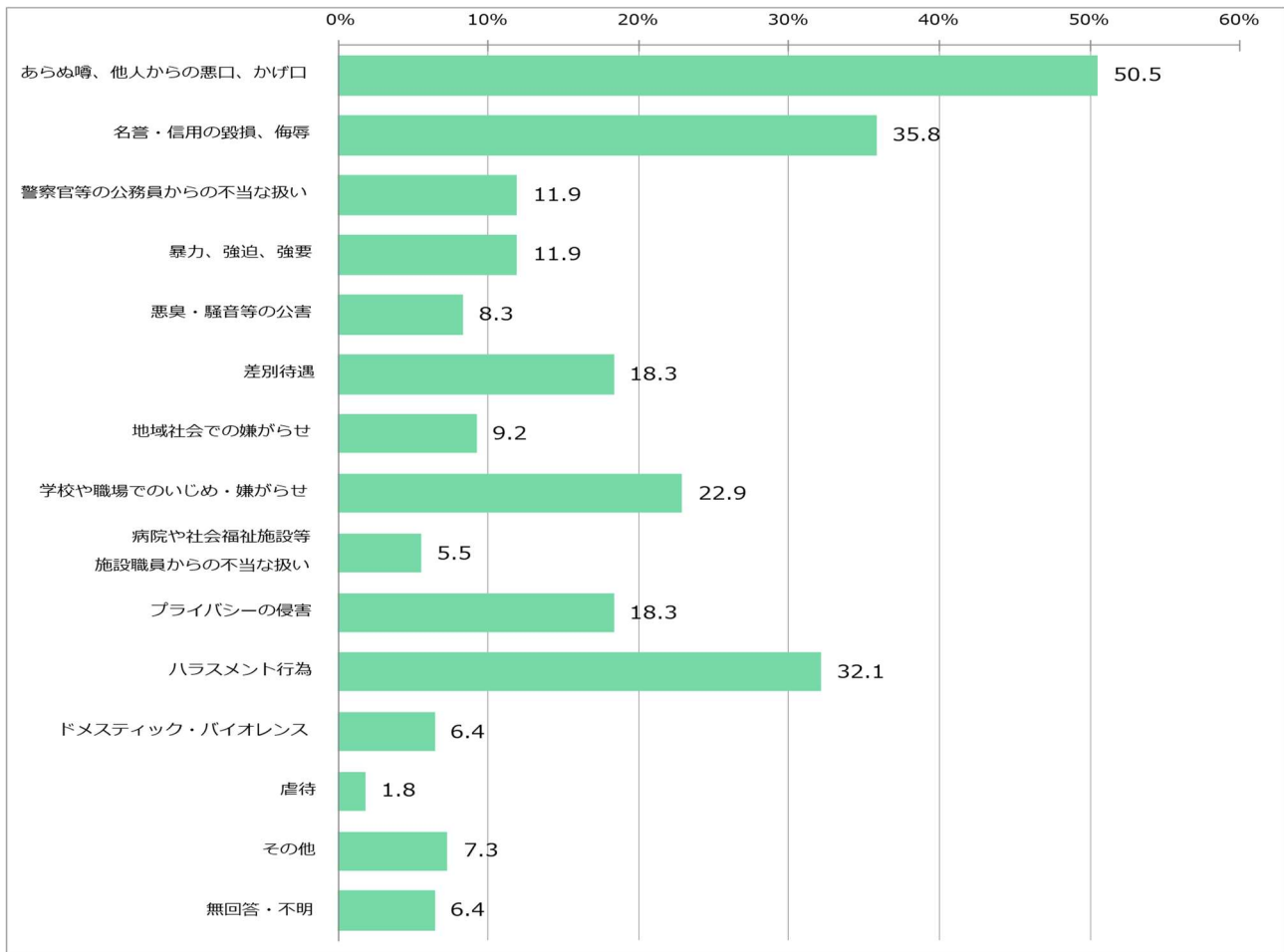
※この設問は前回調査にはありません

「容姿」が28.4%で最も高く、次いで「年齢」が27.5%となっています。特に「容姿」は10・20歳代に多く(61.5%)、「年齢」「性別」は女性に多い(34.7%)傾向がうかがえます。

問7 (問6で1に○をつけられた方にお聞きします)

(2) 差別をされた、人権を侵害されたと思ったのはどのような行為についてですか。

次の中から該当するものをすべて選んでください。(○はいくつでも)



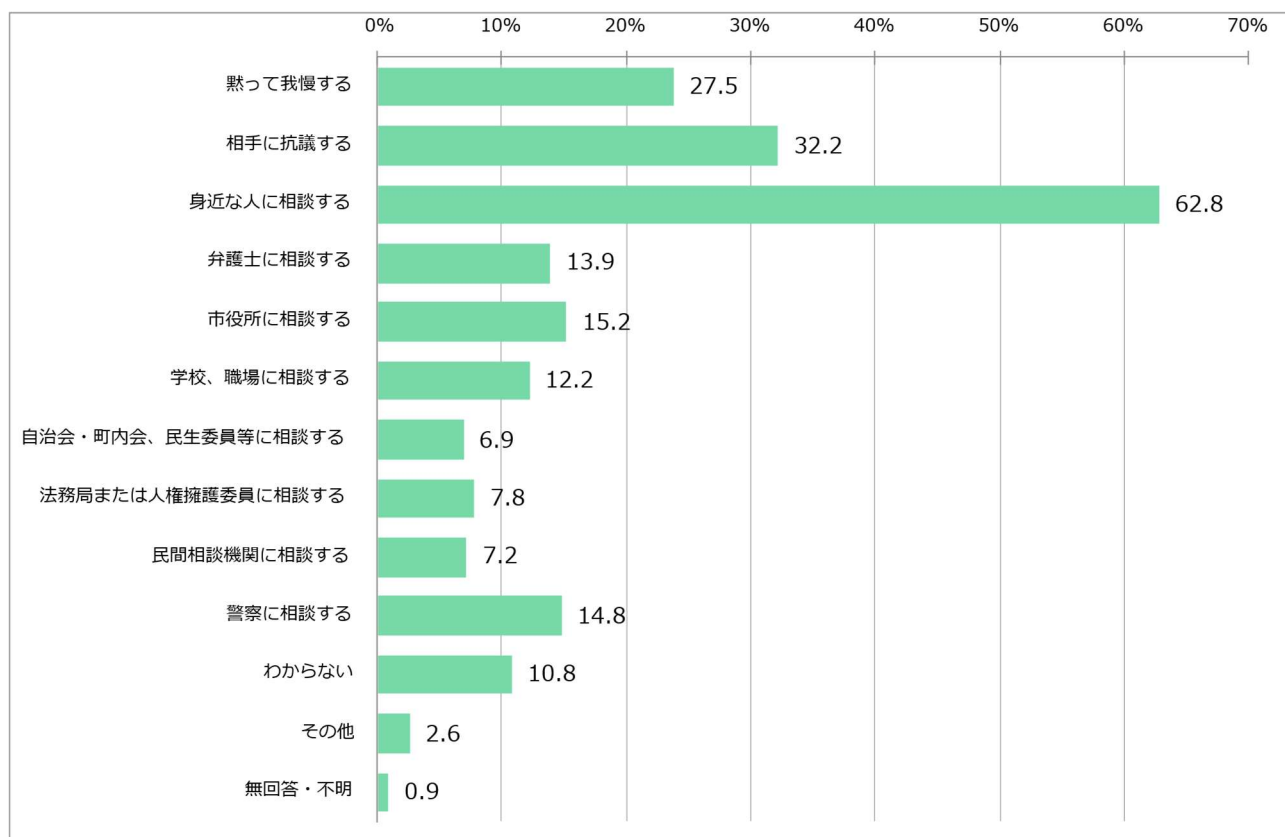
	回答数	他人からの悪口、かげ口	あらぬ噂、侮辱	名誉・信用の毀損、不当な扱い	警察官等の公務員からの不当な扱い	暴力、強迫、強要	悪臭・騒音等の公害	差別待遇	地域社会での嫌がらせ	いじめ・嫌がらせ	学校や職場でのいじめ・嫌がらせ	病院や社会福祉施設等施設職員からの不当な扱い	プライバシーの侵害	ハラスメント行為	ドメスティック・バイオレンス	虐待	その他	無回答・不明
該当者	109	50.5%	35.8%	11.9%	11.9%	8.3%	18.3%	9.2%	22.9%	5.5%	18.3%	32.1%	6.4%	1.8%	7.3%	6.4%		
性別	男性	36	61.1%	44.4%	16.7%	16.7%	11.1%	2.8%	13.9%	22.2%	5.6%	11.1%	27.8%	2.8%	2.8%	11.1%	5.6%	
	女性	72	45.8%	30.6%	9.7%	9.7%	6.9%	25.0%	6.9%	23.6%	5.6%	22.2%	34.7%	8.3%	1.4%	5.6%	6.9%	
年代別	10・20歳代	13	46.2%	30.8%	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	7.7%	30.8%	7.7%	23.1%	53.8%	7.7%	-	-	7.7%	
	30歳代	20	55.0%	50.0%	-	15.0%	5.0%	20.0%	10.0%	20.0%	-	10.0%	40.0%	5.0%	5.0%	10.0%	-	
	40歳代	24	50.0%	25.0%	20.8%	8.3%	8.3%	33.3%	8.3%	20.8%	-	8.3%	33.3%	8.3%	-	8.3%	-	
	50歳代	20	50.0%	35.0%	25.0%	25.0%	5.0%	15.0%	10.0%	45.0%	15.0%	35.0%	35.0%	15.0%	5.0%	10.0%	5.0%	
	60歳代	13	46.2%	46.2%	7.7%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	30.8%	30.8%	-	-	7.7%	-	
	70歳以上	19	52.6%	31.6%	5.3%	5.3%	10.5%	5.3%	10.5%	10.5%	-	10.5%	5.3%	-	-	5.3%	26.3%	

※この設問は前回調査にはありません

「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が 50.5%で最も高く、次いで「名誉・信用の毀損、侮辱」が 35.8%となっています。また、女性は「差別待遇」、若年層は「ハラスメント行為」を受けた経験が多い傾向がうかがえます。

2 差別や人権侵害をされた場合の対応

問8 もし、あなたが差別をされたり、人権を侵害されたりした場合、どうしますか。
(〇はいくつでも)



	回答数	黙って我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	市役所に相談する	学校、職場に相談する	自治会・町内会、民生委員等に相談する	法務局または人権擁護委員に相談する	民間相談機関に相談する	警察に相談する	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	23.8%	32.2%	62.8%	13.9%	15.2%	12.2%	6.9%	7.8%	7.2%	14.8%	10.8%	2.6%	0.9%	
性別	男性	390	18.7%	45.9%	51.5%	19.5%	17.7%	11.8%	7.2%	9.5%	7.9%	17.2%	10.3%	3.8%	0.8%
	女性	587	27.1%	23.0%	70.2%	10.2%	13.6%	12.4%	6.6%	6.6%	6.6%	13.3%	11.2%	1.7%	1.0%
年代別	10・20歳代	58	32.8%	27.6%	70.7%	5.2%	3.4%	19.0%	1.7%	1.7%	1.7%	12.1%	10.3%	5.2%	-
	30歳代	120	31.7%	25.8%	71.7%	7.5%	8.3%	21.7%	1.7%	4.2%	7.5%	14.2%	5.8%	1.7%	-
	40歳代	151	34.4%	31.1%	70.2%	11.9%	9.3%	17.2%	2.0%	6.6%	5.3%	13.2%	9.3%	2.6%	-
	50歳代	176	26.1%	28.4%	63.6%	16.5%	11.4%	15.3%	3.4%	9.1%	6.8%	14.8%	13.6%	2.8%	-
	60歳代	180	16.7%	40.0%	59.4%	20.0%	16.1%	7.8%	3.9%	7.8%	8.9%	12.2%	12.2%	2.2%	1.1%
	70歳以上	293	16.4%	33.8%	55.3%	14.0%	25.3%	5.1%	16.4%	10.2%	8.2%	18.1%	11.3%	2.4%	2.4%

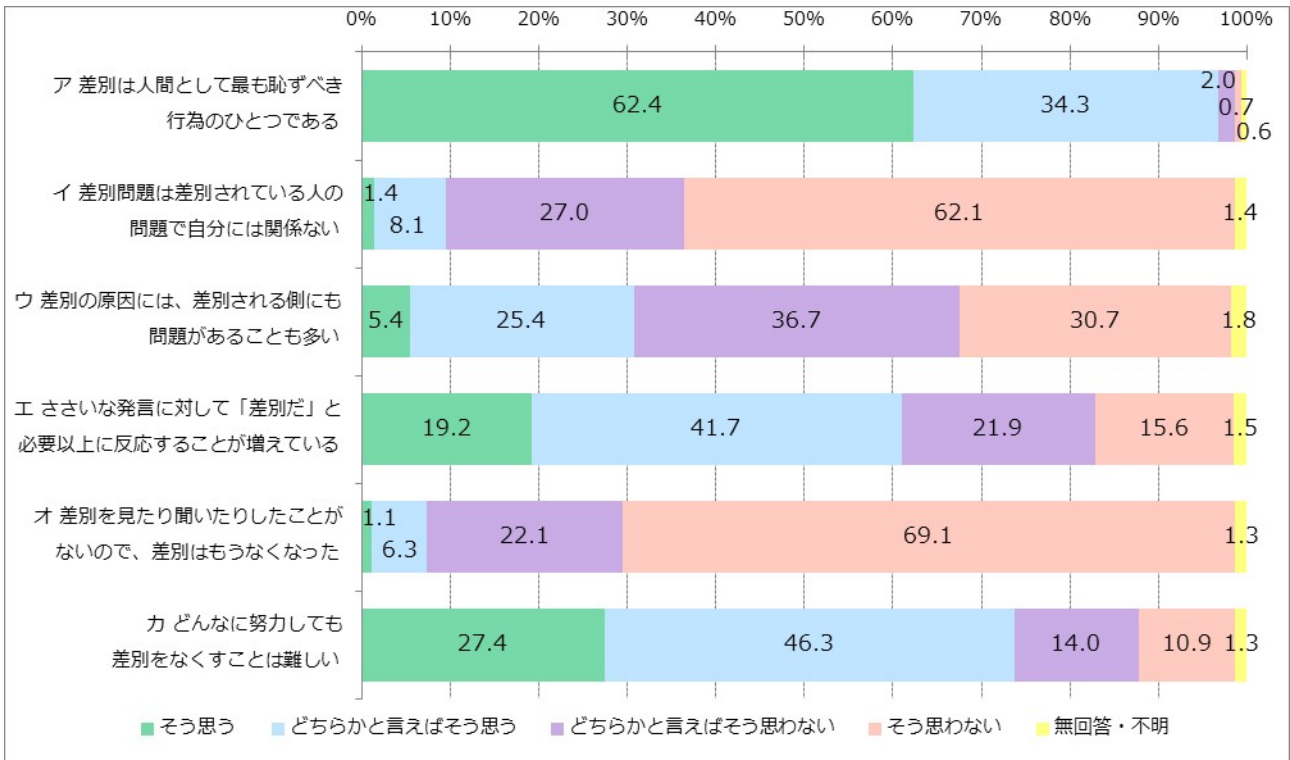
※この設問は前回調査にはありません

「身近な人に相談する」が 62.8%で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 32.2%となっています。また、「黙って我慢する」と答えた人が3割近くいます。

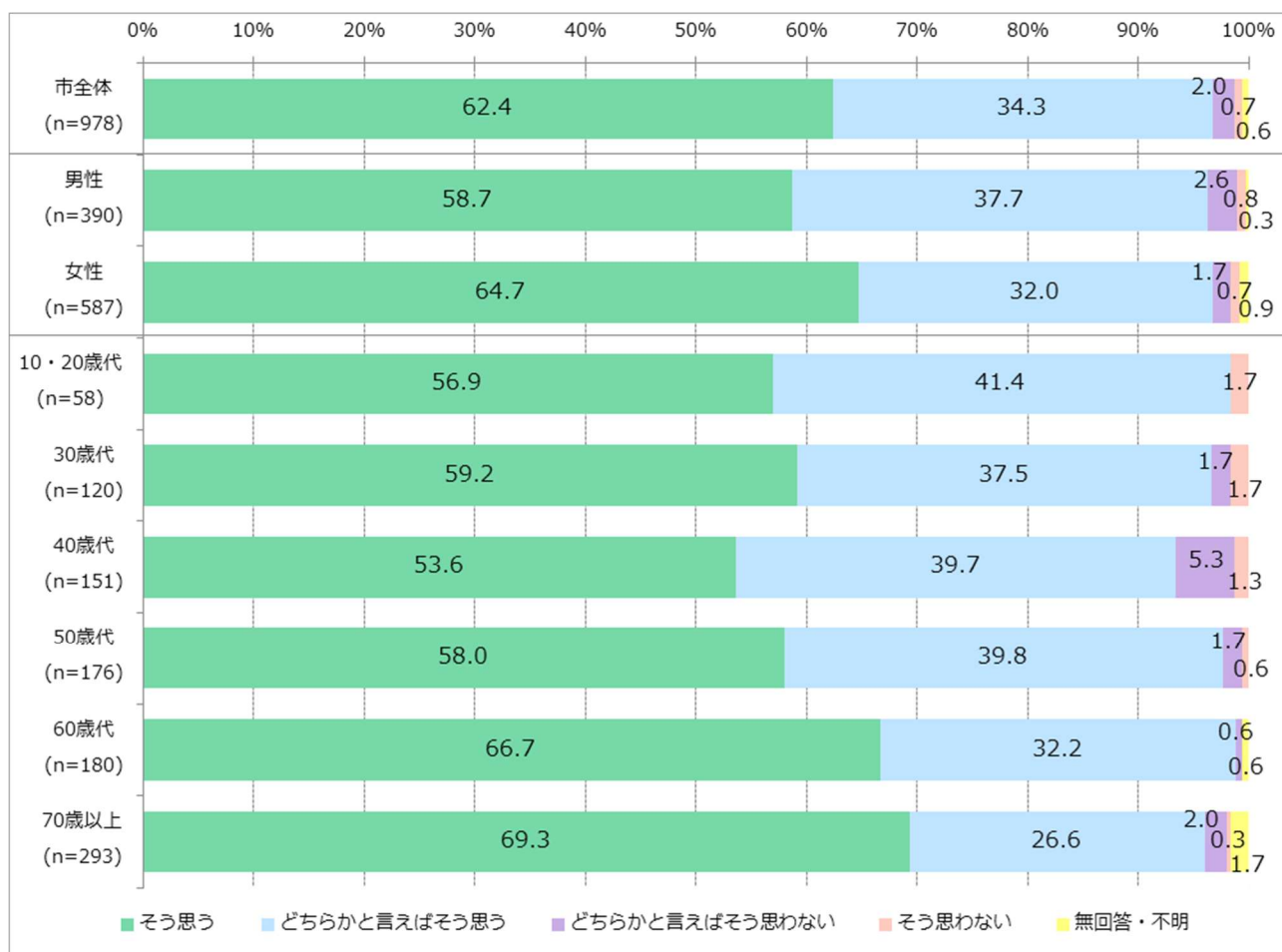
「その他」の意見では、「内容によって相談する相手や対応を考える」という回答が多数ありました。

3 差別に対する考え方

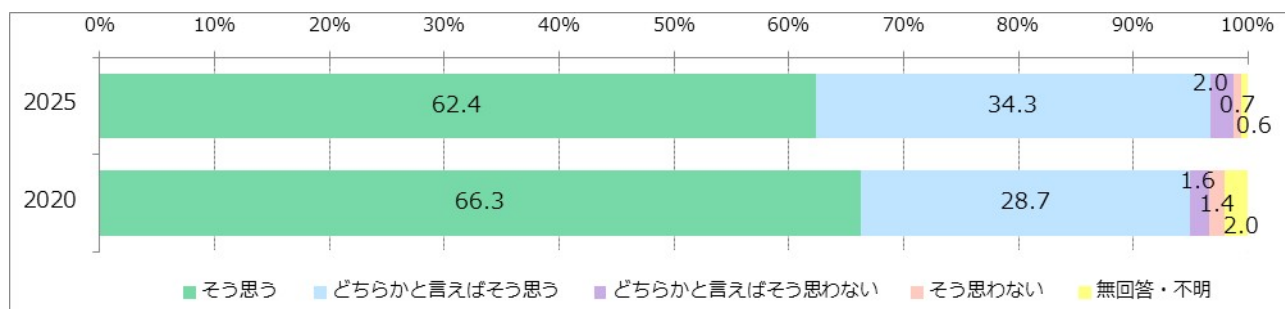
問9 あなたは、以下の差別に関する考え方をどう思いますか。次のア～カについてお答えください（○はそれぞれ1つ）



ア 差別は人間として最も恥ずべき行為のひとつである

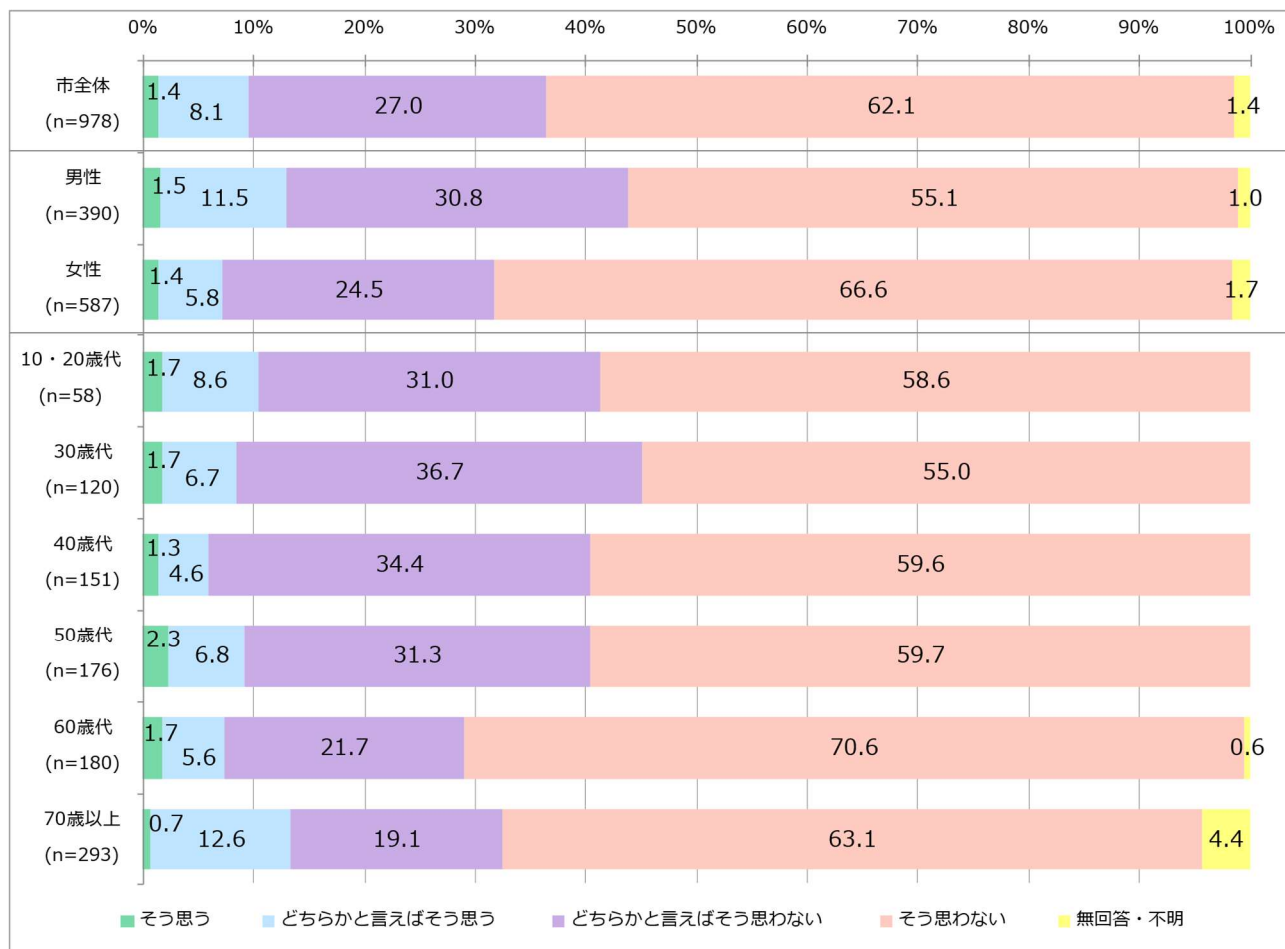


前回調査(2020)との比較

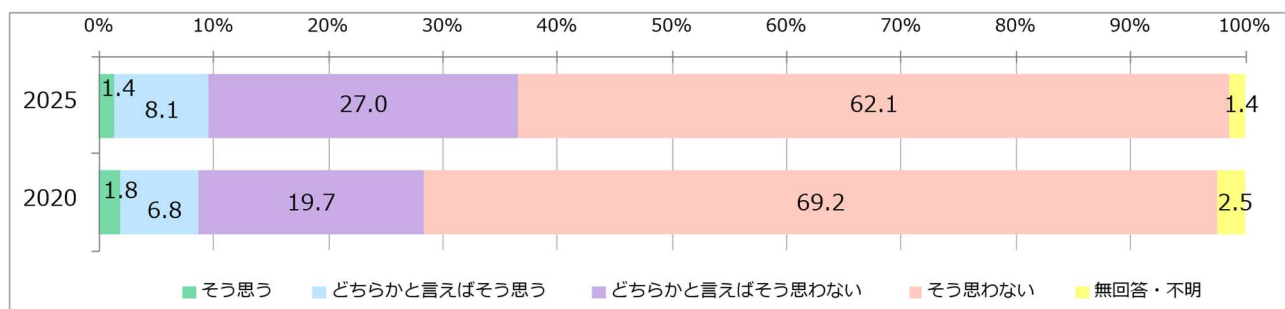


「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は 96.7%となっており、前回調査(95.0%)より 1.7 ポイント増加しています。「差別は人間として最も恥ずべき行為のひとつである」と、9割強が認識していることとなります。

イ 差別問題は、差別されている人の問題で自分には関係ない

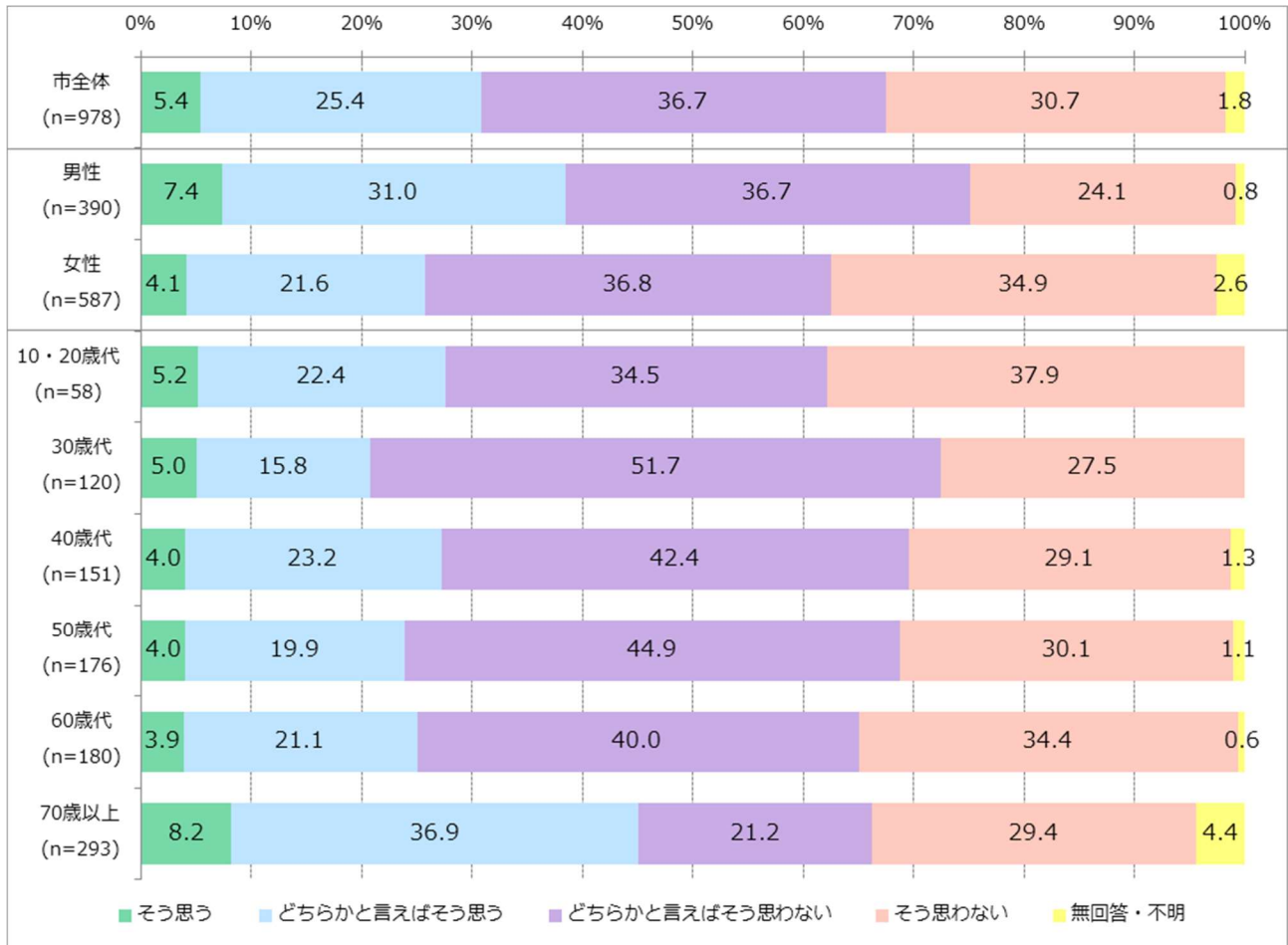


前回調査(2020)との比較

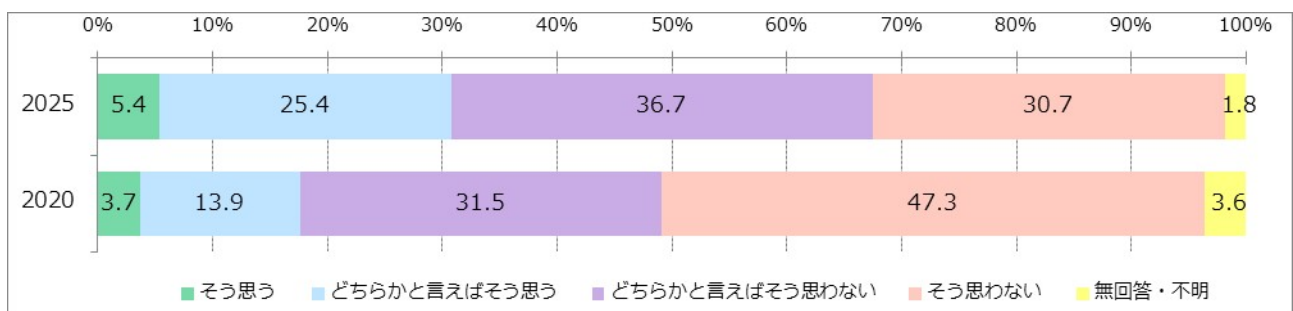


「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 89.1%となっており、前回調査(88.9%)より 0.2 ポイント増加しています。「差別問題は、自分にも関係がある」と9割弱が認識していることになります。

ウ 差別の原因は、差別される側にも問題があることも多い

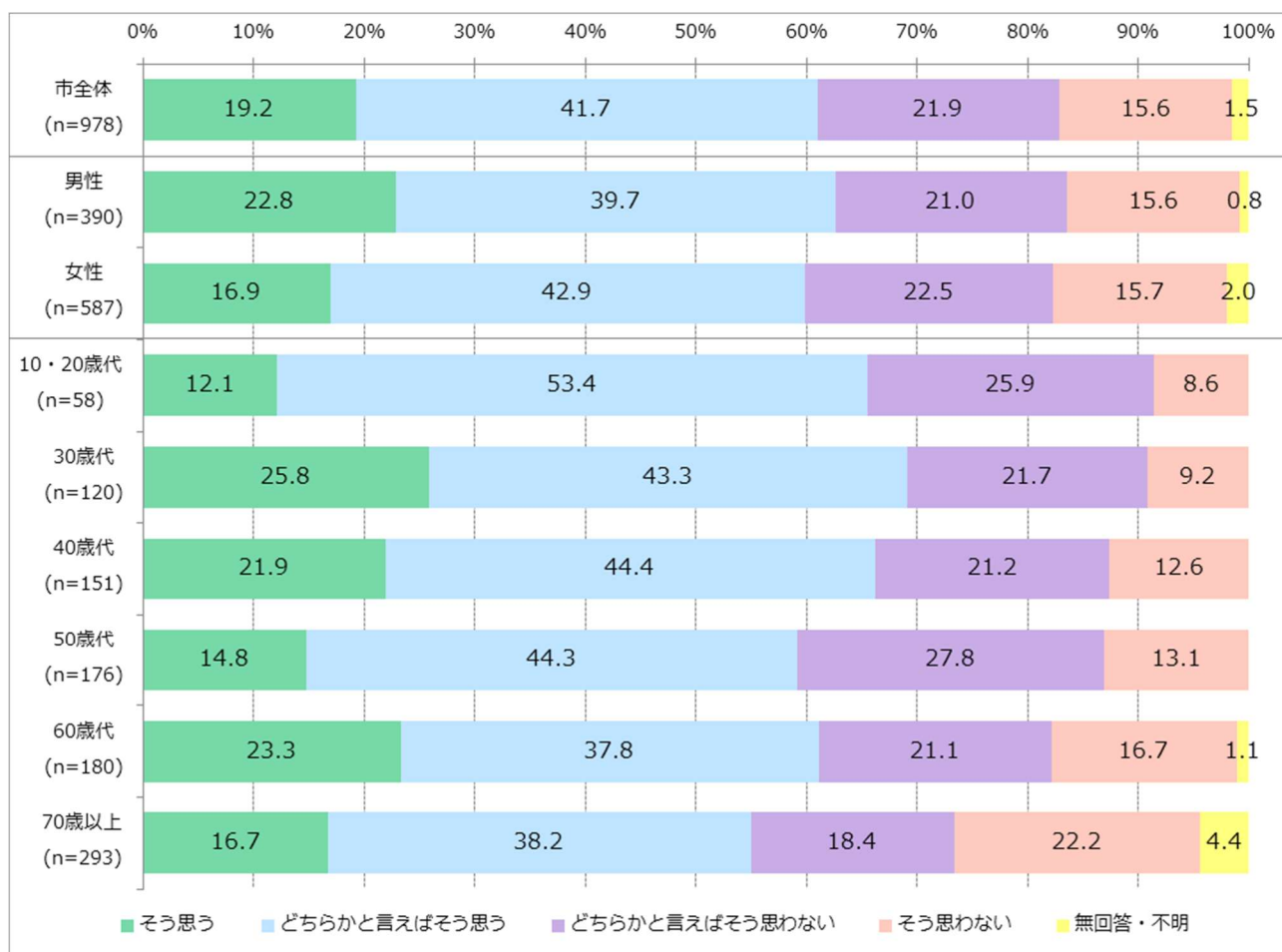


前回調査(2020)との比較



「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は 30.8%となっており、前回調査(17.6%)より 13.2 ポイント増加しています。「差別の原因は、差別される側にも問題があることも多い」と、3割強が認識していることになります。

エ ささいな発言に対して「差別だ」と必要以上に反応することが増えている

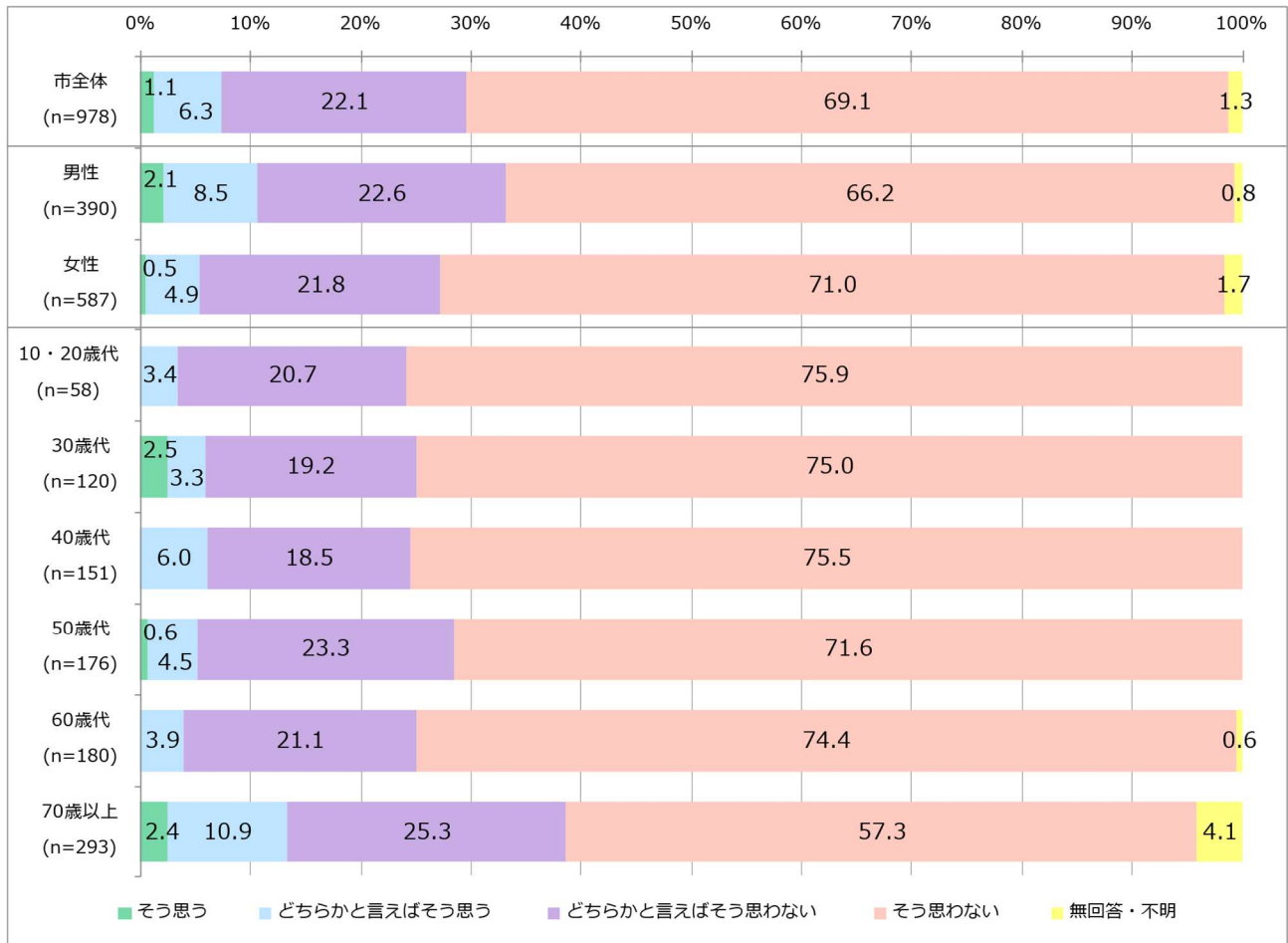


※この設問は前回調査にはありません

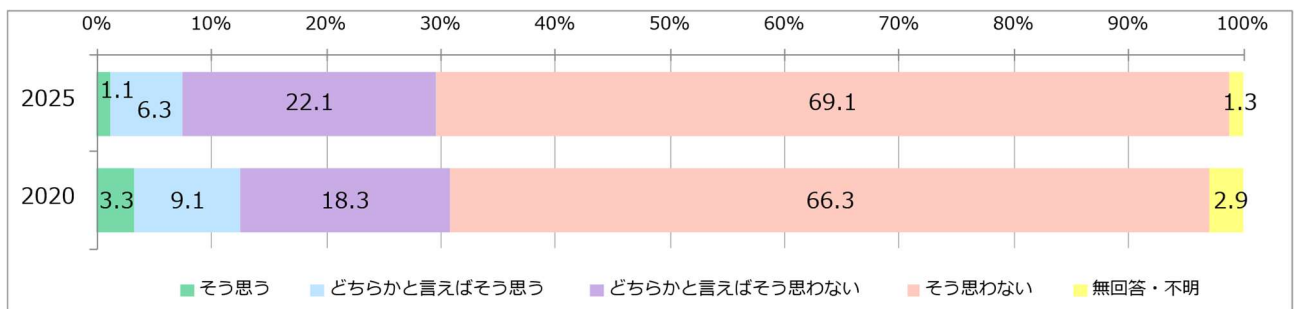
「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合は 37.5%となっている一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は 60.9%となっています。

約6割の人が「ささいな発言に対して「差別だ」と必要以上に反応することが増えている」と認識していることとなります。

オ 差別を見たり聞いたりしたことがないので、差別はもうなくなった

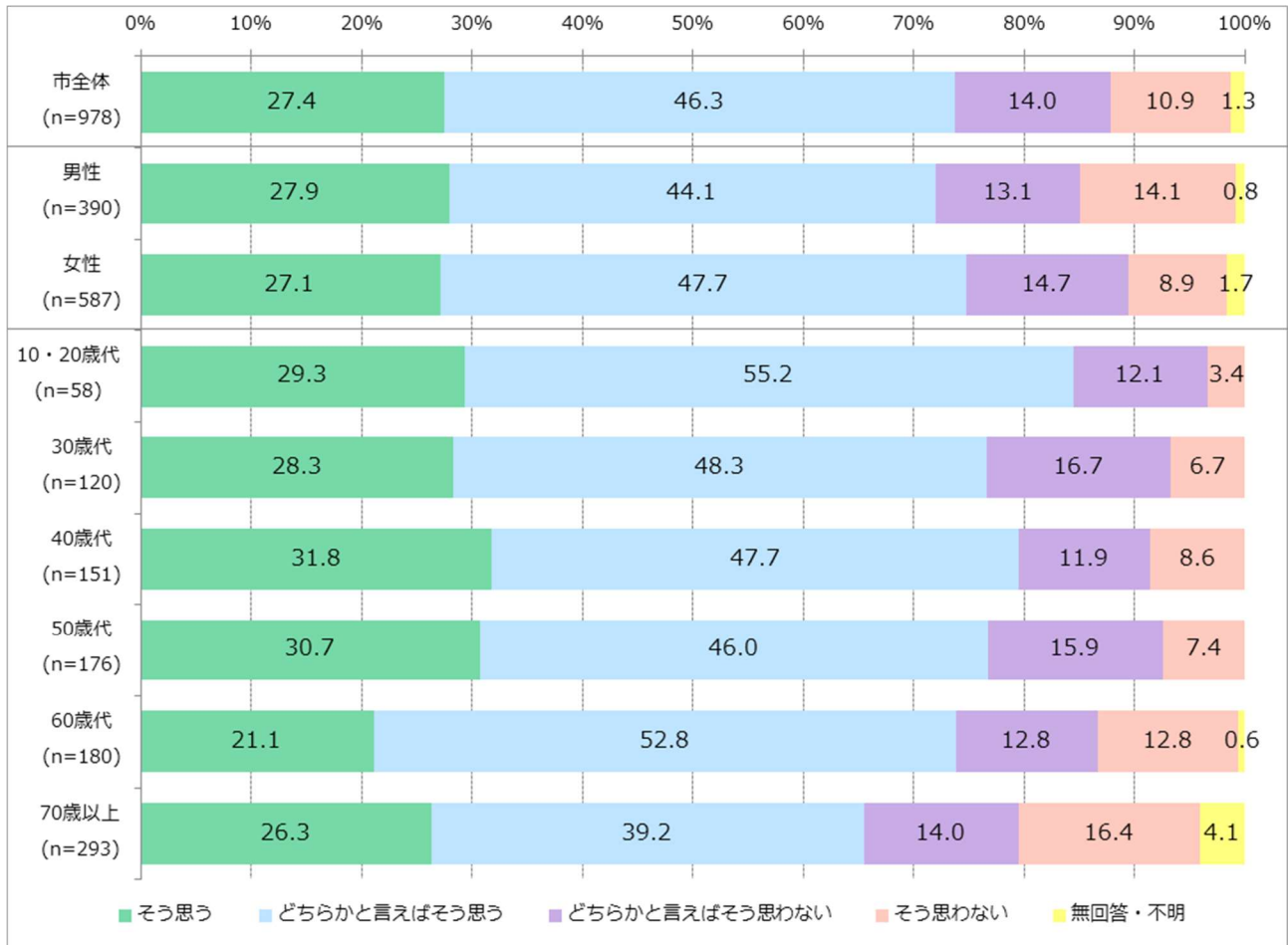


前回調査(2020)との比較

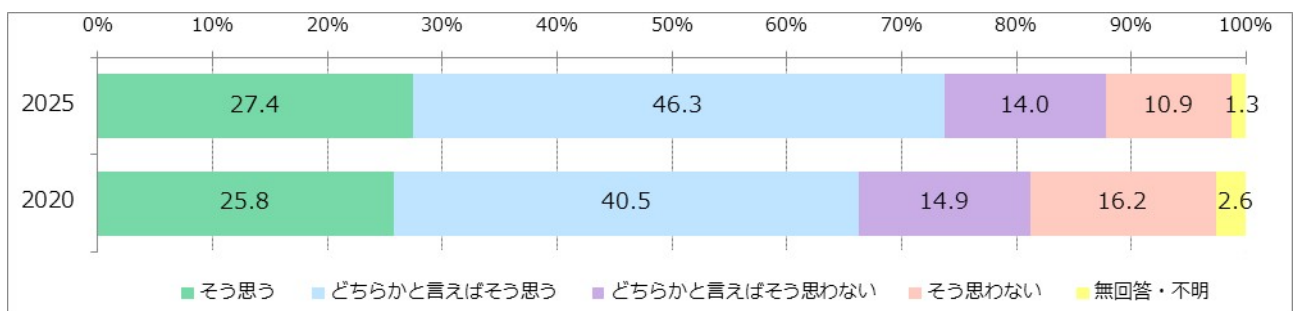


「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 91.2%となっており、前回調査 (84.6%)より 6.6 ポイント増加しています。しかし、「差別はもうなくなった」と差別の現状を実感していない人が一定数いることがわかります。

カ どんなに努力しても差別をなくすことは難しい



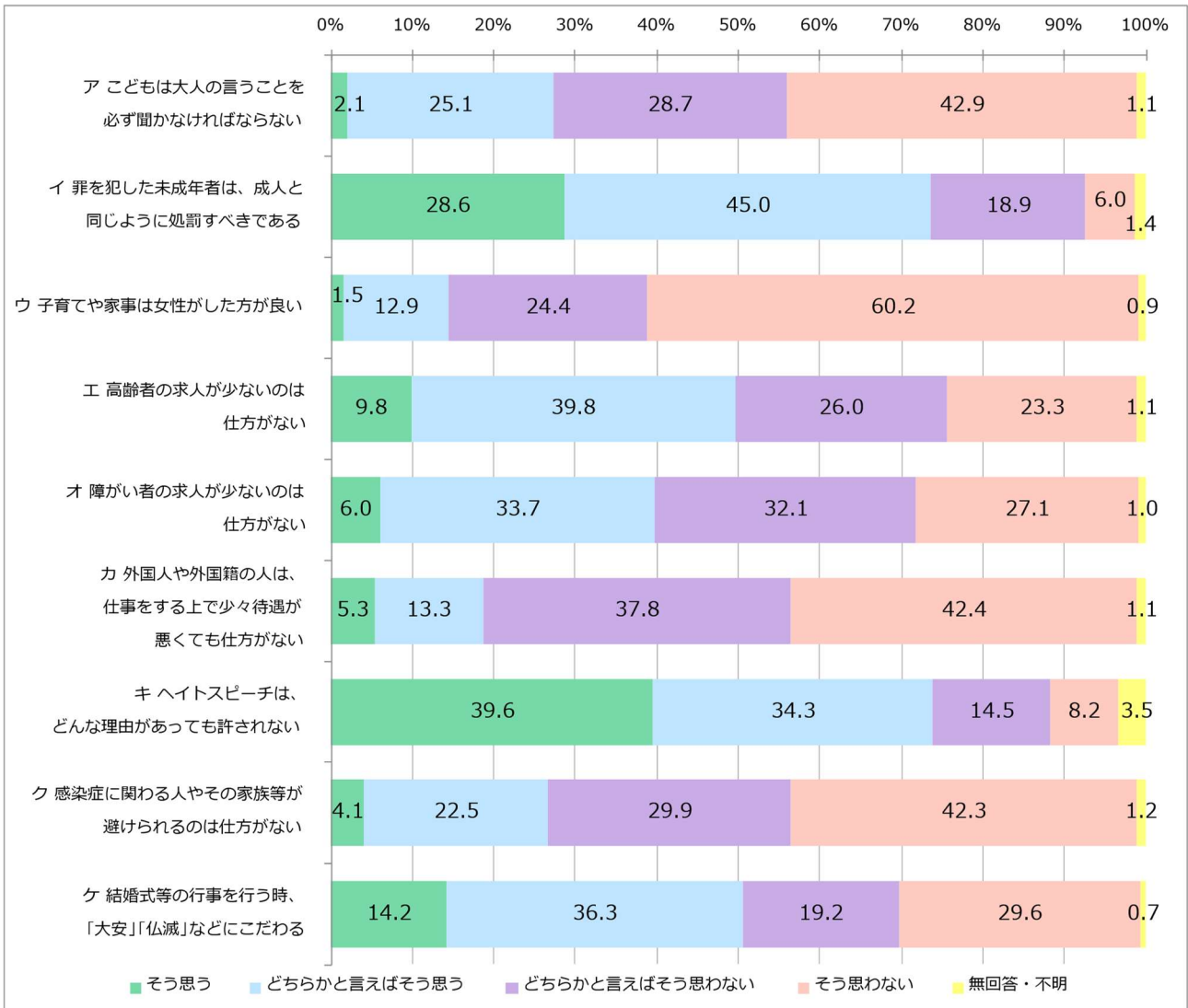
前回調査(2020)との比較



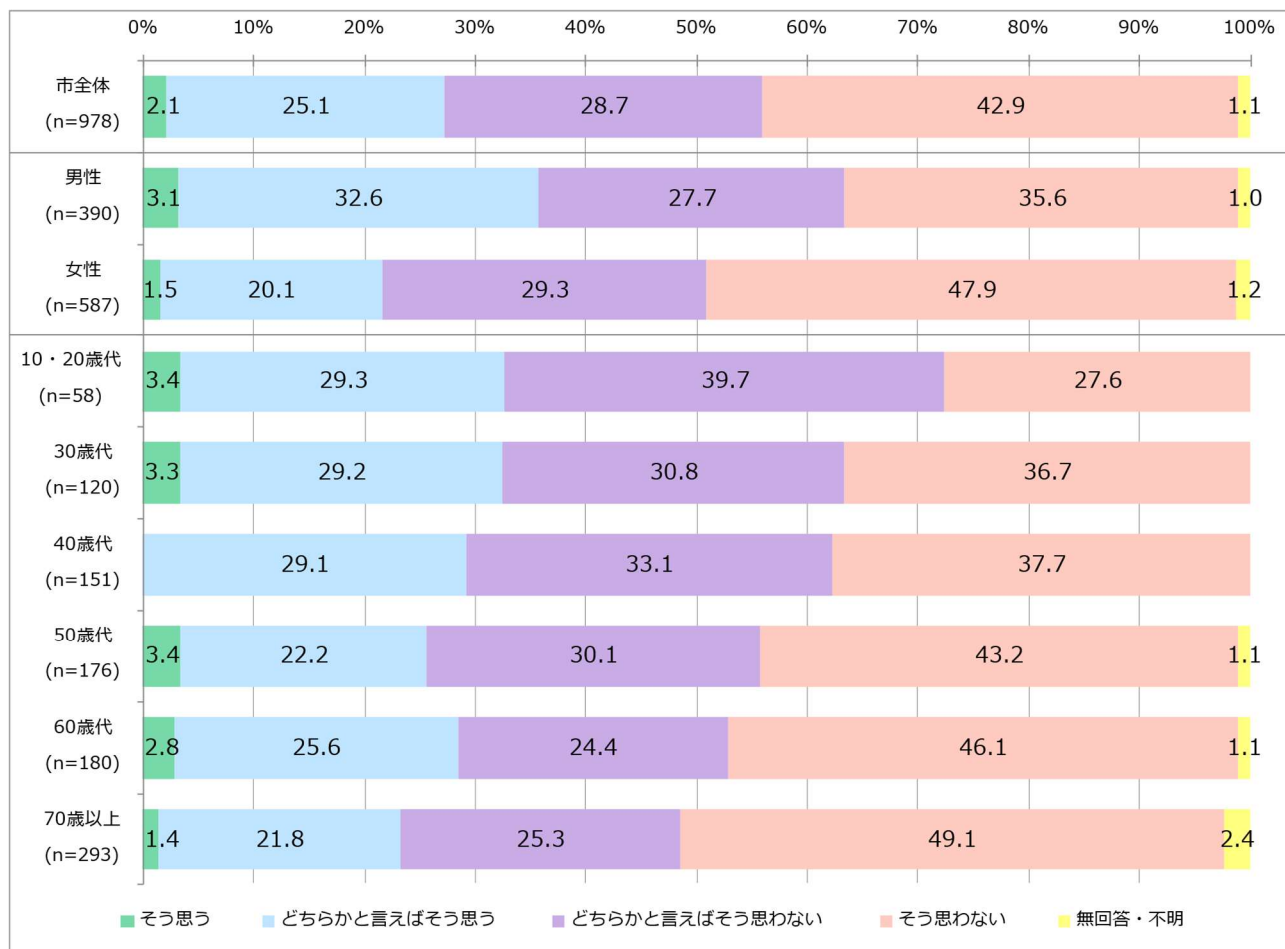
「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 24.9%となっており、前回調査 (31.1%)より 6.2 ポイント減少しています。つまり、7割強の人が「差別をなくすことは難しい」と認識していることになります。

4 日常生活における考え方

問10 あなたは、普段の生活の中で、次のア～ケの考え方について、どう思いますか。
(○はそれぞれ1つ)



ア 子どもは大人の言うことを必ず聞かなければならない



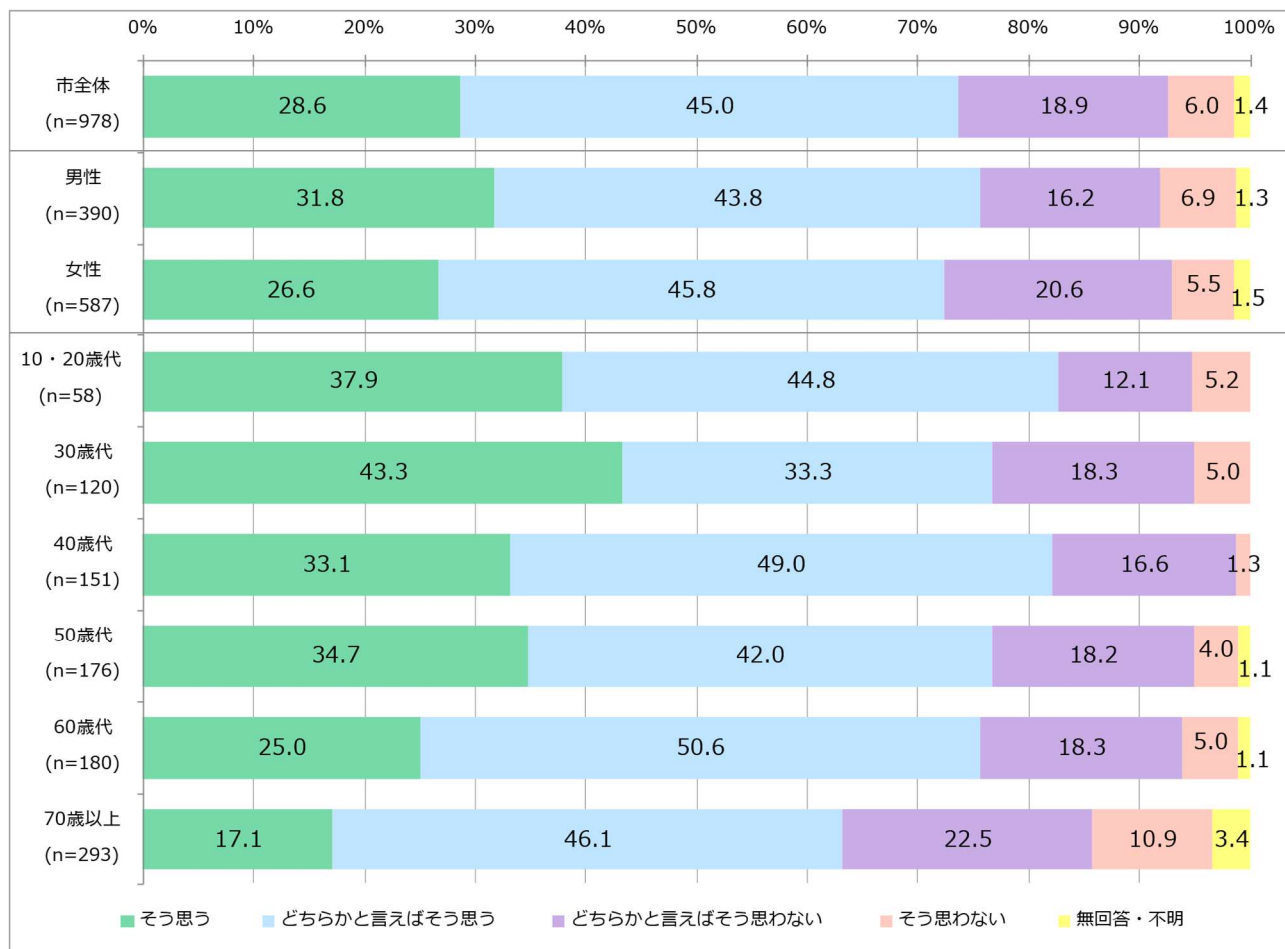
※この設問は前回調査にはありません

「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 71.6%となっています。

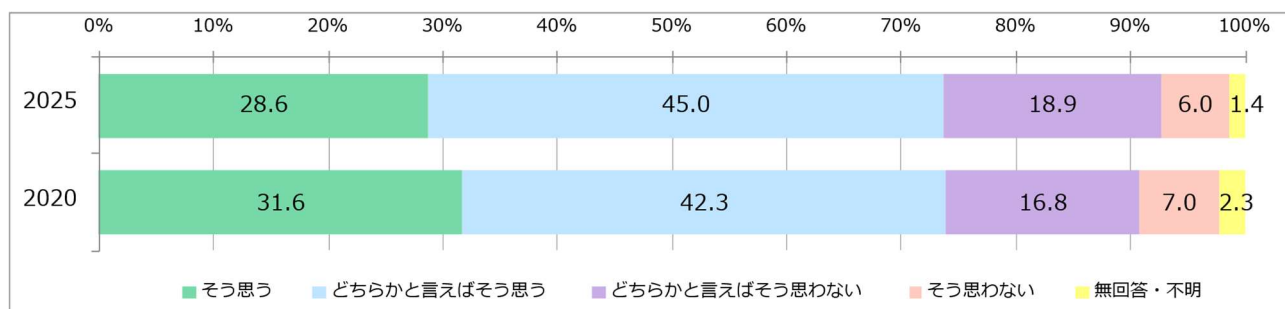
性別では、女性は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 77.2%なのに対し、男性は 63.3%と 13.9 ポイント低くなっています。

年代別では、70歳以上は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 74.4%なのに対し、10・20歳代は 67.3%と 7.1 ポイントの差があります。

イ 罪を犯した未成年者は、成人と同じように処罰すべきである



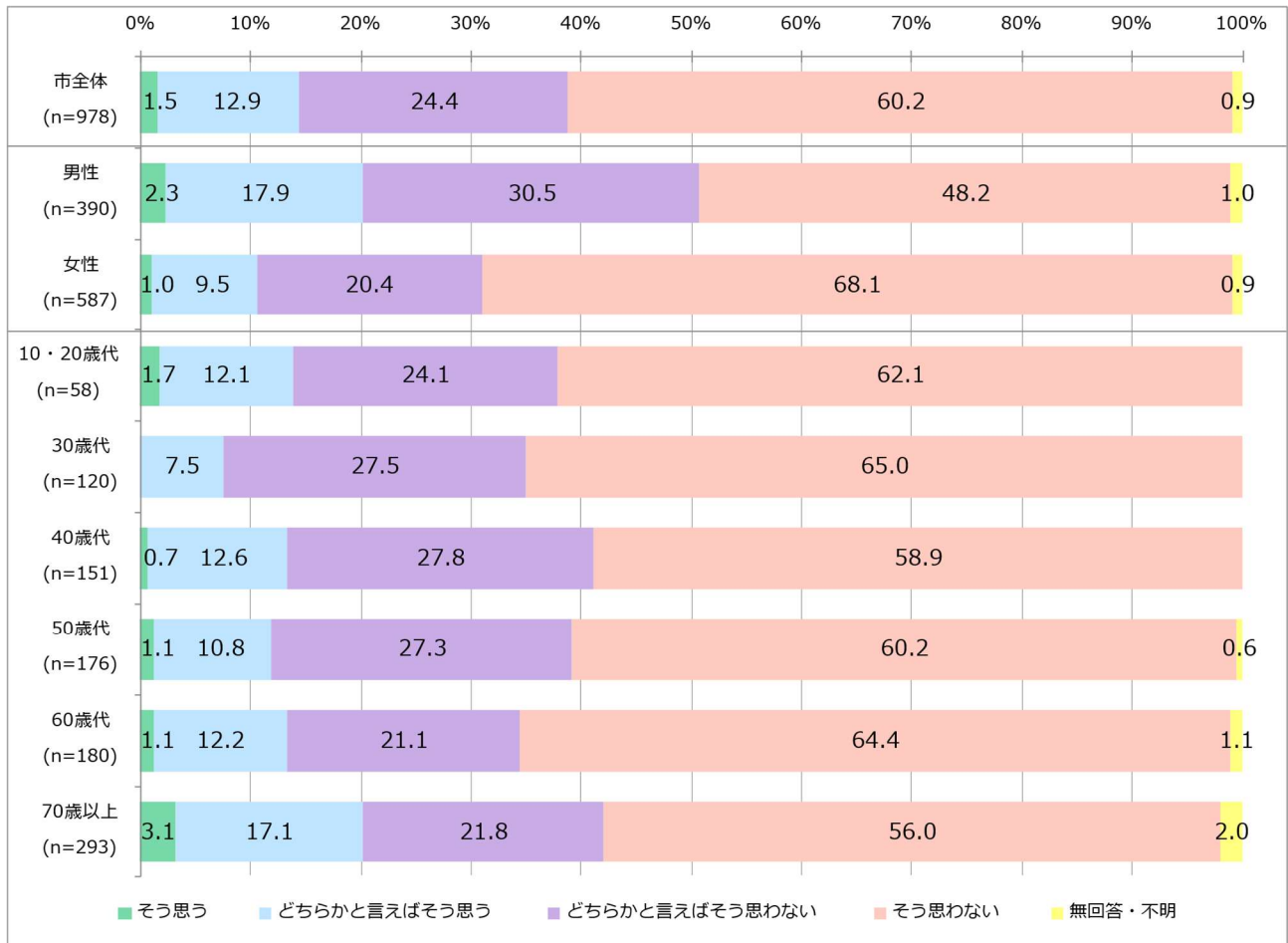
前回調査(2020)との比較



※前回調査は「罪を犯した少年は、成人と同じように処罰すべきである」という質問でした

「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 24.9%となっており、前回調査(23.8%)より1.1ポイント増加しています。一方で、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は 73.6%となっており、依然として高い数値です。特に、「10・20歳代」と「40歳代」では 80%以上と他の年代に比べて高くなっています。

ウ 子育てや家事は女性がした方が良い



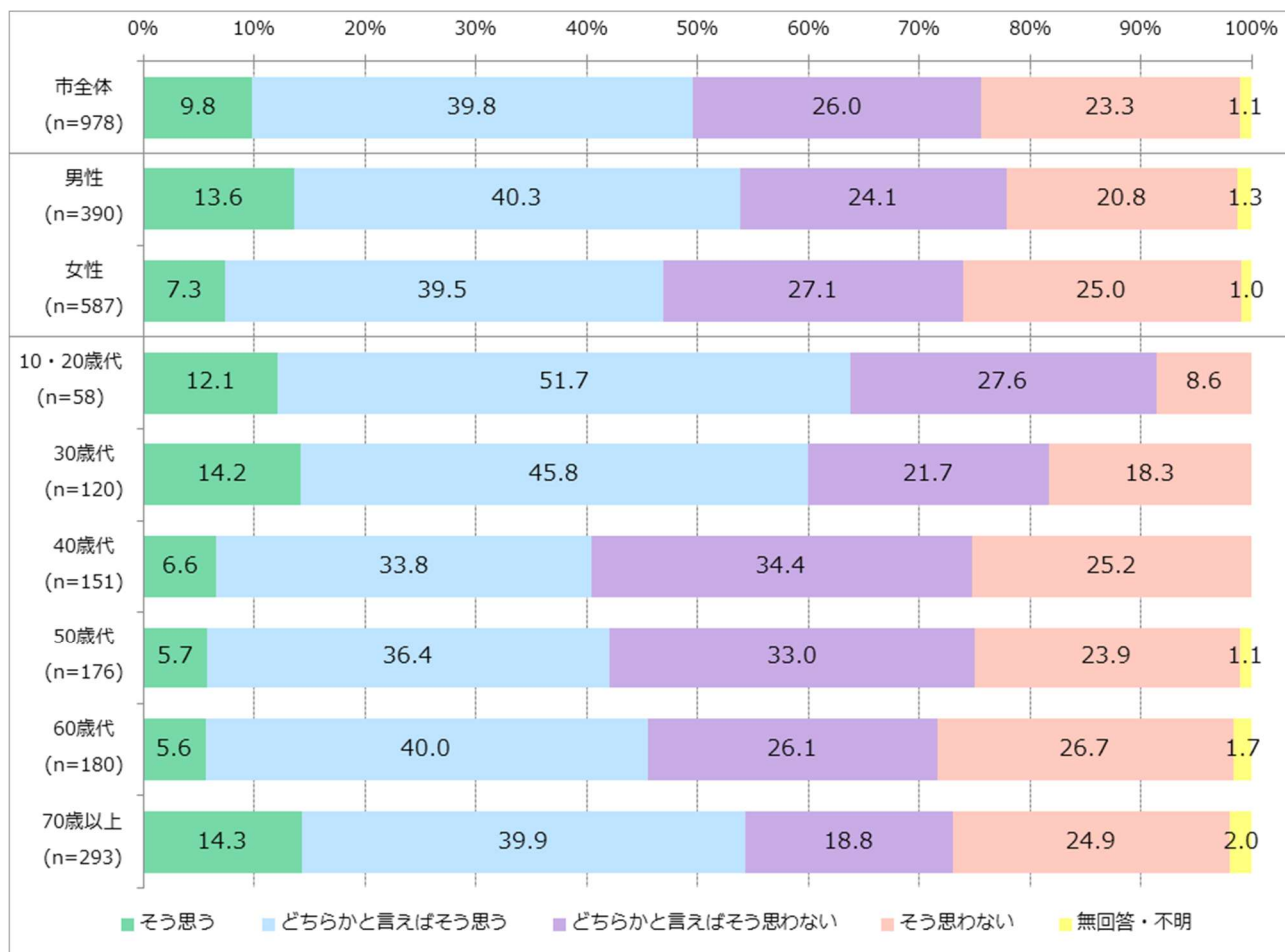
※この設問は前回調査にはありません

「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 84.6%となっています。

性別では、女性は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 88.5%なのに対し、男性は 78.7%と 9.8 ポイント低くなっています。

年代別では、30歳代は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 92.5%なのに対し、70歳以上は 77.8%と 14.7 ポイントの差があります。

エ 高齢者の求人が少ないのは仕方がない



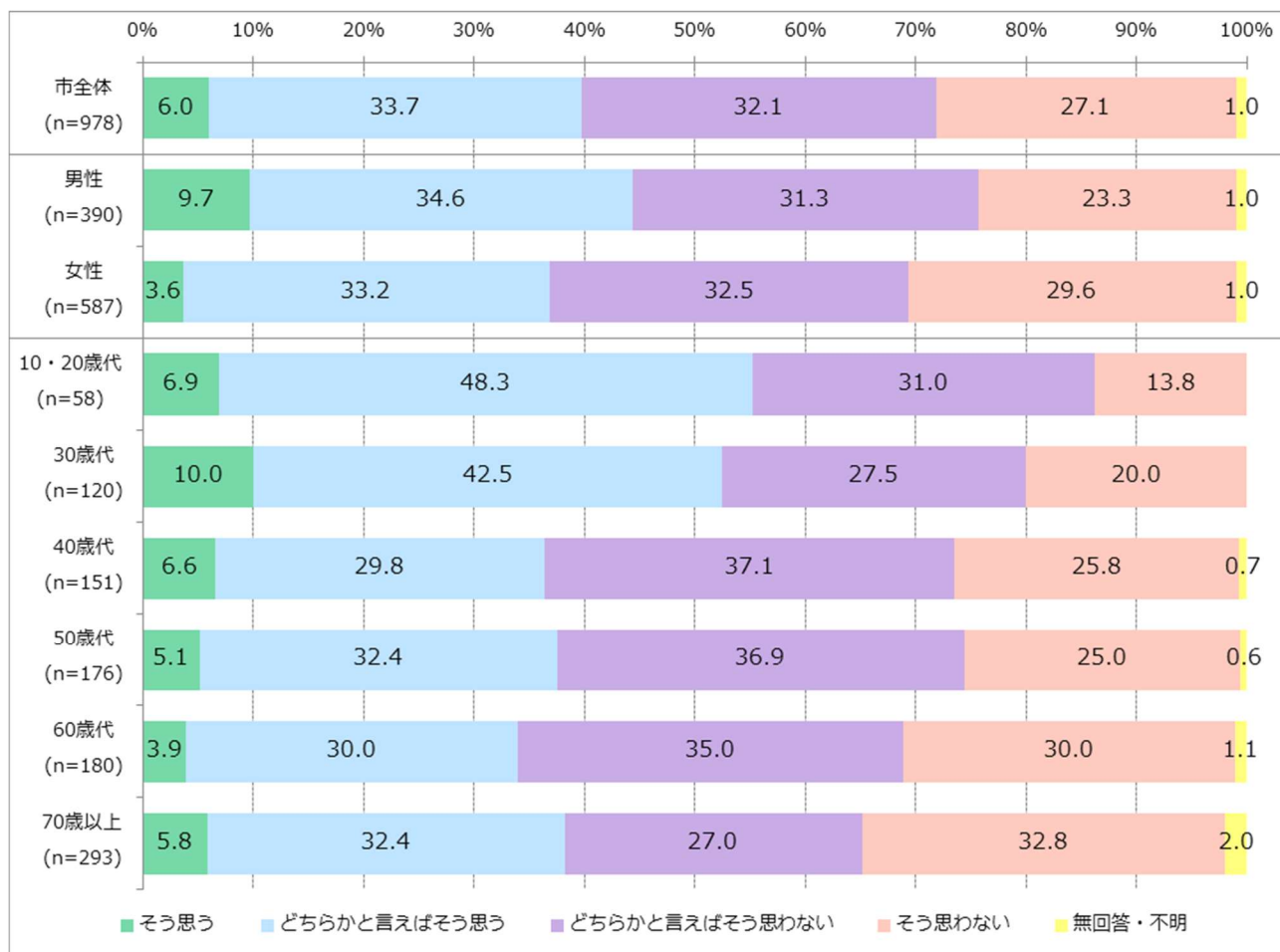
※この設問は前回調査にはありません

「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 49.3%となっています。

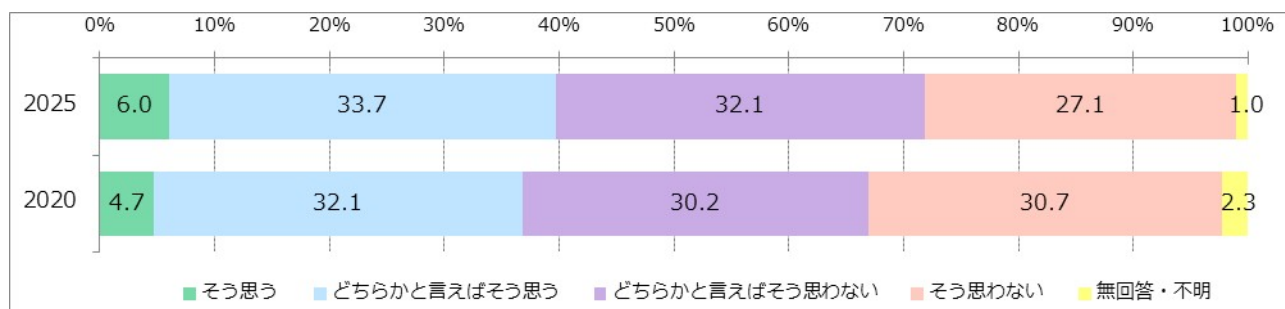
性別では、女性は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 52.1%なのに対し、男性は 44.9%と 7.2 ポイント低くなっています。

年代別では、40歳代は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 59.6%なのに対し、10・20歳代は 36.2%と 23.4 ポイントの差があります。

オ 障がい者の求人が少ないのは仕方がない



前回調査(2020)との比較

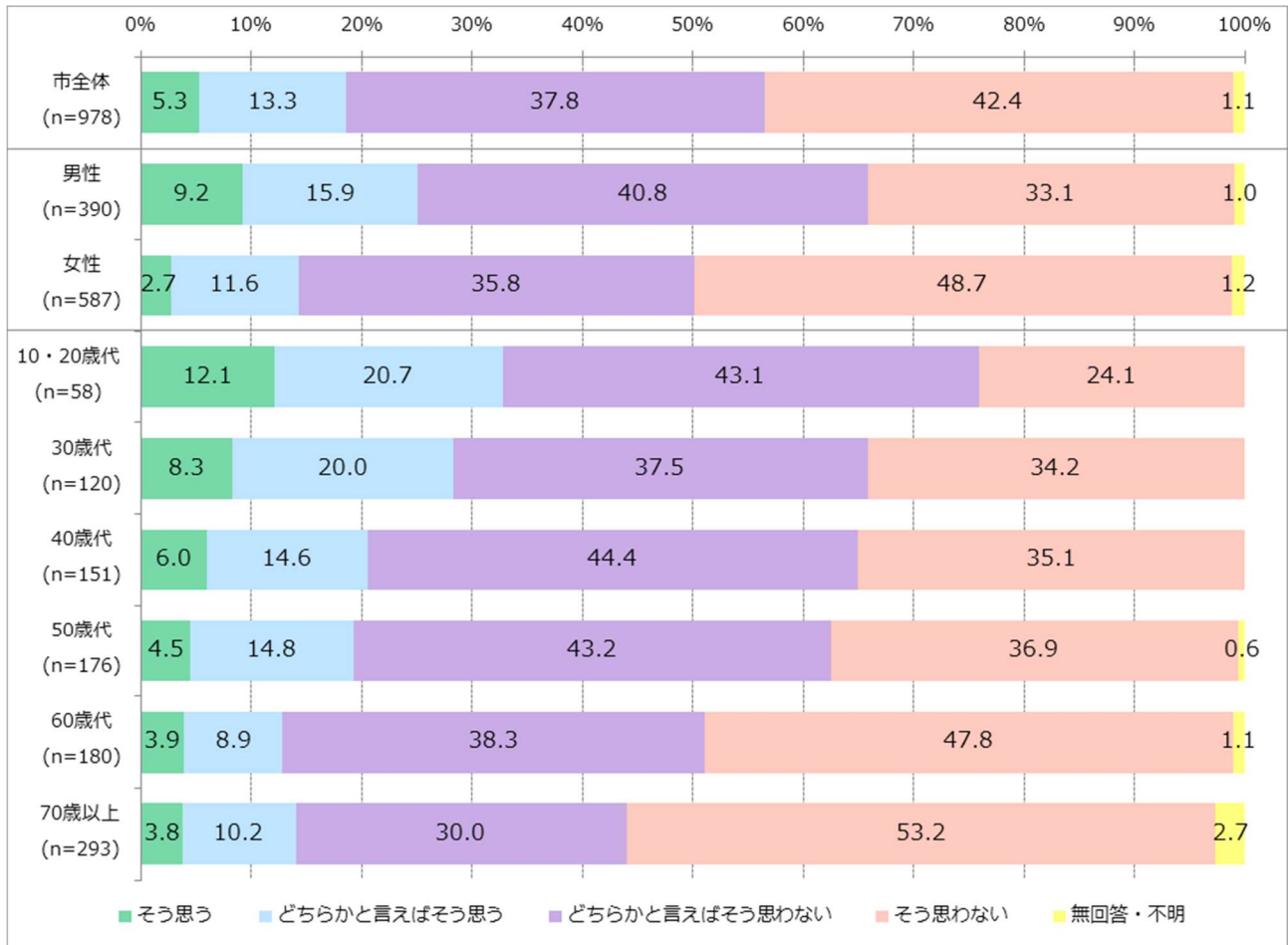


「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 59.2%となっており、前回調査(60.9%)より 1.7 ポイント減少しています。

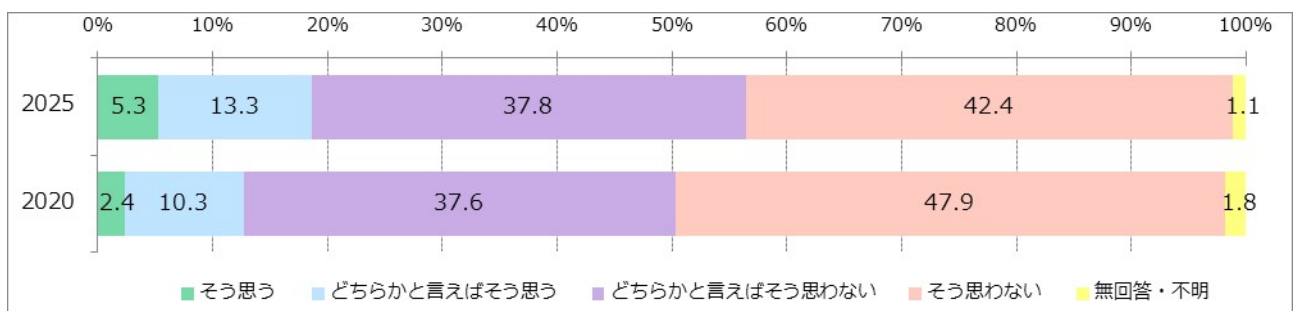
性別では、女性は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 62.1%なのに対し、男性は 54.6%と 7.5 ポイント低くなっています。

年代別では、60歳代は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 65.0%なのに対し、10・20歳代は 44.8%と 20.2 ポイントの差があります。

カ 外国人や外国籍の人は、仕事をする上で少々待遇が悪くても仕方がない



前回調査(2020)との比較

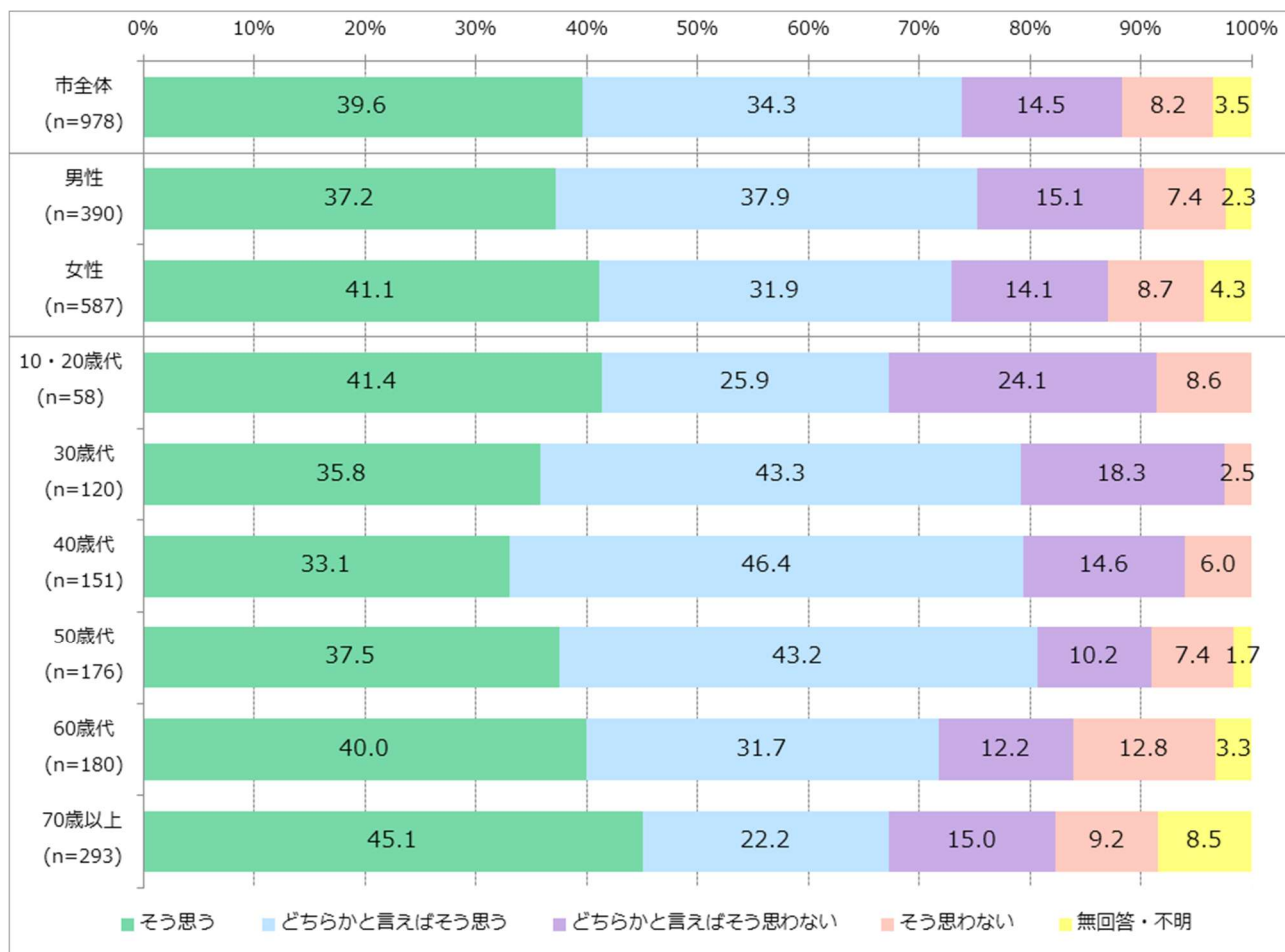


「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 80.2%となっており、前回調査(85.5%)より 5.3 ポイント減少しています。

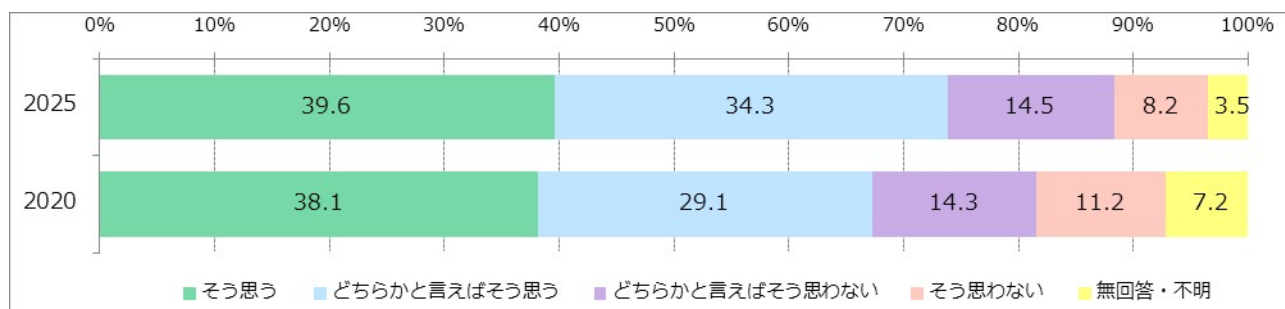
性別では、女性は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 84.5%なのに対し、男性は 73.9%と 6.3 ポイント低くなっています。

年代別では、60歳代は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 86.1%なのに対し、10・20歳代は 67.2%と 18.9 ポイントの差があります。

キ ヘイトスピーチは、どんな理由があっても許されない



前回調査(2020)との比較

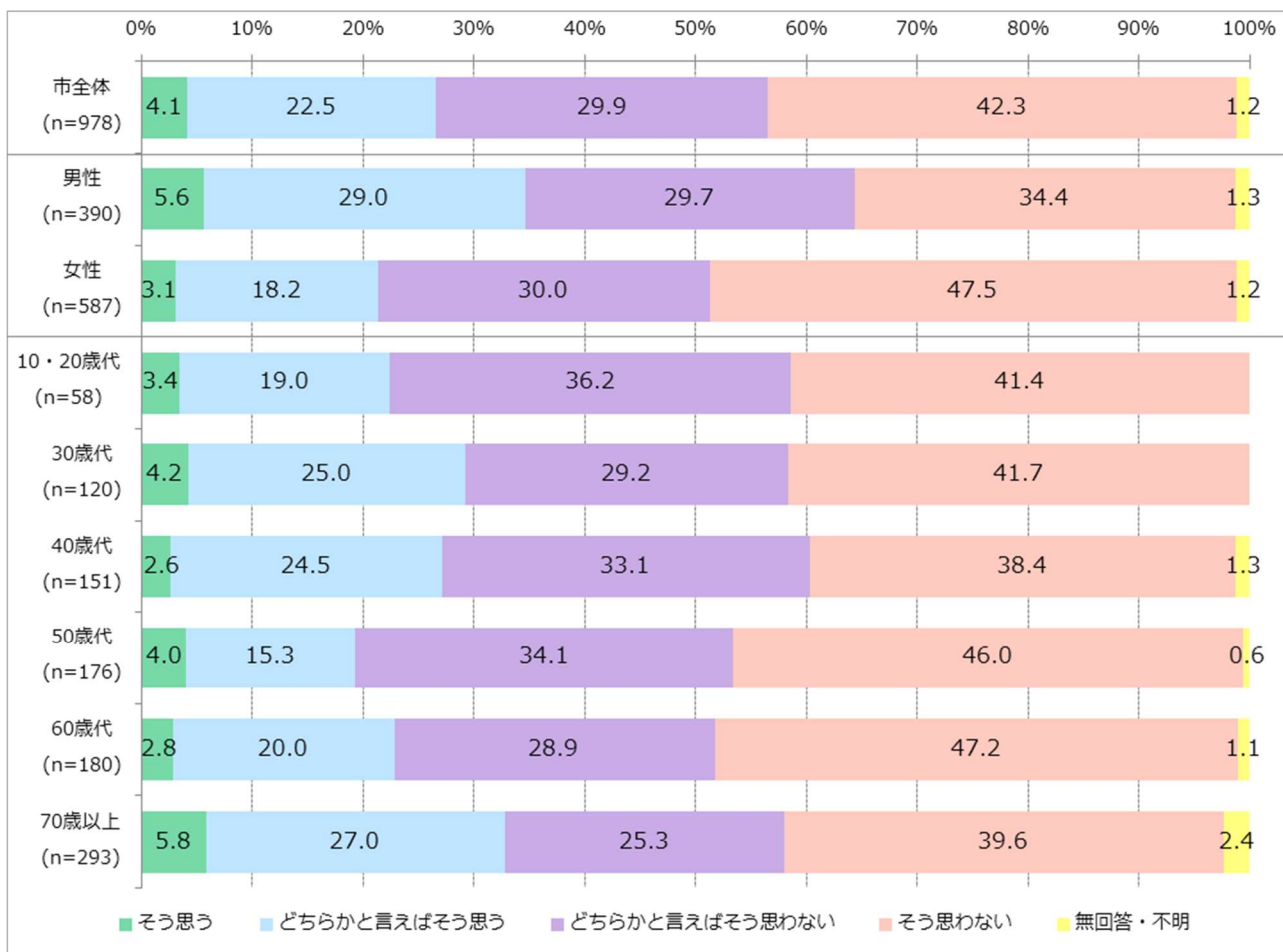


「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は 73.9%となっており、前回調査(67.2%)より 6.7 ポイント増加しています。

性別では、男性は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合が 75.1%なのに対し、女性は 73.0%と 2.1 ポイント低くなっています。

年代別では、50歳代は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合が 80.7%なのに対し、10・20歳代と70歳以上は 67.3%と 13.4 ポイントの差があります。

ク 感染症に関わる人やその家族等が避けられるのは仕方がない



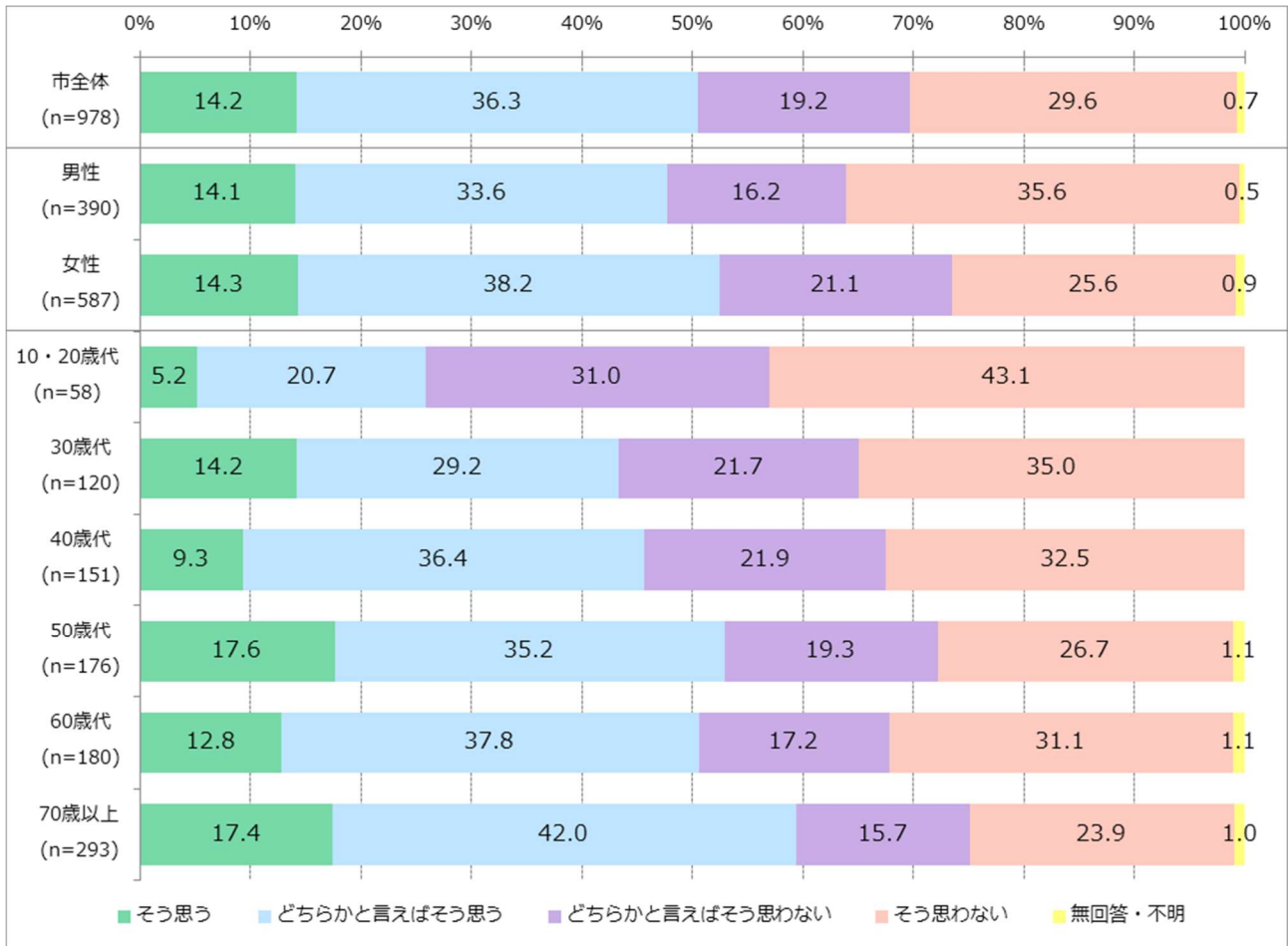
※この設問は前回調査にはありません

「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 72.2%となっています。

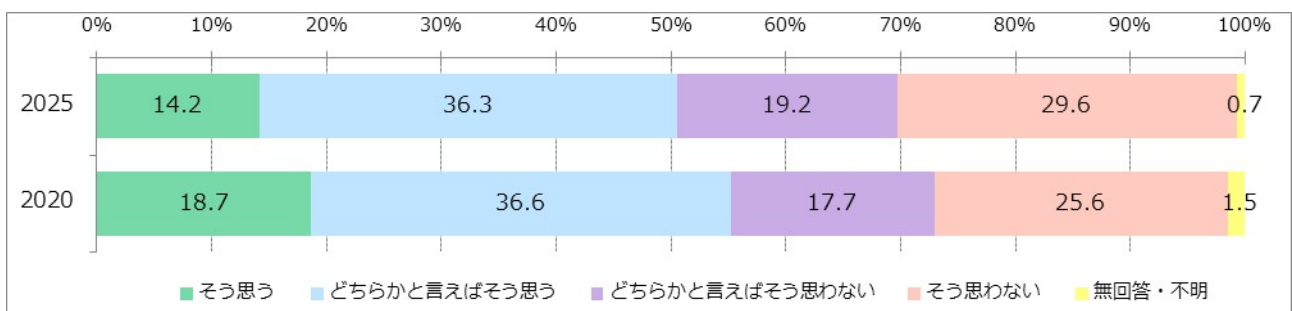
性別では、女性は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 77.5%なのに対し、男性は 64.1%と 13.4 ポイント低くなっています。

年代別では、50歳代は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 80.1%なのに対し、70歳以上は 64.9%と 15.2 ポイントの差があります。

ケ 結婚式等の行事を行う時、「大安」「仏滅」などにこだわる



前回調査(2020)との比較



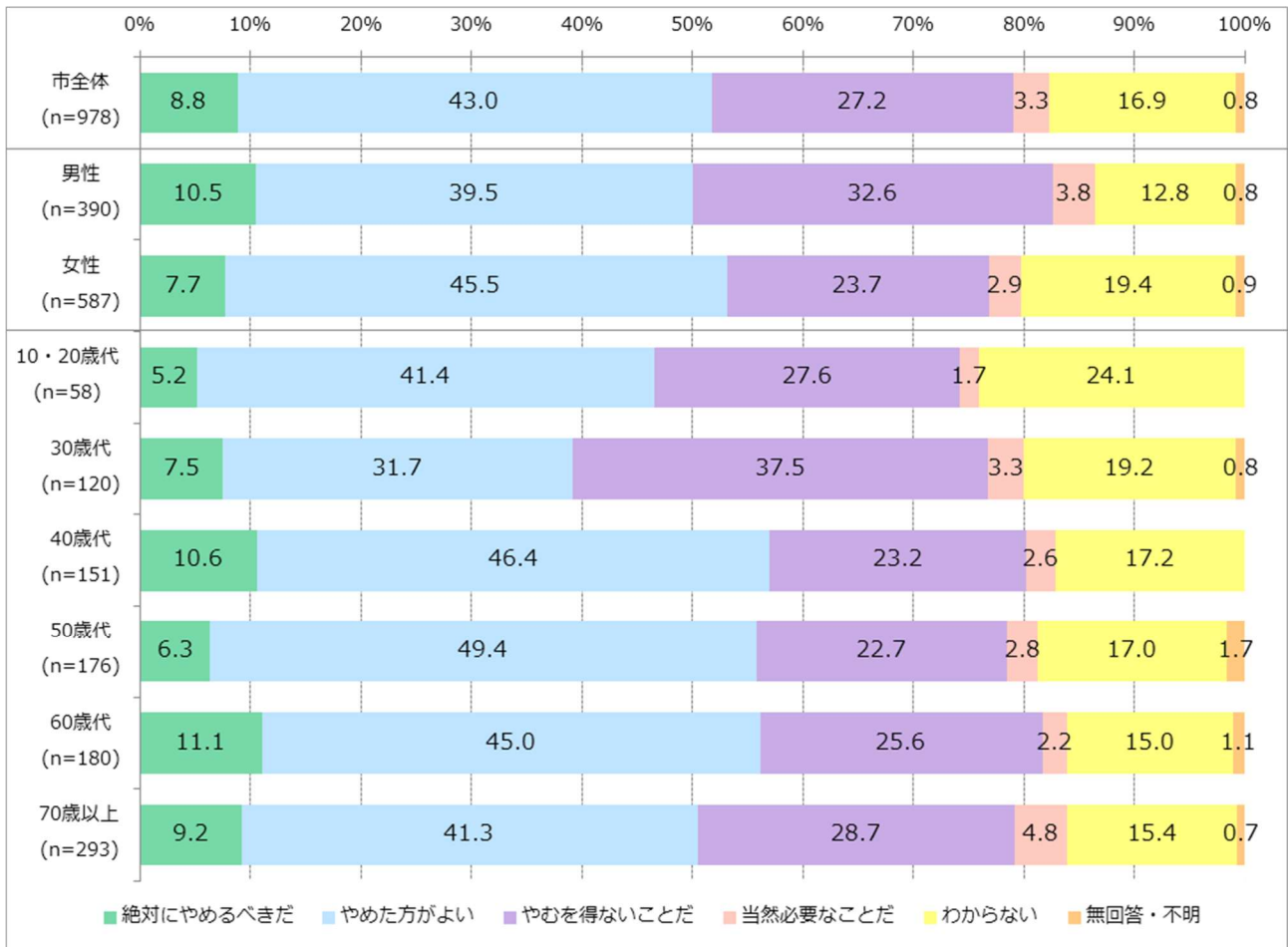
「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合は 48.8%となっており、前回調査(43.3%)より 5.5 ポイント増加しています。

性別では、男性は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 51.8%なのに対し、女性は 46.7%と 5.1 ポイント低くなっています。

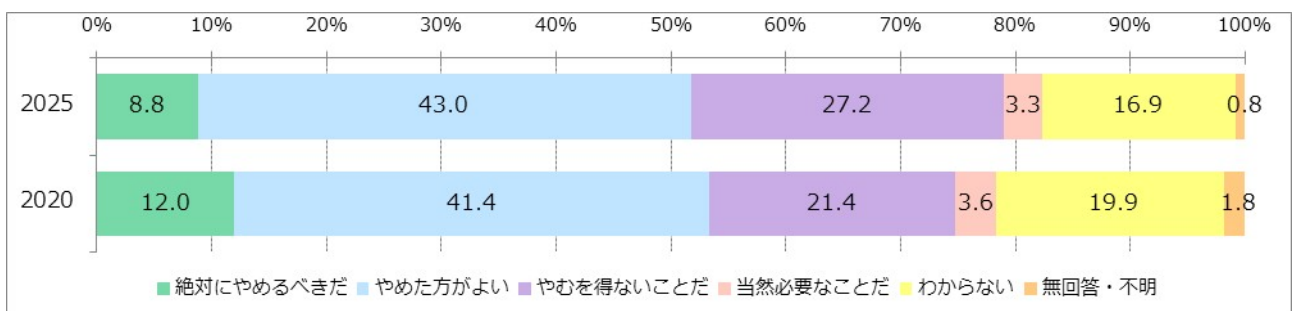
年代別では、10・20歳代は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた割合が 74.1%なのに対し、70歳以上は 39.6%と 34.5 ポイントの差があります。年齢層が低くなるほど、こだわらない割合は高くなります。

5 身元調査について

問11 あなたは、就職や結婚の時に、その相手方などの身元調査をすることについて、どう思いますか。(〇は1つだけ)



前回調査(2020)との比較

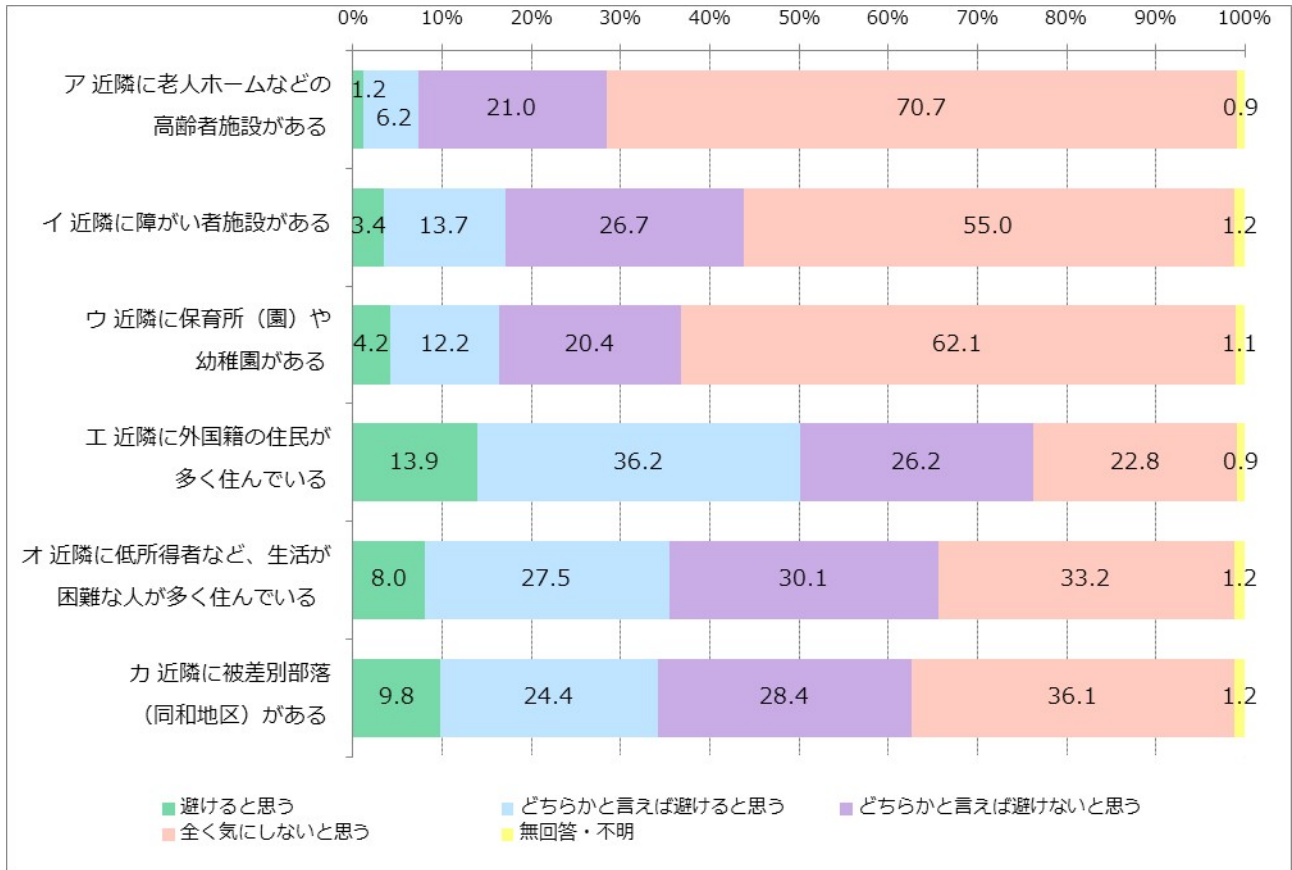


「絶対にやめるべきだ」「やめた方がよい」を合わせた割合が 51.8%となっており、前回調査(53.4%)より 1.6 ポイント減少しています。一方で、「やむを得ないことだ」「当然必要なことだ」を合わせた割合は 30.5%となっており、前回調査(25.0%)より 5.5 ポイント増加しています。

他の世代に比べると、30歳代は「やむを得ないことだ」、70歳以上は「当然必要なことだ」が多い傾向がうかがえます。

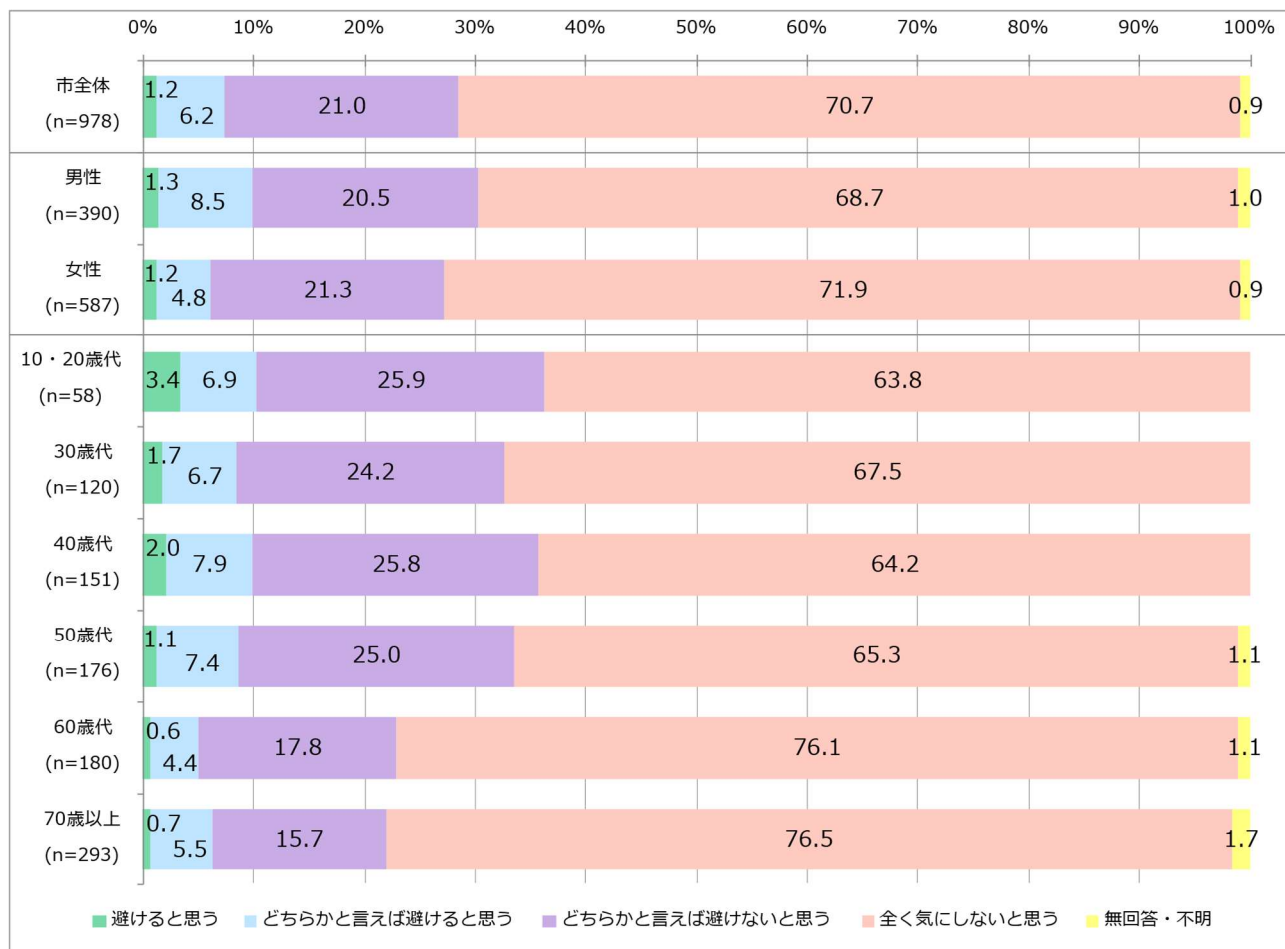
6 住居決定について

問12 あなたが、住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、価格や立地条件が希望にあっても、次のア～カの条件の場合、避けることがありますか。
(○はそれぞれ1つ)

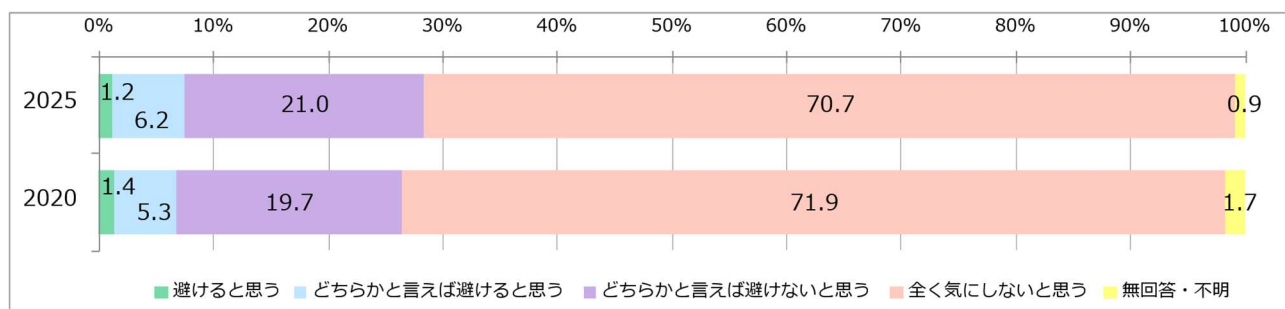


「避けると思う」「どちらかと言えば避けると思う」を合わせた割合の高い順に、「エ 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる(50.1%)→オ 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる(35.5%)→カ 近隣に被差別部落(同和地区)がある(34.2%)→イ 近隣に障がい者施設がある(17.1%)→ウ 近隣に保育所(園)や幼稚園がある(16.4%)→ア 近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある(7.4%)」となっています。

ア 近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある

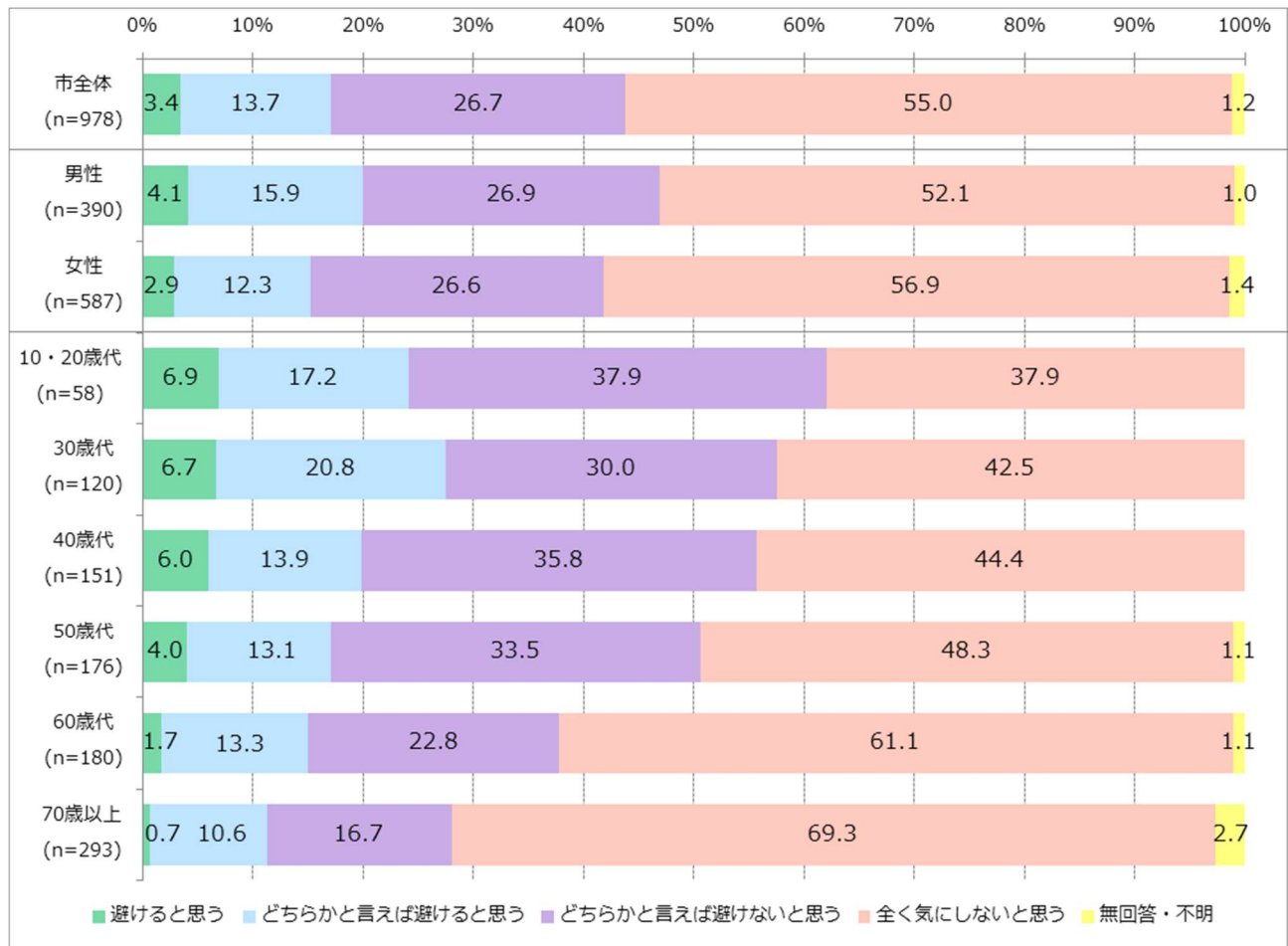


前回調査(2020)との比較

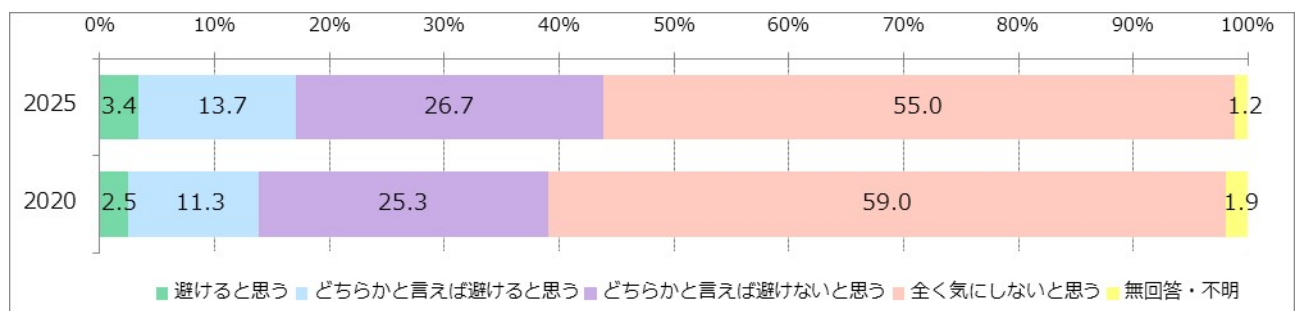


「全く気にしないと思う」は、前回調査より 1.2 ポイント減少していますが、「どちらかと言えば避けないと思う」を含める(91.7%)と前回調査(91.6%)より 0.1 ポイント増えています。前回調査から大きな変化がないことがうかがえます。

イ 近隣に障がい者施設がある

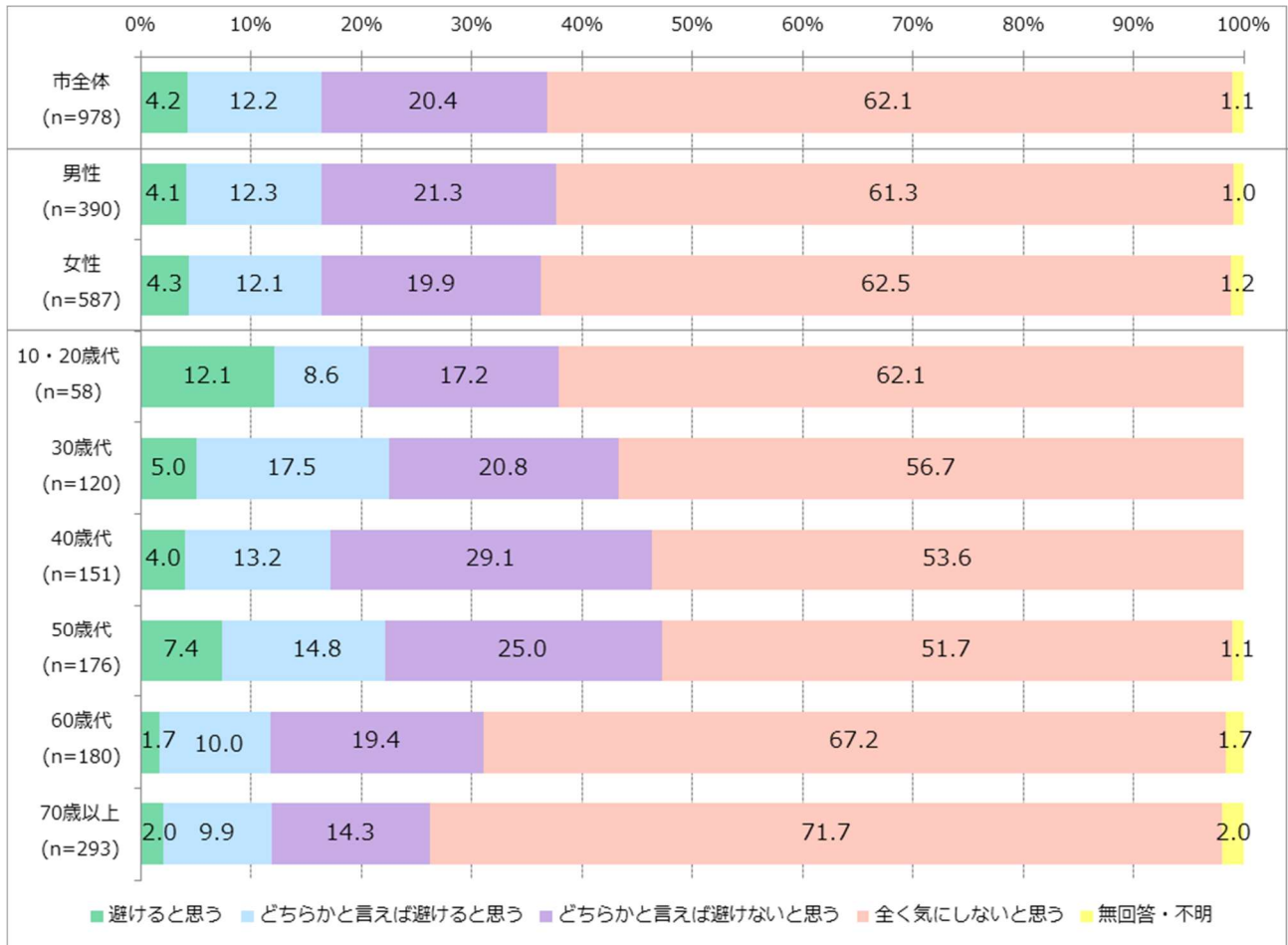


前回調査(2020)との比較

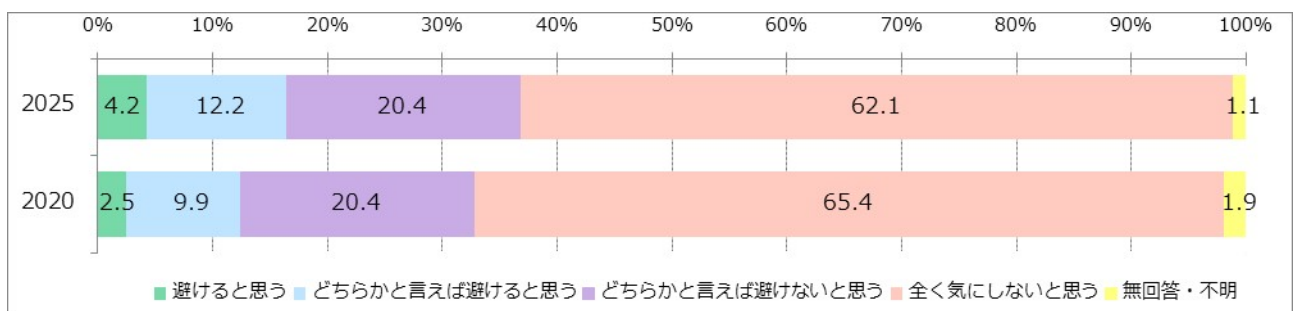


「全く気にしないと思う」は、前回調査より 4 ポイント減少しています。また、「どちらかと言えば避けないと思う」を含めて(81.7%)も、前回調査(84.3%)より 2.6 ポイント減少しています。

ウ 近隣に保育所(園)や幼稚園がある

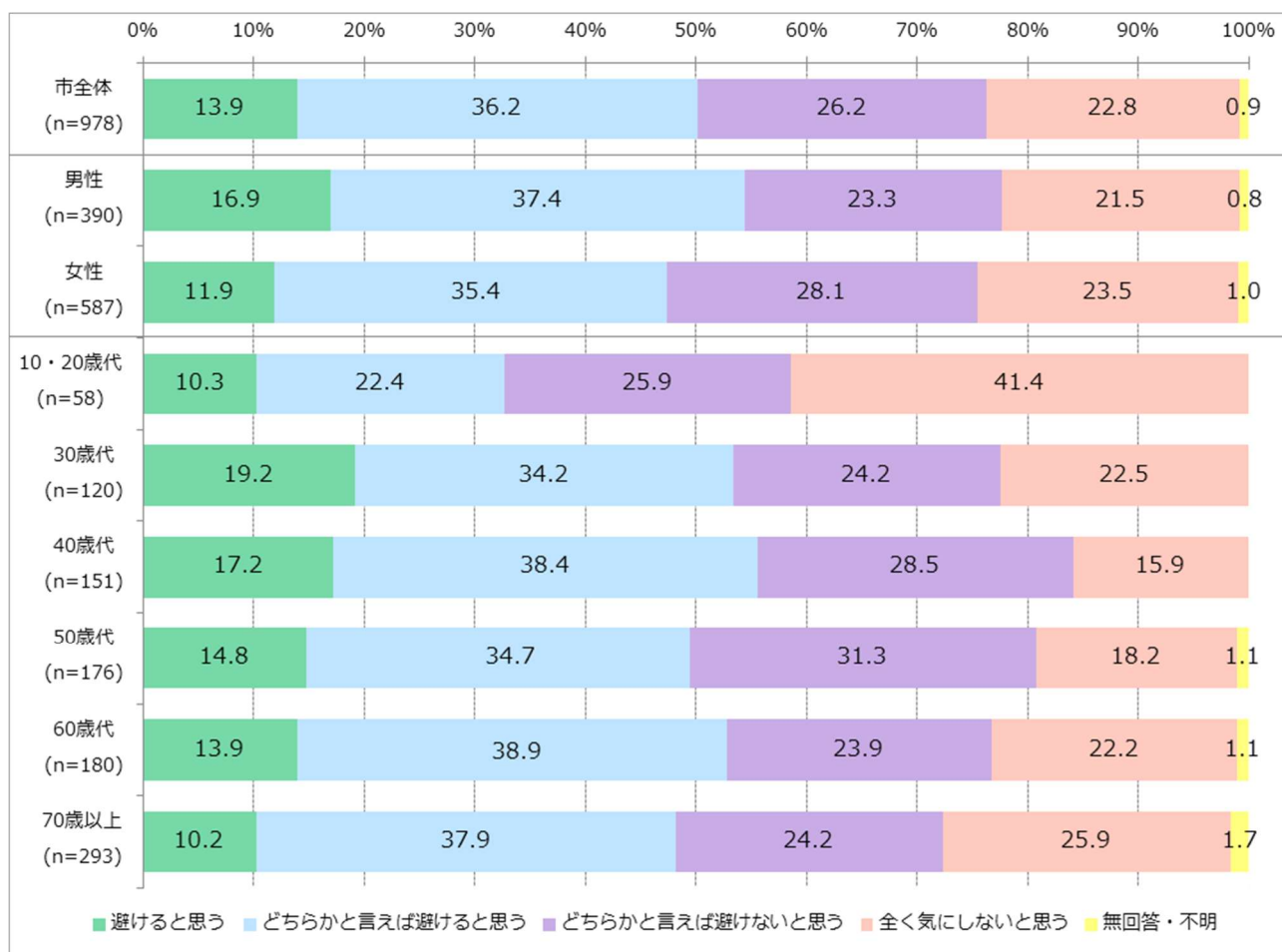


前回調査(2020)との比較

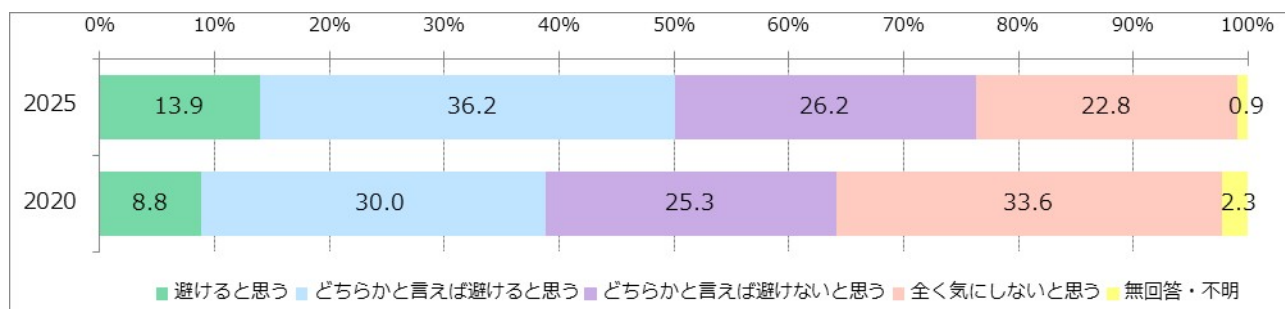


「全く気にしないと思う」は、前回調査より 3.3 ポイント減少しています。また、「避けると思う」「どちらかと言えば避けると思う」を合わせた割合は 16.4%となっており、前回調査(12.4%)より 4 ポイント増加しています。

エ 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる



前回調査(2020)との比較

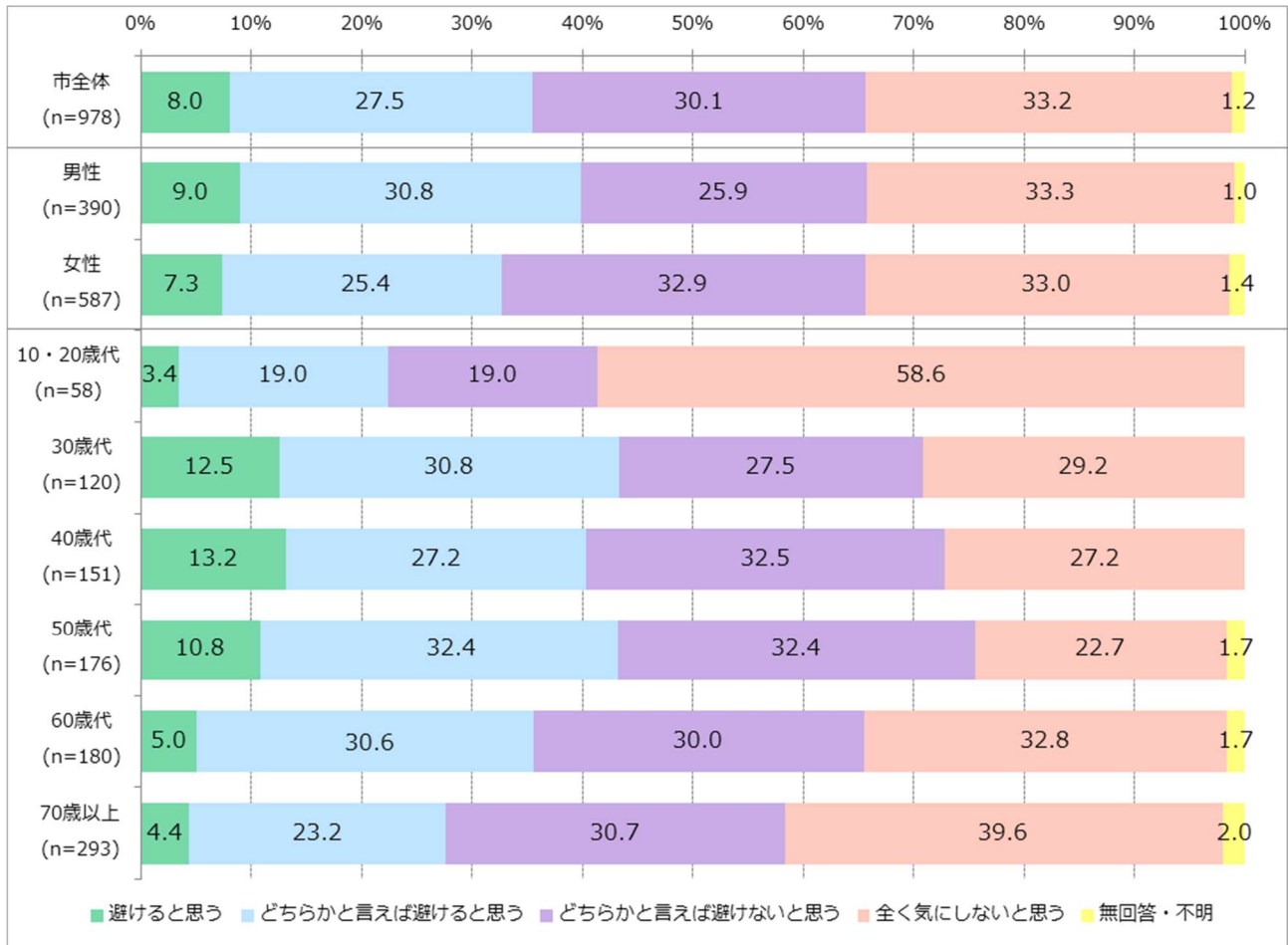


「全く気にしないと思う」は、前回調査より 10.8 ポイント減少しています。また、「どちらかと言えば避けないと思う」を含めて(49.0%)も前回調査(58.9%)より 9.9 ポイント減少しています。

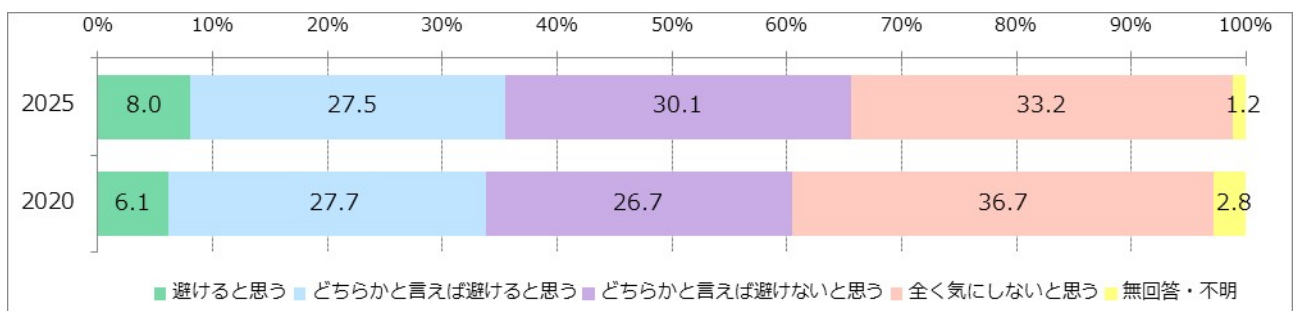
さらに、「避けると思う」「どちらかと言えば避けると思う」を合わせた割合は 50.1%となっており、前回調査(38.8%)より 11.3 ポイント増加しています。

年代別では、10・20歳代は「全く気にしないと思う」「どちらかと言えば避けないと思う」を合わせた割合が 67.3%なのに対し、40歳代では 44.4%と 22.9 ポイントの差があります。

オ 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる



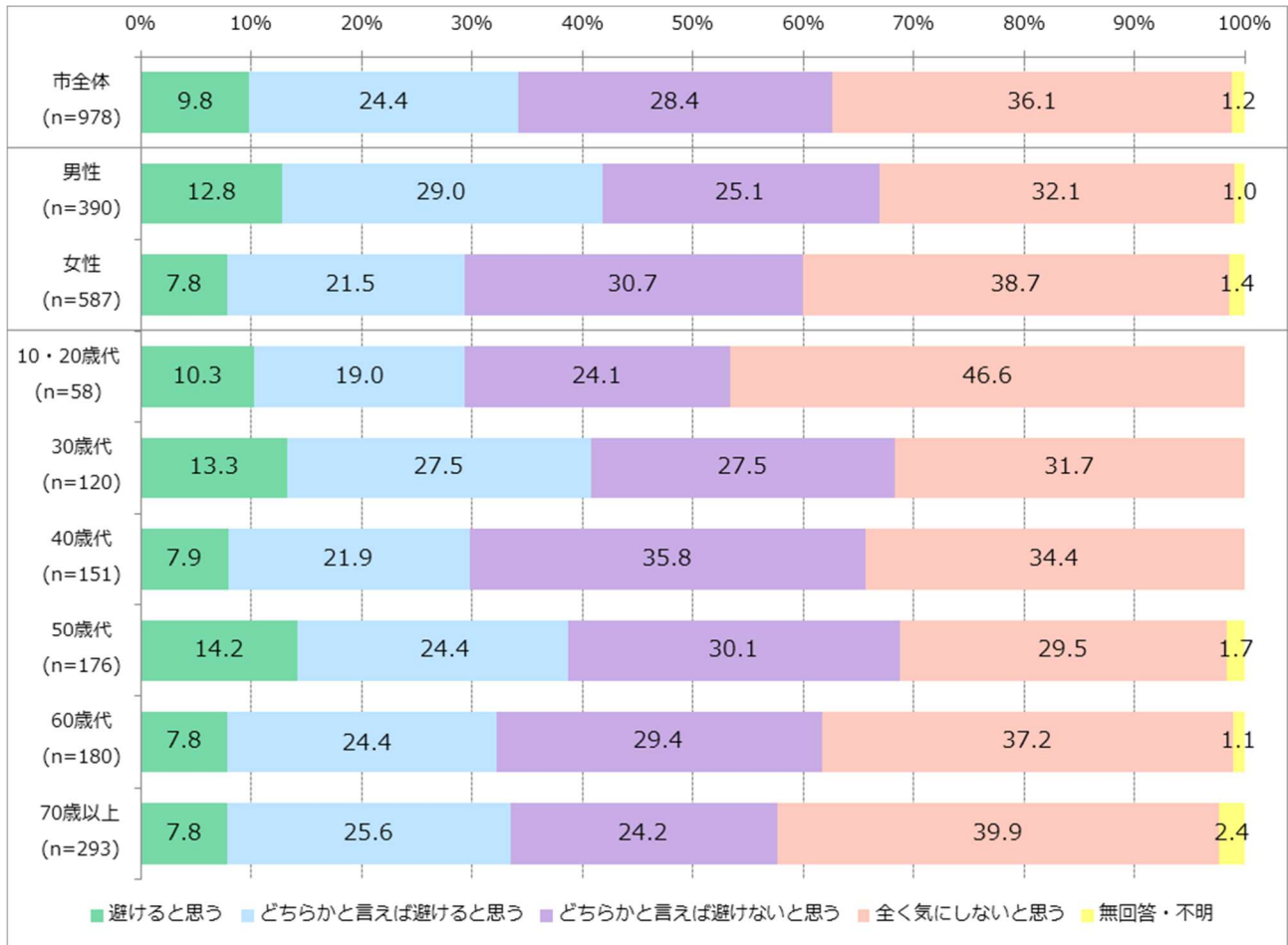
前回調査(2020)との比較



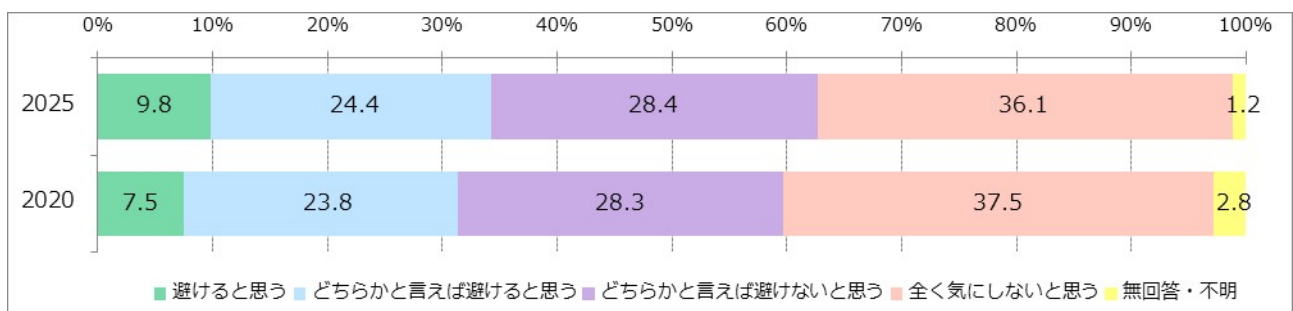
「全く気にしないと思う」は、前回調査より 3.5 ポイント減少していますが、「どちらかと言えば避けないと思う」を含める(63.3%)と前回調査(63.4%)より 0.1 ポイントの減少にとどまっています。

前回調査から大きな変化はないものの、「避けると思う」の割合が前回調査より 1.9 ポイント増加しています。

カ 近隣に被差別部落(同和地区)がある



前回調査(2020)との比較



「全く気にしないと思う」は、前回調査より 1.4 ポイント減少していますが、「どちらかと言えば避けないと思う」を含める(64.5%)と、前回調査(65.8%)より 1.3 ポイントの減少にとどまっています。

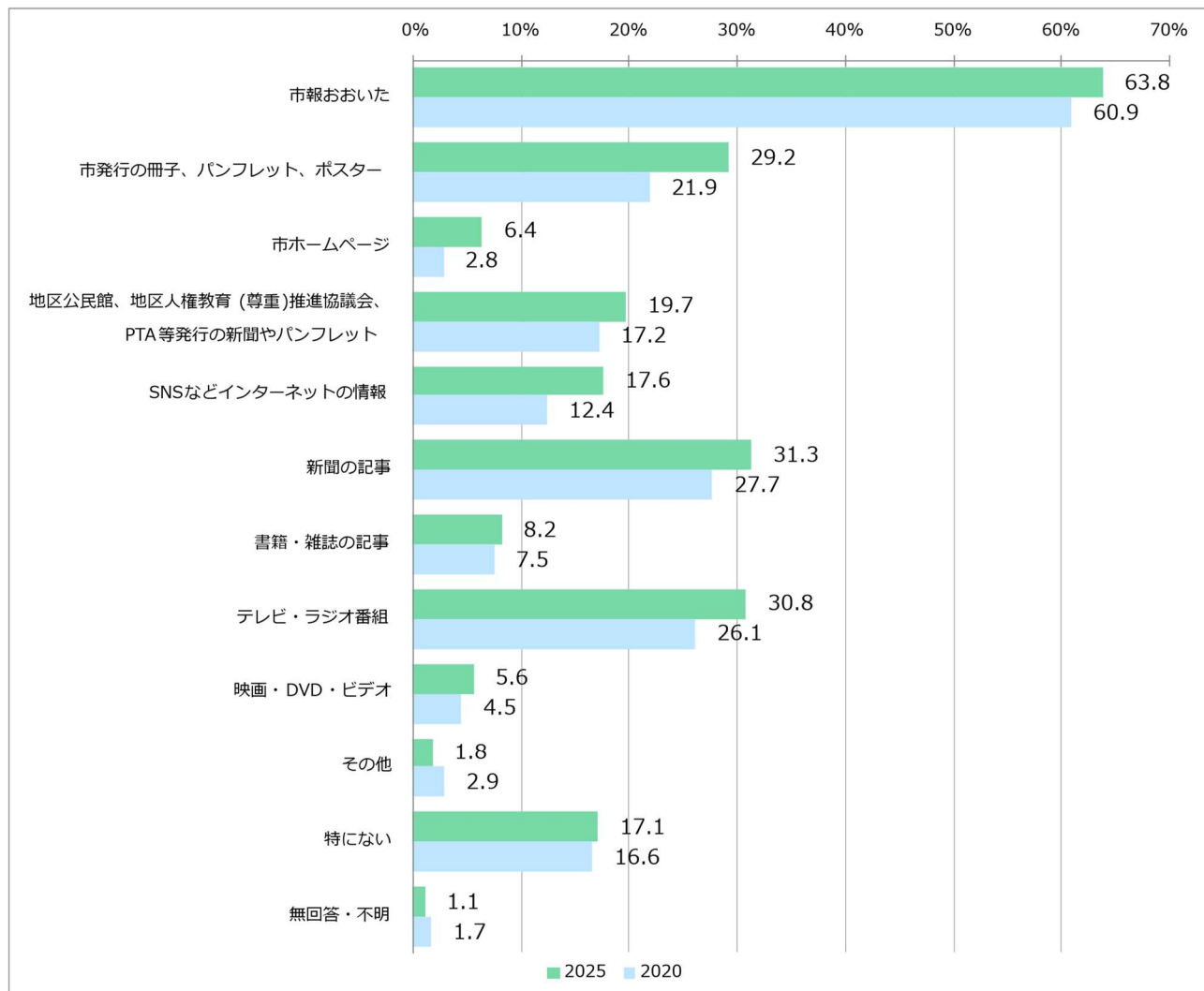
前回調査から大きな変化はないものの、「避けると思う」の割合が前回調査より 2.3 ポイント増加しています。

7 人権問題に関する学習経験

問13 人権問題に関する学習機会についてお答えください。

(1) 次のうち、過去5年間に人権問題について読んだり見たりしたものはありますか。

(○はいくつでも)



	回答数	市報おおい た	市発行の冊子、 パンフレット、 ポスター	市ホームペ ージ	地区公民館、地区人権教 育(尊重)推進協議会、 P T A等発行の新聞や パンフレット	S N Sなど インターネッ トの 情報	新聞の記 事	書籍・雑誌の記 事	テレビ・ ラジオ番 組	映画・D V D・ ビデオ	その他	特 に な い	無 回 答 ・ 不 明	
市全体	978	63.8%	29.2%	6.4%	19.7%	17.6%	31.3%	8.2%	30.8%	5.6%	1.8%	17.1%	1.1%	
性別	男性	390	59.7%	27.7%	7.9%	15.6%	18.5%	33.3%	8.7%	30.8%	3.6%	1.3%	20.8%	1.3%
	女性	587	66.6%	30.3%	5.5%	22.5%	16.9%	29.8%	7.8%	30.8%	7.0%	2.2%	14.7%	1.0%
年代別	10・20歳代	58	32.8%	12.1%	8.6%	8.6%	44.8%	10.3%	1.7%	19.0%	6.9%	8.6%	17.2%	-
	30歳代	120	40.8%	13.3%	5.8%	10.8%	32.5%	15.0%	4.2%	23.3%	7.5%	-	25.0%	0.8%
	40歳代	151	56.3%	23.8%	4.0%	25.8%	19.2%	17.2%	9.3%	23.2%	7.3%	1.3%	23.8%	-
	50歳代	176	69.9%	27.3%	8.0%	19.9%	19.3%	29.5%	5.1%	29.0%	5.1%	2.8%	17.0%	1.1%
	60歳代	180	73.9%	32.2%	8.3%	18.3%	15.6%	37.2%	9.4%	33.3%	7.2%	2.8%	10.6%	1.7%
	70歳以上	293	73.4%	41.3%	5.5%	23.2%	5.5%	46.8%	11.6%	39.6%	3.1%	0.3%	14.3%	1.7%

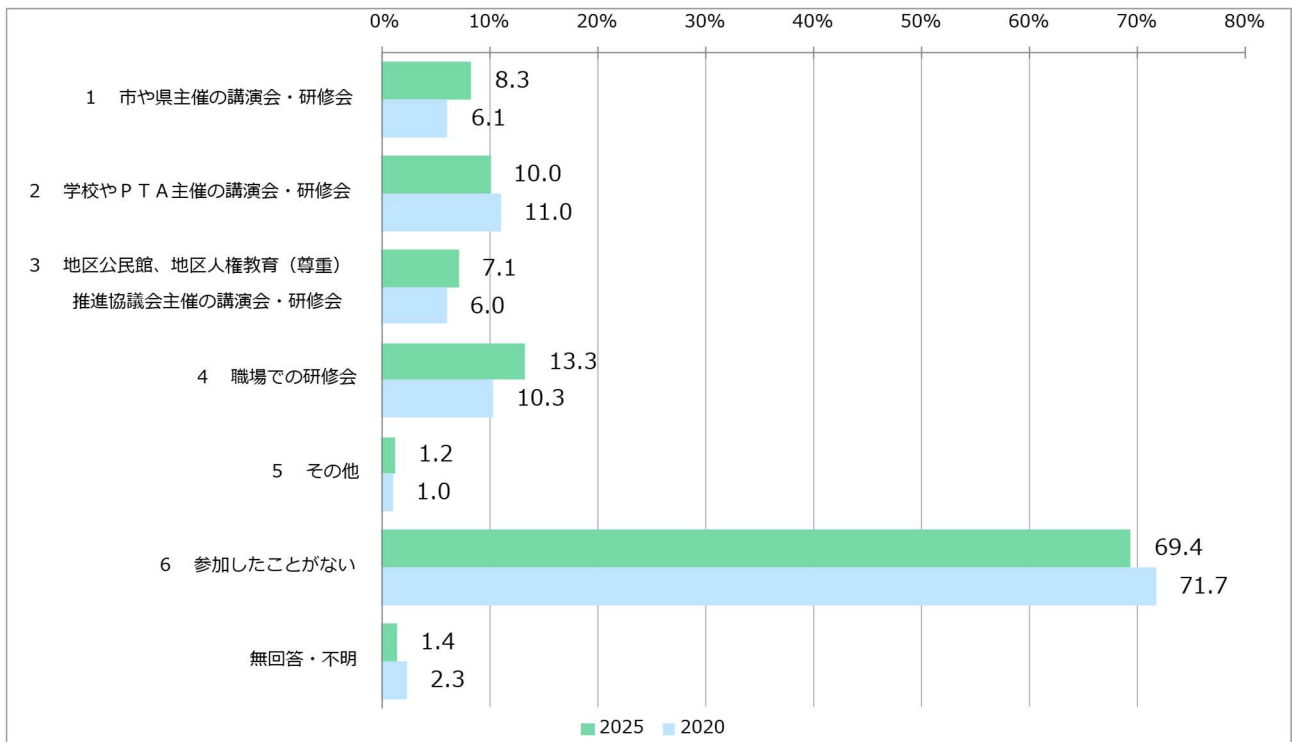
「市報おおい」が63.8%と最も高く、次いで「新聞の記事」が31.3%となっています。
年代別では、「市報おおい」「市発行の冊子、パンフレット、ポスター」「新聞の記事」「テレビ・ラジオ番組」は回答者の年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。「SNSなどインターネットの情報」は若年層の割合が高くなっています。

	回答数	市報おおい た	市発行の冊子、 パンフレット、 ポスター	市ホームペ ージ	地区公民館、地区人権教 育(尊重)推進協議会、 P T A等発行の新聞や パンフレット	S N Sなど インターネッ トの 情報	新聞の記 事	書籍・雑誌の記 事	テレビ・ ラジオ番 組	映画・D V D・ ビデオ	その他	特 に な い	無 回 答 ・ 不 明	
市全体	973	63.7%	29.2%	6.4%	19.7%	17.7%	31.1%	8.2%	30.7%	5.7%	1.8%	17.2%	1.1%	
職業別	自営業(農林漁業・サービス業等)	69	60.9%	26.1%	2.9%	27.5%	20.3%	29.0%	13.0%	30.4%	8.7%	-	13.0%	1.4%
	民間の企業や団体の経営者・管理者	36	75.0%	33.3%	13.9%	19.4%	16.7%	47.2%	13.9%	33.3%	5.6%	5.6%	19.4%	-
	民間の企業や団体の正社員・正規職員	248	48.4%	18.1%	6.9%	12.5%	22.6%	20.2%	6.0%	24.2%	3.2%	1.6%	27.4%	1.2%
	公務員・教職員	65	75.4%	38.5%	12.3%	29.2%	40.0%	44.6%	7.7%	26.2%	15.4%	3.1%	7.7%	-
	家事専業	120	72.5%	35.0%	5.0%	22.5%	8.3%	35.8%	8.3%	30.8%	5.0%	0.8%	17.5%	1.7%
	パート・派遣・契約社員等の非正規雇用	179	69.3%	33.0%	4.5%	21.8%	15.6%	23.5%	5.6%	29.6%	7.3%	2.2%	15.1%	0.6%
	無職	222	69.8%	34.2%	5.0%	20.3%	7.2%	41.9%	10.8%	40.1%	2.7%	0.5%	12.6%	1.8%
	学生	23	43.5%	17.4%	13.0%	17.4%	56.5%	13.0%	-	17.4%	13.0%	17.4%	4.3%	-
その他	11	54.5%	27.3%	18.2%	9.1%	27.3%	54.5%	18.2%	54.5%	9.1%	-	9.1%	-	

職業別では、全職業で「市報おおい」の割合が高いですが、「学生」は「SNSなどインターネットの情報」の割合が高くなっています。

問13 人権問題に関する学習機会についてお答えください。

(2) あなたは、過去5年間に人権問題に関する以下の講演会や研修会に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)



		回答数	市や県主催の講演会・研修会	P T A 学校や主催の講演会・研修会	地区公民館、地区人権教育(尊重)推進協議会主催の講演会・研修会	職場での研修会	その他	参加したことがない	無回答・不明
市全体		978	8.3%	10.0%	7.1%	13.3%	1.2%	69.4%	1.4%
性別	男性	390	8.7%	6.4%	6.2%	16.9%	1.3%	69.0%	1.8%
	女性	587	8.0%	12.3%	7.7%	10.9%	1.2%	69.8%	1.2%
年代別	10・20歳代	58	6.9%	29.3%	3.4%	19.0%	3.4%	46.6%	-
	30歳代	120	9.2%	7.5%	1.7%	22.5%	0.8%	69.2%	0.8%
	40歳代	151	10.6%	25.2%	4.6%	15.2%	1.3%	58.9%	-
	50歳代	176	6.8%	11.9%	6.8%	16.5%	1.7%	68.2%	1.1%
	60歳代	180	10.6%	5.0%	7.8%	19.4%	0.6%	70.0%	1.7%
	70歳以上	293	6.5%	1.4%	10.9%	1.7%	1.0%	79.9%	2.7%

「参加したことがない」「無回答・不明」を合わせた割合は 70.8%となっており、このことから「参加したことがある」は 29.2%と3割弱となっています。

年代別では、「10・20歳代」「40歳代」は「学校や P T A 主催の講演会・研修会」、「30歳代」「50歳代」「60歳代」は「職場での研修会」、「70歳以上」は「地区公民館、地区人権教育(尊重)推進協議会主催の講演会・研修会」が最も高くなっています。

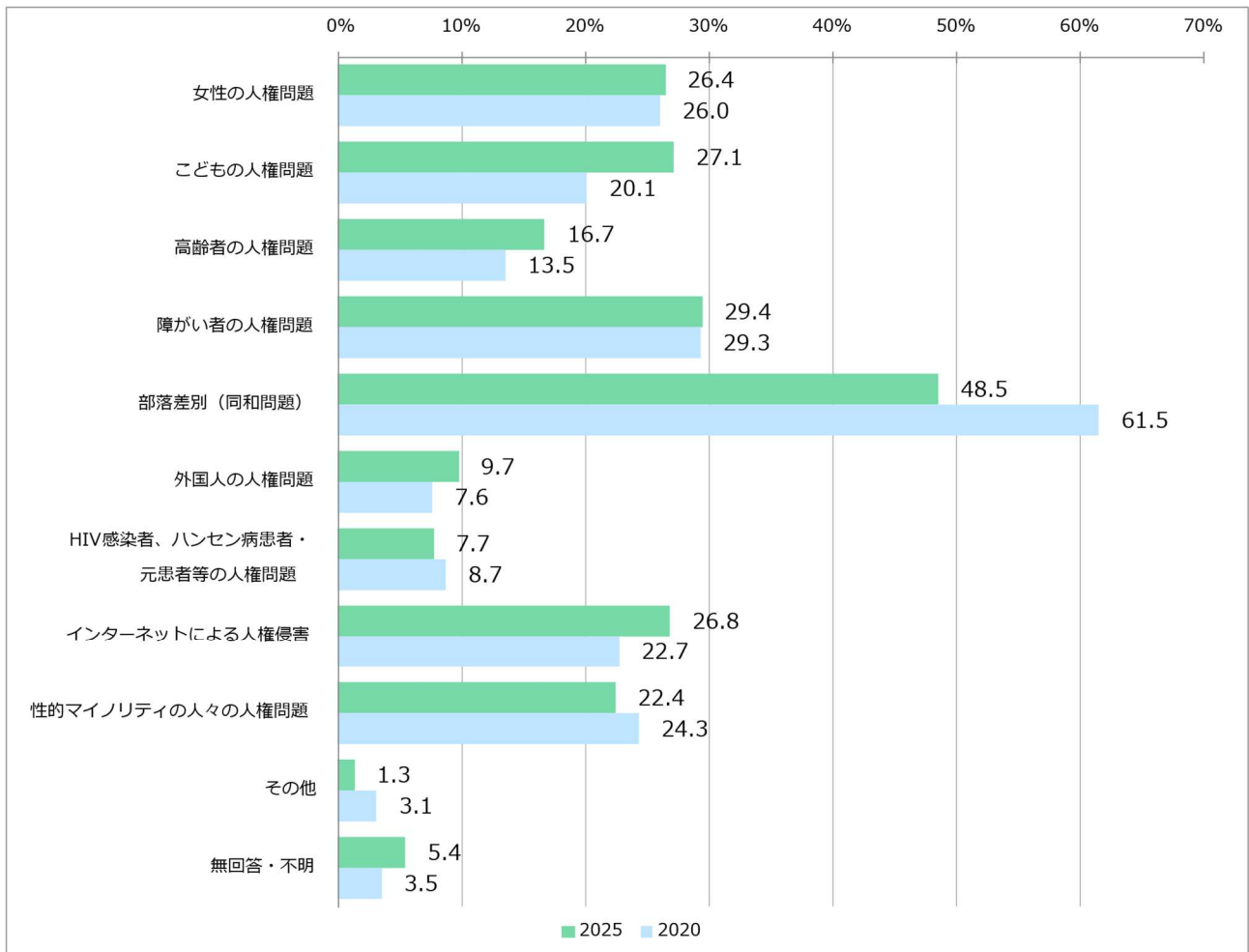
	回答数	市や県主催の講演会・研修会	PTA 学校や講演会・研修会	地区公民館、地区人権教育（尊重）推進協議会主催の講演会・研修会	職場での研修会	その他	参加したことがない	無回答・不明	
市全体	973	8.3%	10.1%	7.1%	13.4%	1.2%	69.4%	1.3%	
職業別	自営業（農林漁業・サービス業等）	69	7.2%	8.7%	10.1%	2.9%	2.9%	78.3%	1.4%
	民間の企業や団体の経営者・管理者	36	16.7%	8.3%	5.6%	25.0%	5.6%	63.9%	-
	民間の企業や団体の正社員・正規職員	248	5.6%	10.5%	4.4%	17.7%	0.4%	68.1%	1.2%
	公務員・教職員	65	29.2%	21.5%	10.8%	70.8%	-	23.1%	-
	家事専業	120	4.2%	6.7%	11.7%	0.8%	1.7%	77.5%	2.5%
	パート・派遣・契約社員等の非正規雇用	179	6.1%	11.2%	3.4%	8.9%	0.6%	75.4%	0.6%
	無職	222	8.1%	2.3%	9.0%	5.0%	0.9%	77.5%	2.3%
	学生	23	4.3%	69.6%	4.3%	4.3%	4.3%	26.1%	-
	その他	11	18.2%	-	9.1%	-	9.1%	72.7%	-

職業別では、「公務員・教職員」は「職場での研修会」が7割を超えています。「民間の企業や団体の経営者・管理者」や「民間の企業や団体の正社員・正規職員」も「職場での研修会」が最も高くなっています。また、学生は「学校やPTA主催の講演会・研修会」が7割弱となっています。

問13 人権問題に関する学習機会についてお答えください。

(3) (2) で1～5に○をつけられた方（参加したことがある方）にお聞きします。

参加した講演会や研修会の人権課題は何でしたか（○はいくつでも）



	回答数	女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がい者の人権問題	(部落差別(同和問題))	外国人の人権問題	元患者等の人権問題 H I V感染者、 ハンセン病患者・	インターネットによる 人権侵害	性的マイノリティの 人々の人権問題	その他	無回答・不明	
該当者	299	26.4%	27.1%	16.7%	29.4%	48.5%	9.7%	7.7%	26.8%	22.4%	1.3%	5.4%	
性別	男性	121	27.3%	21.5%	15.7%	28.9%	45.5%	8.3%	8.3%	25.6%	21.5%	3.3%	6.6%
	女性	177	26.0%	30.5%	17.5%	29.4%	50.8%	10.7%	7.3%	27.7%	23.2%	-	4.5%
年代別	10・20歳代	31	32.3%	22.6%	16.1%	45.2%	58.1%	12.9%	3.2%	19.4%	22.6%	-	-
	30歳代	37	21.6%	35.1%	8.1%	21.6%	45.9%	8.1%	10.8%	18.9%	29.7%	2.7%	2.7%
	40歳代	62	21.0%	35.5%	14.5%	30.6%	43.5%	6.5%	6.5%	29.0%	14.5%	-	-
	50歳代	56	32.1%	30.4%	8.9%	25.0%	57.1%	10.7%	8.9%	35.7%	32.1%	1.8%	3.6%
	60歳代	54	24.1%	20.4%	22.2%	35.2%	51.9%	14.8%	11.1%	38.9%	25.9%	3.7%	5.6%
	70歳以上	59	28.8%	18.6%	27.1%	23.7%	39.0%	6.8%	5.1%	13.6%	13.6%	-	16.9%

「部落差別(同和問題)」が 48.5%と最も高く、次いで「障がい者の人権問題」が 29.4%となっています。

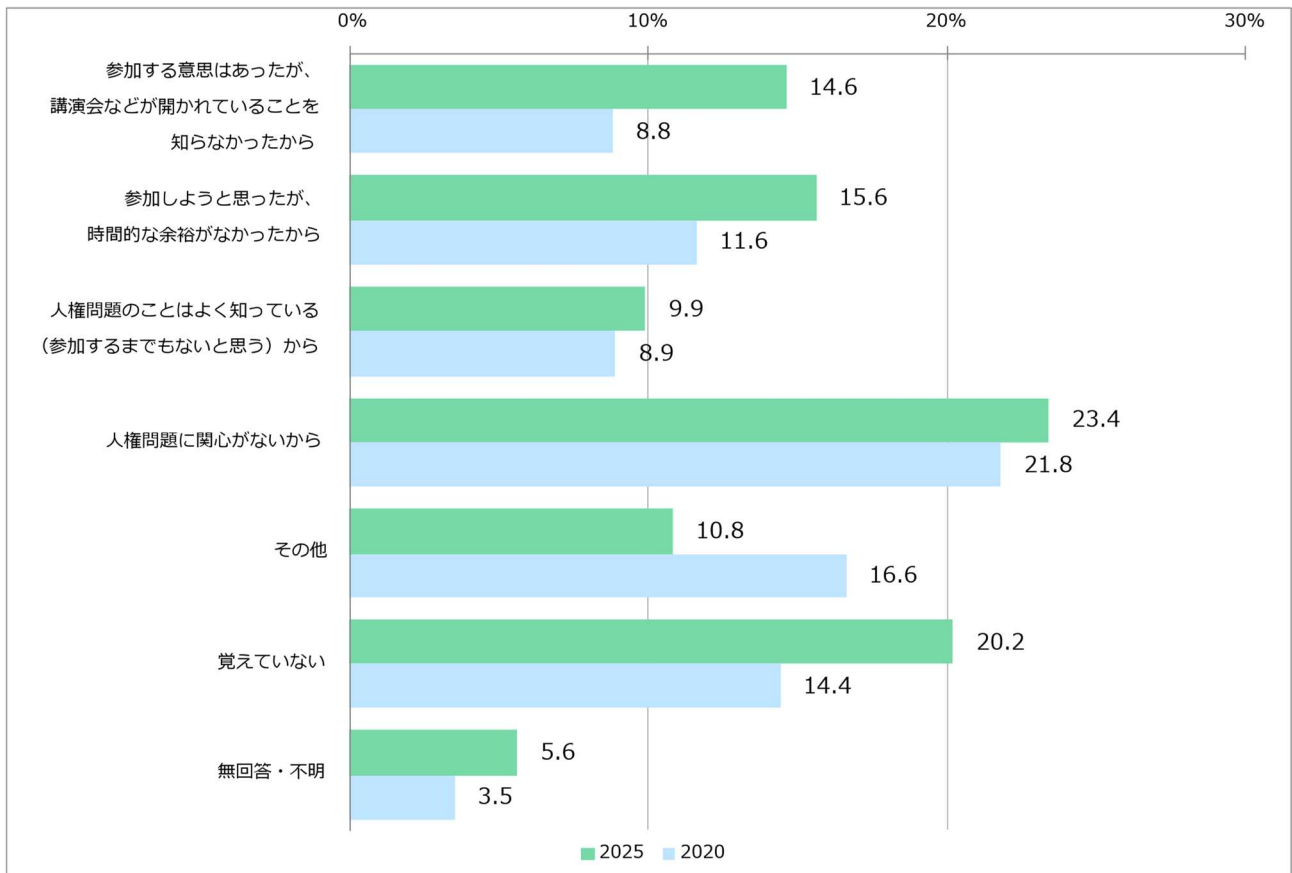
また、「こどもの人権問題」「インターネットによる人権侵害」が前回調査より大きく増えており、近年関心の高い人権課題であることがうかがえます。

	回答数	女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がい者の人権問題	(部落差別(同和問題))	外国人の人権問題	元患者等の人権問題 H I V感染者、 ハンセン病患者・	インターネットによる 人権侵害	性的マイノリティの 人々の人権問題	その他	無回答・不明	
市全体	298	26.5%	27.2%	16.8%	29.5%	48.7%	9.7%	7.7%	26.8%	22.5%	1.3%	5.0%	
職業別	自営業(農林漁業・サービス業等)	15	20.0%	33.3%	6.7%	33.3%	40.0%	6.7%	26.7%	20.0%	40.0%	-	6.7%
	民間の企業や団体の経営者・管理者	13	61.5%	23.1%	15.4%	23.1%	53.8%	15.4%	23.1%	30.8%	46.2%	-	-
	民間の企業や団体の正社員・正規職員	79	26.6%	20.3%	15.2%	30.4%	38.0%	6.3%	2.5%	29.1%	19.0%	2.5%	3.8%
	公務員・教職員	50	18.0%	34.0%	10.0%	26.0%	74.0%	12.0%	14.0%	32.0%	36.0%	2.0%	-
	家事専業	27	22.2%	18.5%	25.9%	29.6%	29.6%	7.4%	3.7%	7.4%	14.8%	-	11.1%
	パート・派遣・契約社員等の非正規雇用	44	25.0%	34.1%	15.9%	27.3%	54.5%	15.9%	9.1%	40.9%	18.2%	-	2.3%
	無職	50	28.0%	24.0%	24.0%	24.0%	48.0%	8.0%	-	22.0%	12.0%	2.0%	14.0%
	学生	17	35.3%	41.2%	17.6%	52.9%	47.1%	11.8%	5.9%	17.6%	23.5%	-	-
	その他	3	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	-	33.3%	-	-	-	-

職業別では、「民間の企業や団体の経営者・管理者」は「女性の人権問題」が最も高くなっています。

問13 人権問題に関する学習機会についてお答えください。

(4) (2) で6に○をつけられた方(参加したことがない方)にお聞きします。
その理由をあげてください。(○は1つだけ)



		回答数	あつたが、講演会などが開かれていたことを知らなかったから	参加しようと思ったが、時間的な余裕がなかったから	(参加するまでもないと思う)から	人権問題のことはよく知っている(参加するまでもない)	関心がないから	その他	覚えていない	無回答・不明
該当者		679	14.6%	15.6%	9.9%	23.4%	10.8%	20.2%	5.6%	
性別	男性	269	12.3%	15.2%	11.9%	27.1%	9.7%	20.8%	3.0%	
	女性	410	16.1%	15.9%	8.5%	21.0%	11.5%	19.8%	7.3%	
年代別	10・20歳代	27	14.8%	22.2%	-	11.1%	7.4%	40.7%	3.7%	
	30歳代	83	16.9%	12.0%	3.6%	26.5%	8.4%	30.1%	2.4%	
	40歳代	89	5.6%	18.0%	4.5%	24.7%	19.1%	23.6%	4.5%	
	50歳代	120	10.8%	19.2%	5.0%	24.2%	11.7%	26.7%	2.5%	
	60歳代	126	15.1%	10.3%	11.9%	30.2%	15.1%	12.7%	4.8%	
	70歳以上	234	18.8%	16.2%	16.7%	19.2%	6.0%	13.7%	9.4%	

「人権問題に関心がないから」が23.4%と最も高く、次いで「覚えていない」が20.2%となっています。また、「参加する意思はあつたが、講演会などが開かれていることを知らなかったから」が前回調査より5.8ポイント増えています。

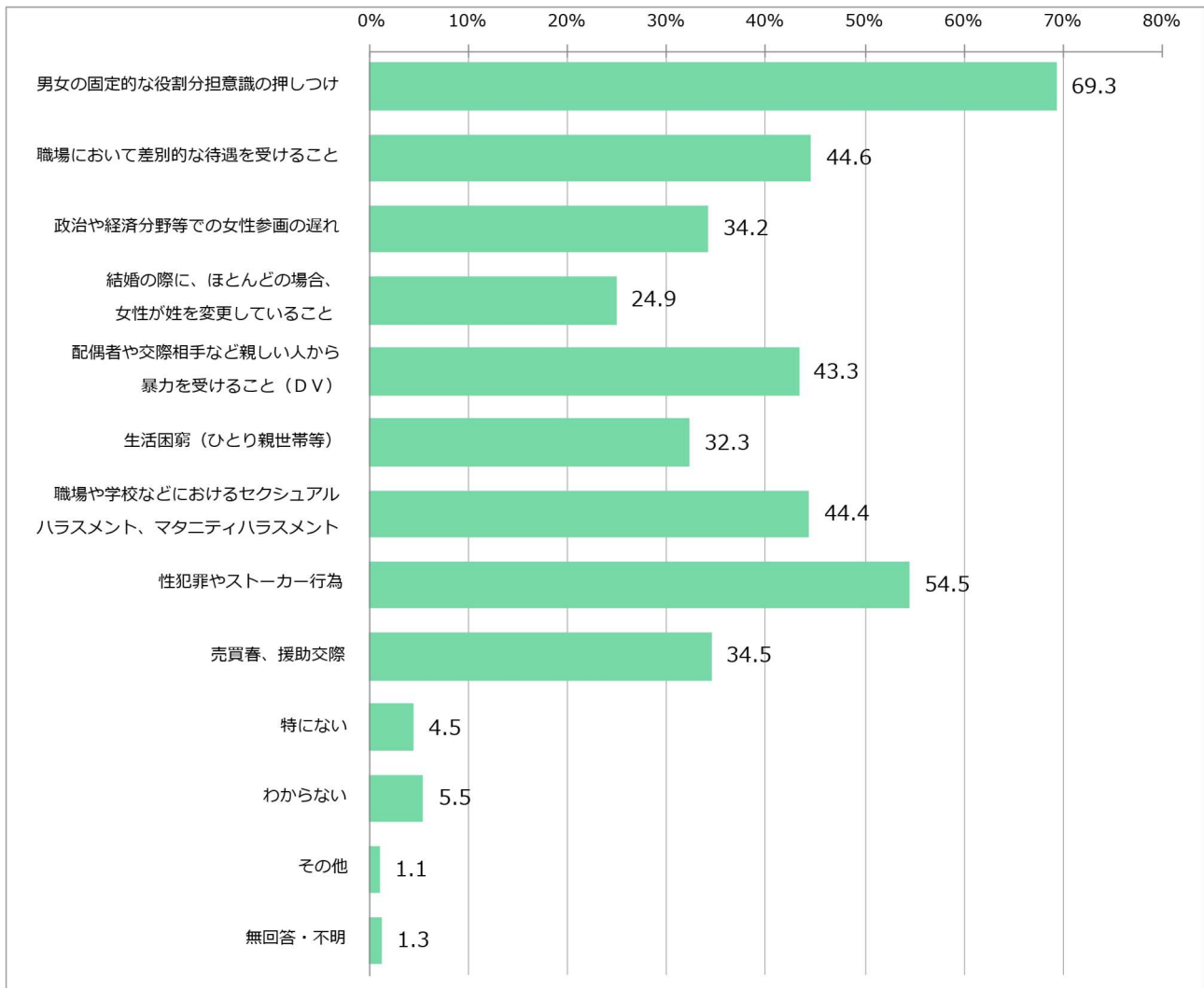
		回答数	あつたが、講演会などが開かれていたことを知らなかったから	参加しようと思ったが、時間的な余裕がなかったから	(参加するまでもないと思う)から	人権問題のことはよく知っている(参加するまでもない)	関心がないから	その他	覚えていない	無回答・不明
市全体		675	14.5%	15.6%	9.8%	23.6%	10.7%	20.3%	5.6%	
職業別	自営業（農林漁業・サービス業等）	54	9.3%	14.8%	14.8%	18.5%	13.0%	24.1%	5.6%	
	民間の企業や団体の経営者・管理者	23	8.7%	8.7%	17.4%	39.1%	17.4%	8.7%	-	
	民間の企業や団体の正社員・正規職員	169	10.1%	19.5%	1.8%	23.1%	11.2%	28.4%	5.9%	
	公務員・教職員	15	20.0%	20.0%	-	33.3%	13.3%	6.7%	6.7%	
	家事専業	93	12.9%	14.0%	17.2%	20.4%	10.8%	17.2%	7.5%	
	パート・派遣・契約社員等の非正規雇用	135	18.5%	15.6%	11.1%	23.7%	11.9%	18.5%	0.7%	
	無職	172	18.0%	13.4%	11.6%	23.8%	7.6%	16.9%	8.7%	
	学生	6	16.7%	16.7%	-	33.3%	-	16.7%	16.7%	
	その他	8	25.0%	12.5%	-	25.0%	12.5%	25.0%	-	

第4節 個別の人権問題について

1 女性の人権問題

問14 女性をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、女性に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



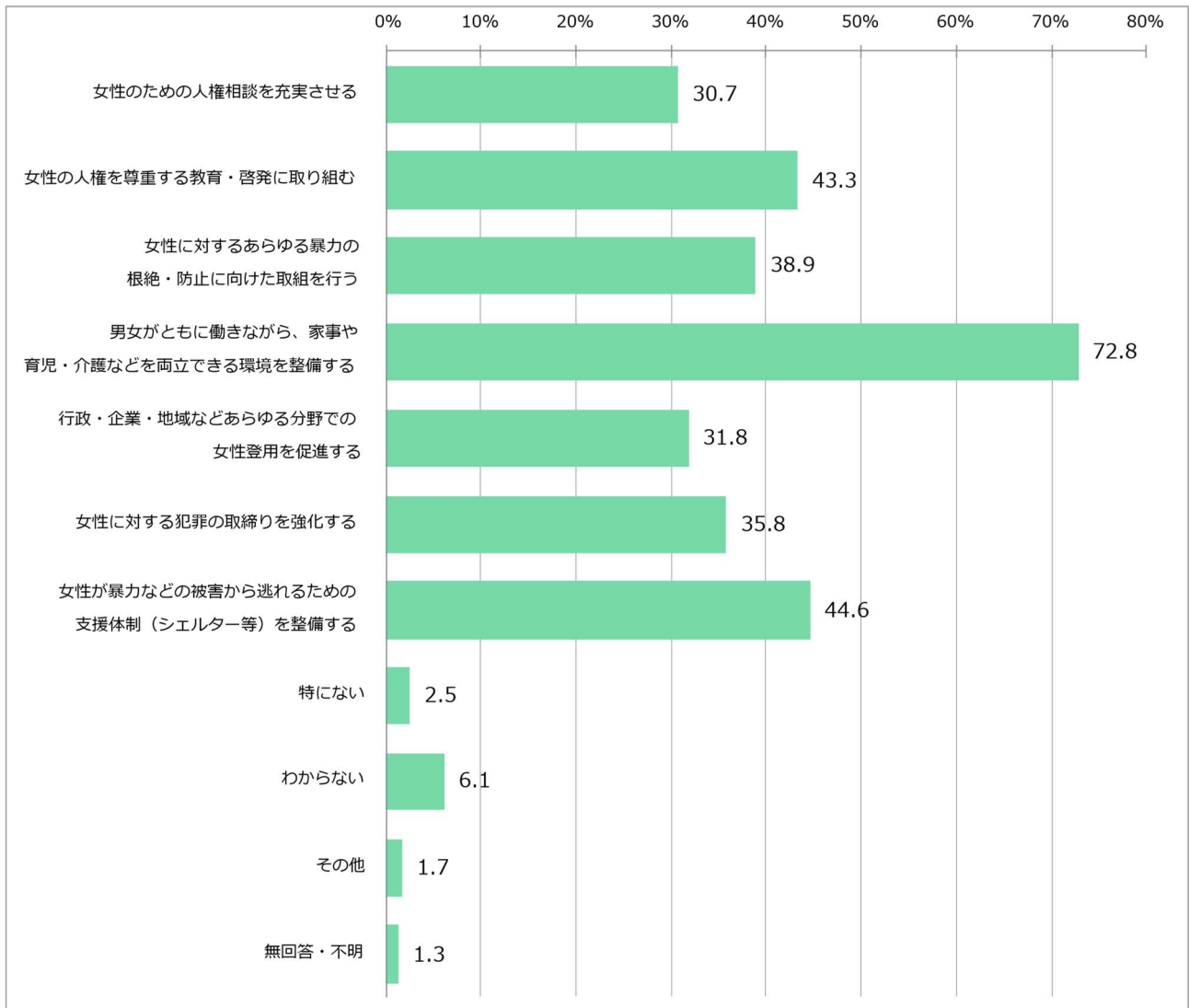
	回答数	男女の固定的な役割分担意識の押しつけ	職場において差別的な待遇を受けること	政治や経済分野等での女性参画の遅れ	結婚の際に、ほとんどの場合、女性が性を変更していること	配偶者や交際相手など親しい人から暴力を受けること（DV）	（ひとり親世帯等）生活困窮	職場や学校などにおけるセクシュアルハラスメント	性犯罪やストーカー行為	売買春、援助交際	特にない	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	69.3%	44.6%	34.2%	24.9%	43.3%	32.3%	44.4%	54.5%	34.5%	4.5%	5.5%	1.1%	1.3%	
性別	男性	390	60.8%	38.5%	29.7%	19.2%	40.3%	28.7%	39.5%	53.1%	33.6%	4.9%	7.4%	1.5%	1.3%
	女性	587	75.0%	48.6%	37.0%	28.6%	45.1%	34.6%	47.5%	55.4%	34.9%	4.3%	4.3%	0.9%	1.4%
年代別	10・20歳代	58	74.1%	60.3%	34.5%	29.3%	48.3%	29.3%	46.6%	65.5%	41.4%	-	8.6%	1.7%	1.7%
	30歳代	120	73.3%	47.5%	29.2%	30.0%	44.2%	31.7%	53.3%	59.2%	34.2%	3.3%	3.3%	0.8%	-
	40歳代	151	76.8%	53.6%	38.4%	31.8%	45.0%	43.0%	55.6%	56.3%	34.4%	2.0%	2.6%	2.0%	-
	50歳代	176	72.7%	47.2%	34.7%	31.3%	48.9%	35.8%	46.6%	60.8%	34.7%	4.0%	4.5%	1.1%	0.6%
	60歳代	180	72.8%	40.0%	32.8%	23.9%	45.0%	33.3%	44.4%	56.7%	34.4%	4.4%	3.3%	1.1%	1.7%
	70歳以上	293	58.7%	36.9%	34.5%	15.4%	36.5%	24.9%	33.1%	44.4%	33.1%	7.5%	9.2%	0.7%	2.7%

※この設問は前回調査にはありません

「男女の固定的な役割分担意識の押しつけ」が 69.3%で最も高く、次いで「性犯罪やストーカー行為」が 54.5%となっています。

問14 女性をめぐる人権問題について、お答えください。

(2) 女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



	回答数	女性の権利を尊重する 啓発に取り組む	女性の権利を尊重する 啓発に取り組む	暴力の根絶・防止に 向けた取組を行う	男女がともに働きながら、 家事や育児・介護などを 両立できる環境を整備する	行政・企業・地域など あらゆる分野での 女性登用を促進する	女性に対する犯罪の 取締りを強化する	女性が暴力などの被害から 逃れるための支援体制 (シェルター等)を整備する	特 に な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 ・ 不 明	
市全体	978	30.7%	43.3%	38.9%	72.8%	31.8%	35.8%	44.6%	2.5%	6.1%	1.7%	1.3%	
性別	男性	390	31.5%	41.5%	39.0%	63.8%	31.3%	34.1%	38.5%	3.6%	6.7%	1.5%	1.8%
	女性	587	30.2%	44.5%	38.8%	78.9%	32.2%	37.0%	48.7%	1.7%	5.6%	1.9%	1.0%
年代別	10・20歳代	58	29.3%	41.4%	36.2%	69.0%	29.3%	41.4%	41.4%	3.4%	5.2%	1.7%	1.7%
	30歳代	120	27.5%	38.3%	34.2%	75.8%	27.5%	40.8%	48.3%	2.5%	3.3%	4.2%	-
	40歳代	151	27.8%	43.0%	45.0%	79.5%	35.8%	37.7%	47.0%	1.3%	2.6%	3.3%	-
	50歳代	176	36.4%	44.3%	43.2%	73.9%	38.1%	39.8%	51.7%	2.8%	8.5%	1.7%	0.6%
	60歳代	180	34.4%	42.2%	38.9%	71.1%	25.0%	35.6%	41.7%	1.1%	6.1%	0.6%	2.2%
	70歳以上	293	28.0%	45.7%	35.5%	69.3%	32.4%	29.4%	39.9%	3.4%	7.8%	0.7%	2.4%

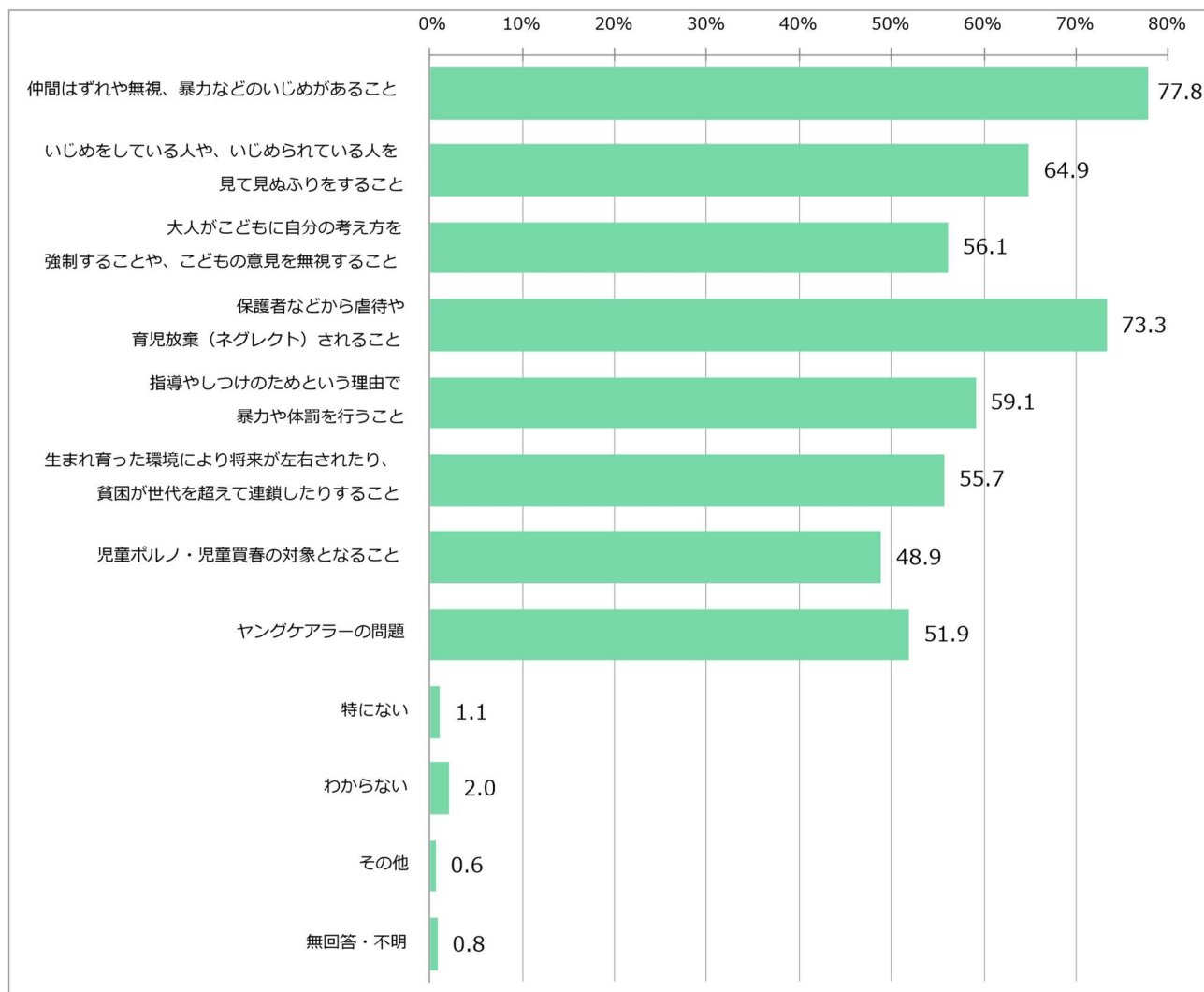
※この設問は前回調査にはありません

「男女がともに働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」が 72.8%で最も高く、次いで「女性が暴力などの被害から逃れるための支援体制(シェルター等)を整備する」が 44.6%となっています。

2 こどもの人権問題

問15 こどもをめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、こどもに関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



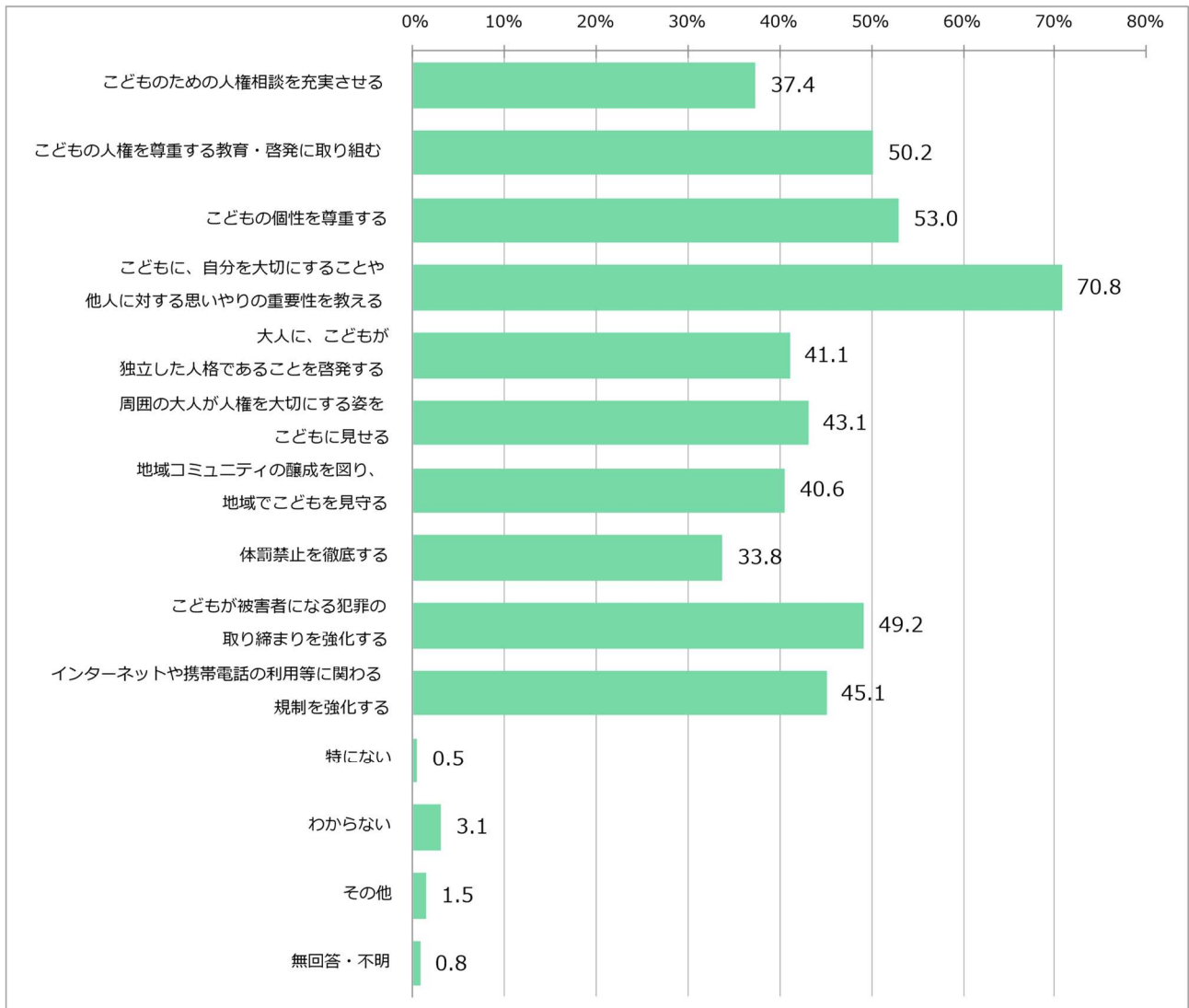
	回答数	仲間はずれや無視、暴力などのいじめがあること	いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること	大人が子どもに自分の考え方を強制することや、子どもの意見を無視すること	保護者などから虐待や育児放棄(ネグレクト)されること	指導やしつけのためという理由で暴力や体罰を行うこと	生まれ育った環境により将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	児童ポルノ・児童買春の対象となること	ヤングケアラーの問題	特になし	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	77.8%	64.9%	56.1%	73.3%	59.1%	55.7%	48.9%	51.9%	1.1%	2.0%	0.6%	0.8%	
性別	男性	390	76.4%	63.3%	50.8%	66.7%	51.0%	48.5%	43.3%	36.9%	1.5%	2.1%	0.8%	0.5%
	女性	587	78.7%	65.9%	59.6%	77.7%	64.4%	60.5%	52.5%	61.8%	0.9%	2.0%	0.5%	1.0%
年代別	10・20歳代	58	70.7%	55.2%	62.1%	74.1%	53.4%	58.6%	50.0%	50.0%	1.7%	1.7%	-	3.4%
	30歳代	120	79.2%	68.3%	59.2%	80.8%	59.2%	64.2%	58.3%	60.8%	1.7%	0.8%	-	0.8%
	40歳代	151	74.2%	64.9%	66.2%	80.8%	61.6%	65.6%	52.3%	55.0%	0.7%	2.6%	1.3%	-
	50歳代	176	81.8%	64.2%	61.4%	77.8%	59.7%	61.4%	54.0%	63.1%	-	1.7%	-	-
	60歳代	180	75.0%	64.4%	57.2%	77.2%	59.4%	55.0%	42.2%	49.4%	-	1.1%	0.6%	1.1%
	70歳以上	293	79.9%	66.2%	44.7%	61.1%	58.4%	43.7%	44.0%	42.0%	2.4%	3.1%	1.0%	1.0%

※この設問は前回調査にはありません

「仲間はずれや無視、暴力などのいじめがあること」が 77.8%で最も高く、次いで「保護者などから虐待や育児放棄(ネグレクト)されること」が73.3%となっています。

問15 子どもをめぐる人権問題について、お答えください。

(2) 子どもの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



	回答数	人権相談を充実させる	子どもの人権を尊重する教育・啓発に取り組む	子どもの個性を尊重する	子どもに、自分を大切にすることや他人に対する思いやりの重要性を教える	大人に、子どもが自立した人格であることを啓発する	周囲の大人が人権を大切にしている姿を見る	地域コミュニティの醸成を図り、地域で子どもを見守る	体罰禁止を徹底する	子どもが被言者になる犯罪の取り締まりを強化する	インターネットや携帯電話の利用等に関する規制を強化する	特にない	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	37.4%	50.2%	53.0%	70.8%	41.1%	43.1%	40.6%	33.8%	49.2%	45.1%	0.5%	3.1%	1.5%	0.8%	
性別	男性	390	39.7%	52.1%	49.7%	64.9%	34.6%	38.7%	39.0%	30.3%	44.9%	39.7%	1.0%	2.6%	2.1%	0.8%
	女性	587	35.9%	49.1%	55.2%	74.8%	45.5%	46.2%	41.7%	36.3%	52.1%	48.7%	0.2%	3.2%	1.2%	0.9%
年代別	10・20歳代	58	44.8%	53.4%	55.2%	62.1%	43.1%	44.8%	34.5%	34.5%	51.7%	34.5%	-	5.2%	1.7%	3.4%
	30歳代	120	44.2%	49.2%	62.5%	74.2%	50.8%	46.7%	43.3%	30.8%	50.0%	40.8%	0.8%	-	1.7%	0.8%
	40歳代	151	35.8%	50.3%	61.6%	71.5%	51.7%	45.7%	41.1%	37.1%	60.9%	48.3%	-	2.0%	1.3%	-
	50歳代	176	42.6%	54.0%	54.0%	62.5%	47.2%	43.8%	45.5%	36.9%	49.4%	52.8%	-	4.5%	1.7%	-
	60歳代	180	35.0%	48.9%	46.1%	70.6%	33.9%	41.1%	37.8%	27.8%	47.2%	50.0%	-	3.3%	1.7%	1.1%
	70歳以上	293	32.4%	48.5%	47.8%	75.8%	32.1%	41.0%	39.2%	35.2%	43.3%	39.6%	1.4%	3.4%	1.4%	1.0%

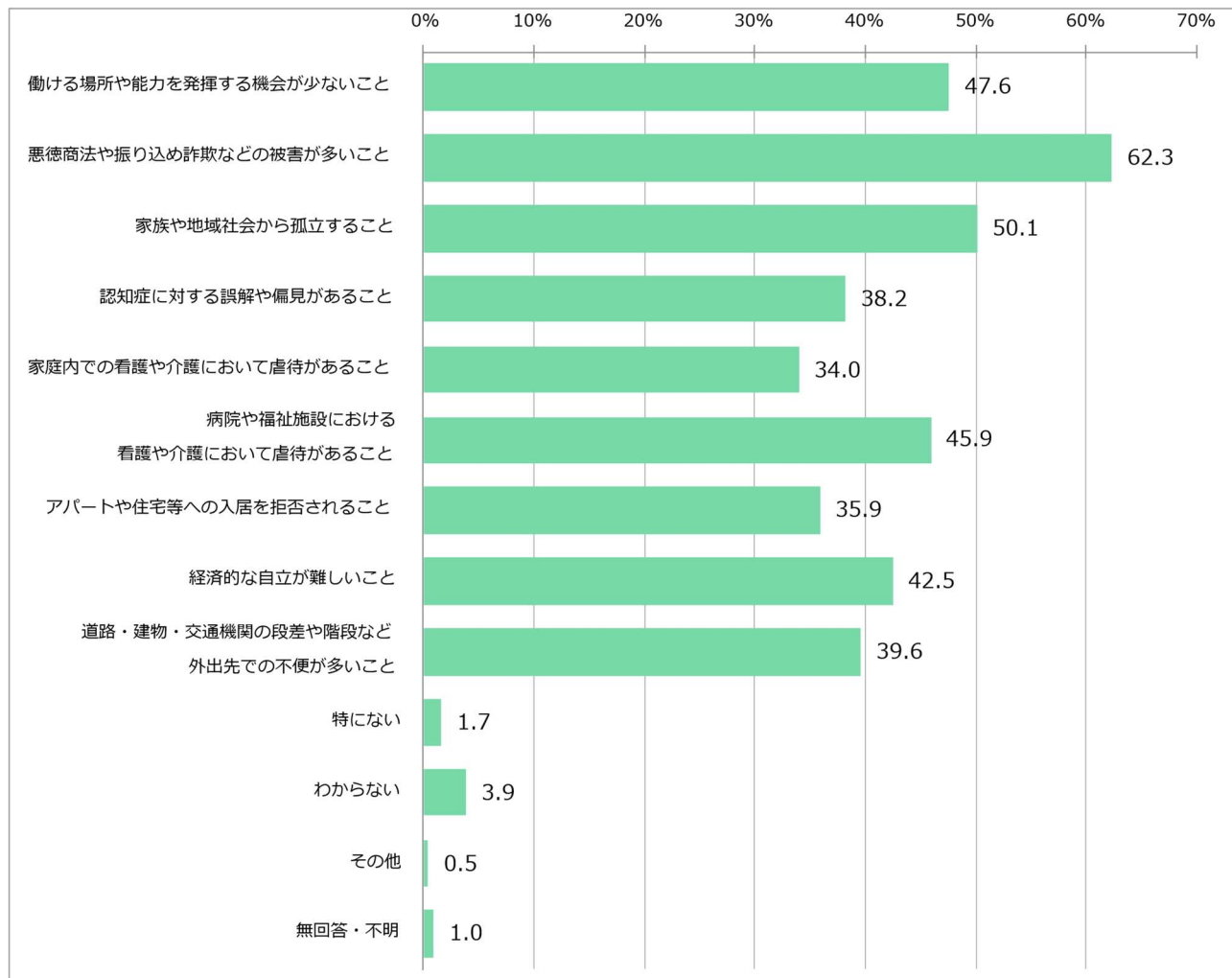
※この設問は前回調査にはありません

「子どもに、自分を大切にすることや他人に対する思いやりの重要性を教える」が70.8%で最も高く、次いで「子どもの個性を尊重する」が53.0%となっています。

3 高齢者の人権問題

問16 高齢者をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、高齢者に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



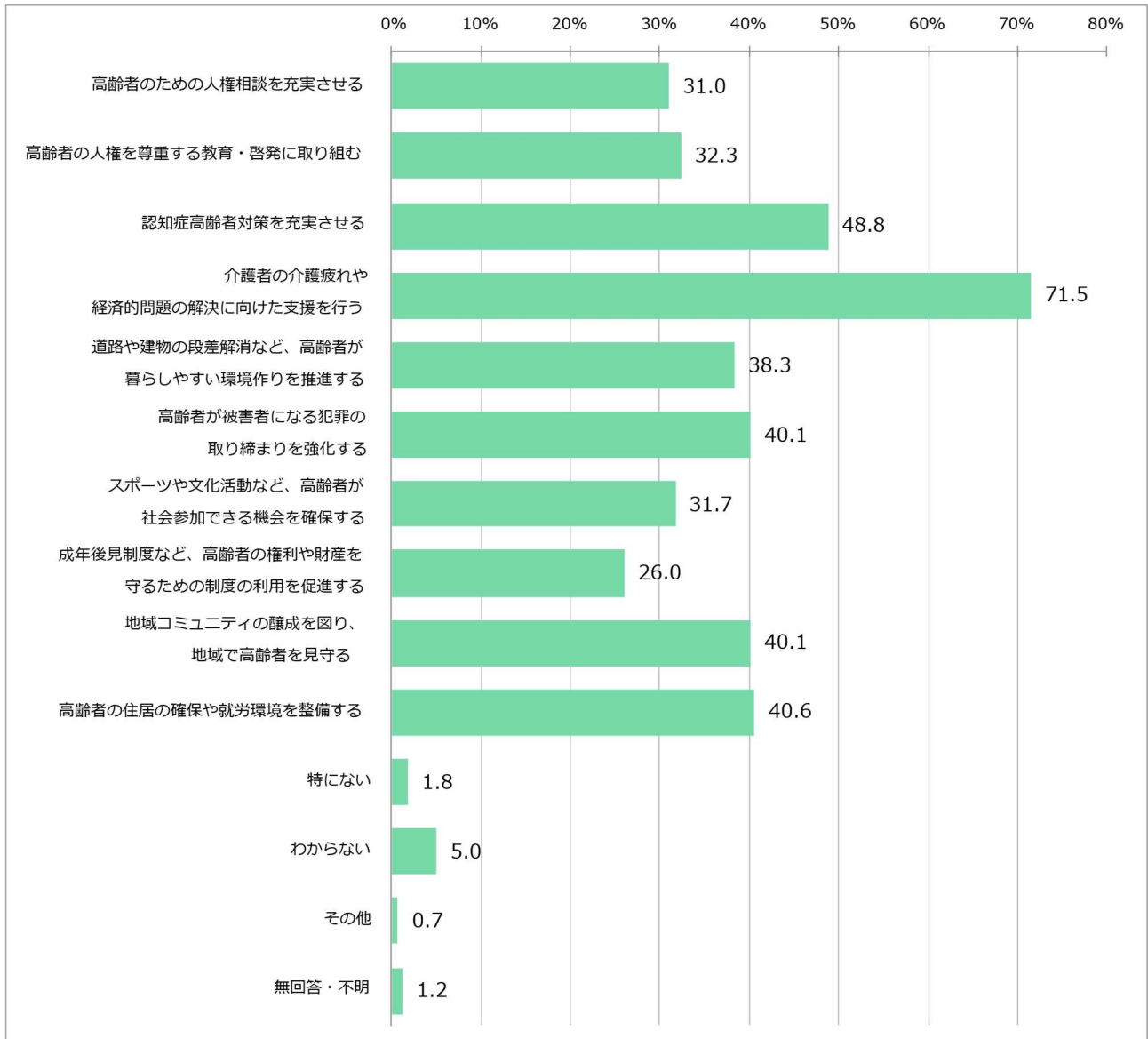
	回答数	働ける場所や能力を 発揮する機会が 少ないこと	悪徳商法や振り込め 詐欺などの被害が 多いこと	家族や地域社会から 孤立すること	認知症に対する 誤解や偏見が あること	家庭内での看護や 虐待があること	病院や福祉施設にお ける虐待や介護にお ける	アパートや住宅等へ の入居を拒否されるこ と	経済的な自立が 難しいこと	道路・建物・交通機 関の不便が多いこと	特 に な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 ・ 不 明	
市全体	978	47.6%	62.3%	50.1%	38.2%	34.0%	45.9%	35.9%	42.5%	39.6%	1.7%	3.9%	0.5%	1.0%	
性別	男性	390	44.4%	57.7%	46.2%	36.4%	31.0%	39.0%	30.8%	38.5%	31.3%	2.1%	4.9%	0.5%	1.0%
	女性	587	49.7%	65.2%	52.6%	39.4%	35.9%	50.4%	39.2%	45.1%	45.0%	1.5%	3.2%	0.5%	1.0%
年代別	10・20歳代	58	44.8%	60.3%	48.3%	34.5%	39.7%	44.8%	17.2%	41.4%	36.2%	-	6.9%	-	3.4%
	30歳代	120	38.3%	60.8%	53.3%	29.2%	42.5%	42.5%	28.3%	38.3%	38.3%	3.3%	5.0%	0.8%	0.8%
	40歳代	151	51.0%	69.5%	53.6%	39.7%	38.4%	48.3%	36.4%	49.0%	43.7%	-	2.6%	0.7%	-
	50歳代	176	56.3%	60.8%	57.4%	46.6%	39.2%	47.7%	43.8%	50.6%	43.8%	1.1%	5.1%	-	-
	60歳代	180	54.4%	62.2%	47.8%	37.2%	28.3%	45.6%	41.1%	42.2%	38.3%	1.7%	2.2%	0.6%	1.1%
	70歳以上	293	41.0%	60.4%	44.4%	37.5%	27.6%	45.4%	34.5%	36.5%	36.9%	2.7%	3.8%	0.7%	1.7%

※この設問は前回調査にはありません

「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害が多いこと」が62.3%で最も高く、次いで「家族や地域社会から孤立すること」が50.1%となっています。

問16 高齢者をめぐる人権問題について、お答えください。

(2) 高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



	回答数	高齢者のため の相談を充実させる	高齢者の人権を 尊重する教育・啓発に 取り組む	認知症高齢者対策を 充実させる	介護者の介護疲れや 経済的問題の解決に 向けた支援を行う	道路や建物の段差解消など 高齢者が暮らしやすい 環境作りを推進する	高齢者が被害者になる 犯罪の取り締まりを 強化する	高齢者が社会参加できる 機会を確保する	スポーツや文化活動など 高齢者が社会参加できる 機会を確保する	成年後見制度など、 高齢者の権利や財産を 守るための制度の利用を 促進する	地域コミュニティの 醸成を図り、地域で 高齢者を見守る	高齢者の住居の確保や 就労環境を整備する	特 に な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 ・ 不 明
市全体	978	31.0%	32.3%	48.8%	71.5%	38.3%	40.1%	31.7%	26.0%	40.1%	40.6%	1.8%	5.0%	0.7%	1.2%	
性別	男性	390	33.1%	31.3%	49.0%	66.4%	33.3%	38.5%	26.2%	22.3%	37.9%	35.6%	2.1%	4.6%	1.3%	1.0%
	女性	587	29.6%	33.0%	48.7%	75.0%	41.7%	41.2%	35.4%	28.4%	41.6%	44.0%	1.7%	5.1%	0.3%	1.4%
年代別	10・20歳代	58	31.0%	25.9%	46.6%	51.7%	39.7%	22.4%	32.8%	25.9%	34.5%	32.8%	1.7%	6.9%	-	3.4%
	30歳代	120	23.3%	24.2%	41.7%	66.7%	36.7%	32.5%	26.7%	23.3%	32.5%	33.3%	2.5%	7.5%	3.3%	0.8%
	40歳代	151	29.8%	32.5%	51.0%	75.5%	42.4%	47.0%	41.1%	27.2%	43.0%	41.7%	-	4.0%	-	-
	50歳代	176	34.7%	38.1%	54.0%	77.8%	38.1%	40.9%	30.1%	33.5%	42.0%	53.4%	1.7%	5.7%	-	-
	60歳代	180	27.8%	35.0%	48.9%	71.7%	36.7%	43.3%	28.9%	24.4%	41.7%	46.1%	0.6%	4.4%	0.6%	1.1%
	70歳以上	293	34.5%	31.7%	47.8%	71.3%	37.9%	40.6%	31.4%	22.9%	40.6%	33.4%	3.4%	4.1%	0.7%	2.4%

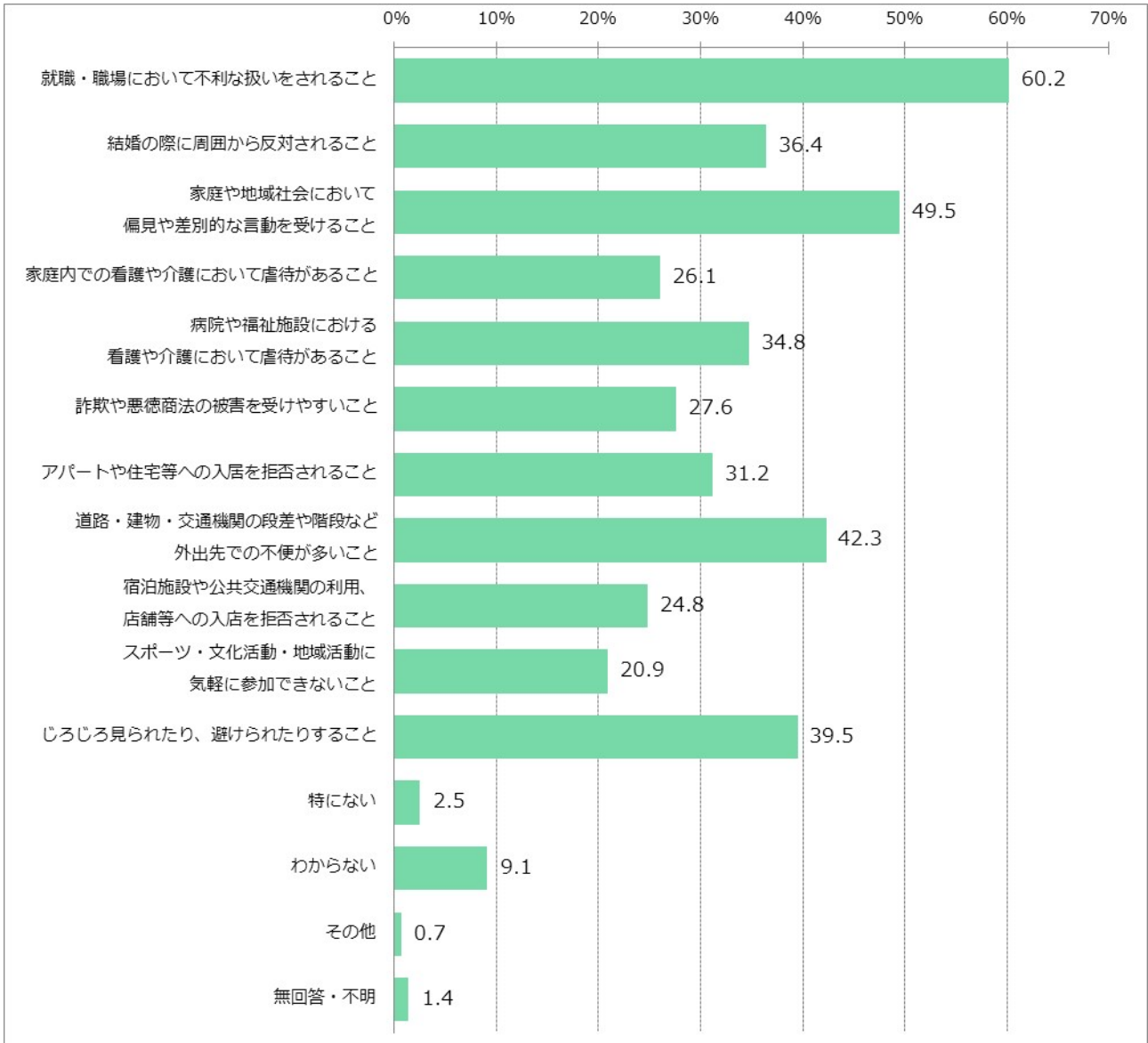
※この設問は前回調査にはありません

「介護者の介護疲れや経済的問題の解決に向けた支援を行う」が 71.5%で最も高く、次いで「認知症高齢者対策を充実させる」が 48.8%となっています。

4 障がい者の人権問題

問17 障がい者をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、障がい者に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



	回答数	就職・職場において不利な扱いをされること	結婚の際に周囲から反対されること	家庭や地域社会において偏見や差別的な言動を受けること	家庭内での看護や介護にあって虐待があること	病院や福祉施設における虐待や介護にあって虐待があること	被害を受けやすいこと	詐欺や悪徳商法のこと	入居を拒否されることへのアパートや住宅等への	段差や階段など外出先での不便が多いこと	道路・建物・交通機関の	宿泊施設や公共交通機関の利用・店舗等への入店を拒否されること	入地・ツ・文化活動・参加できないこと	進けられたり見られたりすること	特にな	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	60.2%	36.4%	49.5%	26.1%	34.8%	27.6%	31.2%	42.3%	24.8%	20.9%	39.5%	2.5%	9.1%	0.7%	1.4%		
性別	男性	390	58.7%	34.4%	47.4%	24.1%	32.1%	23.8%	31.8%	37.4%	22.6%	19.7%	34.1%	3.3%	8.2%	1.3%	1.0%	
	女性	587	61.2%	37.6%	50.8%	27.3%	36.5%	30.0%	30.7%	45.5%	26.2%	21.5%	42.9%	1.9%	9.7%	0.3%	1.7%	
年代別	10・20歳代	58	63.8%	43.1%	55.2%	37.9%	31.0%	36.2%	31.0%	43.1%	24.1%	24.1%	43.1%	1.7%	6.9%	-	-	
	30歳代	120	57.5%	32.5%	55.8%	30.8%	32.5%	28.3%	23.3%	31.7%	24.2%	17.5%	39.2%	4.2%	8.3%	0.8%	-	
	40歳代	151	61.6%	41.1%	55.0%	34.4%	41.1%	35.1%	36.4%	46.4%	30.5%	25.2%	49.0%	1.3%	8.6%	2.0%	0.7%	
	50歳代	176	60.8%	41.5%	51.1%	26.7%	36.4%	29.0%	34.7%	40.9%	23.3%	21.0%	41.5%	0.6%	11.9%	-	1.7%	
	60歳代	180	63.9%	32.2%	52.8%	21.7%	32.8%	25.0%	33.3%	52.2%	26.7%	20.0%	38.9%	1.7%	7.2%	-	0.6%	
	70歳以上	293	57.3%	33.8%	39.9%	19.8%	33.4%	22.5%	28.3%	39.2%	22.2%	19.8%	33.1%	4.1%	9.6%	1.0%	3.1%	

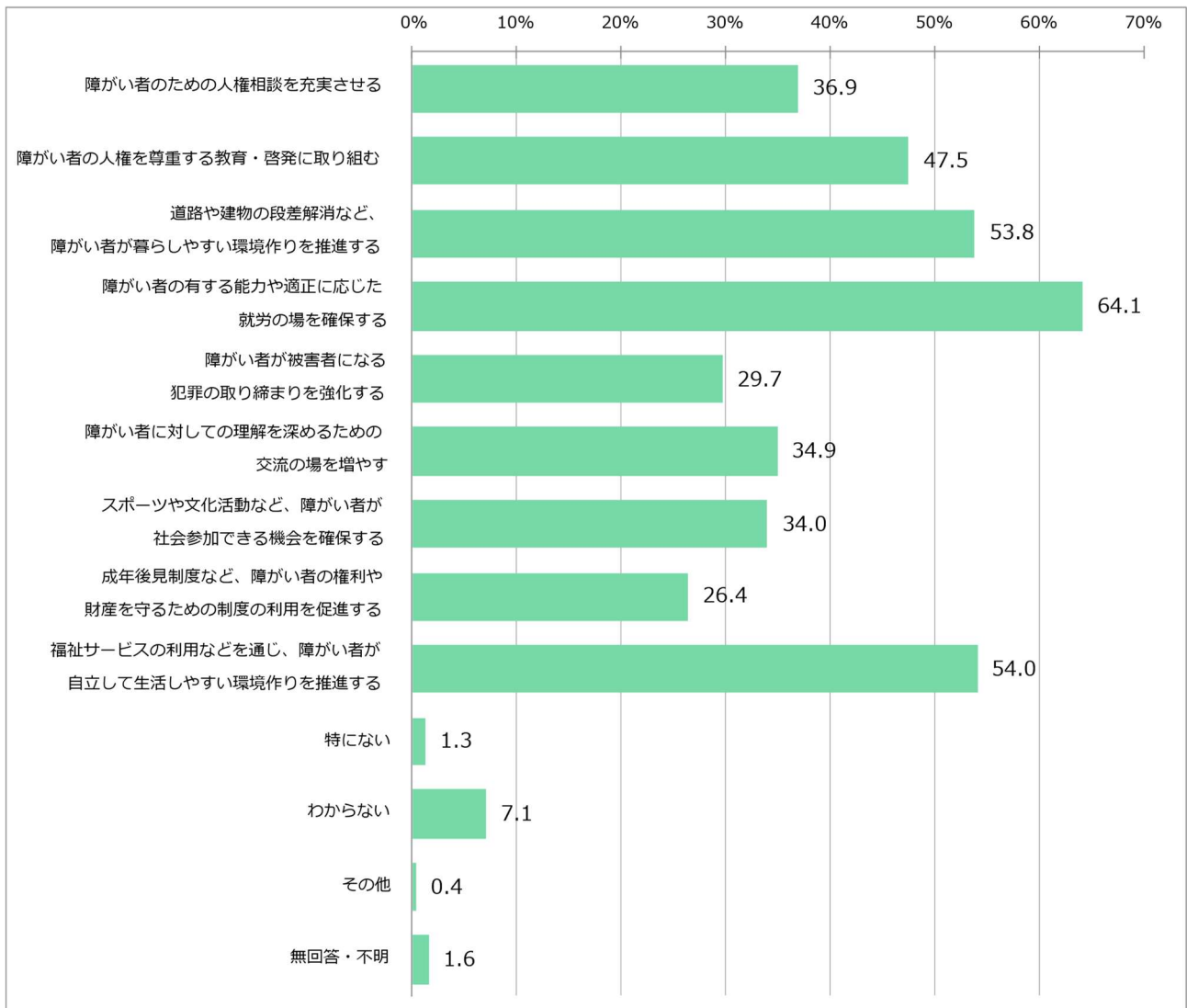
※この設問は前回調査にはありません

「就職・職場において不利な扱いをされること」が 60.2%で最も高く、次いで「家庭や地域社会において偏見や差別的な言動を受けること」が 49.5%となっています。

問17 障がい者をめぐる人権問題について、お答えください。

(2) 障がい者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)



	回答数	障がい者のための権利を充実させる人権	障がい者の権利を尊重する啓発に取り組む	障がい者の権利を尊重する啓発に取り組む	道路や建物の段差解消など障がい者が暮らしやすい環境作りを推進する	障がい者の有する能力や適正に応じた就労の場を確保する	障がい者の取り締まりを強化する	障がい者に対する理解を深めるための交流の場を増やす	障がい者が社会参加できる機会を確保する	スポーツや文化活動など障がい者が参加できる機会を確保する	障がい者の権利や財産を守るための制度や利用を促進する	福祉サービスの利用などを通じ、障がい者が自立して生活しやすい環境作りを推進する	特になし	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	36.9%	47.5%	53.8%	64.1%	29.7%	34.9%	34.0%	26.4%	54.0%	1.3%	7.1%	0.4%	1.6%		
性別	男性	390	37.2%	46.9%	50.3%	59.2%	24.4%	33.8%	32.3%	23.3%	46.4%	1.5%	7.4%	1.0%	1.5%	
	女性	587	36.8%	48.0%	56.2%	67.5%	33.2%	35.6%	35.3%	28.4%	59.1%	1.2%	6.6%	0.0%	1.7%	
年代別	10・20歳代	58	36.2%	44.8%	50.0%	48.3%	24.1%	29.3%	36.2%	22.4%	46.6%	-	13.8%	-	-	
	30歳代	120	35.8%	40.8%	47.5%	63.3%	30.8%	32.5%	32.5%	29.2%	41.7%	2.5%	6.7%	0.8%	-	
	40歳代	151	31.1%	51.0%	57.6%	68.9%	35.8%	38.4%	35.1%	26.5%	55.0%	-	6.6%	0.7%	0.7%	
	50歳代	176	37.5%	50.6%	50.0%	61.4%	28.4%	39.8%	35.2%	31.8%	52.3%	0.6%	9.7%	-	1.7%	
	60歳代	180	37.2%	47.2%	61.1%	71.7%	28.9%	36.1%	32.2%	23.9%	59.4%	0.6%	4.4%	-	0.6%	
	70歳以上	293	39.9%	47.4%	52.9%	62.1%	28.3%	31.4%	34.1%	24.2%	57.7%	2.7%	6.1%	0.7%	3.8%	

※この設問は前回調査にはありません

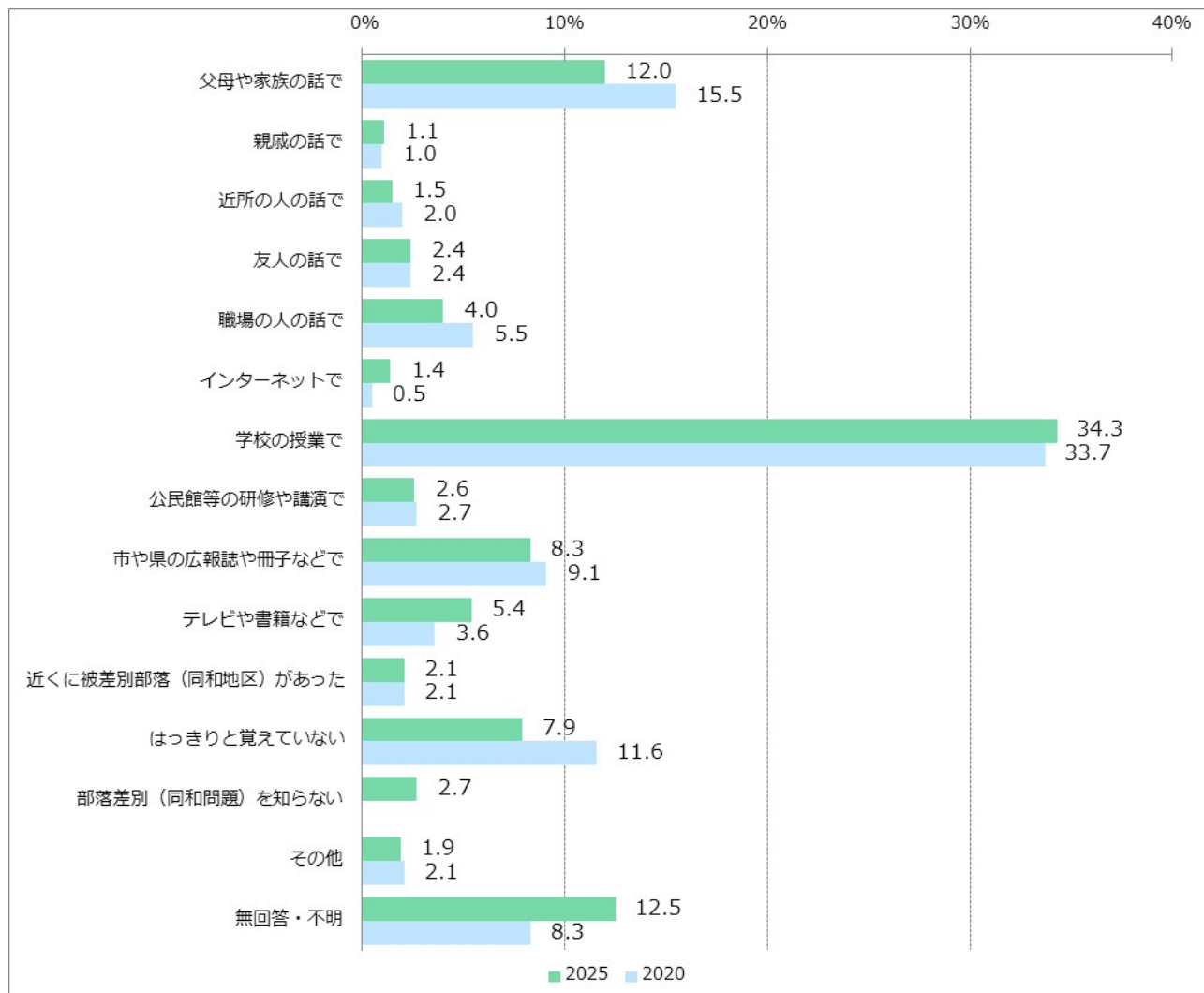
「障がい者の有する能力や適正に応じた就労の場を確保する」が64.1%で最も高く、次いで「福祉サービスの利用などを通じ、障がい者が自立して生活しやすい環境作りを推進する」が54.0%となっています。

5 部落差別（同和問題）

問18 部落差別（同和問題）についてお答えください。

（1）あなたが、部落差別（同和問題）をはじめて知ったきっかけは何ですか。

（○は1つだけ）



	回答数	父母や家族の話で	親戚の話で	近所の人の話で	友人の話で	職場の人の話で	インターネットで	学校の授業で	公民館等の研修や講演で	市や県の広報誌や冊子などで	テレビや書籍などで	(同和地区)があつた	はつきりとは覚えていない	(同和問題)を知らない	その他	無回答・不明	
市全体	978	12.0%	1.1%	1.5%	2.4%	4.0%	1.4%	34.3%	2.6%	8.3%	5.4%	2.1%	7.9%	2.7%	1.9%	12.5%	
性別	男性	390	13.1%	0.8%	1.0%	3.3%	7.2%	1.0%	28.5%	1.0%	7.4%	6.2%	0.8%	8.7%	3.6%	3.6%	13.8%
	女性	587	11.2%	1.4%	1.9%	1.7%	1.9%	1.7%	38.0%	3.6%	8.9%	4.9%	3.1%	7.3%	2.0%	0.9%	11.6%
年代別	10・20歳代	58	5.2%	-	-	-	3.4%	3.4%	72.4%	-	1.7%	1.7%	1.7%	8.6%	1.7%	-	-
	30歳代	120	8.3%	0.8%	-	0.8%	7.5%	3.3%	47.5%	2.5%	3.3%	5.0%	0.8%	10.8%	4.2%	0.8%	4.2%
	40歳代	151	9.3%	1.3%	-	2.6%	2.0%	1.3%	52.3%	2.6%	2.0%	6.6%	0.7%	6.6%	4.0%	-	8.6%
	50歳代	176	8.5%	-	0.6%	1.1%	2.3%	2.3%	54.5%	2.8%	3.4%	4.0%	1.1%	4.5%	3.4%	1.1%	10.2%
	60歳代	180	11.1%	1.1%	0.6%	4.4%	5.6%	0.6%	25.0%	3.9%	11.1%	5.0%	2.2%	10.6%	1.7%	4.4%	12.8%
	70歳以上	293	18.8%	2.0%	4.4%	2.7%	3.8%	0.3%	5.5%	2.0%	16.0%	6.8%	4.1%	7.5%	1.7%	2.7%	21.5%

※前回調査の選択肢には「部落差別(同和問題)を知らない」がありません

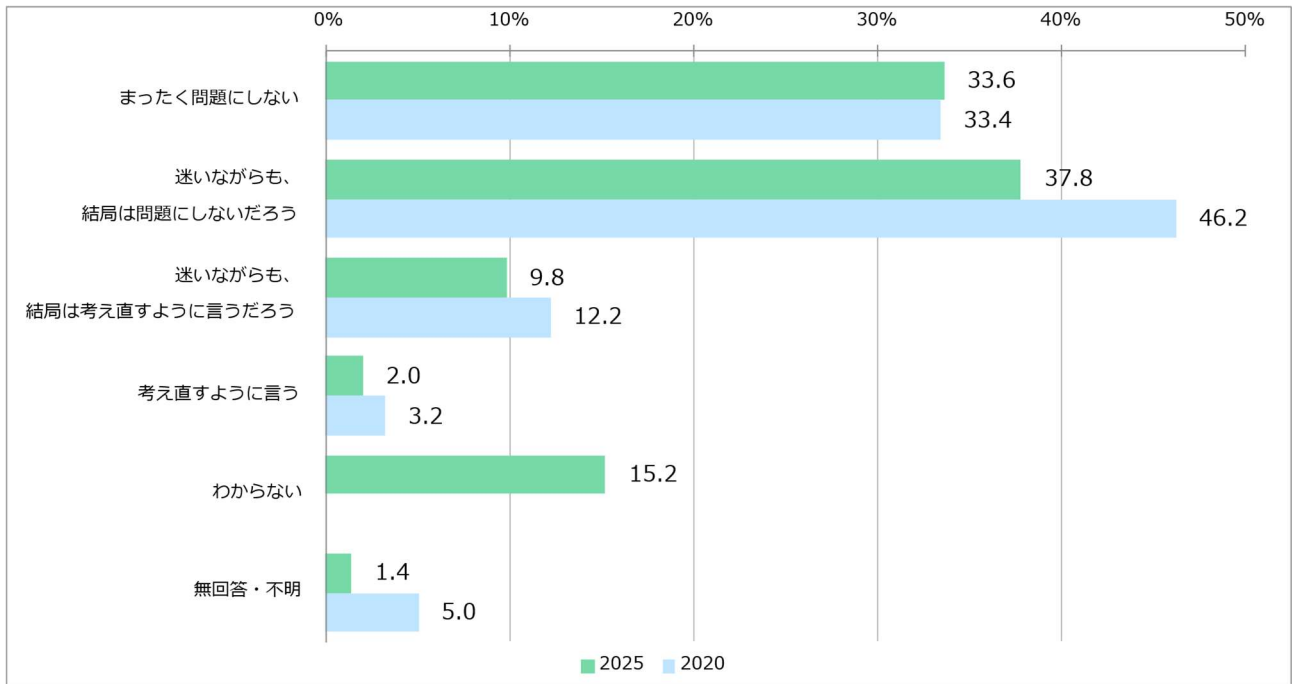
「学校の授業で」が34.3%と最も高く、次いで「父母や家族の話で」が12.0%となっています。また、「部落差別(同和問題)を知らない」が2.7%を占めています。

問18 部落差別（同和問題）についてお答えください。

（2）仮に、あなたのお子さんが、恋愛をし、結婚したいと言っている相手が被差別部落出身者（同和地区出身者）だとわかった場合、

※お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください。

（ア）あなたは、どんな態度を取ると思いますか。（○は1つだけ）



		回答数	まったく問題にしない	迷いながらも、結局は問題にしないだろう	迷いながらも、結局は考え直すように言う	考え直すように言う	わからない	無回答・不明
市全体		978	33.6%	37.8%	9.8%	2.0%	15.2%	1.4%
性別	男性	390	34.6%	35.4%	11.0%	3.6%	14.1%	1.3%
	女性	587	32.9%	39.5%	9.0%	1.0%	16.0%	1.5%
年代別	10・20歳代	58	63.8%	15.5%	3.4%	1.7%	15.5%	-
	30歳代	120	39.2%	27.5%	5.8%	3.3%	23.3%	0.8%
	40歳代	151	39.1%	41.1%	8.6%	0.7%	9.9%	0.7%
	50歳代	176	29.5%	39.2%	8.5%	2.8%	17.6%	2.3%
	60歳代	180	33.3%	45.6%	10.6%	1.7%	8.3%	0.6%
	70歳以上	293	25.3%	39.2%	13.7%	2.0%	17.4%	2.4%

※前回調査の選択肢には「わからない」がありません

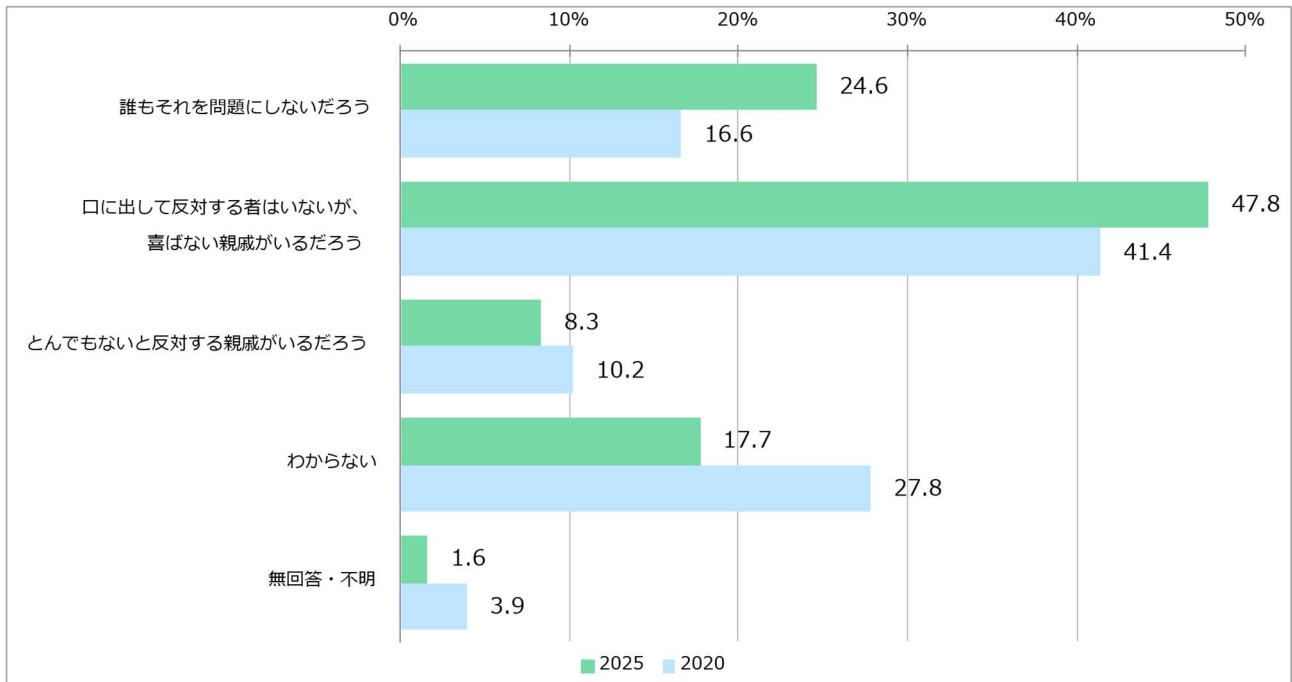
「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」を合わせた割合が71.4%となっており、前回調査(79.6%)より8.2ポイント減少しています。「わからない」と答えた人が2割弱いますが、約7割の人が問題にしないことがうかがえます。

問18 部落差別（同和問題）についてお答えください。

（2）仮に、あなたのお子さんが、恋愛をし、結婚したいと言っている相手が被差別部落出身者（同和地区出身者）だとわかった場合、

※お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください。

（イ）あなたの親戚は、どんな態度を取るとおもいますか。（○は1つだけ）

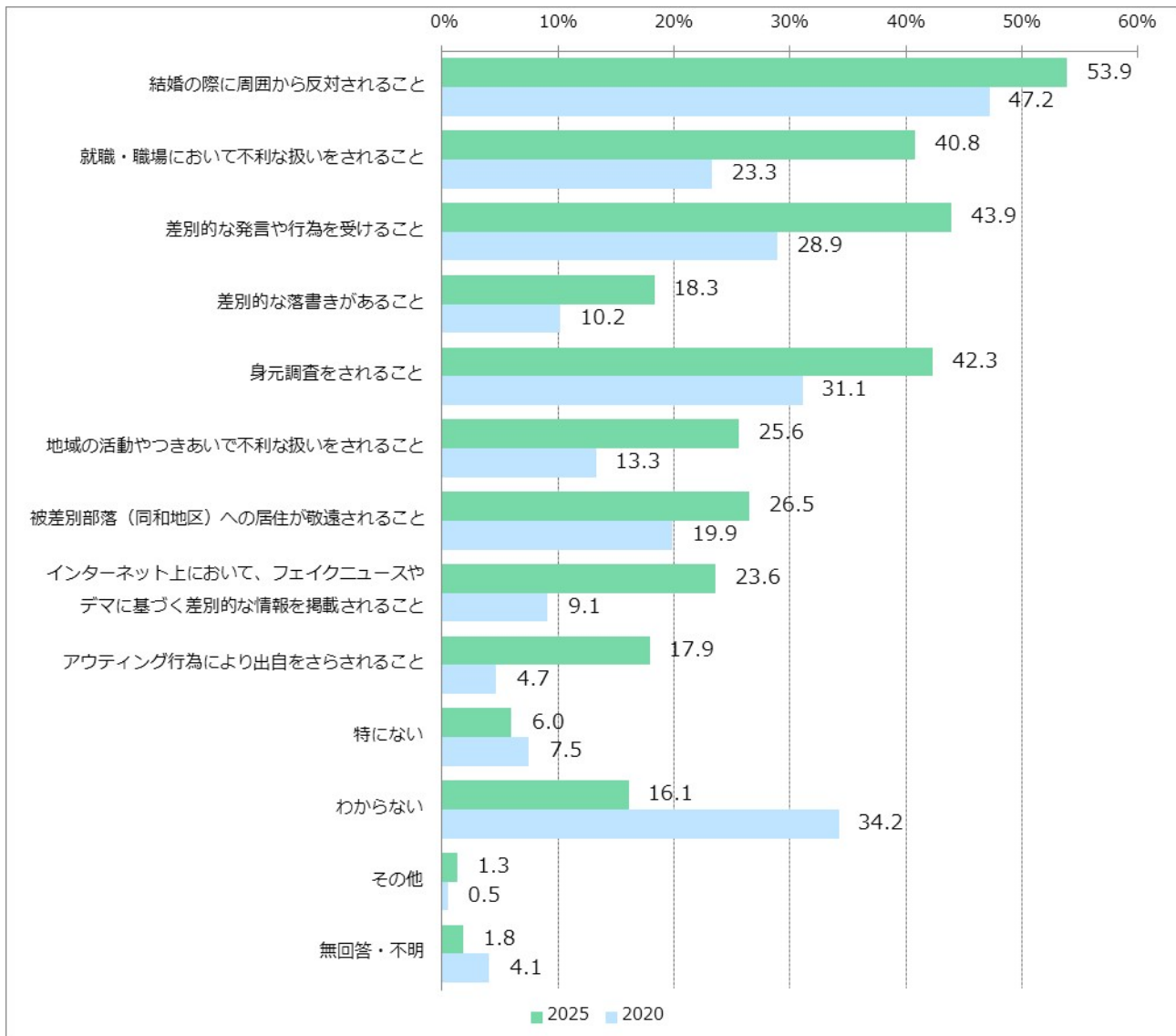


		回答数	誰もそれを問題にしないだろう	親戚が喜ばないが、口に出して反対する	親戚がとんでもないと反対する	わからない	無回答・不明
市全体		978	24.6%	47.8%	8.3%	17.7%	1.6%
性別	男性	390	24.6%	48.7%	8.2%	16.7%	1.8%
	女性	587	24.7%	47.0%	8.3%	18.4%	1.5%
年代別	10・20歳代	58	37.9%	36.2%	3.4%	22.4%	-
	30歳代	120	32.5%	35.0%	12.5%	19.2%	0.8%
	40歳代	151	27.8%	41.7%	9.9%	19.9%	0.7%
	50歳代	176	21.0%	48.9%	9.7%	18.2%	2.3%
	60歳代	180	28.3%	50.6%	8.3%	12.2%	0.6%
	70歳以上	293	17.1%	56.0%	5.8%	18.1%	3.1%

「誰もそれを問題にしないだろう」は前回調査より 8 ポイント増加しています。また、「口に出して反対する者はいないが、喜ばない親戚がいるだろう」は前回調査より 6.4 ポイント増加しています。さらに、「とんでもないと反対する親戚がいるだろう」は前回調査より 1.9 ポイント減少しています。

問18 部落差別（同和問題）についてお答えください。

（3）あなたは、部落差別（同和問題）に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）



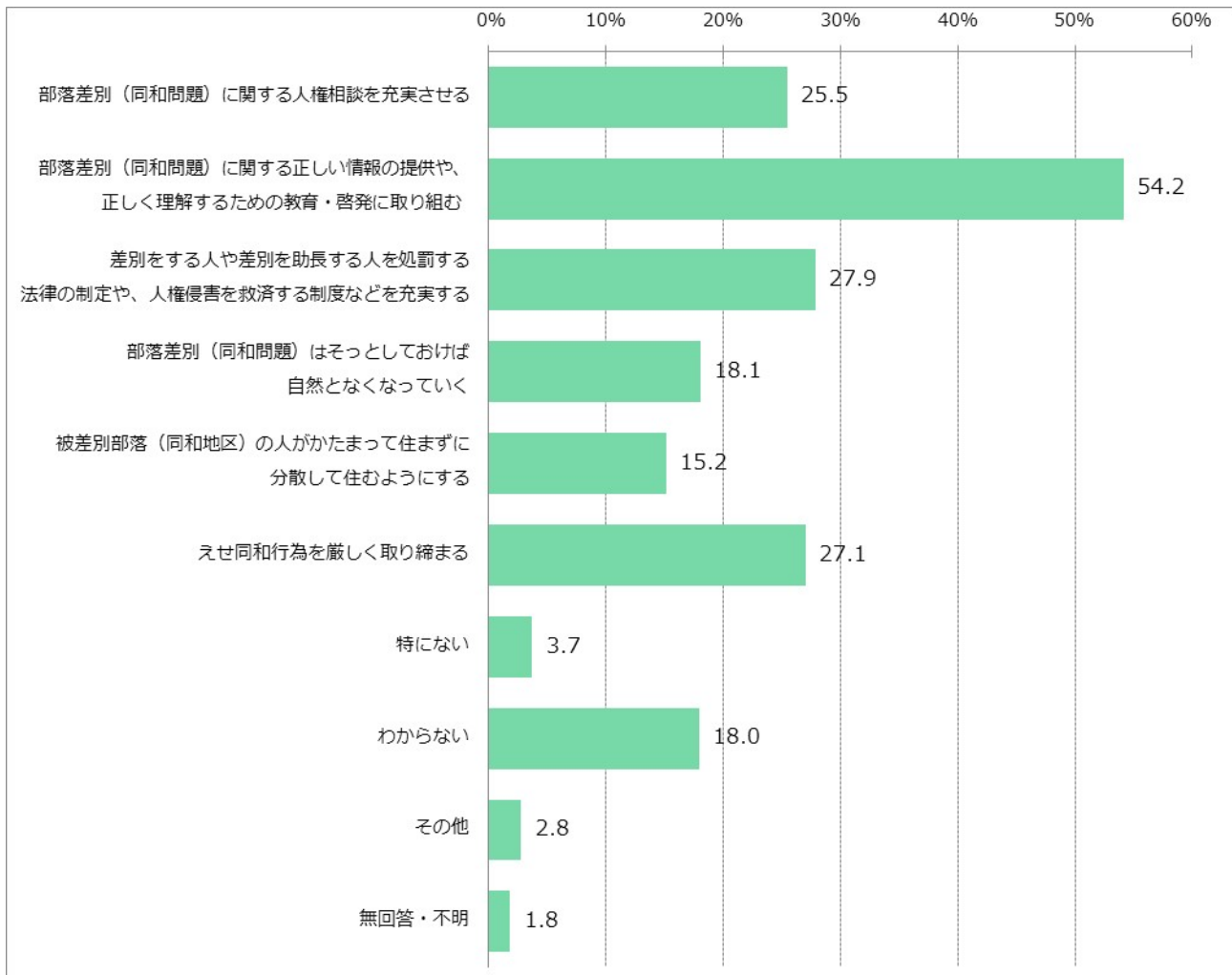
	回答数	結婚の際に周囲から反対されること	就職・職場において不利な扱いをされること	差別的な発言や行為を受けること	差別的な落書きがあること	身元調査をされること	地域の活動やつきあいでの不利な扱いをされること	被差別部落（同和地区）への居住が敬遠されること	インターネット上で、フェイクニュースやデマに基づく差別的な情報を掲載されること	アウトディング行為により出自をさらされること	特になし	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	53.9%	40.8%	43.9%	18.3%	42.3%	25.6%	26.5%	23.6%	17.9%	6.0%	16.1%	1.3%	1.8%	
性別	男性	390	52.6%	39.2%	45.1%	17.9%	39.7%	26.7%	27.4%	21.5%	14.1%	8.2%	13.6%	1.5%	1.5%
	女性	587	54.7%	41.7%	42.9%	18.6%	44.0%	24.9%	25.7%	24.9%	20.3%	4.6%	17.7%	1.2%	2.0%
年代別	10・20歳代	58	63.8%	46.6%	55.2%	31.0%	43.1%	24.1%	36.2%	37.9%	31.0%	1.7%	12.1%	-	-
	30歳代	120	58.3%	40.0%	52.5%	25.8%	33.3%	33.3%	31.7%	27.5%	20.8%	2.5%	13.3%	0.8%	1.7%
	40歳代	151	56.3%	43.7%	54.3%	22.5%	45.0%	33.1%	30.5%	28.5%	23.8%	2.6%	14.6%	0.7%	0.7%
	50歳代	176	56.3%	47.2%	45.5%	20.5%	44.3%	27.3%	25.6%	27.3%	20.5%	5.1%	19.9%	1.1%	0.6%
	60歳代	180	53.9%	36.7%	42.8%	10.6%	44.4%	20.6%	27.2%	18.9%	10.6%	6.1%	16.1%	2.2%	1.1%
	70歳以上	293	47.4%	37.2%	32.4%	14.0%	42.0%	20.8%	20.5%	17.4%	14.0%	10.6%	16.4%	1.7%	4.1%

※前回調査は「あなたは、同和問題（部落差別）に関することで、現在、どのような問題が起きていると思いますか。」という質問でした

「結婚の際に周囲から反対されること」が 53.9%と最も高く、次いで「差別的な発言や行為を受けること」が 43.9%となっています。

問18 部落差別（同和問題）についてお答えください。

（4）あなたは、部落差別（同和問題）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



	回答数	部落差別（同和問題）に関する人権相談を充実させる	部落差別（同和問題）に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む	差別をする人や差別を助長する人を処罰する法律の制定や、人権侵害を救済する制度などを充実する	部落差別（同和問題）はそっとしておけば自然となくなっていく	被差別部落（同和地区）の人がかたまって住まうに分散して住むようにする	厳しく取り締まる	えせ同和行為を	特になし	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	25.5%	54.2%	27.9%	18.1%	15.2%	27.1%	3.7%	18.0%	2.8%	1.8%	
性別	男性	390	24.9%	52.8%	27.9%	18.2%	13.8%	32.6%	4.4%	13.8%	3.8%	1.8%
	女性	587	25.9%	55.2%	27.9%	18.1%	16.2%	23.5%	3.2%	20.6%	2.0%	1.9%
年代別	10・20歳代	58	41.4%	62.1%	44.8%	20.7%	17.2%	32.8%	3.4%	12.1%	1.7%	-
	30歳代	120	21.7%	46.7%	34.2%	15.8%	12.5%	28.3%	2.5%	18.3%	2.5%	1.7%
	40歳代	151	25.8%	55.0%	37.1%	16.6%	16.6%	33.8%	1.3%	16.6%	2.0%	0.7%
	50歳代	176	28.4%	58.0%	30.1%	16.5%	20.5%	27.3%	2.8%	22.2%	2.3%	0.6%
	60歳代	180	23.3%	58.3%	27.8%	12.8%	10.6%	22.8%	2.8%	16.1%	3.3%	1.1%
	70歳以上	293	23.2%	50.5%	16.0%	23.5%	15.0%	24.6%	6.5%	18.4%	3.4%	4.1%

※この設問は前回調査にはありません

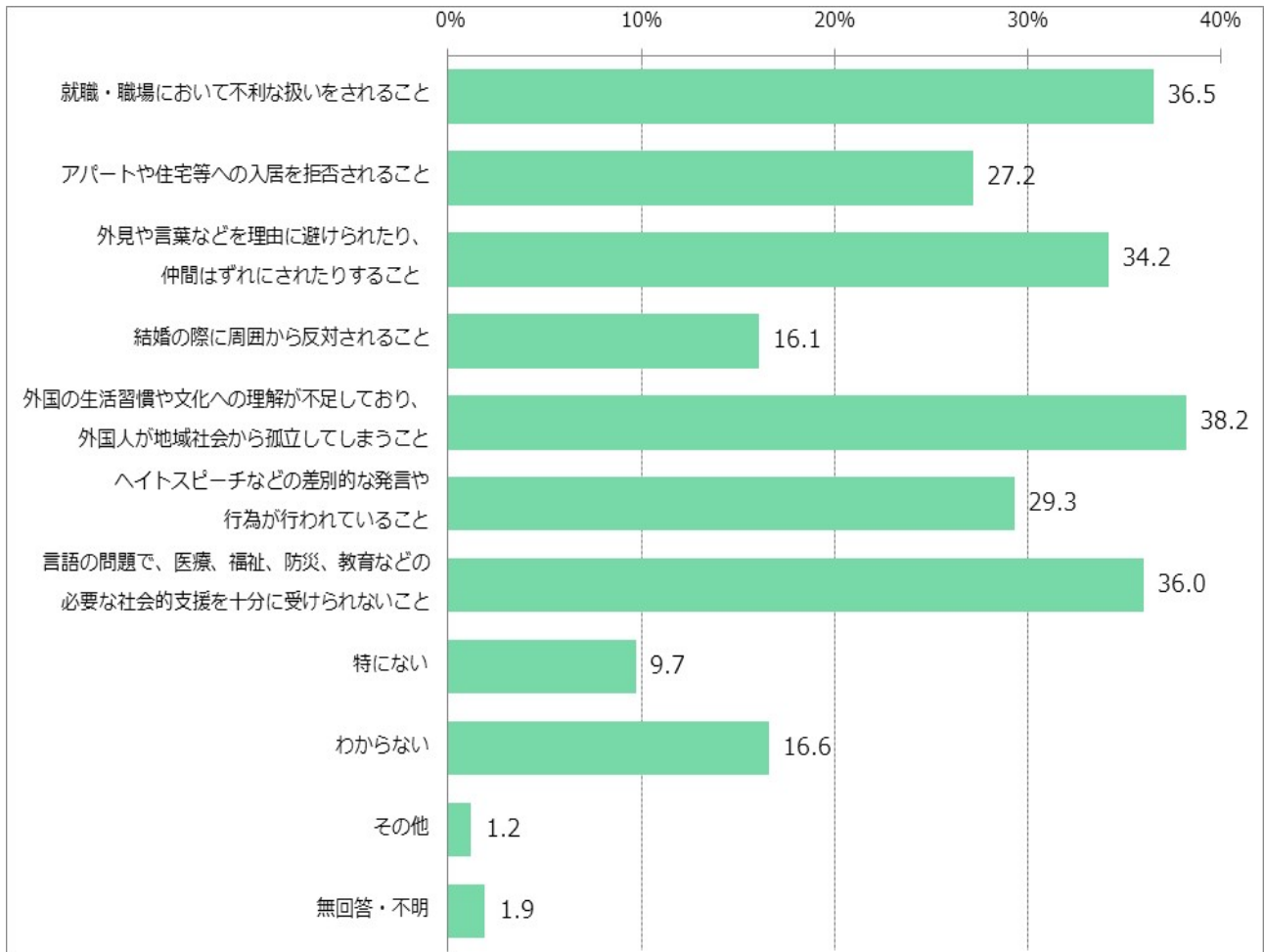
「部落差別(同和問題)に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む」が54.2%と最も高く、次いで「差別をする人や差別を助長する人を処罰する法律の制定や、人権侵害を救済する制度などを充実する」が27.9%となっています。

しかし、「部落差別(同和問題)はそっとしておけば自然となくなっていく」と2割弱の人が答えています。

6 外国人の人権問題

問19 外国人をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、日本に居住する外国人に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



	回答数	就職・職場において不利な扱いをされること	アパートや住宅等への入居を拒否されること	理由を見や言葉などを避けられなかったり、仲間は避けられたり	結婚の際に周囲から反対されること	外国の生活習慣や文化への理解が不足しており、外国人が地域社会から孤立してしまうこと	差別的な発言や行為が行われていること	ハイトスピーチなどの十分な受けられないこと	言語の問題で、医療、福祉、防災、教育などの必要な社会的支援を十分に受けられないこと	特にな	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	36.5%	27.2%	34.2%	16.1%	38.2%	29.3%	36.0%	9.7%	16.6%	1.2%	1.9%	
性別	男性	390	32.6%	26.9%	34.1%	15.6%	39.7%	28.7%	32.6%	11.3%	14.1%	1.8%	2.1%
	女性	587	39.0%	27.3%	34.1%	16.2%	37.3%	29.6%	38.3%	8.7%	18.2%	0.9%	1.9%
年代別	10・20歳代	58	43.1%	31.0%	55.2%	22.4%	46.6%	31.0%	31.0%	6.9%	8.6%	-	-
	30歳代	120	32.5%	24.2%	38.3%	13.3%	35.8%	27.5%	28.3%	12.5%	10.8%	0.8%	1.7%
	40歳代	151	43.7%	29.1%	40.4%	22.5%	38.4%	37.7%	35.1%	7.3%	14.6%	0.7%	0.7%
	50歳代	176	40.3%	30.1%	35.8%	15.3%	43.8%	34.1%	36.4%	9.1%	16.5%	1.1%	0.6%
	60歳代	180	36.1%	28.3%	28.3%	14.4%	38.9%	29.4%	40.6%	7.2%	17.8%	-	1.1%
	70歳以上	293	31.1%	24.2%	27.6%	14.0%	33.8%	22.5%	37.5%	12.3%	20.8%	2.7%	4.4%

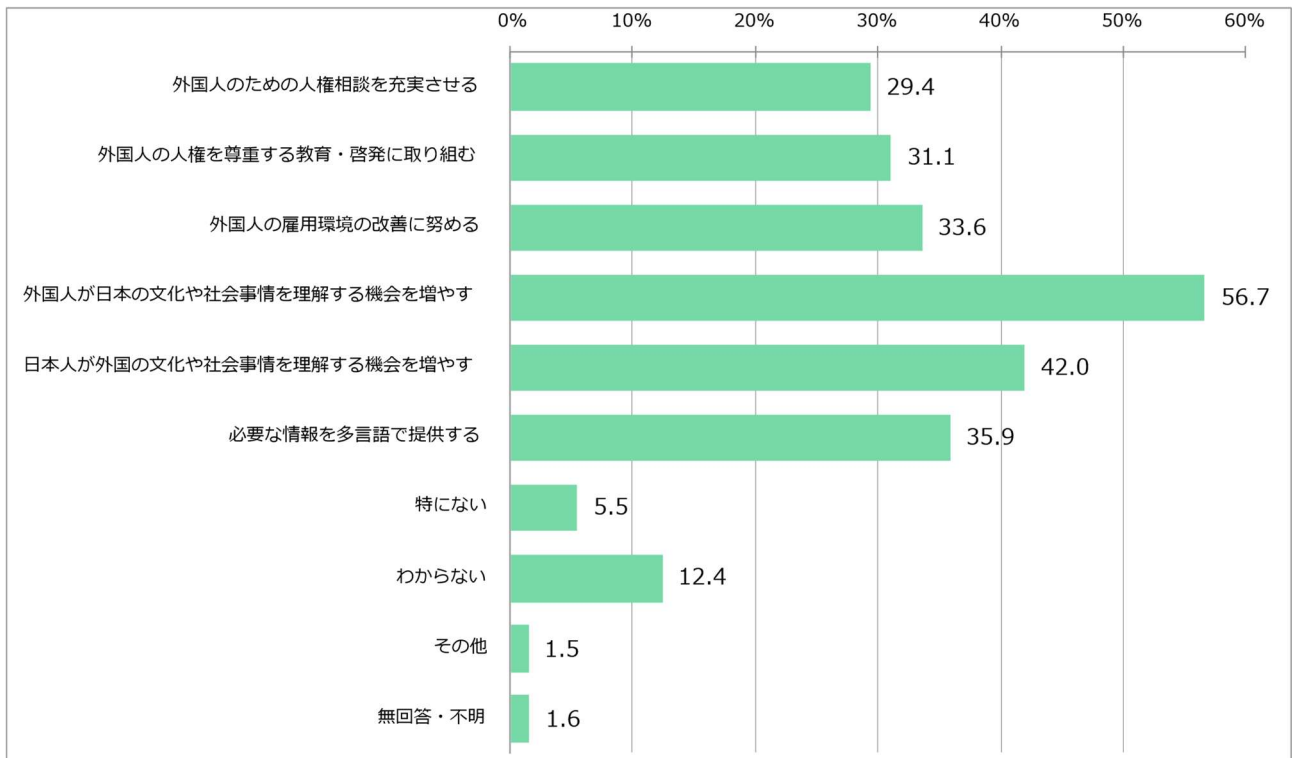
※この設問は前回調査にはありません

「外国の生活習慣や文化への理解が不足しており、外国人が地域社会から孤立してしまうこと」が38.2%で最も高く、次いで「就職・職場において不利な扱いをされること」が36.5%となっています。また、「言語の問題で、医療、福祉、防災、教育などの必要な社会的支援を十分に受けられないこと」が36.0%となっています。

問19 外国人をめぐる人権問題について、お答えください。

(2) 日本に居住する外国人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)



	回答数	外国人のための人権相談を充実させる	外国人の人権を尊重する教育・啓発に取り組む	外国人の雇用環境の改善に努める	外国人が日本の文化や社会事情を理解する機会を増やす	日本人が外国の文化や社会事情を理解する機会を増やす	必要な情報を多言語で提供する	特にない	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	29.4%	31.1%	33.6%	56.7%	42.0%	35.9%	5.5%	12.4%	1.5%	1.6%	
性別	男性	390	29.7%	32.8%	32.6%	56.2%	40.8%	30.3%	6.9%	10.3%	2.6%	1.8%
	女性	587	29.3%	30.0%	34.4%	57.2%	42.9%	39.7%	4.6%	13.6%	0.9%	1.5%
年代別	10・20歳代	58	31.0%	34.5%	36.2%	50.0%	39.7%	43.1%	5.2%	8.6%	-	-
	30歳代	120	22.5%	26.7%	31.7%	45.8%	39.2%	30.8%	9.2%	10.0%	1.7%	0.8%
	40歳代	151	27.8%	30.5%	33.1%	58.3%	45.7%	42.4%	6.6%	8.6%	3.3%	0.7%
	50歳代	176	34.7%	37.5%	33.0%	56.8%	48.9%	36.4%	5.1%	13.6%	1.1%	0.6%
	60歳代	180	27.2%	27.8%	37.2%	61.1%	43.9%	37.8%	3.9%	12.8%	1.7%	1.1%
	70歳以上	293	31.1%	30.7%	32.4%	59.0%	36.5%	31.7%	4.8%	15.0%	1.0%	3.8%

※この設問は前回調査にはありません

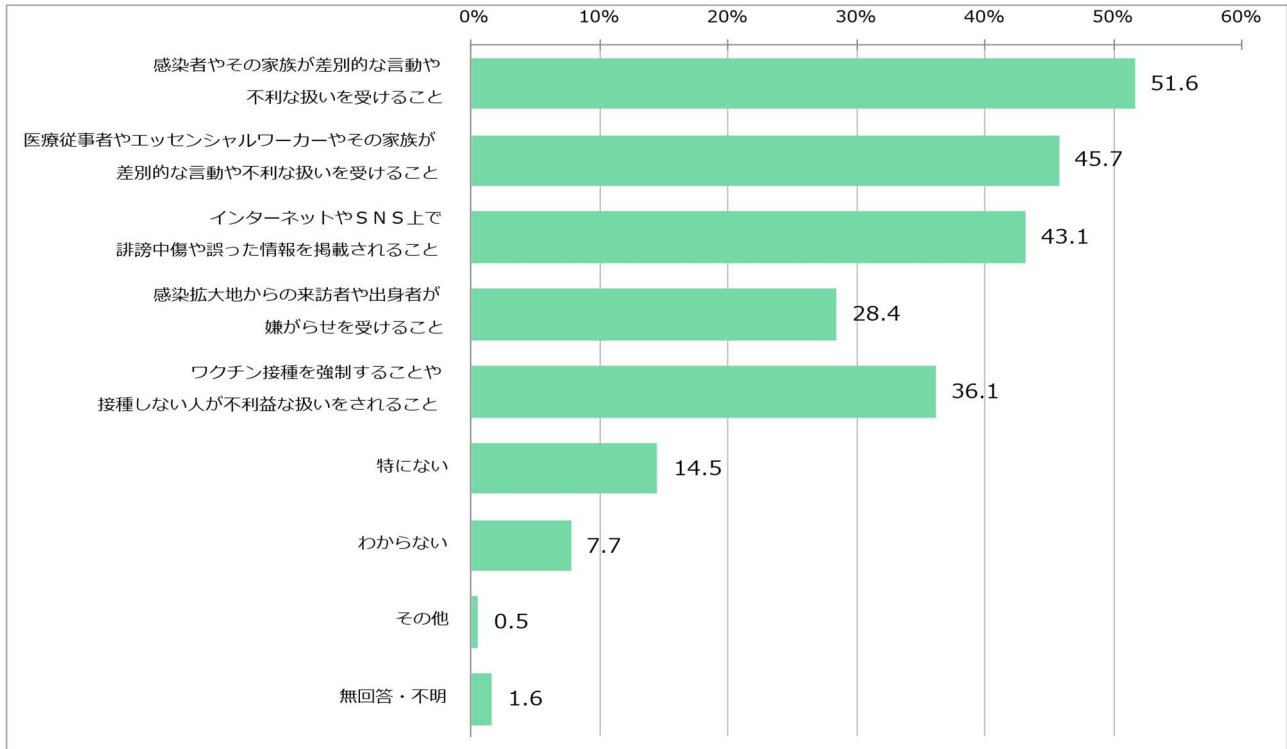
「外国人が日本の文化や社会事情を理解する機会を増やす」が 56.7%で最も高く、次いで「日本人が外国の文化や社会事情を理解する機会を増やす」が 42.0%となっています。

7 感染症の患者等に関する人権問題

問20 感染症の患者等に関する人権問題について、お答えください。

(1) 新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行していた時期、あなたが、新型コロナウイルス感染症に関することで、人権上、特に問題があったと思うのはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)



	回答数	感染者やその家族が差別的な言動や不利な扱いを受けること	医療従事者やエッセンシャルワーカーやその家族が差別的な言動や不利な扱いを受けること	インターネットやSNS上で誹謗中傷や誤った情報を掲載されること	感染拡大地からの来訪者や出身者が嫌がらせを受けること	ワクチン接種を強制することや接種しない人が不利益な扱いをされること	特にない	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	51.6%	45.7%	43.1%	28.4%	36.1%	14.5%	7.7%	0.5%	1.6%
性別										
男性	390	49.0%	39.7%	42.3%	24.4%	30.0%	16.4%	8.7%	0.8%	1.3%
女性	587	53.3%	49.6%	43.6%	31.0%	40.0%	13.3%	7.0%	0.3%	1.9%
年代別										
10・20歳代	58	60.3%	62.1%	56.9%	37.9%	39.7%	6.9%	12.1%	-	-
30歳代	120	55.8%	46.7%	55.8%	35.8%	39.2%	8.3%	5.8%	0.8%	-
40歳代	151	56.3%	48.3%	43.7%	37.7%	43.7%	11.3%	3.3%	1.3%	-
50歳代	176	53.4%	48.9%	43.8%	27.3%	43.2%	13.6%	7.4%	-	1.1%
60歳代	180	46.1%	47.2%	46.1%	27.8%	37.2%	13.9%	6.7%	0.6%	0.6%
70歳以上	293	48.1%	37.9%	32.8%	19.8%	25.3%	21.2%	10.6%	0.3%	4.4%

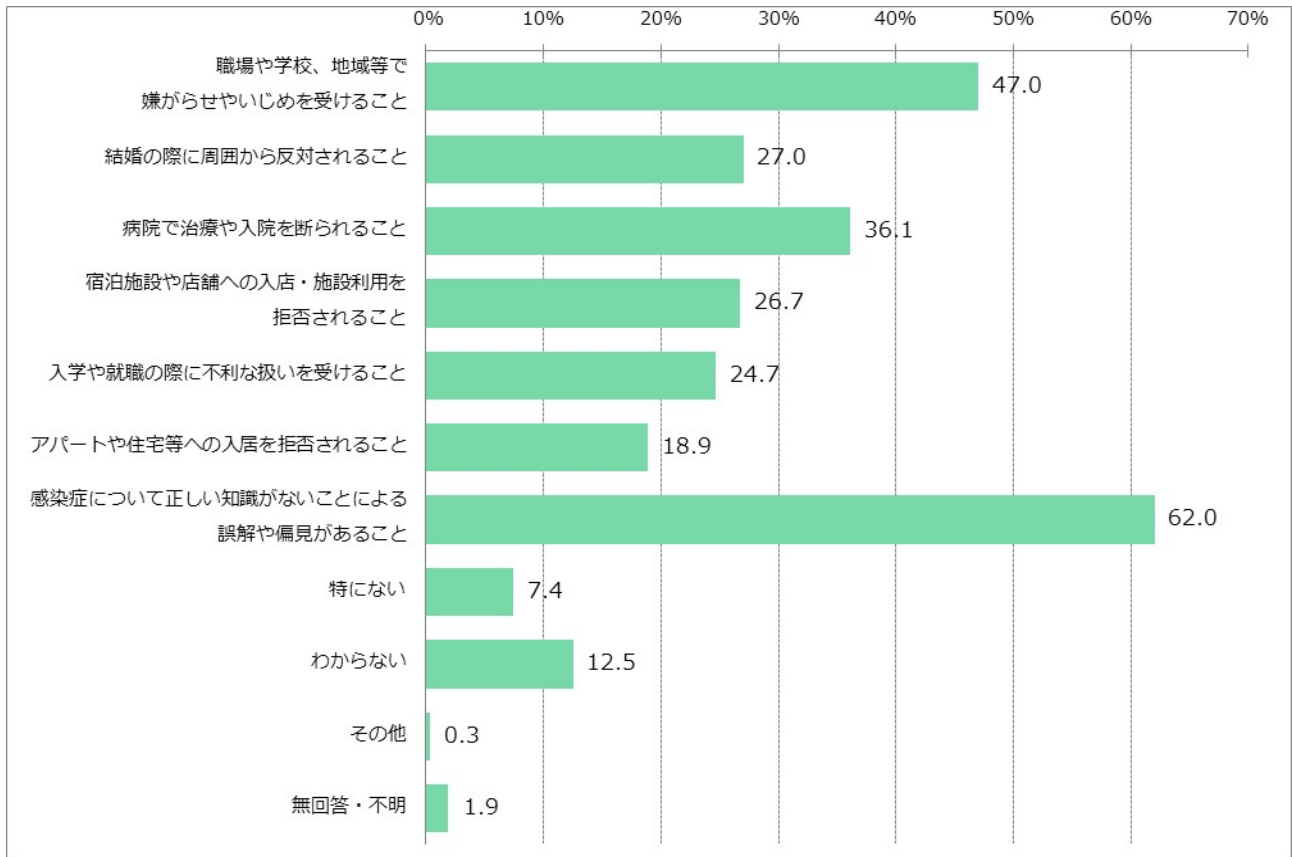
※この設問は前回調査にはありません

「感染者やその家族が差別的な言動や不利な扱いを受けること」が51.6%で最も高く、次いで「医療従事者やエッセンシャルワーカーやその家族が差別的な言動や不利な扱いを受けること」が45.7%となっています。

問20 感染症の患者等に関する人権問題について、お答えください。

(2) あなたは、あらゆる感染症の患者等（エイズ患者、HIV感染者、肝炎ウイルス感染者等）に関する事で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○はいくつでも)



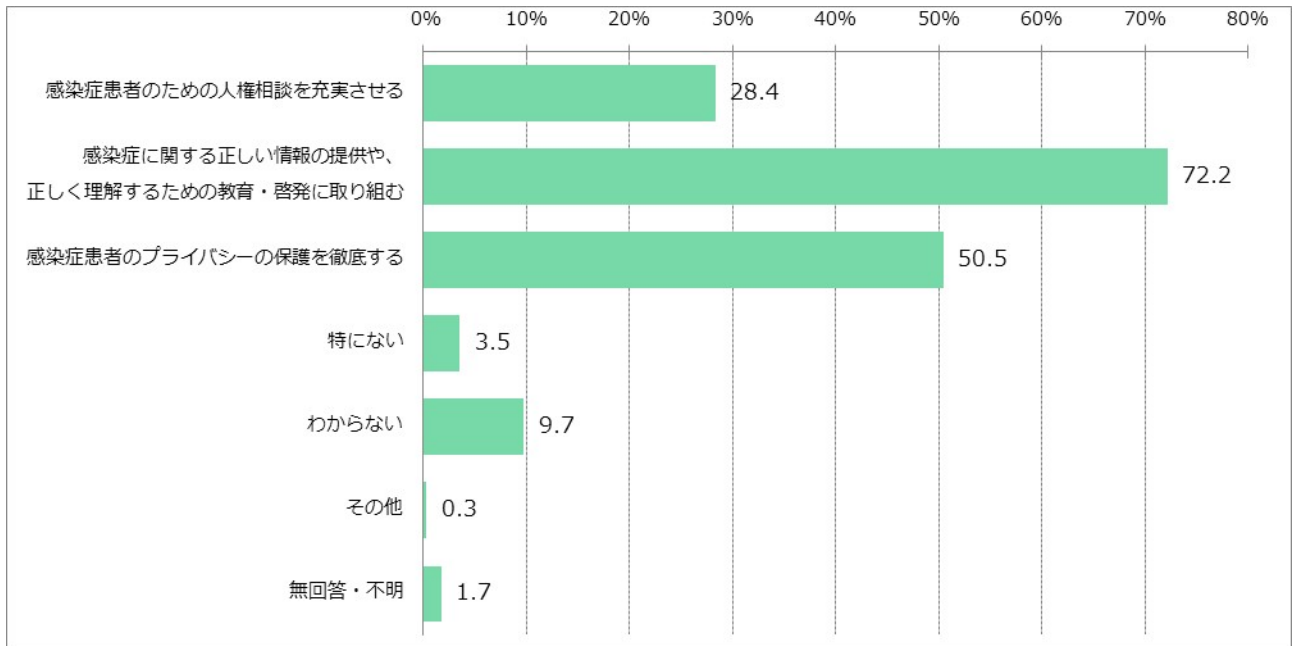
	回答数	地域等 職場や学校、 いじめを受け がらせや	結婚の際に 周囲から	病院で治療 や入院を 断られること	宿泊施設や 店舗への 入店・施設 利用を 拒否されること	入学や就職 の際に不利な 扱いを受けること	アパートや 住宅等への 入居を拒否 されること	誤解や偏見 がないこと による正しい 知識	特にない	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	47.0%	27.0%	36.1%	26.7%	24.7%	18.9%	62.0%	7.4%	12.5%	0.3%	1.9%	
性別	男性	390	44.6%	27.4%	33.3%	26.7%	22.3%	17.4%	56.4%	8.2%	13.6%	0.5%	1.3%
	女性	587	48.7%	26.7%	38.0%	26.7%	26.4%	19.9%	65.8%	6.8%	11.6%	0.2%	2.4%
年代別	10・20歳代	58	58.6%	37.9%	32.8%	24.1%	29.3%	20.7%	44.8%	8.6%	15.5%	-	-
	30歳代	120	55.8%	24.2%	26.7%	28.3%	20.0%	17.5%	56.7%	5.0%	12.5%	-	-
	40歳代	151	51.0%	31.8%	41.7%	33.8%	35.1%	22.5%	72.2%	6.0%	7.3%	-	-
	50歳代	176	51.1%	32.4%	39.2%	24.4%	25.6%	18.2%	66.5%	8.0%	9.1%	-	1.1%
	60歳代	180	40.6%	21.1%	40.6%	29.4%	23.3%	16.7%	70.6%	6.7%	11.1%	0.6%	1.1%
	70歳以上	293	40.6%	23.9%	33.1%	22.5%	20.8%	19.1%	54.3%	8.9%	17.4%	0.7%	5.1%

※この設問は前回調査にはありません

「感染症について正しい知識がないことによる誤解や偏見があること」が 62.0%で最も高く、次いで「職場や学校、地域等で嫌がらせやいじめを受けること」が 47.0%となっています。

問20 感染症の患者等に関する人権問題について、お答えください。

(3) あらゆる感染症の患者等の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



		回答数	感染症患者の人権相談を充実させる	感染症に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む	プライバシーの保護を徹底する	特にない	わからない	その他	無回答・不明
市全体		978	28.4%	72.2%	50.5%	3.5%	9.7%	0.3%	1.7%
性別	男性	390	30.3%	69.5%	45.6%	4.4%	11.0%	0.8%	1.0%
	女性	587	27.3%	74.1%	53.8%	2.9%	8.7%	-	2.2%
年代別	10・20歳代	58	29.3%	74.1%	65.5%	1.7%	8.6%	-	-
	30歳代	120	23.3%	67.5%	54.2%	3.3%	10.0%	1.7%	-
	40歳代	151	23.8%	74.2%	55.0%	5.3%	7.3%	-	0.7%
	50歳代	176	30.7%	75.0%	51.1%	4.0%	8.5%	-	1.1%
	60歳代	180	25.6%	76.7%	46.7%	2.2%	8.3%	-	1.7%
	70歳以上	293	33.1%	68.3%	45.7%	3.4%	12.6%	0.3%	3.8%

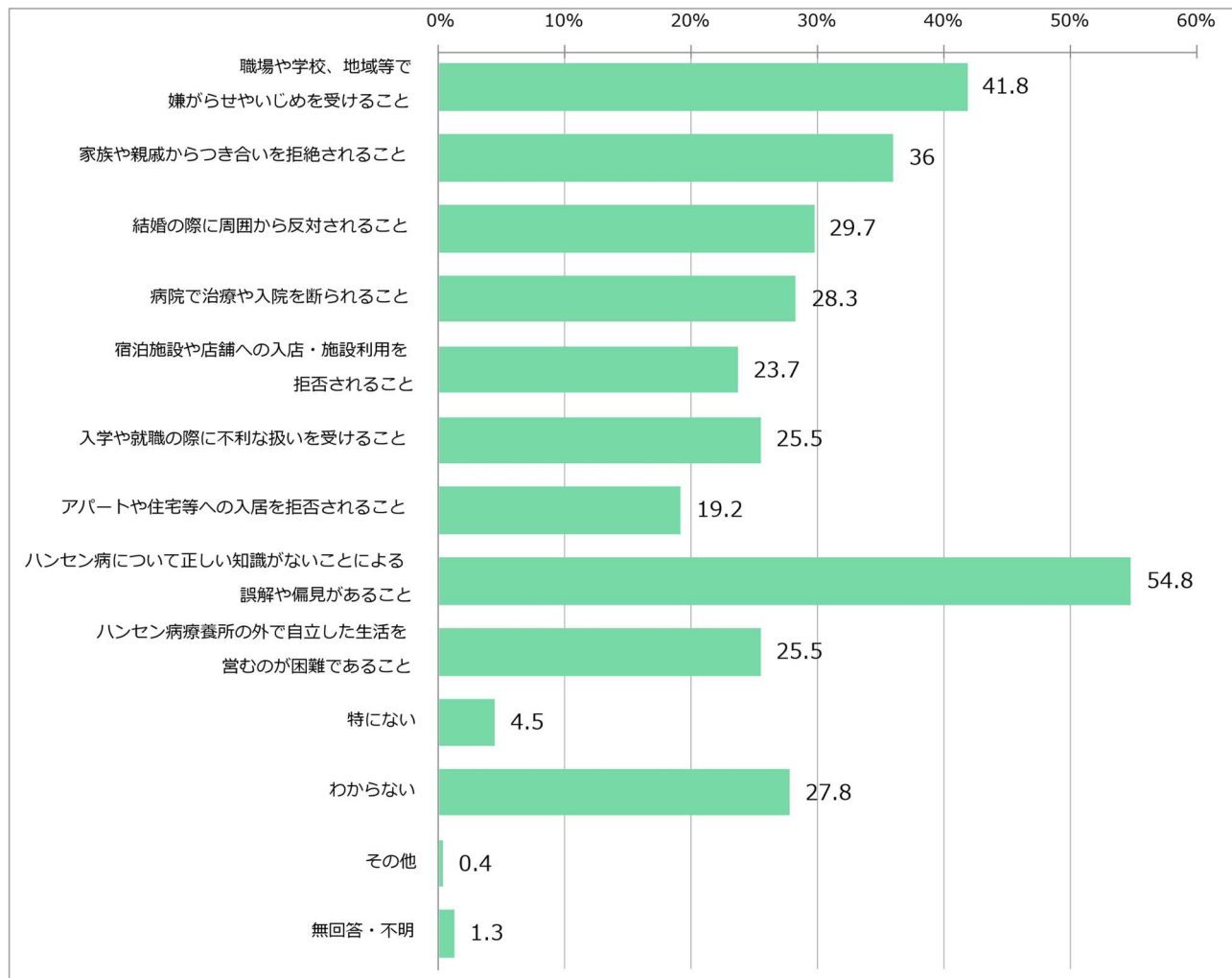
※この設問は前回調査にはありません

「感染症に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む」が72.2%で最も高く、次いで「感染症患者のプライバシーの保護を徹底する」が50.5%となっています。

8 ハンセン病患者・元患者に関する人権問題

問21 ハンセン病患者・元患者やその家族に関する人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

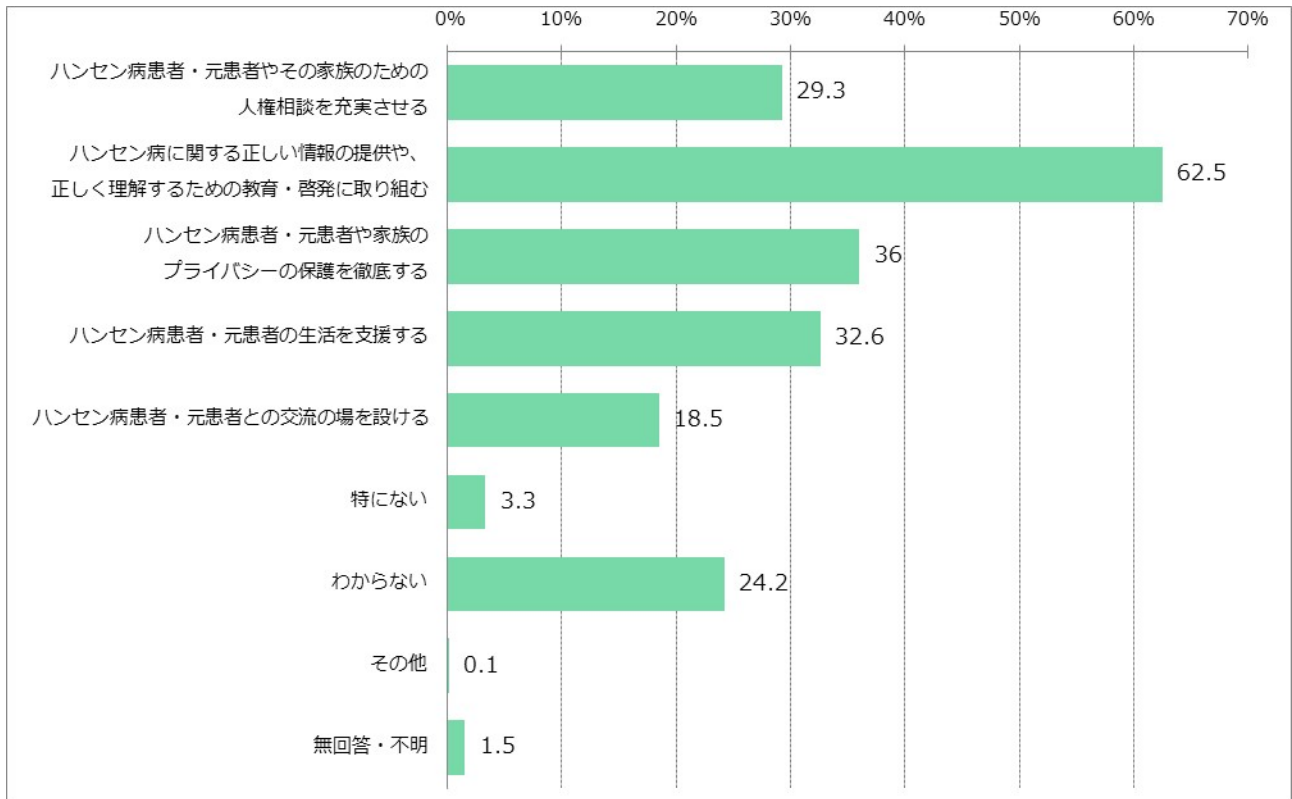


	回答数	職場や学校、地域等で嫌がらせやいじめを受けること	家族や親戚から拒絶されること	結婚の際に周囲から反対されること	病院で治療や入院を断られること	宿泊施設や店舗への入店・施設利用を拒否されること	入学や就職の際に不利な扱いを受けること	アパートや住宅等への入居を拒否されること	ハンセン病について正しい知識がないことによる誤解や偏見があること	ハンセン病治療施設での生活や世帯の外で自立した生活を行うことが困難であること	特になし	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	41.8%	36.0%	29.7%	28.3%	23.7%	25.5%	19.2%	54.8%	25.5%	4.5%	27.8%	0.4%	1.3%	
性別	男性	390	38.7%	33.8%	28.7%	25.6%	23.1%	23.6%	17.7%	49.5%	18.5%	5.6%	28.5%	0.8%	0.8%
	女性	587	44.0%	37.5%	30.3%	30.2%	24.2%	26.7%	20.3%	58.4%	30.2%	3.7%	27.3%	0.2%	1.7%
年代別	10・20歳代	58	51.7%	44.8%	34.5%	41.4%	31.0%	25.9%	24.1%	43.1%	25.9%	6.9%	31.0%	-	-
	30歳代	120	35.8%	29.2%	21.7%	22.5%	20.0%	22.5%	17.5%	42.5%	22.5%	6.7%	36.7%	-	-
	40歳代	151	43.0%	35.1%	27.8%	31.8%	24.5%	28.5%	21.2%	55.6%	30.5%	2.6%	31.1%	-	-
	50歳代	176	43.2%	40.9%	34.7%	29.5%	22.2%	25.0%	21.0%	54.5%	31.8%	2.3%	29.0%	-	1.1%
	60歳代	180	41.7%	38.3%	32.8%	28.9%	27.8%	25.6%	17.8%	64.4%	27.8%	2.8%	22.2%	1.7%	0.6%
	70歳以上	293	41.0%	33.1%	28.0%	25.3%	21.8%	25.3%	17.7%	56.0%	18.8%	6.5%	24.6%	0.3%	3.4%

※この設問は前回調査にはありません

「ハンセン病について正しい知識がないことによる誤解や偏見があること」が 54.8%で最も高く、次いで「職場や学校、地域等で嫌がらせやいじめを受けること」が 41.8%となっています。

問21 ハンセン病患者・元患者やその家族に関する人権問題について、お答えください。
 (2) ハンセン病患者・元患者やその家族の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



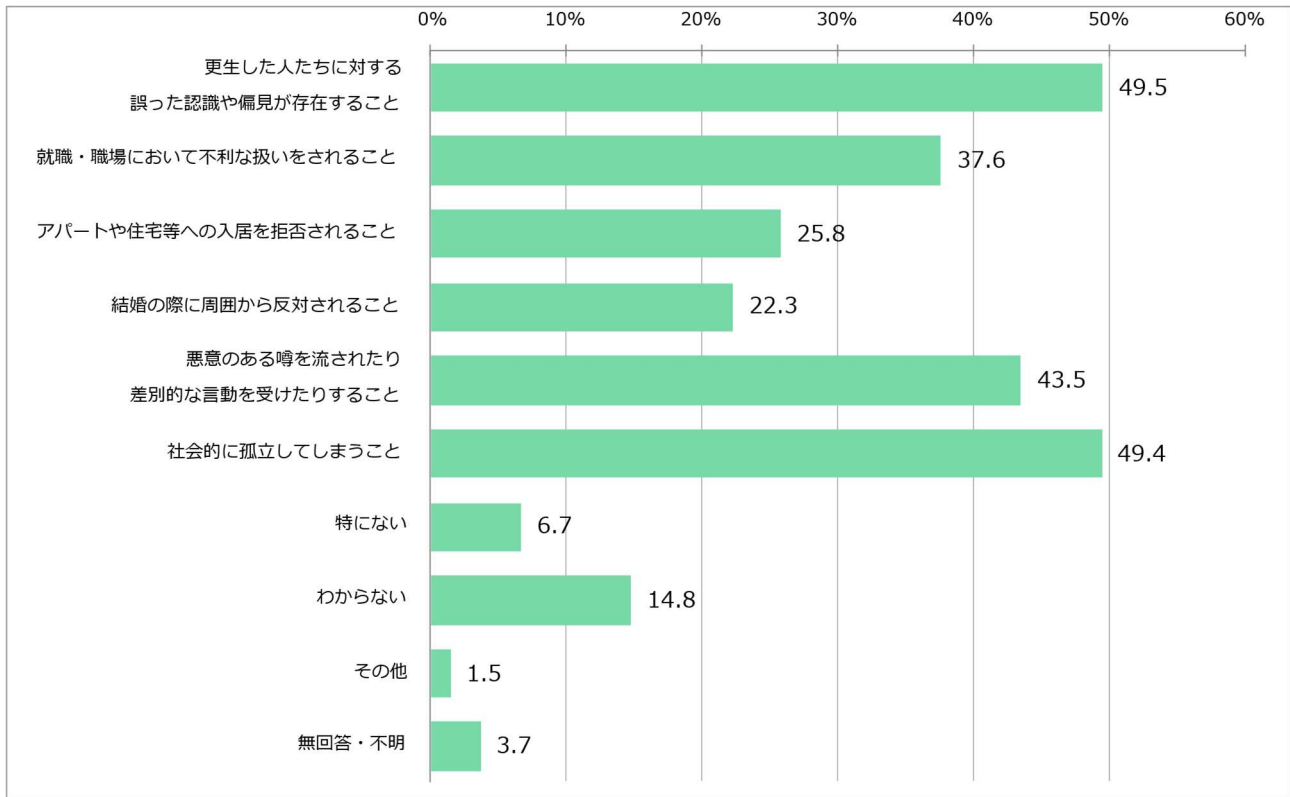
	回答数	ハンセン病患者・元患者やその家族の人権相談を充実させる	ハンセン病に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む	ハンセン病患者・元患者や家族のプライバシーの保護を徹底する	ハンセン病患者・元患者の生活を支援する	ハンセン病患者・元患者との交流の場を設ける	特にない	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	29.3%	62.5%	36.0%	32.6%	18.5%	3.3%	24.2%	0.1%	1.5%
性別	男性	30.5%	60.0%	33.3%	28.2%	17.7%	3.6%	26.2%	0.3%	0.8%
	女性	28.6%	64.2%	37.8%	35.6%	19.1%	3.1%	22.8%	-	2.0%
年代別	10・20歳代	36.2%	58.6%	50.0%	37.9%	17.2%	5.2%	25.9%	-	-
	30歳代	22.5%	53.3%	35.0%	28.3%	15.8%	5.0%	30.0%	0.8%	-
	40歳代	25.2%	59.6%	35.1%	31.1%	19.9%	1.3%	30.5%	-	-
	50歳代	35.2%	63.6%	38.6%	36.4%	21.0%	2.8%	23.3%	-	1.1%
	60歳代	28.9%	67.2%	35.0%	37.2%	16.7%	1.7%	19.4%	-	0.6%
	70歳以上	29.7%	64.8%	33.1%	29.0%	18.8%	4.4%	21.8%	-	4.1%

※この設問は前回調査にはありません

「ハンセン病に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む」が 62.5%で最も高く、次いで「ハンセン病患者・元患者や家族のプライバシーの保護を徹底する」が 36.0%となっています。

9 刑を終えて出所した人の人権問題

問22 あなたは、刑を終えて出所した人やその家族に関する事で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



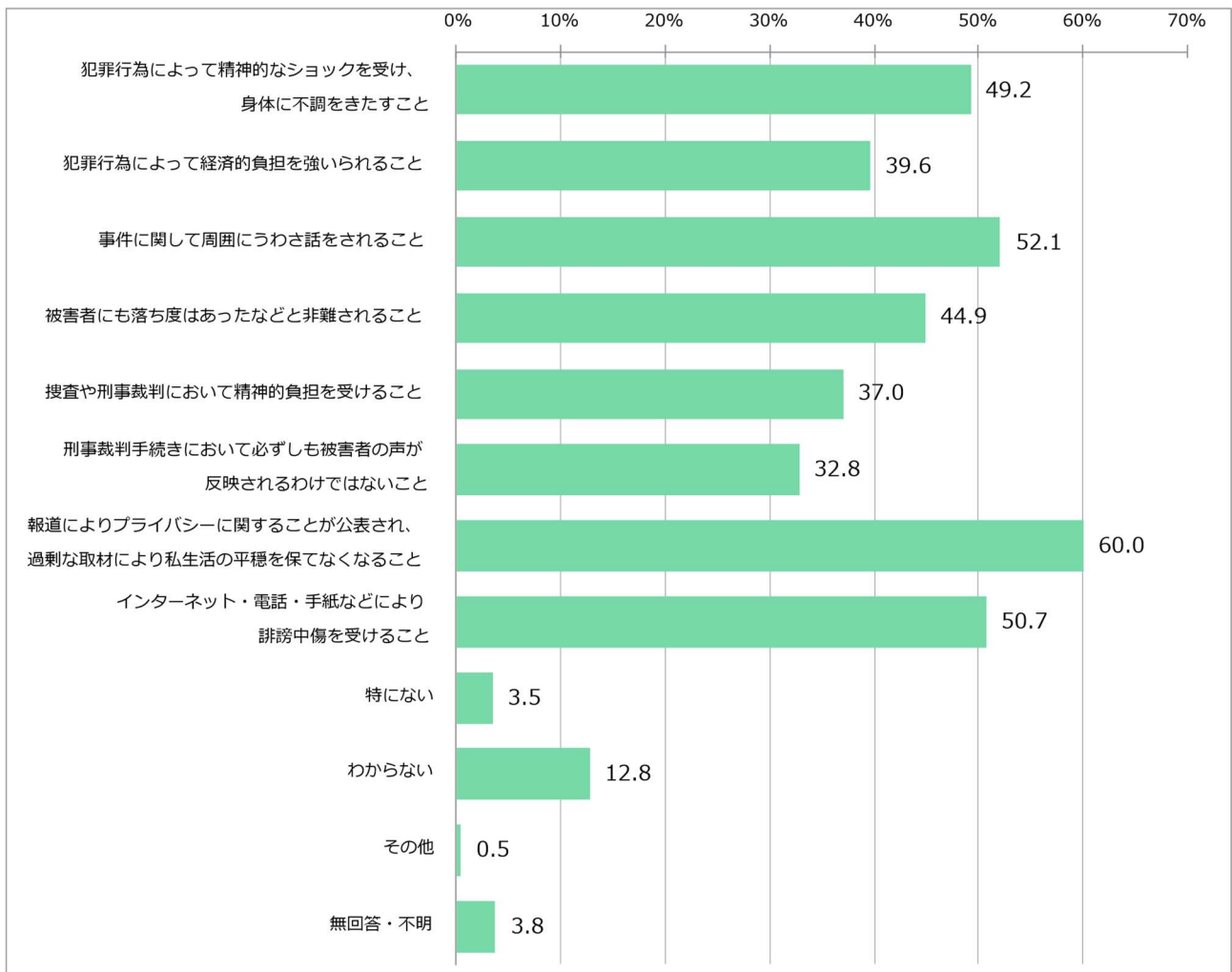
	回答数	更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在すること	就職・職場において不利な扱いをされること	アパートや住宅等への入居を拒否されること	結婚の際に周囲から反対されること	悪意のある噂を流されたり差別的な言動を受けたりすること	社会的に孤立してしまうこと	特にない	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	49.5%	37.6%	25.8%	22.3%	43.5%	49.4%	6.7%	14.8%	1.5%	3.7%	
性別	男性	390	49.5%	36.7%	24.9%	22.3%	41.0%	44.9%	10.0%	13.6%	2.3%	4.4%
	女性	587	49.6%	38.3%	26.4%	22.3%	45.1%	52.5%	4.6%	15.5%	1.0%	3.2%
年代別	10・20歳代	58	51.7%	39.7%	27.6%	25.9%	50.0%	43.1%	6.9%	13.8%	-	-
	30歳代	120	39.2%	26.7%	18.3%	15.8%	38.3%	41.7%	15.0%	11.7%	0.8%	1.7%
	40歳代	151	42.4%	41.7%	27.8%	26.5%	46.4%	53.0%	7.9%	18.5%	2.6%	-
	50歳代	176	50.6%	35.8%	26.1%	24.4%	42.6%	50.6%	6.3%	14.2%	0.6%	3.4%
	60歳代	180	56.1%	43.9%	28.9%	21.7%	44.4%	55.0%	3.3%	12.8%	1.1%	3.3%
	70歳以上	293	52.2%	36.9%	25.3%	21.2%	42.7%	47.8%	5.1%	16.0%	2.4%	7.5%

※この設問は前回調査にはありません

「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在すること」が 49.5%で最も高く、次いで「社会的に孤立してしまうこと」が 49.4%となっています。また、「悪意のある噂を流されたり差別的な言動を受けたりすること」が 43.5%となっています。

10 犯罪被害者の人権問題

問23 あなたは、犯罪被害者やその家族に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



	回答数	精神的なショックを受け、身体に不調をきたすこと	犯罪行為によって経済的負担を強いられること	事件に関して周囲にうわさ話をされること	落ち度はあったなど、非難されること	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が反映されるわけではないこと	報道によりプライバシーに関することが公表され、過剰な取材により私生活の平穏を保てなくなる	報道によりプライバシーに関することが公表され、誹謗中傷を受けること	インターネット・ニュース・電話・手紙などにより	特になし	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	49.2%	39.6%	52.1%	44.9%	37.0%	32.8%	60.0%	50.7%	3.5%	12.8%	0.5%	3.8%	
性別	男性	390	48.2%	42.3%	47.9%	40.5%	37.2%	31.3%	55.1%	44.1%	4.4%	13.3%	0.5%	4.4%
	女性	587	49.9%	37.8%	55.0%	47.9%	37.0%	33.9%	63.4%	55.2%	2.9%	12.3%	0.5%	3.4%
年代別	10・20歳代	58	62.1%	51.7%	65.5%	56.9%	44.8%	37.9%	50.0%	53.4%	-	12.1%	-	-
	30歳代	120	53.3%	45.0%	52.5%	55.0%	40.8%	31.7%	60.0%	55.8%	5.0%	10.8%	0.8%	1.7%
	40歳代	151	55.0%	48.3%	58.9%	53.6%	46.4%	45.0%	63.6%	57.0%	4.0%	9.3%	0.7%	-
	50歳代	176	53.4%	46.0%	55.7%	50.0%	42.6%	39.2%	60.8%	55.1%	2.3%	10.2%	0.6%	2.8%
	60歳代	180	48.9%	38.3%	56.1%	43.3%	37.8%	35.6%	69.4%	55.0%	0.6%	11.7%	-	3.3%
	70歳以上	293	39.6%	27.3%	41.3%	31.7%	25.3%	20.5%	53.9%	39.6%	5.8%	17.7%	0.7%	8.2%

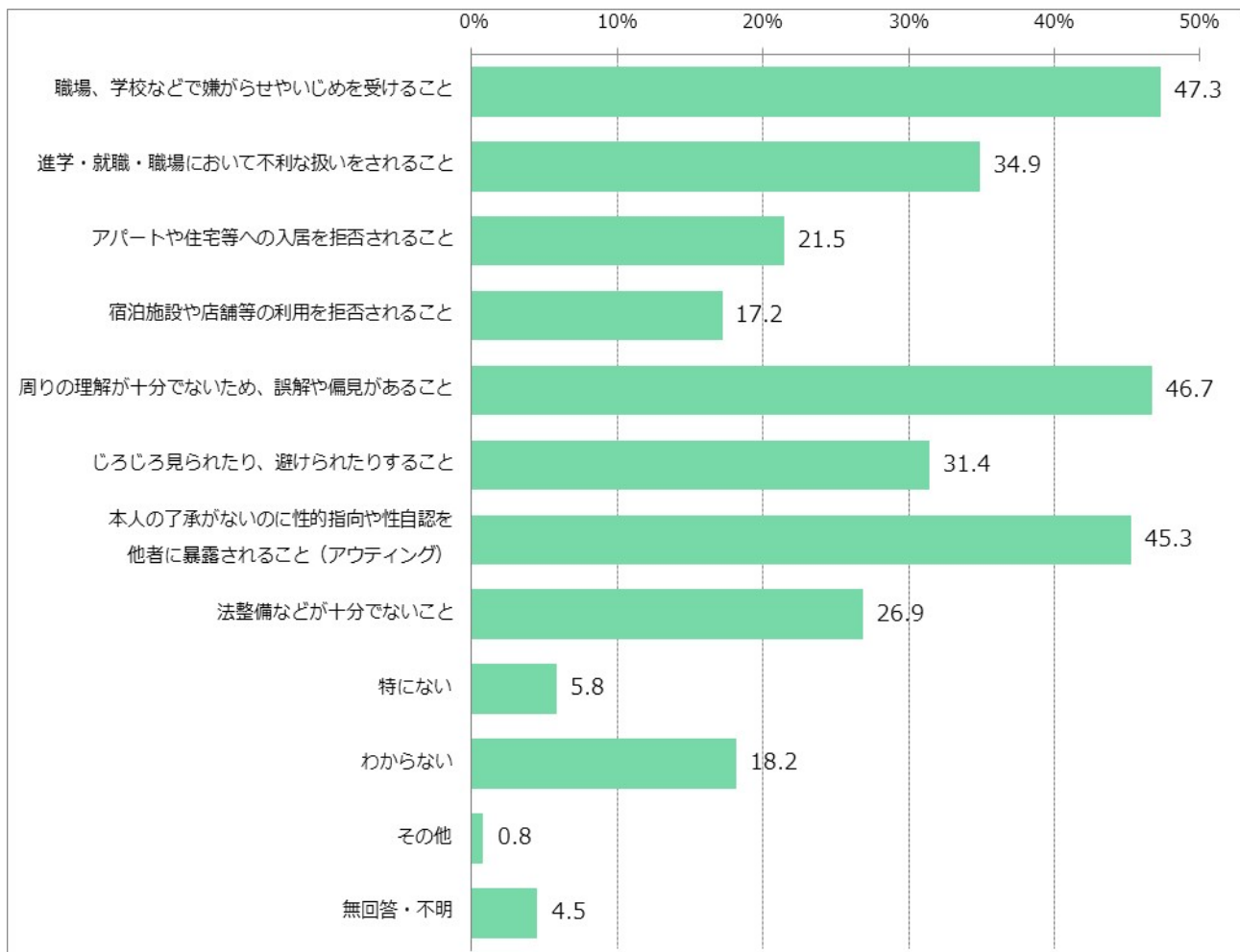
※この設問は前回調査にはありません

「報道によりプライバシーに関することが公表され、過剰な取材により私生活の平穏を保てなくなること」が60.0%で最も高く、次いで「事件に関して周囲にうわさ話をされること」が52.1%となっています。

11 性的マイノリティの人々の人権問題

問24 性的マイノリティの人々の人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、性的マイノリティの人々に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



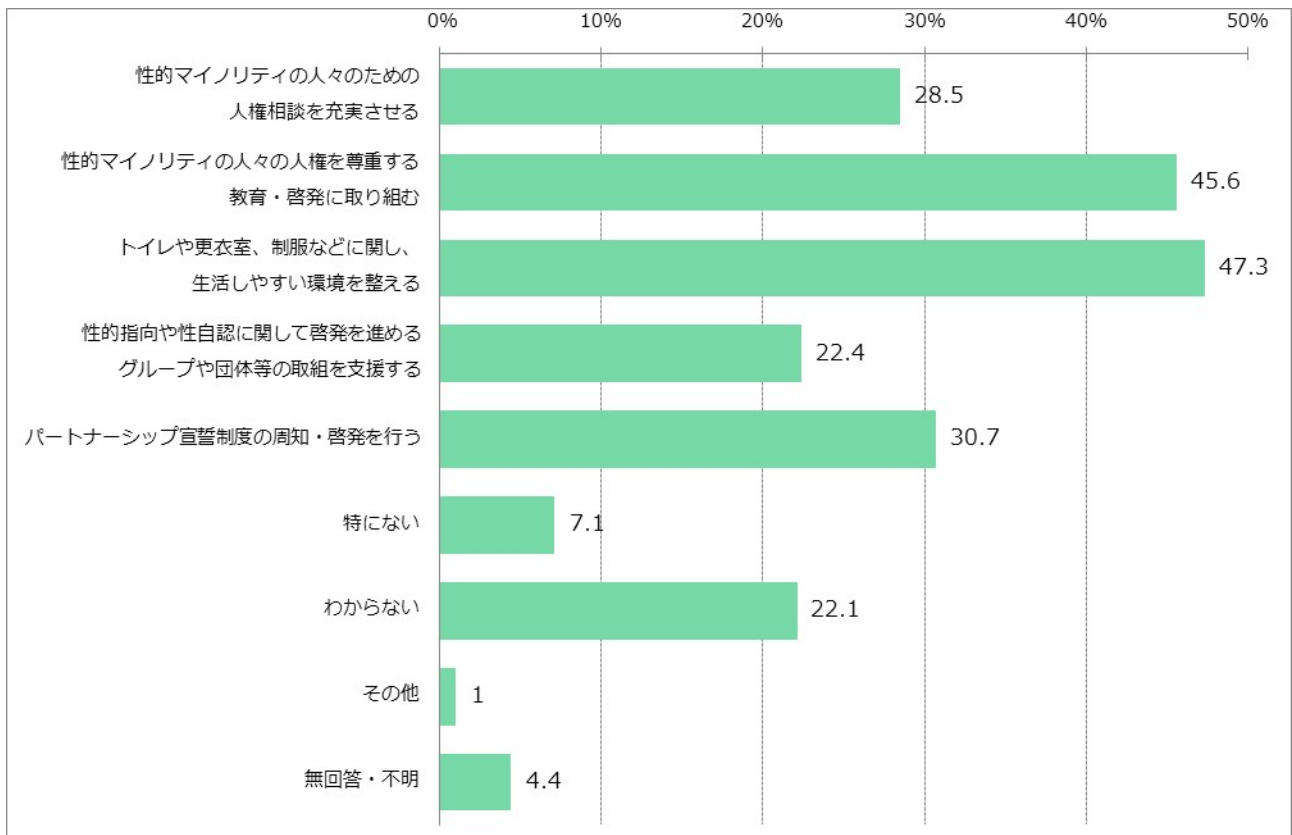
	回答数	嫌がらせやいじめを受けること	職場、学校などで進学・就職・職場において不利な扱いを受けること	アパートや住宅等への入居を拒否されること	宿泊施設や店舗等の利用を拒否されること	誤解や偏見があるため、十分に理解がなれること	避けられたり見られたりすること	本人の了承がないのに性的指向や性自認を他者に暴露されること(アウティング)	法整備などが十分でないこと	特になし	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	47.3%	34.9%	21.5%	17.2%	46.7%	31.4%	45.3%	26.9%	5.8%	18.2%	0.8%	4.5%	
性別	男性	390	41.8%	33.8%	17.4%	14.4%	41.5%	29.0%	32.8%	20.8%	8.2%	20.5%	1.3%	5.1%
	女性	587	50.9%	35.6%	24.2%	19.1%	50.1%	33.0%	53.5%	30.8%	4.3%	16.7%	0.5%	4.1%
年代別	10・20歳代	58	67.2%	36.2%	25.9%	17.2%	60.3%	46.6%	60.3%	39.7%	-	8.6%	-	-
	30歳代	120	54.2%	33.3%	16.7%	15.0%	44.2%	37.5%	48.3%	27.5%	5.0%	12.5%	-	2.5%
	40歳代	151	53.6%	41.7%	27.8%	27.8%	53.0%	40.4%	63.6%	31.8%	2.6%	11.9%	2.6%	-
	50歳代	176	51.1%	38.1%	26.1%	19.9%	57.4%	34.1%	44.3%	31.8%	4.0%	16.5%	-	3.4%
	60歳代	180	42.8%	31.7%	16.1%	13.3%	45.6%	30.6%	45.0%	23.3%	5.6%	21.1%	0.6%	3.3%
	70歳以上	293	37.9%	31.7%	19.8%	13.3%	36.2%	20.1%	32.4%	20.8%	10.2%	24.9%	1.0%	9.9%

※この設問は前回調査にはありません

「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」が 47.3%で最も高く、次いで「周りの理解が十分でないため、誤解や偏見があること」が 46.7%となっています。また、「本人の了承がないのに性的指向や性自認を他者に暴露されること(アウティング)」が 45.3%となっています。

問24 性的マイノリティの人々の人権問題について、お答えください。

(2) 性的マイノリティの人々の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)



	回答数	性的マイノリティの人々の人権相談を充実させる	性的マイノリティの人々の人権を尊重する教育・啓発に取り組む	トイレや更衣室、制服などに関し、生活しやすい環境を整える	性的指向や性自認に関して啓発を進めるグループや団体等の取組を支援する	パートナーシップ宣誓制度の周知・啓発を行う	特にない	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	28.5%	45.6%	47.3%	22.4%	30.7%	7.1%	22.1%	1.0%	4.4%
性別										
男性	390	27.2%	43.6%	37.2%	19.5%	25.4%	9.2%	24.9%	1.0%	5.1%
女性	587	29.5%	47.0%	54.2%	24.4%	34.2%	5.6%	20.1%	1.0%	3.9%
年代別										
10・20歳代	58	44.8%	51.7%	55.2%	37.9%	43.1%	1.7%	17.2%	-	-
30歳代	120	26.7%	37.5%	50.0%	22.5%	34.2%	5.8%	17.5%	1.7%	2.5%
40歳代	151	30.5%	49.7%	55.0%	27.8%	37.1%	2.6%	17.9%	1.3%	0.7%
50歳代	176	30.7%	54.0%	50.6%	25.6%	36.9%	8.5%	19.3%	0.6%	2.8%
60歳代	180	25.6%	46.7%	48.9%	19.4%	29.4%	5.0%	23.9%	0.6%	3.3%
70歳以上	293	25.6%	39.9%	37.9%	16.4%	20.5%	11.3%	27.6%	1.4%	9.6%

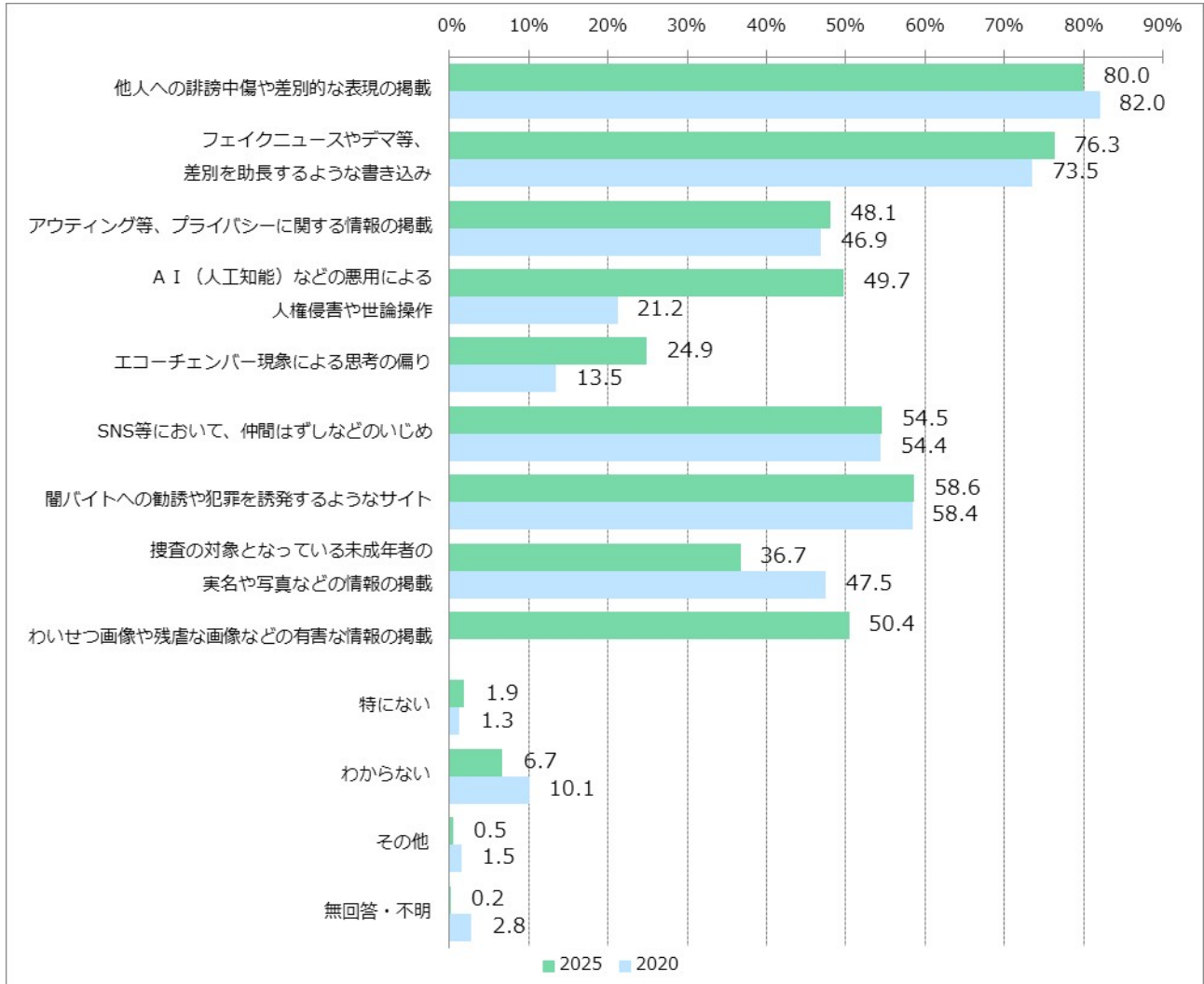
※この設問は前回調査にはありません

「トイレや更衣室、制服などに関し、生活しやすい環境を整える」が 47.3%で最も高く、次いで「性的マイノリティの人々の人権を尊重する教育・啓発に取り組む」が 45.6%となっています。

12 インターネット上の人権侵害

問25 インターネット上（SNS等を含む）の人権侵害について、お答えください。

（1）あなたは、インターネット上の人権侵害に関することで、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）



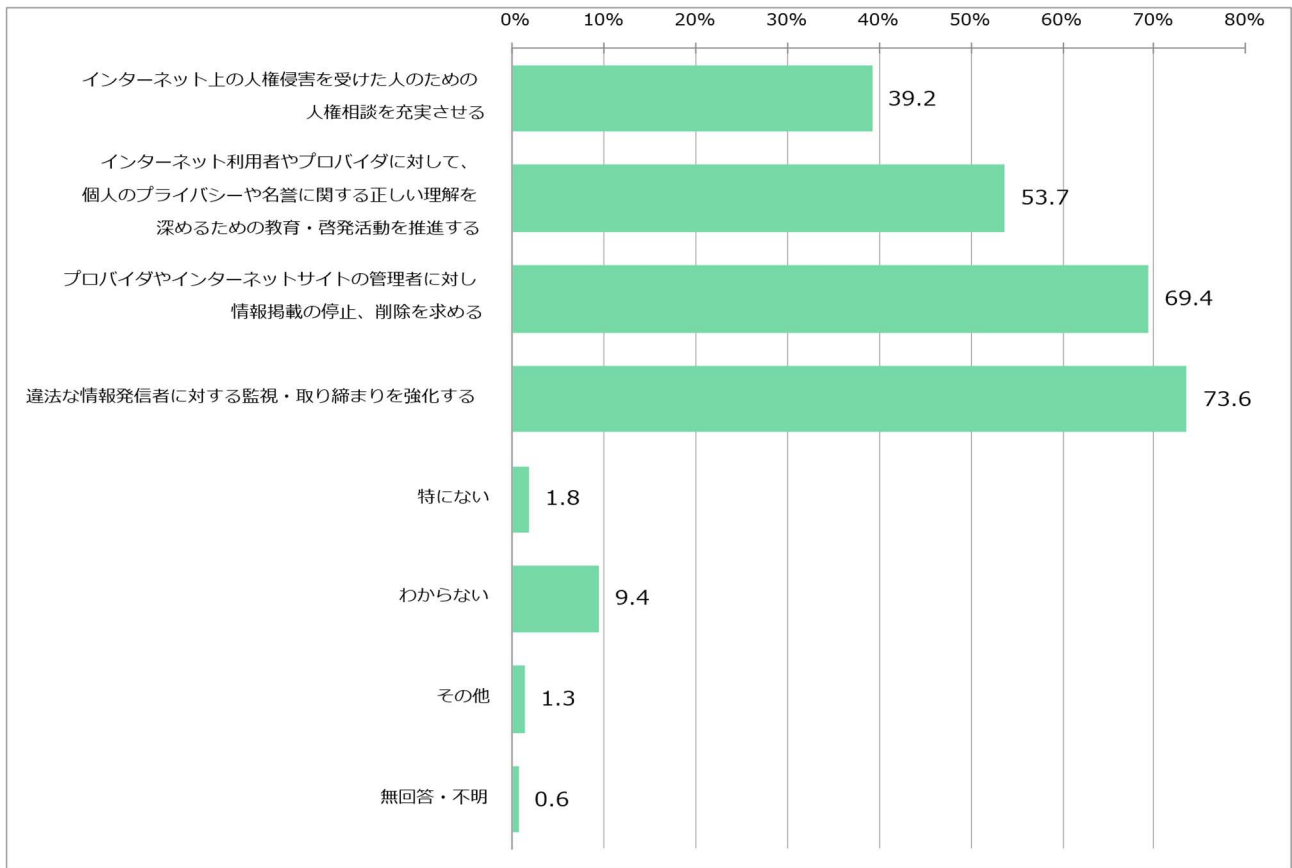
	回答数	他人への誹謗中傷や差別的な表現の掲載	フェイクニュースやデマ等、差別を助長するような書き込み	プライバシー情報に関する情報掲載	AI(人工知能)などの悪用による人権侵害や世論操作	エコチンバイアス現象による思考の偏り	SNS等において、仲間はずしなどのいじめ	犯罪を誘発するようなサイト	捜査の対象となっていない未成年者の実名や写真などの情報の掲載	わいせつ画像や残虐な画像などの有害な情報の掲載	特になし	わからない	その他	無回答・不明	
市全体	978	80.0%	76.3%	48.1%	49.7%	24.9%	54.5%	58.6%	36.7%	50.4%	1.9%	6.7%	0.5%	0.2%	
性別	男性	390	80.3%	75.4%	45.4%	46.7%	24.6%	51.0%	54.6%	30.0%	41.3%	3.1%	6.2%	0.5%	-
	女性	587	79.7%	76.8%	49.7%	51.6%	25.0%	56.7%	61.3%	41.2%	56.6%	1.2%	7.2%	0.5%	0.3%
年代別	10・20歳代	58	82.8%	75.9%	56.9%	69.0%	31.0%	58.6%	56.9%	37.9%	58.6%	1.7%	6.9%	-	-
	30歳代	120	76.7%	78.3%	55.8%	54.2%	28.3%	52.5%	55.8%	35.0%	45.0%	2.5%	5.0%	0.8%	-
	40歳代	151	80.8%	78.8%	58.3%	53.6%	28.5%	61.6%	62.9%	40.4%	55.0%	0.7%	3.3%	0.7%	-
	50歳代	176	81.8%	81.3%	53.4%	52.3%	29.5%	54.5%	66.5%	40.3%	50.0%	1.1%	5.1%	-	-
	60歳代	180	85.6%	80.0%	46.7%	47.8%	23.3%	56.1%	62.8%	40.6%	55.6%	0.6%	3.3%	-	-
	70歳以上	293	75.8%	68.9%	35.5%	41.6%	18.8%	49.8%	50.5%	30.7%	45.7%	3.8%	12.3%	1.0%	0.7%

※前回調査の選択肢には「わいせつ画像や残虐な画像などの有害な情報の掲載」がありません

「他人への誹謗中傷や差別的な表現の掲載」が 80.0%で最も高く、次いで「フェイクニュースやデマ等、差別を助長するような書き込み」が 76.3%となっています。

また、「AI(人工知能)などの悪用による人権侵害や世論操作」の割合が前回調査より 28.5 ポイント増加しています。

問25 インターネット上（SNS等を含む）の人権侵害について、お答えください。
 （2）インターネット上の人権侵害を解決するために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



	回答数	インターネット上の人権侵害を受けた人への人権相談を充実させる	インターネット利用者やプロバイダに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	プロバイダやインターネットサイトの管理者に対し情報掲載の停止、削除を求める	違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する	特にない	わからない	その他	無回答・不明
市全体	978	39.2%	53.7%	69.4%	73.6%	1.8%	9.4%	1.3%	0.6%
性別	男性	36.2%	53.6%	65.1%	71.3%	2.8%	8.2%	2.3%	0.3%
	女性	41.2%	53.8%	72.4%	75.3%	1.2%	10.1%	0.7%	0.9%
年代別	10・20歳代	48.3%	62.1%	72.4%	70.7%	1.7%	8.6%	-	-
	30歳代	37.5%	50.0%	67.5%	72.5%	3.3%	7.5%	1.7%	-
	40歳代	38.4%	60.3%	78.1%	79.5%	0.7%	4.0%	1.3%	-
	50歳代	45.5%	58.0%	69.3%	73.9%	1.7%	8.5%	1.7%	-
	60歳代	40.6%	54.4%	79.4%	84.4%	0.6%	6.7%	-	0.6%
	70歳以上	33.8%	47.1%	59.0%	64.8%	2.7%	15.4%	2.0%	1.7%

※この設問は前回調査にはありません

「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が73.6%で最も高く、次いで「プロバイダやインターネットサイトの管理者に対し情報掲載の停止、削除を求める」が69.4%となっています。

第5節 自由記述について

問27 あらゆる人権問題を解決するために、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

※抜粋意見は、文意を変えない範囲で原文を一部変更しています。

- 基本的な人権に関する啓発活動や教育が必要であると感じます。
また、人権に関する法律がいくつも成立していますが、知らない法律も含まれていました。周知されるようにもっと発信されるといいと思います。まずは人権に関心を持つことが必要だと考えます。
- 人権の大切さや、人権侵害をしないような教育を小学校から実施する。
- 繰り返し学ぶことが人権問題の解決には必要だと思います。
人権問題に関する様々な情報を身近に気軽に目にする環境づくりが必要だと思います。特に、人権に関する情報に触れる機会が少ないような方たちにも、自然と情報を目にする場面が多くなる工夫が必要ではないかと思います。
- 問題を抱えている人が、心が開けるような居場所がたくさんあったら良いと思います。居場所がたくさんあればその人に合う場所が見つかるかもしれない。逃げる場所は1つではなくたくさんあった方が良い。「あなたの事を気にかけているよ。」という人に会えれば心持ちも違うのではないかと思います。
- 永遠の課題だと思っていますが、一人一人の認識を変えていくことが大切だと思いますし、若い世代から変えていくことが重要ではないかと考えます。
- 非常に難しい問題で、画一的に足並みを揃えるのは難しいと思う。思想や信念は多種多様な社会な上、古くからの慣習から変わらない人も多いと思う。
- 自分の行動や言動が差別につながっているのかが分からない。もっと、事例でその行為や言動は差別にあたると教えてほしい。
逆に差別されている事例から新たな差別を知る事により、気にしていなかった差別を知ることもある。
- 誰も生まれた時の場所や時間や地域、環境は選べない。たまたまなってしまったばかりに、差別を受けるのは憤りを感じる。
- 一人一人の意見を聞くことは大切だと思いますが、“言ったもの勝ち”というのは納得できません。
みんなが安心して暮らせる大分にして欲しいと思います。
- 啓蒙活動より具体的に解決できる取り組みをしてもらいたいと思います。

- 研修や勉強会、説明会を行っても、その事について浸透しなければ意味がない。
 まずは差別がおこっている事に対し、どうしたらこの事に興味を持ち、聞く耳をもってもらえるか…
 奥が深い問題ではあるが、誰かが行わなくてはいけないし、理解を深めていかななくてはならない。
 すべての人がすごしやすく、悩みのない日常が送れる事を願うばかりです。
- AI や SNS 等、真偽不明な情報に対して、それを目にしたり、聞いたりした時に、まず一旦それを色んな角度から調べる注意深さが必要だと感じます。
 人権と言うものの本質だって、その人次第で受け取り方は違い、多様性を重視するのか、唯一無二の普遍性を尊重するのかで言葉の意味から変わるようなものだと思う。
 人を貶めて自分の優位性を証明するようなバカげた考えがこれ以上広がらないことを強く願います。
- 人権である以上、すべての項目に被害者と加害者が存在します。行き過ぎた判断とそれが逆差別とならないよう願うばかりです。
- 人間のエゴやズルさ、人と人とを比べる事の愚かさが存在する限り差別は無くならないと思う。
- 全部が全部スッキリ解決できる訳ではないかも知れませんが、悪い環境からは抜け出せるので、色んな選択肢を持って行動できたらと思いました。
- 当事者にどうしてほしい・どうしてほしい等々の意見を聞く。
- 自分に害が及ばないように、他の人の意見に同調してしまう事はあると思う。難しいかもしれませんが、もっと他人に優しい世の中になればと思っています。
- 法整備なども大切だが、制度や決まりがしっかりと使える世の中になって欲しい。知らないで差別が生まれるから、民間企業でも人権意識を高められる取り組みを。
- 人権について知る機会を企業へ依頼。各企業内で地域との共生などを目的に必要な教育として、教育や講演会を行う。
- ハラスメントをされた人は、問題を解決しようと思っても心身ともに疲れている中で体力や時間を使って対応しなければならないです。相当の覚悟が必要だと思うので、解決しやすいような整備(メンタルケアなど)がされると嬉しいです。
- 現状はどちらかというと、被害者より加害者の方がケアされる部分の多い法律などが多い印象であり、泣き寝入りする状況が多いように感じます。適宜、法律や条例は改正し、時代に即した決まりにするべきと考えます。

卷末付録

人権に関する市民意識調査

【 調査のお願い 】

市民の皆様へ

日ごろから市政各般にわたり、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

大分市では、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現をめざして、様々な取り組みを推進しています。

その取り組みの一つとして、今後の人権に関する施策の参考とさせていただくために、「人権に関する市民意識調査」を、定期的を実施し、市民の皆様の人権に関する意識や考えをお伺いしています。

調査にあたっては、市内にお住まいの 18 歳以上の方の中から、年代別に無作為に 3,000 人の方をお願いしています。調査には無記名で回答いただき、その結果は統計的に処理しますので、回答から個人が特定されることはありません。ご多用中、大変恐縮ではございますが、なにとぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 7 年 12 月 大分市長 足立 信也

【 回答にあたってのお願い 】

1. 回答は、封筒のあて名のご本人にてお願いいたします。（ご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方などがご本人から聞き取って、代わりに回答してください。）
2. 回答は、以下の①または②のいずれかの方法で **12月26日（金）** までにお願います。

①この調査票に直接記入して回答（郵送回答）

- ・調査票（本紙）に鉛筆またはボールペンで、はっきりと回答を記入してください。
- ・ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に、無記名のまま、三つ折りにして入れて、投函してください。なお、返信用封筒には、切手を貼ったり、差出人の住所や氏名を書いたりする必要はありません。

②インターネットによる回答

- ・下記 URL または二次元コードにアクセスし、回答を入力してください

※回答はお一人様 1 回でお願います。



URL: <https://ttzk.graffer.jp/city-oita/smart-apply/surveys/0262003677083879368>

調査に関する問い合わせ先

大分市役所 福祉保健部 人権尊重推進課

(所在地) 〒870-8504 大分市荷揚町 2 番 3 1 号

(電話) 直通 (097) 537-5618

(FAX) (097) 537-0032

人権の尊重、人権への関心について

問1 基本的人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されています。
あなたは、今の日本は「人権」が尊重されている社会だと思いますか。
(○は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問2 日本の社会には、人権に関わる様々な問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(○はいくつでも)

1. 女性の人権
2. こどもの人権
3. 高齢者の人権
4. 障がい者の人権
5. 部落差別(同和問題)
6. アイヌの人々の人権
7. 外国人の人権
8. 本邦外出身者に対する不当な差別的言動(いわゆるヘイトスピーチ)
9. 感染症(HIV、新型コロナウイルス感染症等)の患者等の人権
10. ハンセン病患者・元患者及びその家族の人権
11. 刑を終えて出所した人及びその家族の人権
12. 犯罪被害者及びその家族の人権
13. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権
14. 性的マイノリティの人々の人権
15. インターネット上の人権侵害
16. 災害と人権(避難生活における人権侵害や風評被害など)
17. ホームレスの人々の人権
18. 人身取引(性的搾取(さくしゅ)、強制労働等を目的とした人身取引)
19. その他(具体的に:)
20. 特にない

法令や宣言、大分市の取組等について

問3 あなたは、人権に関する宣言や法令等についてご存じですか。次のア～ケについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

		内容も含めて知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らない
ア	日本国憲法 1947年(昭和22年)5月	1	2	3
イ	世界人権宣言 1948年(昭和23年)12月	1	2	3
ウ	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 2000年(平成12年)12月	1	2	3
エ	障害者差別解消法 (障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律) 2016年(平成28年)4月	1	2	3
オ	ヘイトスピーチ解消法 (本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律) 2016年(平成28年)6月	1	2	3
カ	部落差別解消推進法 (部落差別の解消の推進に関する法律) 2016年(平成28年)12月	1	2	3
キ	こども基本法 2023年(令和5年)4月	1	2	3
ク	LGBT理解増進法 (性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律) 2023年(令和5年)6月	1	2	3
ケ	情報流通プラットフォーム対処法 (特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律) 2025年(令和7年)4月	1	2	3

問4 あなたは、人権に関する大分市の条例等をご存じですか。次のア～オについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

		内容も含めて知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らない
ア	大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例 1996年(平成8年) ※2020年(令和2年)一部改正	1	2	3
イ	大分市人権教育・啓発基本計画 2004年(平成16年) ※2017年(平成29年)改定	1	2	3
ウ	おおいたパートナーシップ宣誓制度 2023年(令和5年)9月	1	2	3
エ	差別をなくす運動月間(8月)	1	2	3
オ	人権週間(12月4日～10日)	1	2	3

問5 あなたは、J:COM ホルトホール大分1階にある

「人権啓発センター(ヒューレおおいた)」をご存じですか。(○は1つだけ)

1. 知っていて、行ったことがある
2. 知っているが、行ったことはない
3. 名称しか知らない
4. 知らない

人権全般について

問6 あなたはこの5年間に差別をされた、人権を侵害されたと思ったことはありますか。
(○は1つだけ)

- 1. ある → 問7へ
- 2. ない → 問8へ
- 3. わからない → 問8へ

問7 (問6で1に○をつけられた方にお聞きします)

(1) 差別をされた、人権を侵害されたと思ったのは何についてですか。
次の中から該当するものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- 1. 年齢
- 2. 学歴・出身校
- 3. 職業
- 4. 収入・財産
- 5. ひとり親家庭、両親が不在
- 6. 障がい(精神・身体・知的)・疾病
- 7. 性別
- 8. 性的指向、性自認
- 9. 容姿
- 10. 被差別部落出身・被差別部落居住
- 11. 人種・民族・国籍
- 12. 思想・信条
- 13. 宗教
- 14. その他(具体的に: _____)

(問6で1に○をつけられた方にお聞きします)

(2) 差別をされた、人権を侵害されたと思ったのはどのような行為についてですか。
次の中から該当するものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげ口
2. 名誉・信用の毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)
3. 警察官等の公務員からの不当な扱い
4. 暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来しなくてもいいことを無理矢理させられたり権利の行使を妨害された)
5. 悪臭・騒音等の公害
6. 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、不平等または不利益な扱いをされた)
7. 地域社会での嫌がらせ
8. 学校や職場でのいじめ・嫌がらせ
9. 病院や社会福祉施設等施設職員からの不当な扱い
10. プライバシーの侵害
11. ハラスメント行為(セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティハラスメント等)
12. ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)
13. 虐待
14. その他(具体的に：)

問8 もし、あなたが差別をされたり、人権を侵害されたりした場合、どうしますか。
(○はいくつでも)

1. 黙って我慢する
2. 相手に抗議する
3. 身近な人に相談する
4. 弁護士に相談する
5. 市役所に相談する
6. 学校、職場に相談する
7. 自治会・町内会、民生委員等に相談する
8. 法務局または人権擁護委員に相談する
9. 民間相談機関に相談する
10. 警察に相談する
11. わからない
12. その他（具体的に： _____)

問9 あなたは、以下の差別に関する考え方をどう思いますか。次のア～カについて
お答えください（○はそれぞれ1つ）

		そう 思う	どちらか と言え ばそう 思う	どちらか と言え ばそう 思わ ない	そう 思わ ない
ア	差別は人間として最も恥ずべき行為のひとつである	1	2	3	4
イ	差別問題は、差別されている人の問題で自分には関係ない	1	2	3	4
ウ	差別の原因には、差別される側にも問題があることも多い	1	2	3	4
エ	ささいな発言に対して「差別だ」と必要以上に反応することが増えている	1	2	3	4
オ	差別を見たり聞いたりしたことがないので、差別はもうなくなった	1	2	3	4
カ	どんなに努力しても差別をなくすことは難しい	1	2	3	4

問 10 あなたは、普段の生活の中で、次のア～ケの考え方について、どう思いますか。
 (○はそれぞれ1つ)

		そう思う	どちらか と言え ばそう 思う	どちらか と言え ばそう 思わな い	そう思 わな い
ア	こどもは大人の言うことを必ず聞かなければならない	1	2	3	4
イ	罪を犯した未成年者は、成人と同じように処罰すべきである	1	2	3	4
ウ	子育てや家事は女性がした方が良い	1	2	3	4
エ	高齢者の求人が少ないのは仕方がない	1	2	3	4
オ	障がい者の求人が少ないのは仕方がない	1	2	3	4
カ	外国人や外国籍の人は、仕事をする上で少々待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4
キ	ヘイトスピーチは、どんな理由があっても許されない	1	2	3	4
ク	感染症に関わる人やその家族等が避けられるのは仕方がない	1	2	3	4
ケ	結婚式等の行事を行う時、「大安」「仏滅」などにこだわる	1	2	3	4

問 11 あなたは、就職や結婚の時に、その相手方などの身元調査をすることについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

1. 絶対にやめるべきだ
2. やめた方がよい
3. やむを得ないことだ
4. 当然必要なことだ
5. わからない

問 12 あなたが、住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、価格や立地条件が希望にあっても、次のア～カの条件の場合、避けることがあると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

		避けると思う	どちらかと言えば避けると思う	どちらかと言えば避けないと思う	全く気にしないと思う
ア	近隣に老人ホームなどの高齢者施設がある	1	2	3	4
イ	近隣に障がい者施設がある	1	2	3	4
ウ	近隣に保育所(園)や幼稚園がある	1	2	3	4
エ	近隣に外国籍の住民が多く住んでいる	1	2	3	4
オ	近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる	1	2	3	4
カ	近隣に被差別部落(同和地区)がある	1	2	3	4

問 13 人権問題に関する学習機会についてお答えください。

(1) 次のうち、過去5年間に人権問題について読んだり見たりしたものはありますか。
(○はいくつでも)

1. 市報おおいた
2. 市発行の冊子、パンフレット、ポスター
3. 市ホームページ
4. 地区公民館、地区人権教育（尊重）推進協議会、PTA等発行の新聞やパンフレット
5. SNS などインターネットの情報
6. 新聞の記事
7. 書籍・雑誌の記事
8. テレビ・ラジオ番組
9. 映画・DVD・ビデオ
10. その他（具体的に： _____)
11. 特にない

(2) あなたは、過去5年間に人権問題に関する以下の講演会や研修会に参加したことがありますか。(○はいくつでも)

1. 市や県主催の講演会・研修会
2. 学校やPTA主催の講演会・研修会
3. 地区公民館、地区人権教育（尊重）推進協議会主催の講演会・研修会
4. 職場での研修会
5. その他（具体的に： _____)
6. 参加したことがない

(3) (2)で1～5に○をつけられた方にお聞きします。

参加した講演会や研修会の人権課題は何でしたか（○はいくつでも）

1. 女性の人権問題
2. こどもの人権問題
3. 高齢者の人権問題
4. 障がい者の人権問題
5. 部落差別（同和問題）
6. 外国人の人権問題
7. HIV感染者、ハンセン病患者・元患者等の人権問題
8. インターネットによる人権侵害
9. 性的マイノリティの人々の人権問題
10. その他（具体的に： _____)

(4) (2)で6に○をつけられた方にお聞きします。

その理由をあげてください。(○は1つだけ)

1. 参加する意思はあったが、講演会などが開かれていることを知らなかったから
2. 参加しようと思ったが、時間的な余裕がなかったから
3. 人権問題のことはよく知っている（参加するまでもないと思う）から
4. 人権問題に関心がないから
5. その他（具体的に： _____)
6. 覚えていない

問 14 女性をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、女性に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 男女の固定的な役割分担意識（男だからこうあるべき、女だからこうあるべきなどの考え方）の押しつけ
2. 職場において差別的な待遇（女性が管理職になりにくい等）を受けること
3. 政治や経済分野等での女性参画の遅れ
4. 結婚の際に、ほとんどの場合、女性が姓を変更していること
5. 配偶者や交際相手など親しい人から暴力を受けること（DV）
6. 生活困窮（ひとり親世帯等）
7. 職場や学校などにおけるセクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）、マタニティハラスメント（妊娠、出産等を理由とする不利益な取り扱い）
8. 性犯罪やストーカー行為
9. 売買春、援助交際
10. 特にない
11. わからない
12. その他（具体的に： _____)

(2) 女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 女性のための人権相談を充実させる
2. 女性の人権を尊重する教育・啓発に取り組む
3. 女性に対するあらゆる暴力の根絶・防止に向けた取組を行う
4. 男女がともに働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する
5. 行政・企業・地域などあらゆる分野での女性登用を促進する
6. 女性に対する犯罪の取締りを強化する
7. 女性が暴力などの被害から逃れるための支援体制（シェルター等）を整備する
8. 特にない
9. わからない
10. その他（具体的に： _____)

問 15 こどもをめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、こどもに関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 仲間はずれや無視、暴力などのいじめがあること
2. いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること
3. 大人がこどもに自分の考え方を強制することや、こどもの意見を無視すること
4. 保護者などから虐待や育児放棄（ネグレクト）されること
5. 指導やしつけのためという理由で暴力や体罰を行うこと。
6. 生まれ育った環境により将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること
7. 児童ポルノ・児童買春の対象となること
8. ヤングケアラーの問題
9. 特にない
10. わからない
11. その他（具体的に： _____)

(2) こどもの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. こどものための人権相談を充実させる
2. こどもの人権を尊重する教育・啓発に取り組む
3. こどもの個性を尊重する
4. こどもに、自分を大切にすることや他人に対する思いやりの重要性を教える
5. 大人に、こどもが独立した人格であることを啓発する
6. 周囲の大人が人権を大切にする姿をこどもに見せる
7. 地域コミュニティの醸成を図り、地域でこどもを見守る
8. 体罰禁止を徹底する
9. こどもが被害者になる犯罪の取り締まりを強化する
10. インターネットや携帯電話の利用等に関わる規制を強化する
11. 特にない
12. わからない
13. その他（具体的に： _____)

問 16 高齢者をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、高齢者に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
2. 悪徳商法や振り込め詐欺などの被害が多いこと
3. 家族や地域社会から孤立すること
4. 認知症に対する誤解や偏見があること
5. 家庭内での看護や介護において虐待があること
6. 病院や福祉施設における看護や介護において虐待があること
7. アパートや住宅等への入居を拒否されること
8. 経済的な自立が難しいこと
9. 道路・建物・交通機関の段差や階段など外出先での不便が多いこと
10. 特にない
11. わからない
12. その他（具体的に： _____)

(2) 高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 高齢者のための人権相談を充実させる
2. 高齢者の人権を尊重する教育・啓発に取り組む
3. 認知症高齢者対策を充実させる
4. 介護者の介護疲れや経済的問題の解決に向けた支援を行う
5. 道路や建物の段差解消など、高齢者が暮らしやすい環境作りを推進する
6. 高齢者が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する
7. スポーツや文化活動など、高齢者が社会参加できる機会を確保する
8. 成年後見制度など、高齢者の権利や財産を守るための制度の利用を促進する
9. 地域コミュニティの醸成を図り、地域で高齢者を見守る
10. 高齢者の住居の確保や就労環境を整備する
11. 特にない
12. わからない
13. その他（具体的に： _____)

問 17 障がい者をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、障がい者に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 就職・職場において不利な扱いをされること
2. 結婚の際に周囲から反対されること
3. 家庭や地域社会において偏見や差別的な言動を受けること
4. 家庭内での看護や介護において虐待があること
5. 病院や福祉施設における看護や介護において虐待があること
6. 詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと
7. アパートや住宅等への入居を拒否されること
8. 道路・建物・交通機関の段差や階段など外出先での不便が多いこと
9. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
10. スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
11. じろじろ見られたり、避けられたりすること
12. 特にない
13. わからない
14. その他（具体的に： _____)

(2) 障がい者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 障がい者のための人権相談を充実させる
2. 障がい者の人権を尊重する教育・啓発に取り組む
3. 道路や建物の段差解消など、障がい者が暮らしやすい環境作りを推進する
4. 障がい者の有する能力や適正に応じた就労の場を確保する
5. 障がい者が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する
6. 障がい者に対しての理解を深めるための交流の場を増やす
7. スポーツや文化活動など、障がい者が社会参加できる機会を確保する
8. 成年後見制度など、障がい者の権利や財産を守るための制度の利用を促進する
9. 福祉サービスの利用などを通じ、障がい者が自立して生活しやすい環境作りを推進する
10. 特にない
11. わからない
12. その他（具体的に： _____)

問 18 部落差別（同和問題）について、お答えください。

(1) あなたが、部落差別（同和問題）をはじめて知ったきっかけは何ですか。
（○は1つだけ）

1. 父母や家族の話で
2. 親戚の話で
3. 近所の話で
4. 友人の話で
5. 職場の話で
6. インターネットで
7. 学校の授業で
8. 公民館等の研修や講演で
9. 市や県の広報誌や冊子などで
10. テレビや書籍などで
11. 近くに被差別部落（同和地区）があった
12. はっきりと覚えていない
13. 部落差別（同和問題）を知らない
14. その他（具体的に： _____)

(2) 仮に、あなたのお子さんが、恋愛をし、結婚したいと言っている相手が被差別部落出身者（同和地区出身者）だとわかった場合、
※お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください。

(ア) あなたは、どんな態度を取ると思いますか。（○は1つだけ）

1. まったく問題にしない
2. 迷いながらも、結局は問題にしないだろう
3. 迷いながらも、結局は考え直すように言うだろう
4. 考え直すように言う
5. わからない

(イ) あなたの親戚は、どんな態度を取ると思いますか。（○は1つだけ）

1. 誰もそれを問題にしないだろう
2. 口に出して反対する者はいないが、喜ばない親戚がいるだろう
3. とんでもないと反対する親戚がいるだろう
4. わからない

(3) あなたは、部落差別（同和問題）に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1. 結婚の際に周囲から反対されること
2. 就職・職場において不利な扱いをされること
3. 差別的な発言や行為を受けること
4. 差別的な落書きがあること
5. 身元調査をされること
6. 地域の活動やつきあいで不利な扱いをされること
7. 被差別部落（同和地区）への居住が敬遠されること
8. インターネット上において、フェイクニュースやデマに基づく差別的な情報を掲載されること
9. アウティング行為により出自をさらされること
10. 特にない
11. わからない
12. その他（具体的に： _____)

(4) あなたは、部落差別（同和問題）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 部落差別（同和問題）に関する人権相談を充実させる
2. 部落差別（同和問題）に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む
3. 差別をする人や差別を助長する人を処罰する法律の制定や、人権侵害を救済する制度などを充実する
4. 部落差別（同和問題）はそっとしておけば自然となくなっていく
5. 被差別部落（同和地区）の人がかたまらずに分散して住むようにする
6. えせ同和行為（部落差別問題を口実にして企業や官公署等に不当な利益や義務のないことを求める行為）を厳しく取り締まる
7. 特にない
8. わからない
9. その他（具体的に： _____)

問 19 外国人をめぐる人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、日本に居住する外国人に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 就職・職場において不利な扱いをされること
2. アパートや住宅等への入居を拒否されること
3. 外見や言葉などを理由に避けられたり、仲間はずれにされたりすること
4. 結婚の際に周囲から反対されること
5. 外国の生活習慣や文化への理解が不足しており、外国人が地域社会から孤立してしまうこと
6. ヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為が行われていること
7. 言語の問題で、医療、福祉、防災、教育などの必要な社会的支援を十分に受けられないこと
8. 特にない
9. わからない
10. その他（具体的に： _____)

(2) 日本に居住する外国人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 外国人のための人権相談を充実させる
2. 外国人の人権を尊重する教育・啓発に取り組む
3. 外国人の雇用環境の改善に努める
4. 外国人が日本の文化や社会事情を理解する機会を増やす
5. 日本人が外国の文化や社会事情を理解する機会を増やす
6. 必要な情報を多言語で提供する
7. 特にない
8. わからない
9. その他（具体的に： _____)

問 20 感染症の患者等に関する人権問題について、お答えください。

(1) 新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行していた時期、あなたが、新型コロナウイルス感染症に関することで、人権上、特に問題があったと思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 感染者やその家族が差別的な言動や不利な扱いを受けること
2. 医療従事者やエッセンシャルワーカー（社会生活の維持に不可欠な業務に携わる人）やその家族が差別的な言動や不利な扱いを受けること
3. インターネットやSNS上で誹謗中傷や誤った情報を掲載されること
4. 感染拡大地からの来訪者や出身者が嫌がらせを受けること
5. ワクチン接種を強制することや接種しない人が不利益な扱いをされること
6. 特にない
7. わからない
8. その他（具体的に： _____)

(2) あなたは、あらゆる感染症の患者等（エイズ患者、HIV感染者、肝炎ウイルス感染者等）に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 職場や学校、地域等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 結婚の際に周囲から反対されること
3. 病院で治療や入院を断られること
4. 宿泊施設や店舗への入店・施設利用を拒否されること
5. 入学や就職の際に不利な扱いを受けること
6. アパートや住宅等への入居を拒否されること
7. 感染症について正しい知識がないことによる誤解や偏見があること
8. 特にない
9. わからない
10. その他（具体的に： _____)

(3) あらゆる感染症の患者等の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 感染症患者のための人権相談を充実させる
2. 感染症に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む
3. 感染症患者のプライバシーの保護を徹底する
4. 特にない
5. わからない
6. その他（具体的に： _____)

問 21 ハンセン病患者・元患者やその家族に関する人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 職場や学校、地域等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 家族や親戚からつき合いを拒絶されること
3. 結婚の際に周囲から反対されること
4. 病院で治療や入院を断られること
5. 宿泊施設や店舗への入店・施設利用を拒否されること
6. 入学や就職の際に不利な扱いを受けること
7. アパートや住宅等への入居を拒否されること
8. ハンセン病について正しい知識がないことによる誤解や偏見があること
9. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難であること
10. 特にない
11. わからない
12. その他（具体的に： _____)

(2) ハンセン病患者・元患者やその家族の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. ハンセン病患者・元患者やその家族のための人権相談を充実させる
2. ハンセン病に関する正しい情報の提供や、正しく理解するための教育・啓発に取り組む
3. ハンセン病患者・元患者や家族のプライバシーの保護を徹底する
4. ハンセン病患者・元患者の生活を支援する
5. ハンセン病患者・元患者との交流の場を設ける
6. 特にない
7. わからない
8. その他（具体的に： _____)

問 22 あなたは、刑を終えて出所した人やその家族に関する事で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在すること
2. 就職・職場において不利な扱いをされること
3. アパートや住宅等への入居を拒否されること
4. 結婚の際に周囲から反対されること
5. 悪意のある噂を流されたり差別的な言動を受けたりすること
6. 社会的に孤立してしまうこと
7. 特にない
8. わからない
9. その他(具体的に: _____)

問 23 あなたは、犯罪被害者やその家族に関する事で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 犯罪行為によって精神的なショックを受け、身体に不調をきたすこと
2. 犯罪行為によって経済的負担を強いられること
3. 事件に関して周囲にうわさ話をされること
4. 被害者にも落ち度はあったなどと非難されること
5. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
6. 刑事裁判手続きにおいて必ずしも被害者の声が反映されるわけではないこと
7. 報道によりプライバシーに関することが公表され、過剰な取材により私生活の平穏を保てなくなること
8. インターネット・電話・手紙などにより誹謗中傷を受けること
9. 特にない
10. わからない
11. その他(具体的に: _____)

問 24 性的マイノリティの人々の人権問題について、お答えください。

(1) あなたは、性的マイノリティの人々に関する事で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
2. 進学・就職・職場において不利な扱いをされること
3. アパートや住宅等への入居を拒否されること
4. 宿泊施設や店舗等の利用を拒否されること
5. 周りの理解が十分でないため、誤解や偏見があること
6. じろじろ見られたり、避けられたりすること
7. 本人の了承がないのに性的指向や性自認を他者に暴露されること (アウティング)
8. 法整備などが十分でないこと
9. 特にない
10. わからない
11. その他 (具体的に： _____)

(2) 性的マイノリティの人々の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 性的マイノリティの人々のための人権相談を充実させる
2. 性的マイノリティの人々の人権を尊重する教育・啓発に取り組む
3. トイレや更衣室、制服などに関し、生活しやすい環境を整える
4. 性的指向や性自認に関して啓発を進めるグループや団体等の取組を支援する
5. パートナーシップ宣誓制度の周知・啓発を行う
6. 特にない
7. わからない
8. その他 (具体的に： _____)

問 25 インターネット上（SNS等を含む）の人権侵害について、お答えください。

(1) あなたは、インターネット上の人権侵害に関する事で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1. 他人への誹謗中傷や差別的な表現の掲載
2. フェイクニュースやデマ等、差別を助長するような書き込み
3. アウティング等、プライバシーに関する情報の掲載
4. AI（人工知能）などの悪用による人権侵害や世論操作
5. エコーチェンバー現象による思考の偏り
6. SNS等において、仲間はずしなどのいじめ
7. 闇バイトへの勧誘や犯罪を誘発するようなサイト
8. 捜査の対象となっている未成年者の実名や写真などの情報の掲載
9. わいせつ画像や残虐な画像などの有害な情報の掲載
10. 特にない
11. わからない
12. その他（具体的に： _____)

(2) インターネット上の人権侵害を解決するために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. インターネット上の人権侵害を受けた人のための人権相談を充実させる
2. インターネット利用者やプロバイダに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する
3. プロバイダやインターネットサイトの管理者に対し情報掲載の停止、削除を求める
4. 違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する
5. 特にない
6. わからない
7. その他（具体的に： _____)

ご自身のことについて

問 26 これまでお聞きしたことを統計的に分析するために、以下の項目についてお答えください。

(1) あなたの性別について、あてはまるところに○をつけてください。

1. 男性
2. 女性
3. その他 ()

(2) あなたの年齢について、あてはまるところに○をつけてください。

1. 10歳代
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳以上

(3) あなたの職業について教えてください。(○は主としているお仕事に1つだけ)

1. 自営業(農林漁業・サービス業等)(家族従事者を含む)
2. 民間の企業や団体の経営者・管理者
3. 民間の企業や団体の正社員・正規職員
4. 公務員・教職員
5. 家事専業
6. パート・派遣・契約社員等の非正規雇用
7. 無職
8. 学生
9. その他(具体的に:)

問 27 あらゆる人権問題を解決するために、ご意見などがございましたら、ご自由にお書き
ください。

Blank area for writing responses, featuring horizontal dotted lines for guidance.

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

<用語説明>

【本邦外出身者】（問2・問3）

日本以外の国若しくは地域の出身である者又はその子孫であって適法に居住するもの。外国籍である必要はなく、日本生まれの在日外国人の二世・三世や、それ以降の世代が含まれる。

【ヘイトスピーチ】（問2・問3・問10・問19(1)）

特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から排除しようとしたり危害を加えようとしたりするなどの差別的な内容の言動。

【ハンセン病】（問2・問13(3)・問21）

らい菌と呼ばれる細菌に感染することによって皮疹や末梢神経障害を引き起こす病気。感染力が非常に弱く、感染し発病することはまれであり、早期治療により完治する。有効な治療薬がなかった時代には、症状が進むと体の一部が変形すること、遺伝病であると誤解されたことなどもあり、偏見や差別の対象となった。またハンセン病患者に対する強制隔離政策が偏見や差別を強めた。

【性的マイノリティ】（問2・問13(3)・問24）

同性に恋愛感情をもつ人や、自分の性に違和感がある人などのこと。「性的少数者」ともいう。

【おおいたパートナーシップ宣誓制度】（問4・問24(2)）

一方または双方が性的マイノリティの二人が、お互いを人生のパートナーとして日常生活において相互に協力し合うことを約束した関係であることを宣誓し、市がパートナーシップ宣誓書受領証等を交付する制度。一部の行政サービスなどが利用できる。

【人権擁護委員】（問8）

地域社会で人権侵害をなくし、人権思想を広めるために法務大臣から委嘱された民間ボランティア。地域住民からの人権相談をはじめ、人権侵害の調査・救済、人権教室の開催など、幅広い活動を行う。

【ヤングケアラー】（問15(1)）

本来大人が担うと想定されている家族の介護やその他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められるこども・若者。家族の病気や障がい、介護を理由に、勉強や友人との関係など、こどもとして健やかに過ごすための時間が奪われ、心身に大きな負担を抱えている状況がある。

【成年後見制度】（問16(2)・問17(2)）

認知症、知的障害、精神障害などによって判断能力が不十分な人を、後見人などの代理人がサポートし、財産管理や身上監護を行うことで、本人を保護し権利を守るための制度。

【アウトティング】（問18(3)・問24(1)・問25(1)）

当事者が他の人に公にしていない秘密を、本人の了解を得ることなく勝手に暴露する行為。当事者の心理的安全性を大きく損なう。

【エコーチェンバー現象】（問25(1)）

インターネット、特にSNS上で、自分と似た興味関心や意見を持つ人々が集まるコミュニティ内の情報を繰り返し見聞きすることで、自分の意見がまるで世論であるかのように正しいと思い込んでしまう現象。